

岡崎市の子ども・子育てに関する
アンケート調査結果報告書

平成 26 年3月

岡崎市

目次

1. 調査の概要

1. 調査の目的.....	2
2. 調査概要.....	2
3. 報告書の留意点.....	3
4. 家庭類型・潜在家庭類型の考え.....	3
5. 家庭類型・潜在家庭類型の算定.....	4

2. 調査結果(就学前児童・小学生児童)

1. お住まいの地域についてうかがいます.....	8
2. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます.....	9
3. 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます.....	11
4. 宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます.....	17
5. 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます.....	23
6. 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます.....	33
7. 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます.....	35
8. 子育て支援サービスの認知度についてうかがいます.....	39
9. 宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます.....	43
10. 宛名のお子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用についてうかがいます.....	47
11. 宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます.....	53
12. すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます.....	66
13. 子育て全般についてうかがいます.....	71
14. 就学前児童の自由回答.....	75
15. 小学生児童の自由回答.....	80
16. 就学前児童・小学生児童調査結果の総括.....	83

3. 調査結果(保育園・幼稚園職員)	
1. あなたご自身についてうかがいます	88
2. 仕事や職場の環境についてうかがいます	89
3. 保護者などの状況についてうかがいます	99
4. 保育園・幼稚園職員の自由回答	101
5. 保育園・幼稚園職員調査結果の総括	102
4. 調査結果(事業所)	
1. 貴事業所についてうかがいます	104
2. 貴事業所の管理職の状況についてうかがいます	107
3. 貴事業所の退職・離職の状況についてうかがいます	108
4. 仕事や職場の環境についてうかがいます	110
5. 子育て支援についてうかがいます	118
6. 事業所の自由回答	126
7. 事業所調査結果の総括	126
5. 資料編	
1. 就学前児童用調査票	130
2. 小学生児童用調査票	139
3. 保育園・幼稚園職員用調査票	146
4. 事業所用調査票	148

1.

調査の概要



1. 調査の目的

本調査は、より一層の子育て支援施策の充実に向けて、平成 26 年度に行う「岡崎市子ども・子育て支援事業計画」の策定資料として、保育ニーズや岡崎市の子育て支援サービスの利用状況や利用意向、また、子育て世帯の生活実態、要望・意見などを把握することを目的に、意向調査（アンケート調査）として実施しました。

2. 調査概要

- 調査地域：岡崎市全域
- 調査対象者：岡崎市内在住の就学前のお子さんをお持ちの世帯・保護者（就学前児童調査）
岡崎市内在住の小学生のお子さんをお持ちの世帯・保護者（小学生児童調査）
岡崎市内の保育園・幼稚園の職員
岡崎市内の事業所
- 抽出方法：無作為抽出及び悉皆
- 調査期間：平成 25 年 11 月 1 日（金）～平成 25 年 11 月 15 日（金）
- 調査方法：郵送配布・郵送回収による調査方法

調査票	配布数	回収数	回収率
就学前児童保護者	4,913 件	2,545 件	51.8%
小学生児童保護者	1,498 件	793 件	52.9%
保育園・幼稚園職員	717 件	481 件	67.1%
事業所	385 件	152 件	39.5%
合計	7,513 件	3,971 件	52.9%

3. 報告書の留意点

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N(number of case)」は、集計対象者総数(あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人)を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- 一部の結果では表での形式を活用しています。項目数の多いものには、最も高い数値に網掛けをしています。
- 就学前児童保護者は「就学前児童」、小学生児童保護者は「小学生児童」と省略しています。
- 経年比較を行っているものは、今回の調査を「平成25年度」、前回の調査を「平成20年度」と表記しています。
- 就学前児童の結果については、「家庭類型」「潜在家庭類型」を調査結果より抽出し、クロス集計を一部で行っています。

4. 家庭類型・潜在家庭類型の考え

アンケート調査結果を活用し、対象となる子どもの父母の有無、就労状況から「家庭類型」を求めたうえで、家庭類型の種類を、タイプAからタイプFの8種類に構成します。

「家庭類型」は、現況の『家庭類型』と、母親の就労希望を反映させた『潜在的な家庭類型』の2種類となります。

タイプ	父母の有無と就労状況
タイプA	ひとり親家庭
タイプB	フルタイム×フルタイム
タイプC	フルタイム×パートタイム
タイプC'	フルタイム×パートタイム(就労時間短家庭)
タイプD	専業主婦(夫)
タイプE	パートタイム×パートタイム
タイプE'	パートタイム×パートタイム(就労時間短家庭)
タイプF	無業×無業

5. 家庭類型・潜在家庭類型の算定

「家庭類型」ならびに「潜在家庭類型」を算定するにあたり、以下の設問を利用しています。

項目	設問番号
父母の有無	問5、問6 ※問5で「3.その他」と回答→集計対象から除く。 ※問5で「1.母親」あるいは「2.父親」と回答、かつ問6で「2.配偶者はいない」と回答→「ひとり親家庭」となる。
母親の就労状況	問11(1)、問11(1)-1
父親の就労状況	問11(2)、問11(2)-1
母親の就労意向	問12 ①(パートタイムからフルタイムへの意向) 問13(1)(無業から就労への意向)
子どもの年齢	問3

注) 上記対象設問の何れかが無回答のサンプルは、集計対象から除く。(ひとり親家庭で問11(1)、(2)のいずれかが無回答であるものを除く。)

ひとり親家庭を算定後、以下に示す家庭類型をタイプBからFまで算定します。その後、就労意向等の状況から潜在家庭類型を算定します。

		母親	3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中			5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない
			1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中	120時間以上	120時間未満 下限時間以上	
父親						
		1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中	タイプB	タイプC	タイプC'	
3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	120時間以上		タイプC	タイプE		タイプD
	120時間未満 下限時間以上					
	下限時間未満		タイプC'		タイプE'	
		5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない		タイプD		タイプF

■家庭類型分類結果

上段:度数 下段:%		潜在家庭類型									
		合計	ひとり親家庭 (A)	フルタイム× フルタイム (B)	フルタイム× パートタイム (C)	パートタイム× パートタイム (C')	専業主婦〔夫〕 (D)	パートタイム× パートタイム (E)	パートタイム× パートタイム (E')	無業×無業 (F)	不明・無回答
家庭類型	合計	2,545 100	145 5.7	435 17.1	364 14.3	300 11.8	963 37.8	2 0.1	2 0.1	16 0.6	319 12.5
	ひとり親家庭 (A)	145 100	145 100								
	フルタイム× フルタイム (B)	397 100		397 100							
	フルタイム× パートタイム (C)	337 100		25 7.4	294 87.2		18 5.3				
	フルタイム× パートタイム (C')	202 100		4 2		191 94.6	7 3.5				
	専業主婦〔夫〕 (D)	1,123 100		9 0.8	70 6.2	109 9.7	933 83.1		1 0.1	1 0.1	
	パートタイム× パートタイム (E)	1 100						1 100			
	パートタイム× パートタイム (E')	1 100							1 100		
	無業×無業 (F)	20 100					5 25			15 75	
	不明・無回答	319 100									319 100

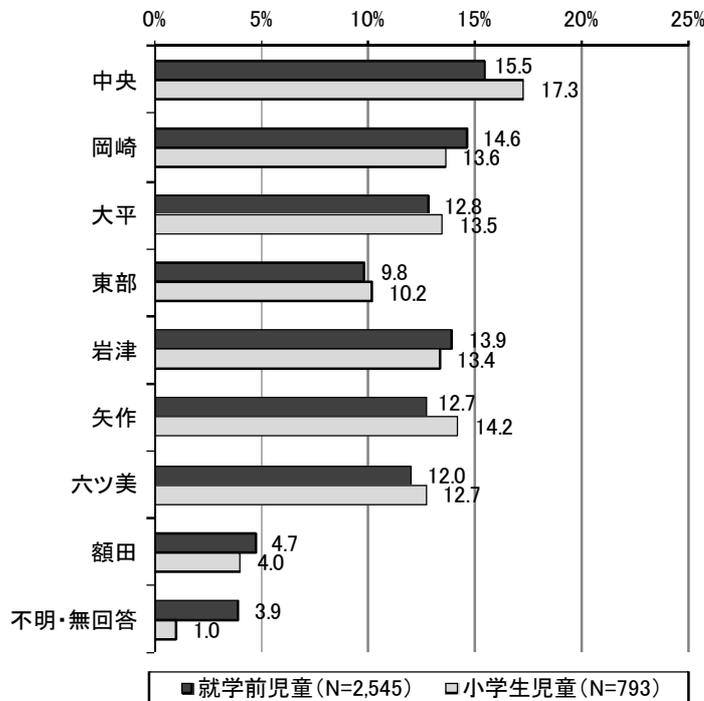
2.

調査結果(就学前児童・小学生児童)

1. お住まいの地域についてうかがいます

(1) お住まいの地域の小学校区はどちらになりますか。〈単数回答〉

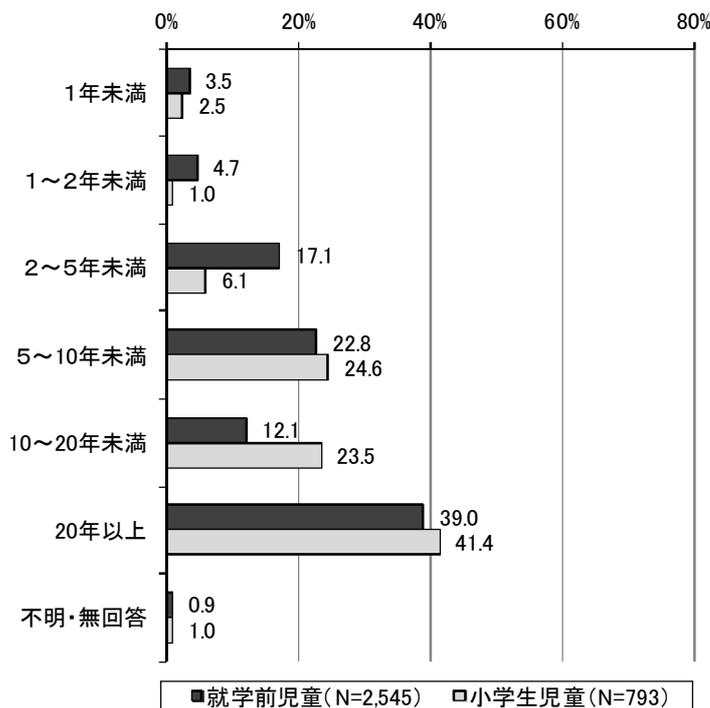
[就学前児童調査・小学生児童調査…問1]



(2) 岡崎市に住んで何年になりますか。〈単数回答〉

[就学前児童調査・小学生児童調査…問2]

居住年数についてみると、居住年数が「20年以上」は就学前児童で39.0%、小学生児童で41.4%となっています。就学前児童で居住年数は、「5年未満」が25.3%となっています。

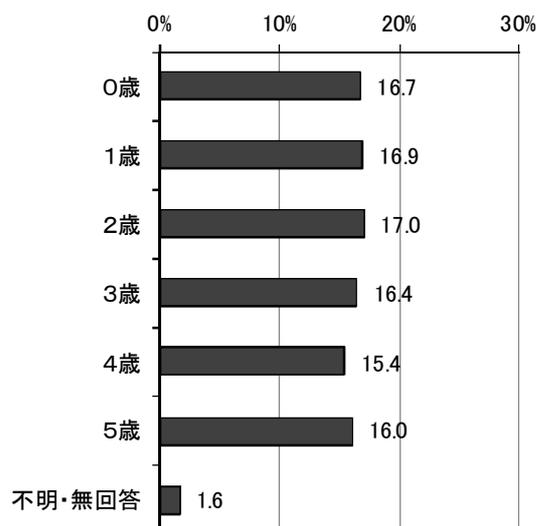


2. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

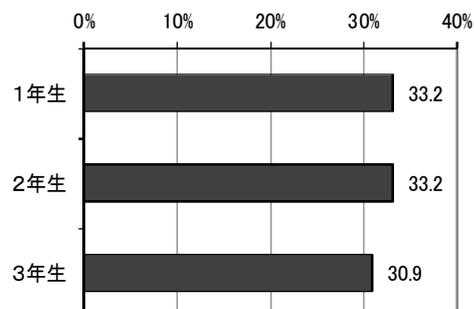
(3) 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。〈数量回答〉

[就学前児童調査・小学生児童調査…問3]

就学前児童(N=2,545)



小学生児童(N=793)



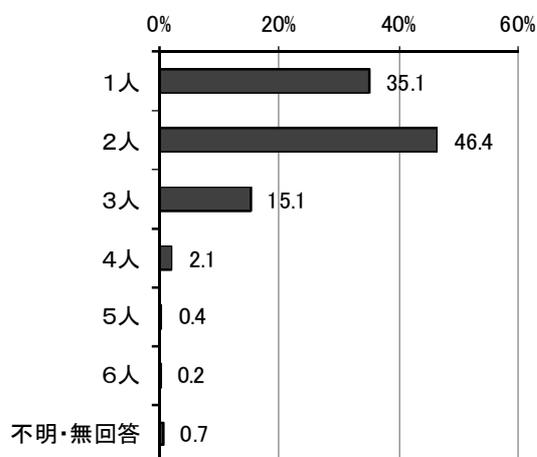
(4) 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。〈数量回答〉

※宛名の子を含めた数

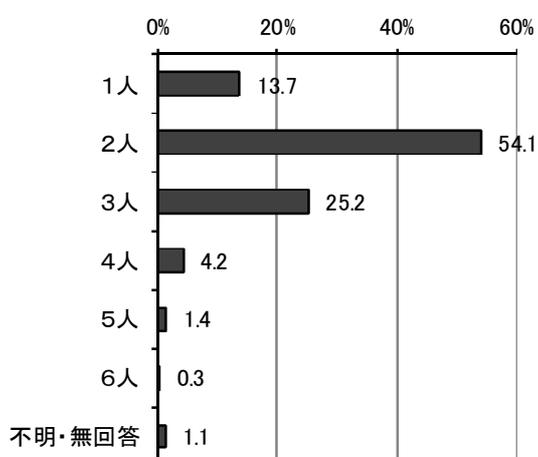
[就学前児童調査・小学生児童調査…問4]

きょうだいの人数についてみると、「2人」が就学前児童で46.4%、小学生児童で54.1%となっています。次いで、就学前児童では「1人」が35.1%、小学生児童では「3人」が25.2%となっています。

就学前児童(N=2,545)

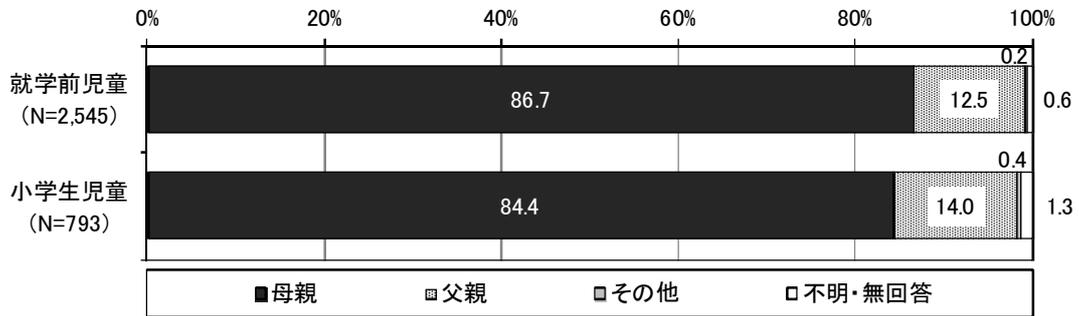


小学生児童(N=793)



(5) この調査票にご回答いただく方はどなたですか。〈単数回答〉

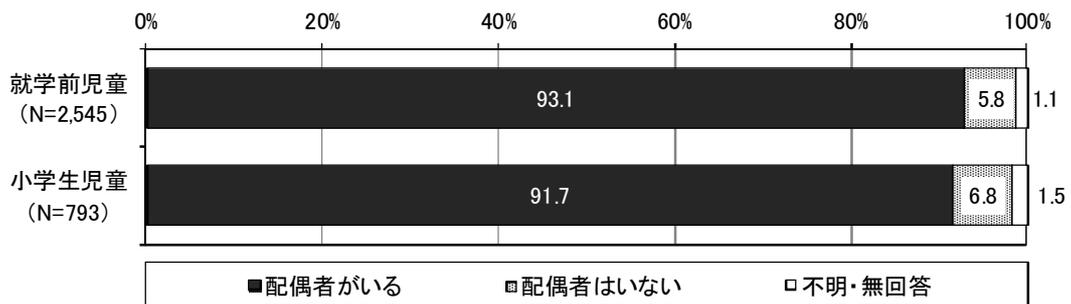
[就学前児童調査・小学生児童調査…問5]



(6) この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。〈単数回答〉

[就学前児童調査・小学生児童調査…問6]

配偶者の有無についてみると、「配偶者がいる」は就学前児童で93.1%、小学生児童で91.7%となっています。「配偶者はいない」は、就学前児童、小学生児童ともに1割以下となっています。



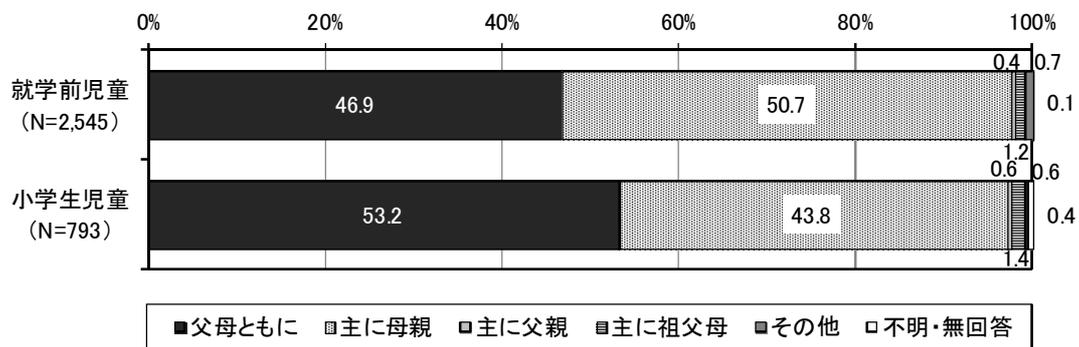
3. 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

(7) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。〈単数回答〉

[就学前児童調査・小学生児童調査…問7]

子育て（教育を含む）を主に行っているのは、「父母ともに」が就学前児童で46.9%、小学生児童で53.2%となっています。就学前児童では、「主に母親」が過半数となっています。

父親の就労状況との関係についてみると、就労時間が「11時間以上」で「主に母親」が「父母ともに」より高い傾向にあります。



■父親の就労時間との関係

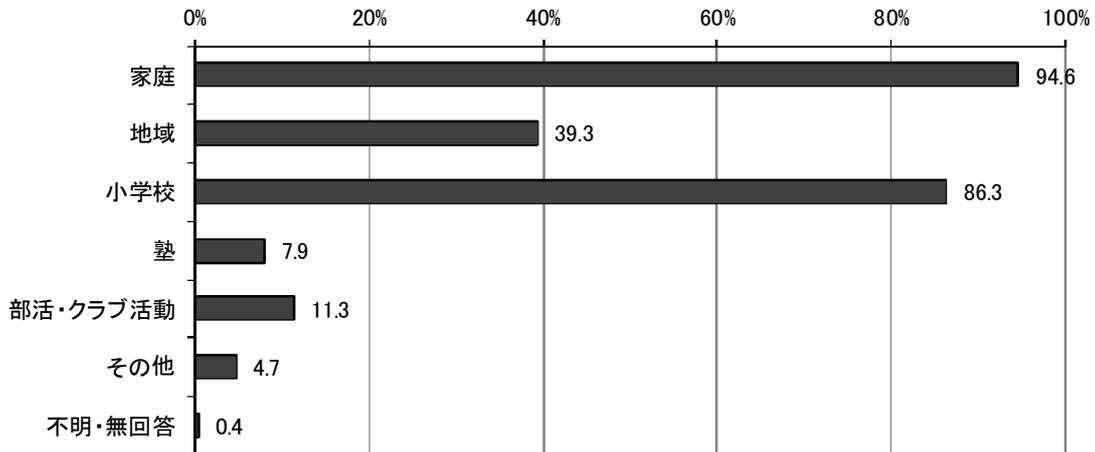
【就学前児童】 父親の就労時間	父母ともに (N=1,060)		主に母親 (N=1,024)	
	件数	%	件数	%
8時間未満	13	1.3	14	1.4
8時間	236	22.3	153	14.9
9時間	135	12.7	108	10.5
10時間	327	30.8	303	29.6
11時間	98	9.2	103	10.1
12時間	145	13.7	167	16.3
13時間	39	3.7	68	6.6
14時間以上	51	4.8	77	7.5

(8) 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境。〈複数回答〉

[小学生児童調査…問8]

子育て(教育を含む)にもっとも影響すると思われる環境についてみると、「家庭」が94.6%、次いで「小学校」が86.3%となっています。

小学生児童(N=793)

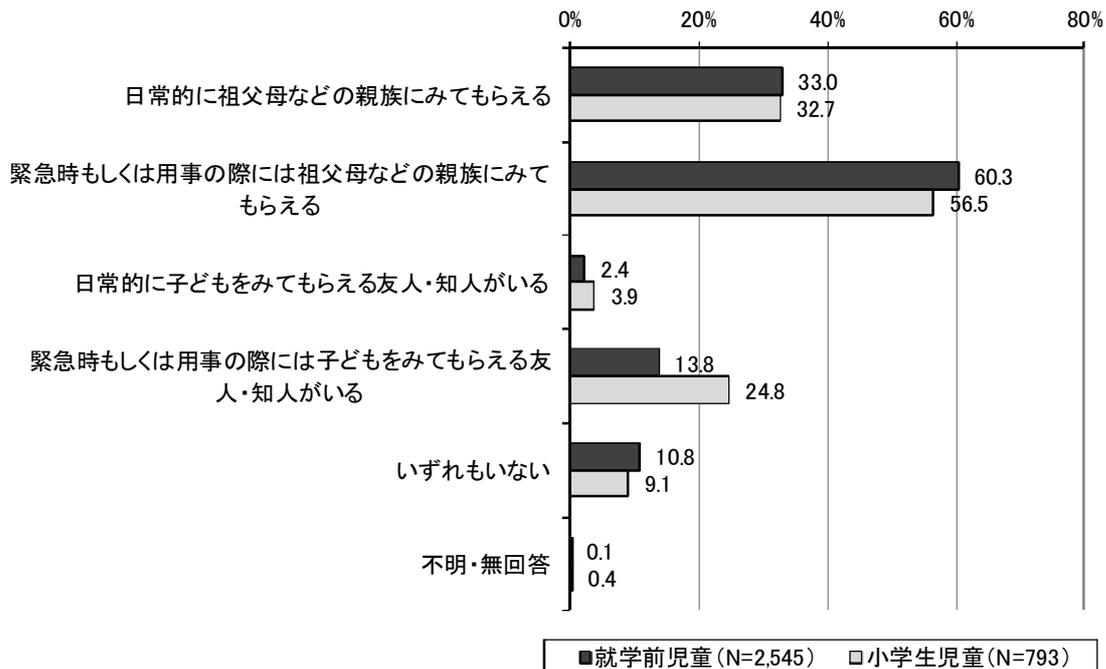


(9) 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。〈複数回答〉

[就学前児童調査…問8・小学生児童調査…問9]

子どもをみてもらえる親族・知人の有無についてみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」が就学前児童で60.3%、小学生児童で56.5%となっています。「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」が就学前児童で33.0%、小学生児童で32.7%となっています。

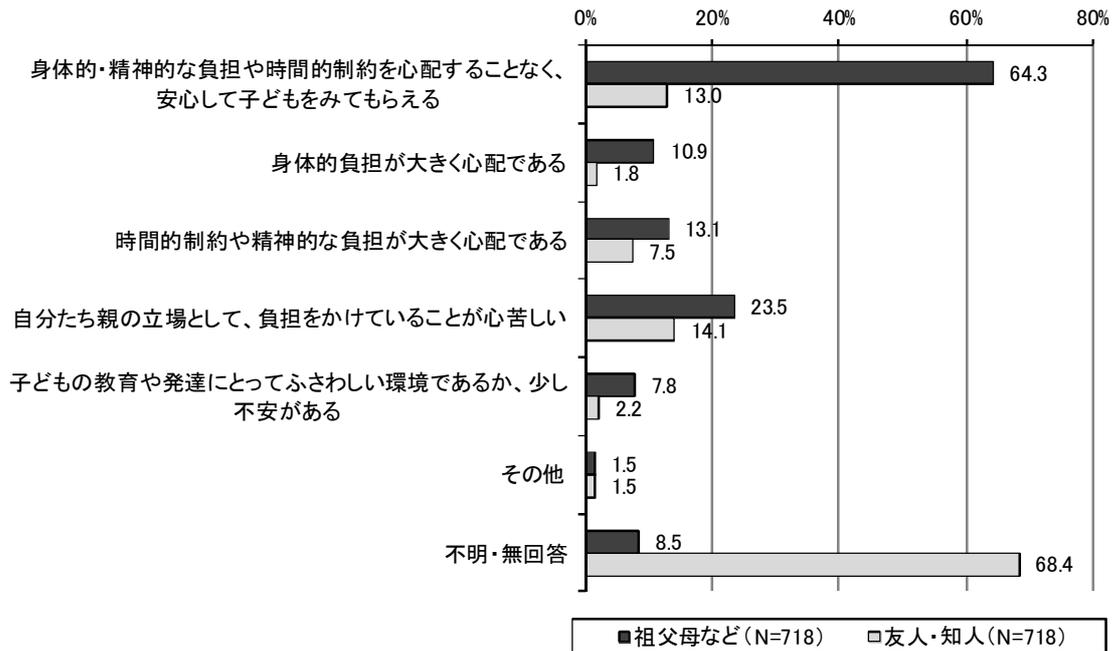
「いずれもない」は就学前児童で10.8%、小学生児童で9.1%となっています。



(10) お子さんをみてもらっている状況についてお答えください。〈複数回答〉

[小学生児童調査…問9-1]

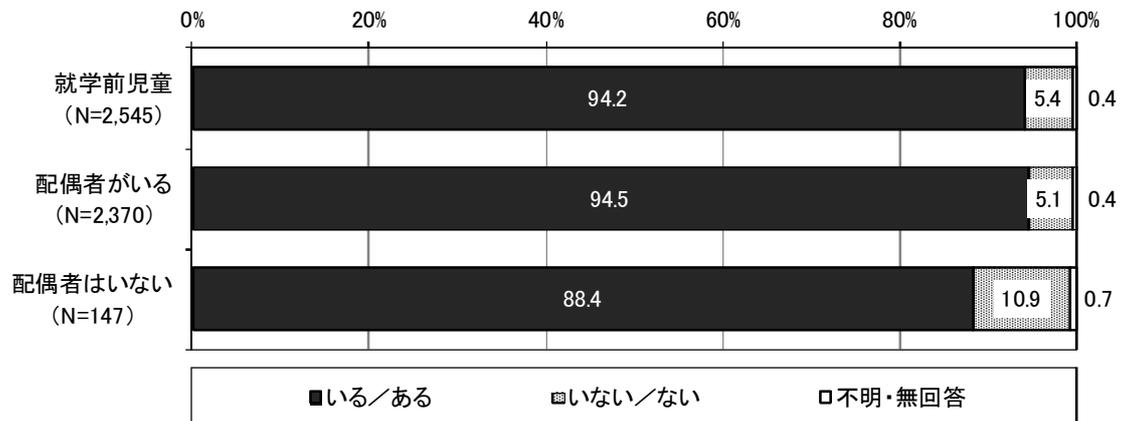
子どもをみてもらっている状況についてみると、祖父母などにみてもらっている人は「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が64.3%となっています。「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」は、祖父母などにみてもらっている人で23.5%、友人・知人にみてもらっている人で14.1%となっています。



(11) 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問9〕

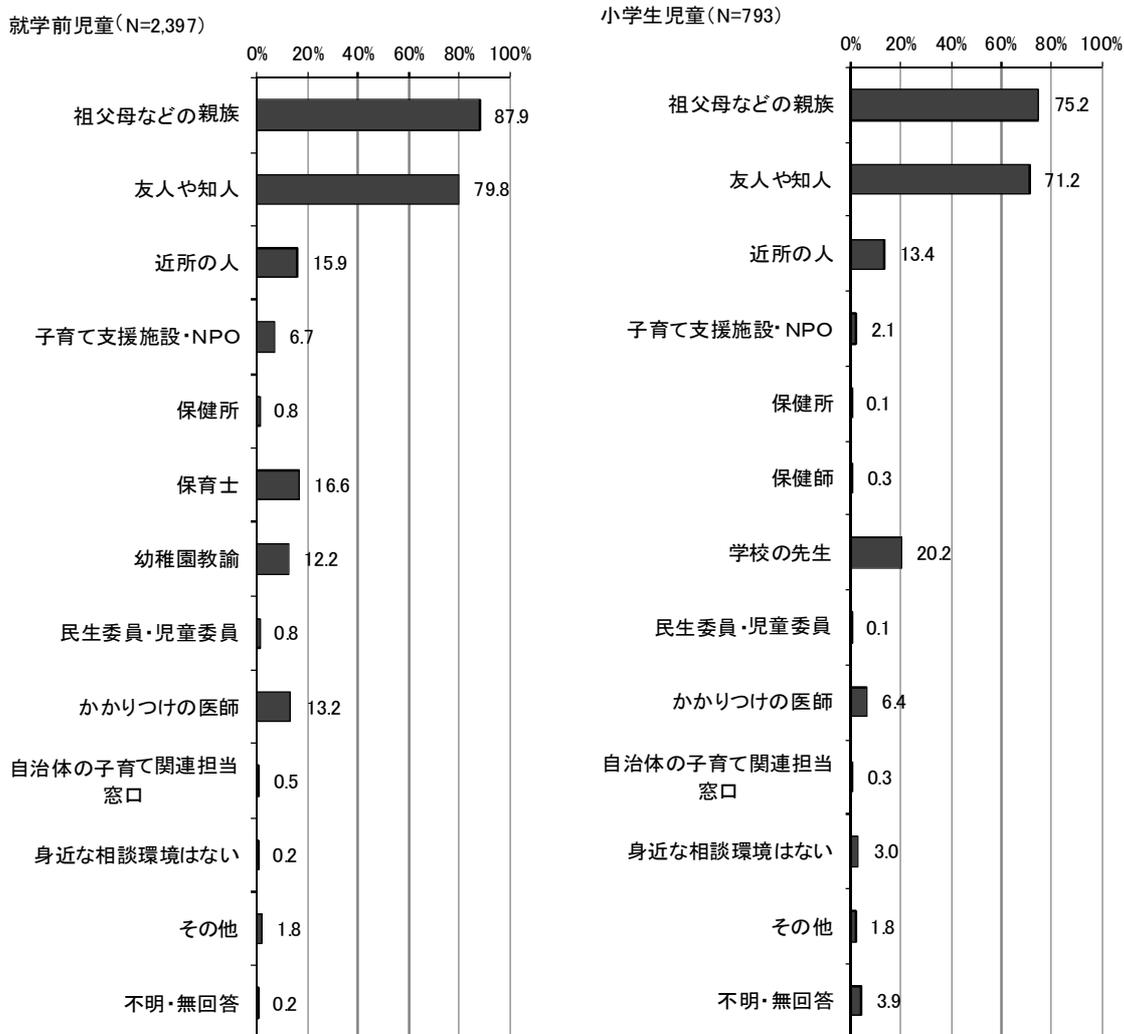
気軽に相談できる人についてみると、「いる/ある」が94.2%となっています。配偶者がいない人で「いない/ない」が10.9%となっています。



(12) お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。〈複数回答〉

[就学前児童調査…問9-1・小学生児童調査…問10]

気軽に相談できる先についてみると、「祖父母などの親族」が就学前児童で87.9%、小学生児童で75.2%、「友人や知人」が就学前児童で79.8%、小学生児童で71.2%となっています。配偶者がいない人では「保育士」が23.1%と配偶者がいる人に比べて高くなっています。



■配偶者との関係

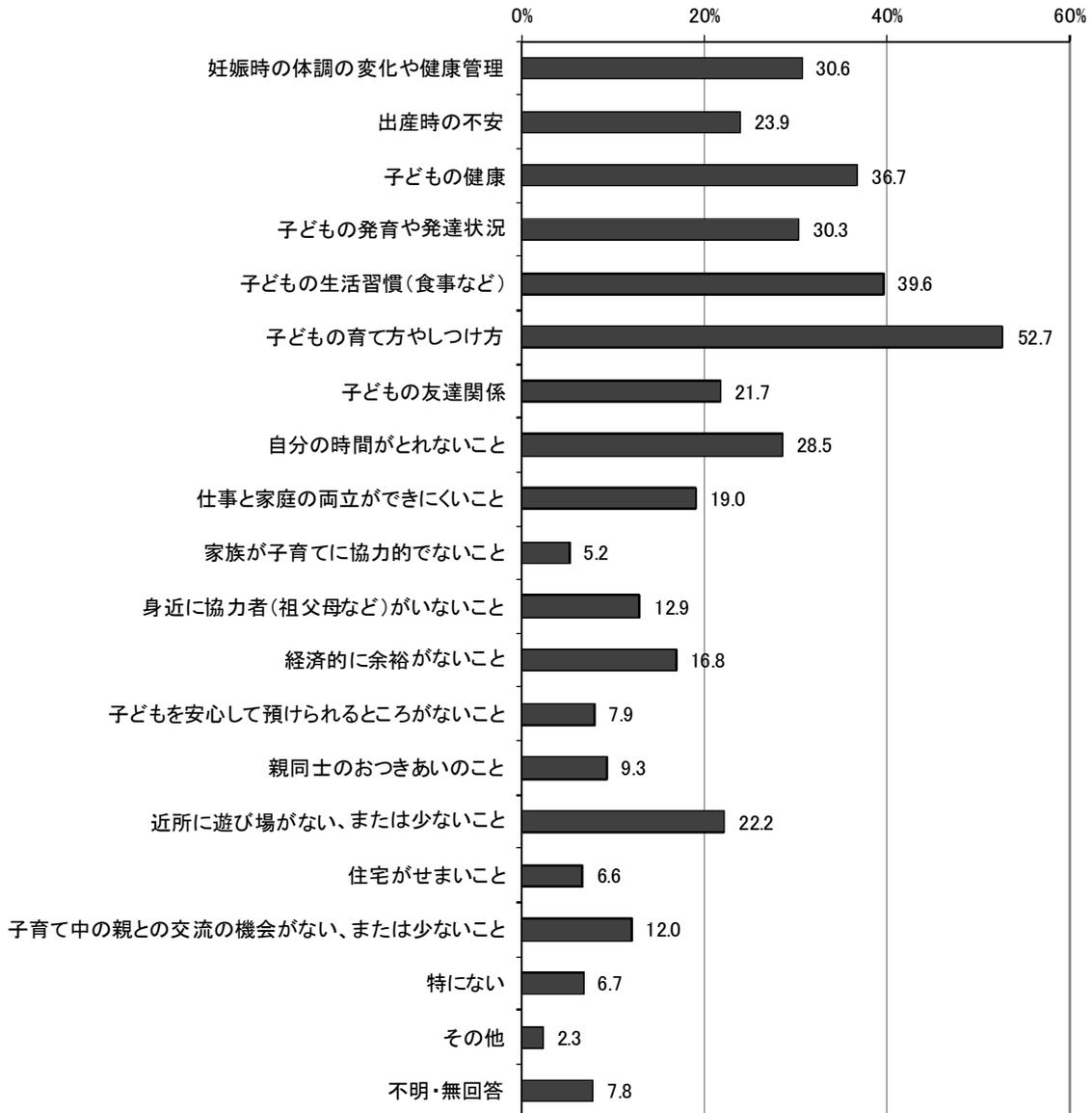
【就学前児童】	配偶者がいる (N=2,240)		配偶者がいない (N=130)	
	件数	%	件数	%
祖父母などの親族	1,974	88.1	116	89.2
友人や知人	1,800	80.4	90	69.2
近所の人	366	16.3	15	11.5
子育て支援施設 (子育て支援センターなど)・NPO	154	6.9	3	2.3
保健所	17	0.8	0	0.0
保育士	365	16.3	30	23.1
幼稚園教諭	287	12.8	3	2.3
民生委員・児童委員	19	0.8	0	0.0
かかりつけの医師	295	13.2	16	12.3
自治体の子育て関連担当窓口	11	0.5	0	0.0
身近な相談環境はない	4	0.2	0	0.0
その他	39	1.7	2	1.5

(13)妊娠、出産、子育てを通じて、困ったことや悩んだことはありますか。〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 10〕

妊娠、出産、子育てを通じて、困ったことや悩んだことについてみると、「子どもの育て方やしつけ方」が52.7%、「子どもの生活習慣（食事など）」が39.6%、「子どもの健康」が36.7%となっています。

就学前児童(N=2,545)



4. 宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

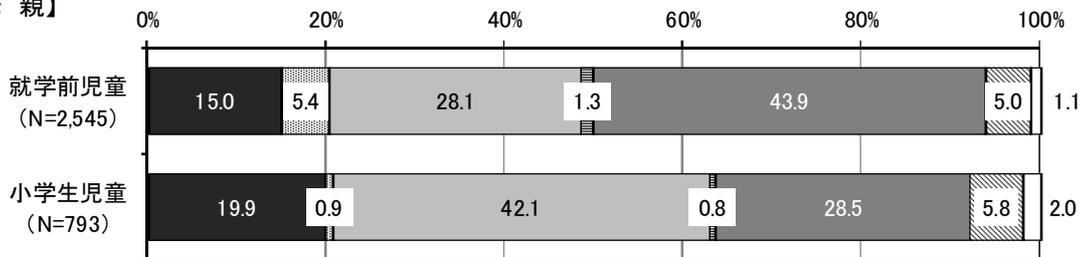
(14) 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。〈単数回答〉

[就学前児童調査…問 11(1)(2)・小学生児童調査…問 12(1)(2)]

保護者の現在の就労状況についてみると、母親については、就学前児童で「以前は就労していたが、現在は就労していない」が43.9%、小学生児童で「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が42.1%となっています。母親については、就学前児童で49.8%、小学生児童で63.7%が就労しています。

父親については、「フルタイムで就労しており、産休・介護休業中ではない」が就学前児童で83.0%、小学生児童で79.7%となっています。父親については、就学前児童で83.8%、小学生児童で80.5%が就労しています。

【母親】



- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▣フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▤パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- ▤これまで就労したことがない
- 不明・無回答

【父親】



- フルタイムで就労しており、産休・介護休業中ではない
- ▣フルタイムで就労しているが、産休・介護休業中である
- パート・アルバイトなどで就労しており、産休・介護休業中ではない
- ▤パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- ▤これまで就労したことがない
- 不明・無回答

(15) 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。〈数量回答〉

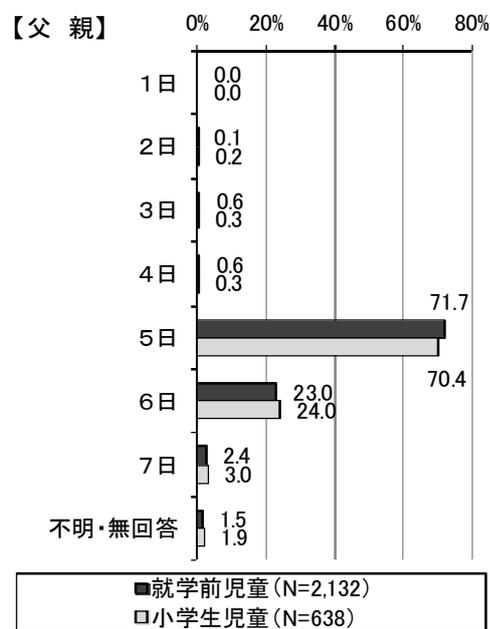
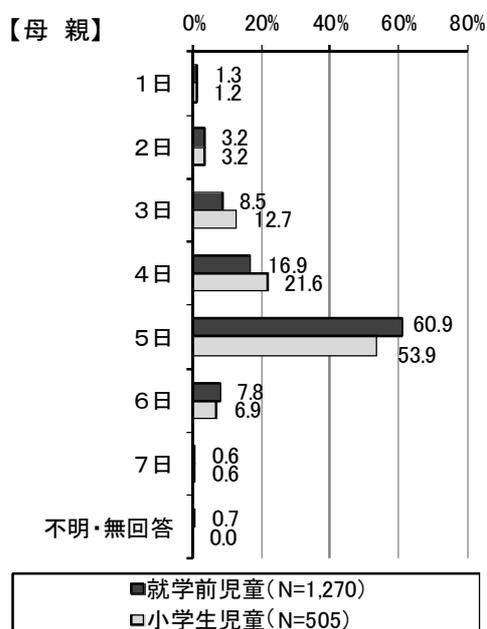
[就学前児童調査…問 11(1)－1(2)－1・小学生児童調査…問 12(1)－1(2)－1]

就労日数についてみると、就学前児童、小学生児童それぞれ、母親、父親ともに「5日」が多くなっています。父親については「6日」がおおよそ2割となっています。

就労時間についてみると、母親については、就学前児童で「8時間」が24.3%、小学生児童で「5時間」が23.6%となっています。父親については、「10時間」が就学前児童で30.2%、小学生児童で32.6%となっています。

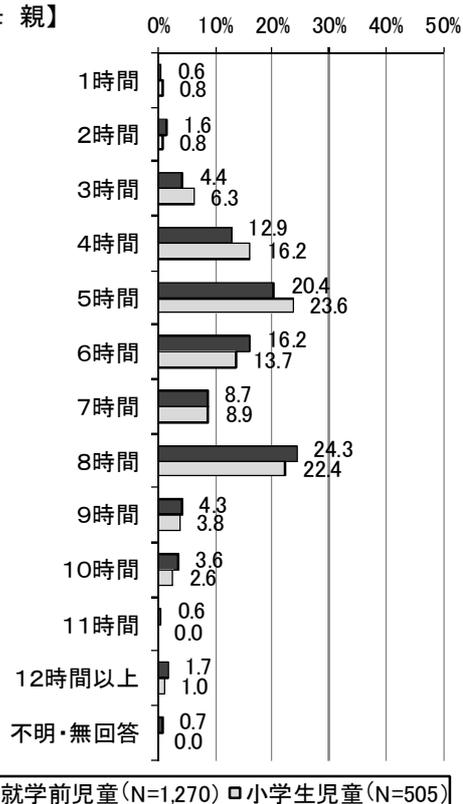
フルタイムで就労している母親は、「8時間」が就学前児童で50.4%、小学生児童で55.8%、パート・アルバイトで就労している母親は、「5時間未満」が就学前児童で65.6%、小学生児童で68.8%となっています。

① 1週当たりの就労日数

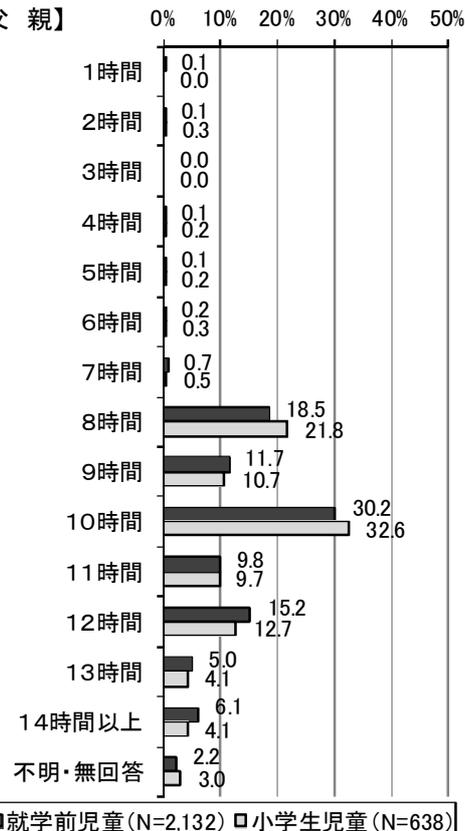


② 1日当たりの就労時間

【母親】



【父親】



■ 母親の就労時間との関係

【就学前児童】 母親の就労時間	フルタイムで就労している (N=520)		パート・アルバイトで 就労している (N=750)	
	件数	%	件数	%
5時間未満	15	2.9	492	65.6
6時間	66	12.7	140	18.7
7時間	52	10.0	59	7.9
8時間	262	50.4	46	6.1
9時間	53	10.2	2	0.3
10時間	41	7.9	5	0.7
11時間	6	1.2	1	0.1
12時間以上	20	3.8	1	0.1

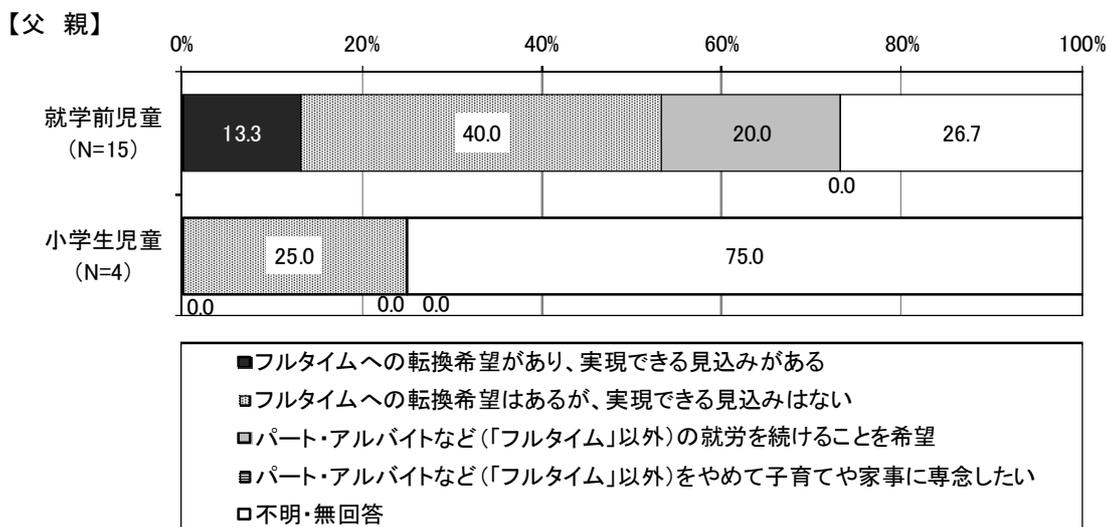
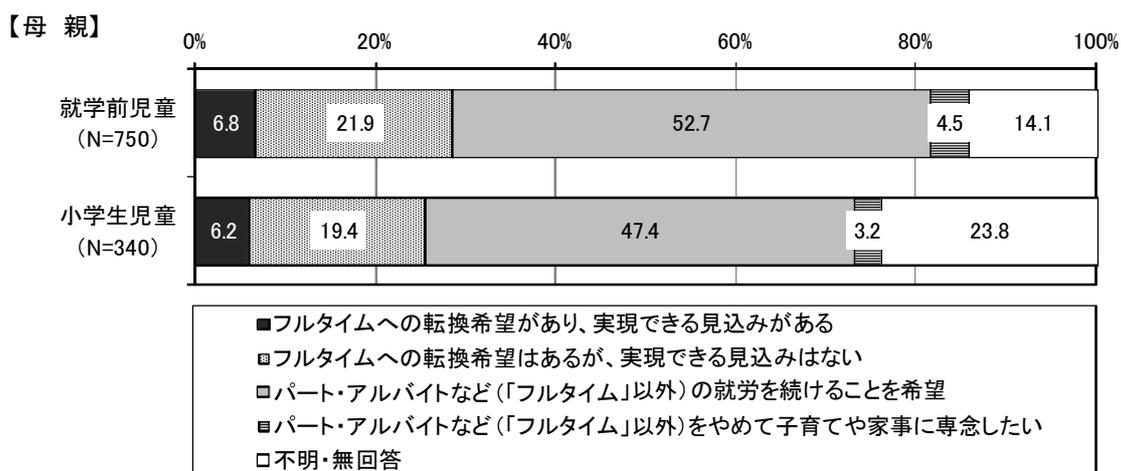
【小学生児童】 母親の就労時間	フルタイムで就労している (N=165)		パート・アルバイトで 就労している (N=340)	
	件数	%	件数	%
5時間未満	7	4.2	234	68.8
6時間	14	8.5	55	16.2
7時間	16	9.7	29	8.5
8時間	92	55.8	21	6.2
9時間	19	11.5	0	0.0
10時間	12	7.3	1	0.3
11時間	0	0.0	0	0.0
12時間以上	5	3.0	0	0.0

(16) フルタイムへの転換希望はありますか。〈単数回答〉

[就学前児童調査…問 12・小学生児童調査…問 13]

フルタイムへの転換希望についてみると、母親については、「パート・アルバイトなど（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が就学前児童で 52.7%、小学生児童で 47.4% となっています。「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と答えた人は就学前児童で 21.9%、小学生児童で 19.4% となっています。

父親については、対象としてわずかではあるものの「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と答えた人は就学前児童で 40.0%、小学生児童で 25.0% となっています。



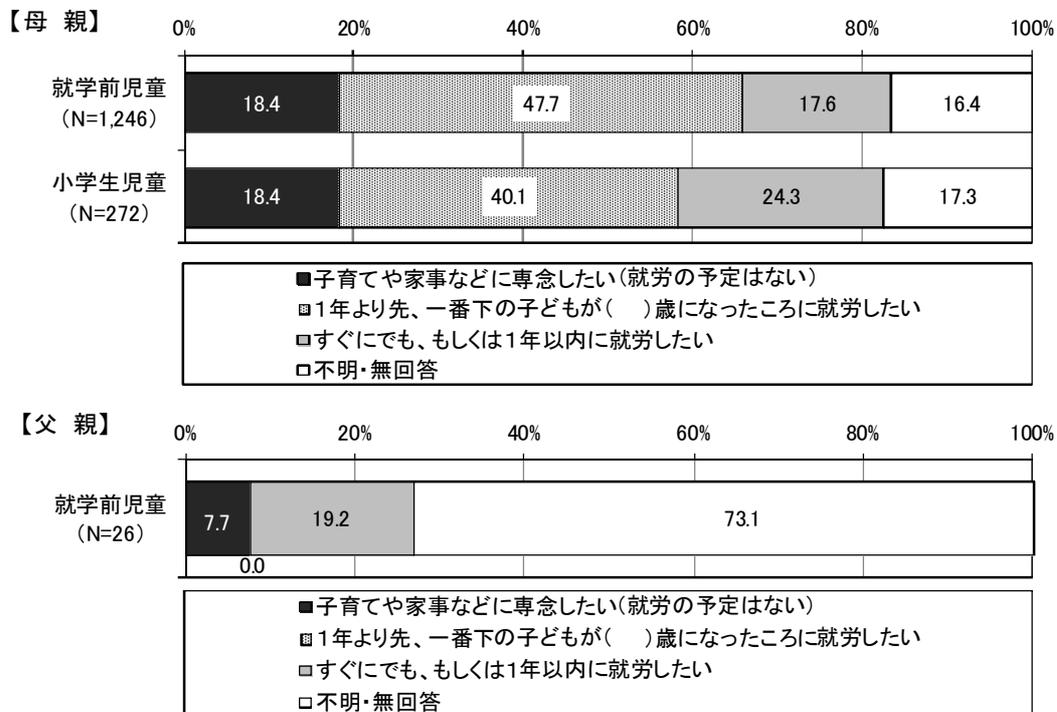
(17) 就労したいという希望はありますか。〈単数回答〉

[就学前児童調査…問 13・小学生児童調査…問 14]

就労希望についてみると、母親については、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が就学前児童で47.7%、小学生児童で40.1%となっています。一番下の子どもの年齢については、就学前児童で「3～5歳」が54.9%、「6歳(小学生)以上」は37.8%となっています。

母親について、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と答えた人は就学前児童で17.6%、小学生児童24.3%となっています。「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と答えた人で、希望する就労形態についてみると、「パートタイム、アルバイトなど」が就学前児童で91.8%、小学生児童で87.9%となっています。

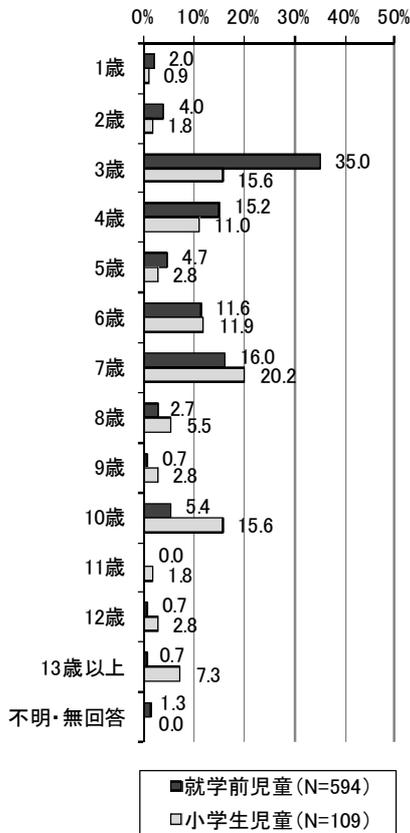
「パートタイム、アルバイトなど」と答えた人の希望する就労日数は、「3日」が就学前児童で35.3%、小学生児童で53.4%、労働時間は「5時間」が就学前児童で43.8%、小学生児童で58.6%となっています。



※小学生児童の父親の回答なし

①一番下の子どもが何歳になったころに就労したいか（数量回答）

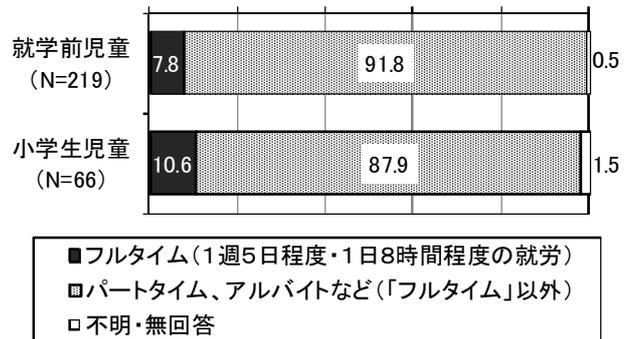
【母親】



※父親の回答なし

②希望する就労形態（単数回答）

【母親】 0% 20% 40% 60% 80% 100%



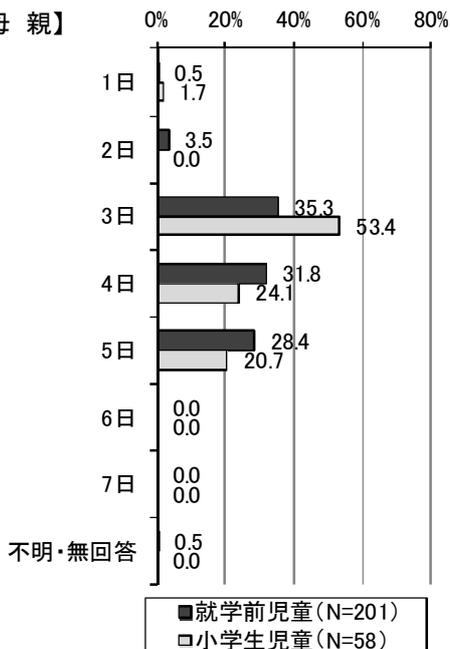
※【父親】 就学前児童 (N=5)

フルタイム 100.0%

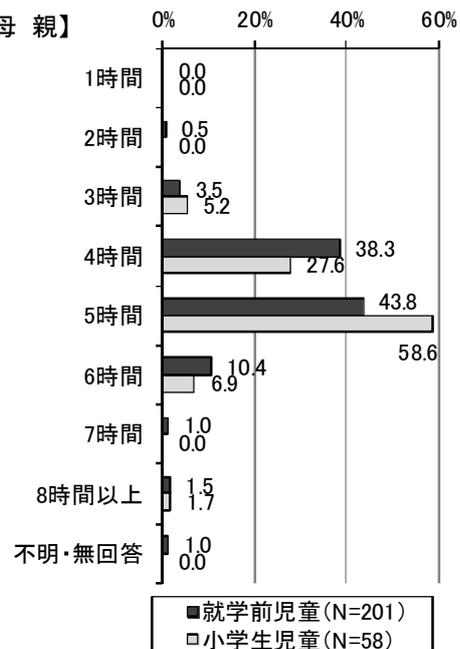
小学生児童 父親の回答なし

③パートタイム、アルバイトなどの1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間」（数量回答）

【母親】



【母親】



※父親の回答なし

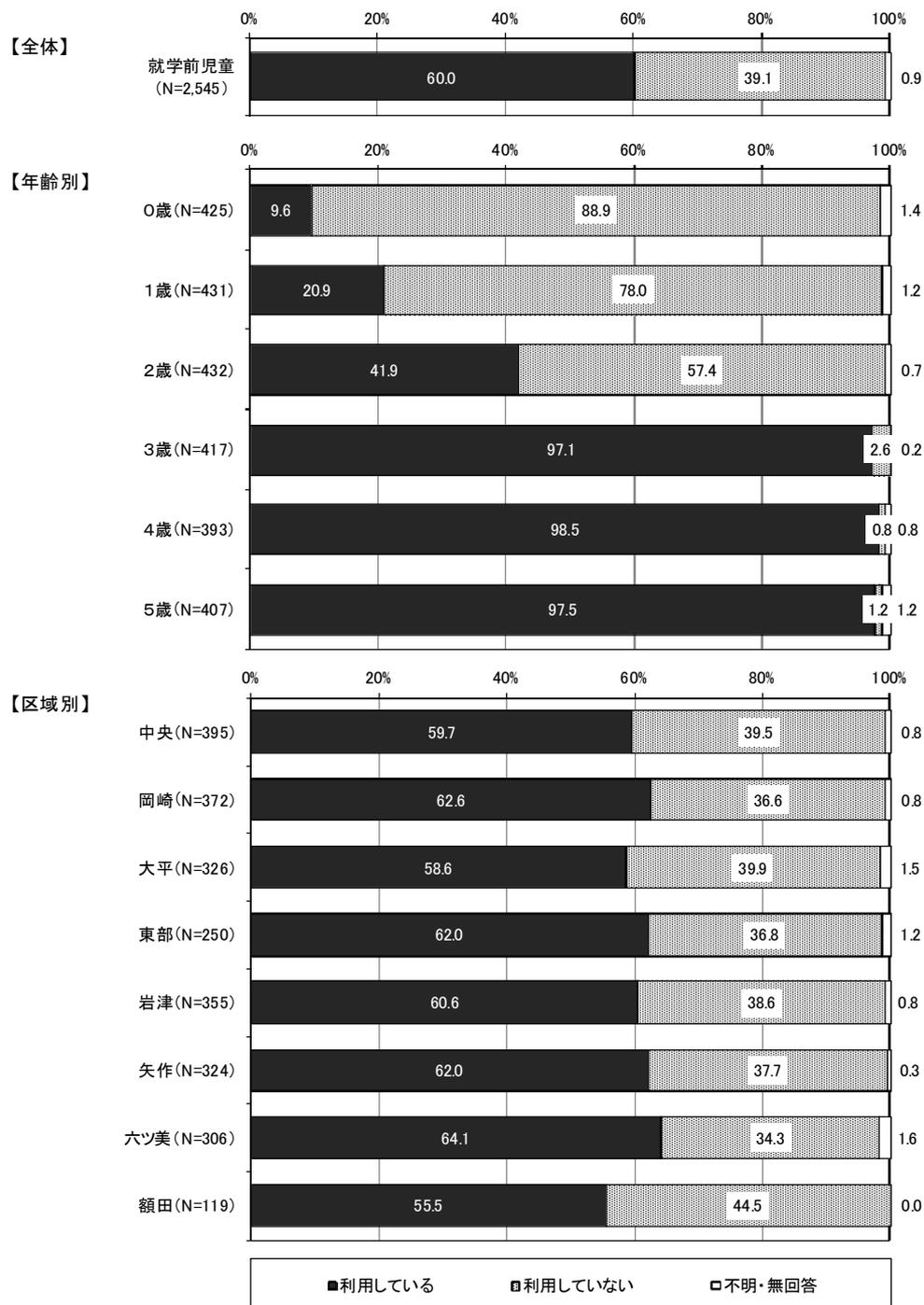
5. 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます

(18)現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。〈単数回答〉

[就学前児童調査…問 14]

幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」についてみると、「利用している」が60.0%となっています。

年齢別でみると0歳で9.6%、1歳で20.9%、2歳で41.9%、3歳以上で97.0%以上が利用しています。

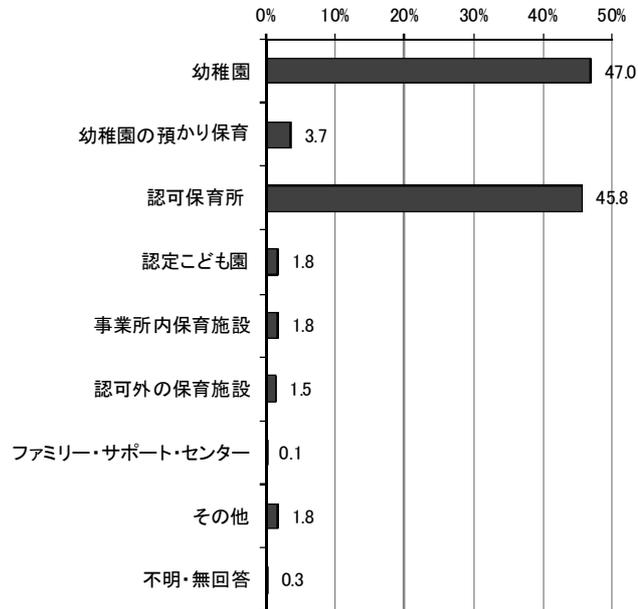


(19) 平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。〈複数回答〉

[就学前児童調査…問 14-1]

利用している教育・保育の事業についてみると、「幼稚園」が47.0%、認可保育所が45.8%となっています。

就学前児童(N=1,527)



	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	事業所内保育施設	認可外の保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他	不明・無回答
年齢別									
0歳 (N=41)	7.3	0.0	73.2	2.4	12.2	4.9	0.0	2.4	0.0
1歳 (N=90)	4.4	4.4	73.3	2.2	8.9	4.4	0.0	2.2	0.0
2歳 (N=181)	22.7	0.6	59.1	3.3	3.9	5.0	0.0	6.6	0.6
3歳 (N=405)	51.1	2.5	45.2	2.0	0.7	0.0	0.0	1.0	0.5
4歳 (N=387)	58.1	4.7	37.5	1.3	0.3	1.3	0.3	1.3	0.3
5歳 (N=397)	56.2	5.5	39.5	1.5	0.5	0.5	0.3	0.8	0.0
区域別									
中央 (N=236)	55.1	5.9	38.6	0.0	1.7	1.3	0.0	1.7	0.4
岡崎 (N=233)	51.5	3.0	42.9	0.0	1.3	2.1	0.0	1.7	0.4
大平 (N=191)	44.5	6.3	48.2	0.0	1.6	1.0	0.0	1.6	0.0
東部 (N=155)	40.6	1.9	53.5	0.0	0.6	1.3	0.0	3.2	0.6
岩津 (N=215)	55.3	2.3	39.5	0.0	3.7	0.0	0.5	1.9	0.5
矢作 (N=201)	45.8	2.5	51.7	0.0	0.5	2.0	0.5	0.5	0.0
六ツ美 (N=196)	46.9	3.6	49.0	0.5	2.6	0.5	0.0	2.0	0.0
額田 (N=66)	7.6	0.0	45.5	40.9	1.5	4.5	0.0	0.0	0.0

家庭類型別についてみると、「認可保育所」がひとり親家庭（A）で79.6%、フルタイム×フルタイム（B）で76.8%、フルタイム×パートタイム（C）で75.8%となっています。「幼稚園」がフルタイム×パートタイム（C'）で88.7%、専業主婦〔夫〕（D）で89.6%となっています。

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	事業所内保育施設	認可外の保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他	不明・無回答
家庭類型別									
ひとり親家庭(A) (N=113)	15.9	0.9	79.6	0.9	0.9	1.8	0.0	2.7	0.0
フルタイム×フルタイム(B) (N=297)	12.8	4.0	76.8	2.0	3.7	2.0	0.3	1.7	0.3
フルタイム×パートタイム(C) (N=285)	13.7	4.9	75.8	3.2	2.8	1.4	0.0	1.8	0.0
フルタイム×パートタイム(C') (N=159)	88.7	8.2	8.8	0.0	0.0	2.5	0.6	0.6	0.0
専業主婦〔夫〕(D) (N=450)	89.6	2.4	4.9	1.8	0.0	0.4	0.0	2.4	0.7
パートタイム×パートタイム(E) (N=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パートタイム×パートタイム(E') (N=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無業×無業(F) (N=11)	72.7	0.0	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

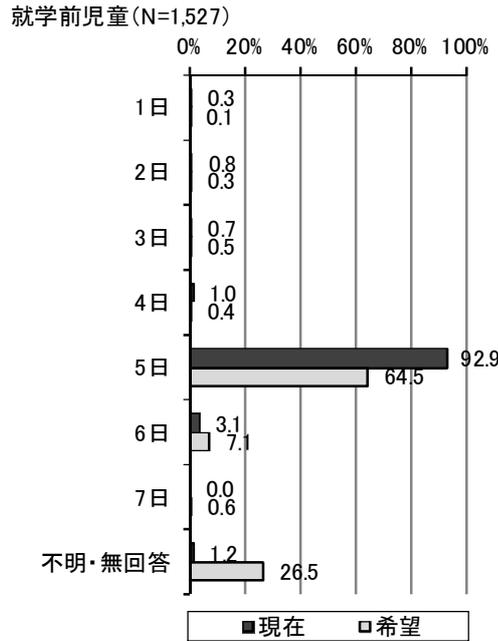
(20)平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。〈数量回答〉

[就学前児童調査…問 14-2]

教育・保育の事業の利用頻度についてみると、現在の利用状況としては「5日」が92.9%となっています。

希望する利用頻度は、「5日」が64.5%、「6日」が7.1%となっています。幼稚園、認可保育所で、希望する利用頻度の日数が現状よりも多くなっています。

① 1週当たりの利用日数



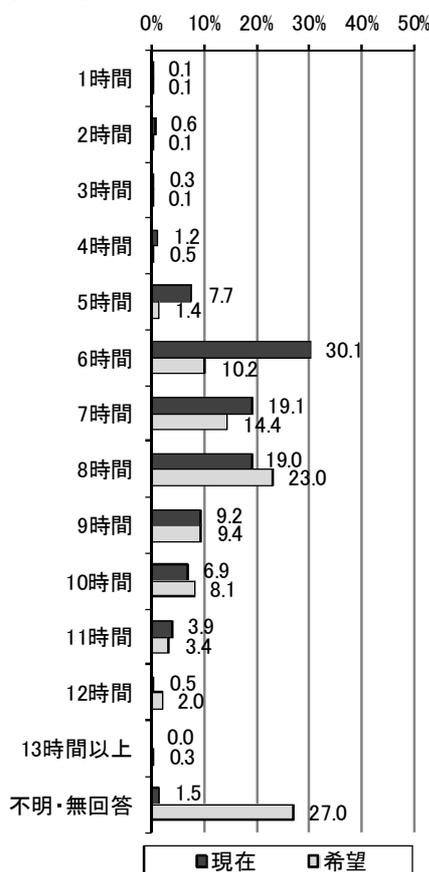
サービス別	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・無回答
①現在								
幼稚園(N=717)	0.1	0.8	0.7	0.6	96.2	0.0	0.0	1.5
幼稚園の預かり保育(N=56)	1.8	1.8	1.8	1.8	92.9	0.0	0.0	0.0
認可保育所(N=699)	0.1	0.3	0.0	0.6	92.0	6.0	0.0	1.0
認定こども園(N=28)	3.6	0.0	0.0	3.6	92.9	0.0	0.0	0.0
事業所内保育施設(N=27)	0.0	3.7	7.4	3.7	77.8	7.4	0.0	0.0
認可外の保育施設(N=23)	0.0	4.3	0.0	13	69.6	13	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
その他(N=27)	3.7	7.4	11.1	7.4	66.7	3.7	0.0	0.0
②希望								
幼稚園(N=717)	0.1	0.3	0.6	0.3	72.4	4.0	0.0	22.3
幼稚園の預かり保育(N=56)	0.0	0.0	0.0	1.8	67.9	3.6	0.0	26.8
認可保育所(N=699)	0.0	0.1	0.1	0.1	57.8	10.6	1.1	30.0
認定こども園(N=28)	0.0	3.6	0.0	3.6	64.3	0.0	0.0	28.6
事業所内保育施設(N=27)	0.0	0.0	0.0	3.7	51.9	7.4	3.7	33.3
認可外の保育施設(N=23)	0.0	4.3	0.0	0.0	69.6	13.0	0.0	13.0
ファミリー・サポート・センター(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
その他(N=27)	0.0	3.7	7.4	3.7	40.7	3.7	0.0	40.7

教育・保育の事業の利用時間についてみると、現在の利用時間としては「6時間」が30.1%となっています。

希望する利用時間は、「8時間」が23.0%、「7時間」が14.4%となっています。施設別にみると、幼稚園において希望する利用時間が現状よりも長くなっています。

② 1日当たりの利用時間

就学前児童(N=1,527)



サービス別	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間	13時間以上	不明・無回答
①現在														
幼稚園(N=717)	0.1	0.3	0.4	1.5	13.7	55.9	19.8	4.0	1.5	0.4	0.3	0.0	0.0	2.0
幼稚園の預かり保育(N=56)	0.0	1.8	0.0	5.4	3.6	26.8	14.3	23.2	14.3	3.6	7.1	0.0	0.0	0.0
認可保育所(N=699)	0.0	0.0	0.1	0.0	1.0	6.3	20.0	33.2	16.5	12.7	7.7	1.1	0.0	1.3
認定こども園(N=28)	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	28.6	17.9	25.0	10.7	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0
事業所内保育施設(N=27)	0.0	0.0	0.0	0.0	14.8	7.4	7.4	33.3	11.1	22.2	3.7	0.0	0.0	0.0
認可外の保育施設(N=23)	0.0	4.3	0.0	0.0	26.1	8.7	4.3	17.4	26.1	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他(N=27)	0.0	14.8	0.0	18.5	18.5	3.7	0.0	25.9	11.1	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0
②希望														
幼稚園(N=717)	0.1	0.0	0.1	0.7	1.8	17.9	20.9	27.6	5.2	2.2	0.0	0.1	0.0	23.3
幼稚園の預かり保育(N=56)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	21.4	25.0	10.7	10.7	1.8	0.0	0.0	26.8
認可保育所(N=699)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	2.3	9.0	19.7	13.7	13.2	6.9	4.1	0.7	29.9
認定こども園(N=28)	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	25.0	7.1	21.4	3.6	7.1	3.6	0.0	0.0	28.6
事業所内保育施設(N=27)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	7.4	18.5	11.1	18.5	3.7	3.7	0.0	33.3
認可外の保育施設(N=23)	0.0	4.3	0.0	0.0	13.0	8.7	13.0	4.3	26.1	13.0	4.3	0.0	0.0	13.0
ファミリー・サポート・センター(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
その他(N=27)	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	7.4	0.0	11.1	7.4	11.1	0.0	0.0	0.0	40.7

家庭類型別についてみると、現在の利用時間としては「8時間」がひとり親家庭(A)で30.1%、フルタイム×フルタイム(B)で23.2%、フルタイム×パートタイム(C)で36.1%となっています。「6時間」がフルタイム×パートタイム(C')で51.6%、専業主婦〔夫〕(D)で55.1%となっています。

潜在家庭類型別についてみると、希望する利用時間は、「10時間」がひとり親家庭(A)で14.2%、フルタイム×フルタイム(B)で18.1%となっています。「8時間」がフルタイム×パートタイム(C)で29.5%、フルタイム×パートタイム(C')で27.3%、専業主婦〔夫〕(D)で25.6%となっています。家庭類型に関わりなく、希望する利用時間が現状よりも長くなっています。

	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間	13時間以上	不明・無回答
①現在(家庭類型)														
ひとり親家庭(A)(N=113)	0.0	0.0	0.0	1.8	0.9	11.5	10.6	30.1	18.6	15.0	8.0	0.0	0.0	3.5
フルタイム×フルタイム(B)(N=297)	0.0	0.3	0.3	0.3	1.7	7.4	7.1	23.2	18.5	22.9	14.1	2.4	0.0	1.7
フルタイム×パートタイム(C)(N=285)	0.0	0.4	0.0	0.4	2.8	13.3	29.1	36.1	14.7	2.1	0.4	0.4	0.0	0.4
フルタイム×パートタイム(C')(N=159)	0.6	0.0	0.0	1.3	13.2	51.6	25.2	5.7	1.3	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6
専業主婦〔夫〕(D)(N=450)	0.0	1.6	0.7	2.7	15.1	55.1	18.7	3.8	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	1.8
パートタイム×パートタイム(E)(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パートタイム×パートタイム(E')(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無業×無業(F)(N=11)	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	54.5	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
②希望(潜在家庭類型)														
ひとり親家庭(A)(N=113)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	4.4	7.1	14.2	13.3	14.2	4.4	0.9	0.0	40.7
フルタイム×フルタイム(B)(N=326)	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3	3.4	2.1	14.7	13.5	18.1	12.0	7.4	1.5	26.7
フルタイム×パートタイム(C)(N=271)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.1	16.6	29.5	14.4	7.7	1.1	1.8	0.0	24.7
フルタイム×パートタイム(C')(N=220)	0.5	0.0	0.0	0.0	2.3	15.5	23.6	27.3	4.5	1.8	0.0	0.0	0.0	24.5
専業主婦〔夫〕(D)(N=375)	0.0	0.3	0.3	1.9	2.9	20.8	19.5	25.6	3.7	1.6	0.0	0.0	0.0	23.5
パートタイム×パートタイム(E)(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パートタイム×パートタイム(E')(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無業×無業(F)(N=10)	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	30.0	10.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0

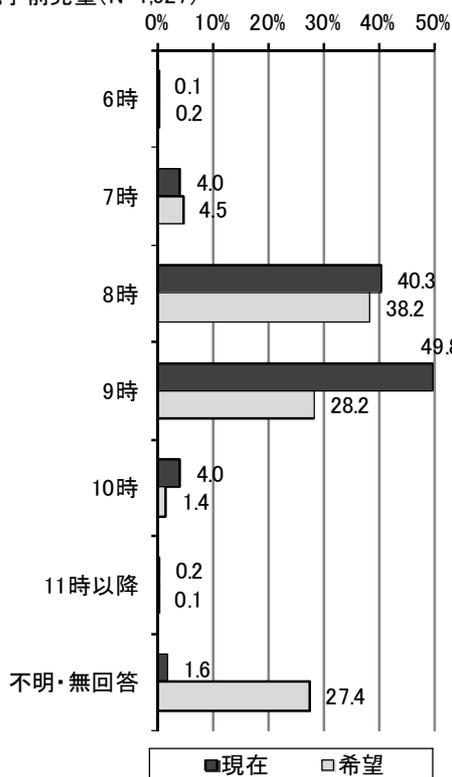
教育・保育の事業の通園時間についてみると、「8時」が40.3%、「9時」が49.8%となっています。通園の希望時間として、「9時」よりも「8時」が多くなっています。

退園時間についてみると、「15時」が36.5%、「16時」が26.7%と、15時から16時が6割以上となっています。退園の希望時間として、「15時」よりも「16時」が多くなっています。

特に幼稚園の利用者で、通園時間を早くし、退園時間を遅くしたいとする結果となっています。

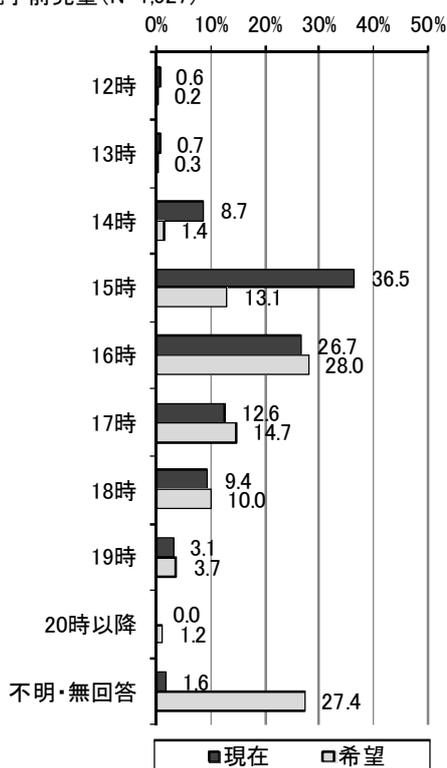
③通園時間（利用開始時間）

就学前児童(N=1,527)



④退園時間（利用終了時間）

就学前児童(N=1,527)



サービス別	③通園時間（利用開始時間）							④退園時間（利用終了時間）										
	6時間以前	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間以降	不明・無回答	12時以前	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時以降	不明・無回答	
①現在																		
幼稚園(N=717)	0.0	0.4	21.9	70.6	5.0	0.1	2.0	0.3	1.3	17.7	64.2	9.8	3.9	0.7	0.3	0.0	2.0	
幼稚園の預かり保育(N=56)	0.0	5.4	39.3	44.6	7.1	1.8	1.8	0.0	0.0	8.9	33.9	12.5	30.4	8.9	3.6	0.0	1.8	
認可保育所(N=699)	0.0	7.4	59.2	31.6	0.4	0.0	1.3	0.1	0.3	0.1	9.7	44.8	20.3	17.3	6.0	0.0	1.3	
認定こども園(N=28)	0.0	10.7	39.3	46.4	3.6	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	35.7	35.7	7.1	17.9	0.0	0.0	0.0	
事業所内保育施設(N=27)	3.7	3.7	51.9	33.3	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	25.9	22.2	14.8	22.2	11.1	0.0	0.0	
認可外の保育施設(N=23)	0.0	0.0	43.5	21.7	34.8	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	30.4	13.0	39.1	13.0	0.0	0.0	0.0	
ファミリー・サポート・センター(N=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他(N=27)	0.0	3.7	37.0	18.5	33.3	3.7	3.7	14.8	3.7	7.4	18.5	22.2	22.2	3.7	3.7	0.0	3.7	
②希望																		
幼稚園(N=717)	0.0	0.7	35.6	38.5	1.7	0.0	23.6	0.0	0.6	2.6	22.6	37.1	10.0	3.2	0.1	0.0	23.7	
幼稚園の預かり保育(N=56)	0.0	3.6	44.6	25.0	0.0	0.0	26.8	0.0	0.0	1.8	7.1	28.6	21.4	12.5	1.8	0.0	26.8	
認可保育所(N=699)	0.4	8.2	42.2	18.6	0.3	0.1	30.2	0.1	0.0	0.1	3.4	20.9	19.5	16.6	6.7	2.6	30.0	
認定こども園(N=28)	0.0	3.6	25.0	39.3	3.6	0.0	28.6	3.6	0.0	0.0	25.0	17.9	14.3	10.7	0.0	0.0	28.6	
事業所内保育施設(N=27)	0.0	3.7	40.7	22.2	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	3.7	18.5	14.8	14.8	14.8	0.0	33.3	
認可外の保育施設(N=23)	0.0	8.7	43.5	17.4	17.4	0.0	13.0	4.3	0.0	4.3	17.4	13.0	30.4	8.7	8.7	0.0	13.0	
ファミリー・サポート・センター(N=2)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	
その他(N=27)	0.0	7.4	18.5	14.8	14.8	0.0	44.4	0.0	7.4	3.7	11.1	11.1	11.1	7.4	3.7	0.0	44.4	

家庭類型別についてみると、通園時間としては「8時」がひとり親家庭（A）で61.1%、フルタイム×フルタイム（B）で58.6%、フルタイム×パートタイム（C）で53.0%となっています。「9時」がフルタイム×パートタイム（C'）で67.3%、専業主婦〔夫〕（D）で71.8%となっています。

退園時間としては「16時」がひとり親家庭（A）で32.7%、フルタイム×パートタイム（C）で51.9%となっています。「18時」がフルタイム×フルタイム（B）で29.3%となっています。「15時」がフルタイム×パートタイム（C'）で66.7%、専業主婦〔夫〕（D）で62.4%となっています。

潜在家庭類型別についてみると、通園の希望時間としては「8時」がひとり親家庭（A）で31.9%、フルタイム×フルタイム（B）で43.9%、フルタイム×パートタイム（C）で46.9%、フルタイム×パートタイム（C'）で38.6%となっています。「9時」が専業主婦〔夫〕（D）で41.1%となっています。

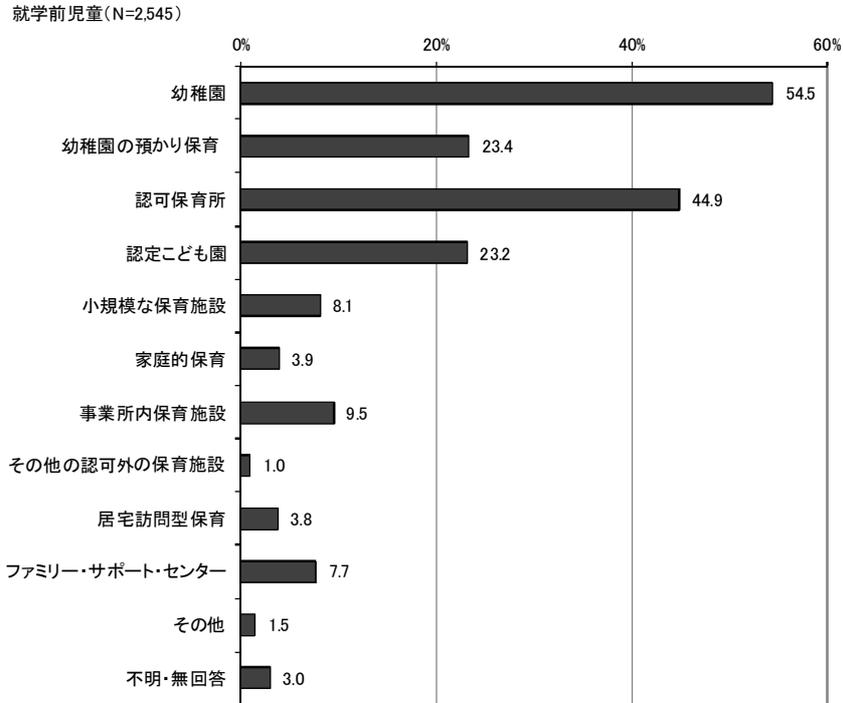
退園の希望時間としては「17時」がひとり親家庭（A）で19.5%となっています。「18時」がフルタイム×フルタイム（B）で22.4%となっています。「16時」がフルタイム×パートタイム（C）で38.4%、フルタイム×パートタイム（C'）で40.5%、専業主婦〔夫〕（D）で33.6%となっています。

	6時間以前	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間以降	不明・無回答	12時以前	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時以降	不明・無回答
①現在（家庭類型）																	
ひとり親家庭(A) (N=113)	0.0	5.3	61.1	28.3	0.9	0.9	3.5	0.0	0.0	1.8	13.3	32.7	22.1	21.2	5.3	0.0	3.5
フルタイム×フルタイム(B) (N=297)	0.3	12.8	58.6	25.6	1.0	0.0	1.7	0.7	0.3	2.4	7.7	21.2	24.6	29.3	12.1	0.0	1.7
フルタイム×パートタイム(C) (N=285)	0.0	2.1	53.0	41.8	2.1	0.4	0.7	0.0	0.4	2.1	22.1	51.9	17.9	3.9	1.1	0.0	0.7
フルタイム×パートタイム(C') (N=159)	0.0	0.6	24.5	67.3	6.3	0.6	0.6	0.6	0.6	12.6	66.7	14.5	3.1	1.3	0.0	0.0	0.6
専業主婦〔夫〕(D) (N=450)	0.0	0.2	19.6	71.8	6.9	0.0	1.6	1.3	1.8	19.3	62.4	11.1	2.2	0.2	0.0	0.0	1.6
パートタイム×パートタイム(E) (N=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パートタイム×パートタイム(E') (N=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無業×無業(F) (N=11)	0.0	0.0	36.4	54.5	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	54.5	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
②希望（潜在家庭類型）																	
ひとり親家庭(A) (N=113)	0.9	4.4	31.9	23.0	0.0	0.0	39.8	0.0	0.0	0.9	5.3	11.5	19.5	17.7	4.4	0.9	39.8
フルタイム×フルタイム(B) (N=326)	0.6	14.4	43.9	13.8	0.3	0.0	27.0	0.3	0.0	0.6	3.4	8.9	20.9	22.4	12.3	4.6	26.7
フルタイム×パートタイム(C) (N=271)	0.0	3.7	46.9	24.0	0.7	0.0	24.7	0.0	0.0	0.0	5.9	38.4	17.7	9.6	3.3	0.4	24.7
フルタイム×パートタイム(C') (N=220)	0.0	0.0	38.6	35.5	1.8	0.0	24.1	0.0	0.0	1.8	22.3	40.5	9.5	1.4	0.0	0.0	24.5
専業主婦〔夫〕(D) (N=375)	0.0	0.3	31.2	41.1	2.9	0.0	24.5	0.3	1.3	3.5	25.6	33.6	9.3	1.9	0.0	0.0	24.5
パートタイム×パートタイム(E) (N=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パートタイム×パートタイム(E') (N=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無業×無業(F) (N=10)	0.0	0.0	30.0	40.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0

(21) 平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 15〕

「定期的に」利用したいと考える教育・保育の事業についてみると、「幼稚園」が 54.5%、「認可保育所」が 44.9%となっています。



	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	不明・無回答
年齢別												
0歳 (N=425)	53.6	21.2	51.8	26.8	11.3	5.2	12.2	1.4	4.0	11.1	1.4	2.8
1歳 (N=431)	54.8	22.3	48.7	26.9	10.2	3.7	9.7	1.4	4.2	5.6	2.1	3.0
2歳 (N=432)	58.3	22.0	44.4	25.9	8.3	3.7	7.4	1.2	2.8	7.6	1.4	3.2
3歳 (N=417)	50.4	21.6	47.0	21.6	6.2	2.2	9.4	0.7	3.8	9.1	1.9	2.2
4歳 (N=393)	56.2	23.9	37.4	17.3	4.6	3.1	9.2	0.5	3.6	7.4	0.8	4.3
5歳 (N=407)	54.8	28.7	39.6	20.1	7.9	5.9	9.3	0.7	4.7	5.4	1.2	2.2
区域別												
中央 (N=395)	63.3	29.4	39.0	25.3	8.6	2.8	8.4	0.5	4.8	6.8	1.8	1.0
岡崎 (N=372)	59.1	27.2	43.8	21.8	7.3	2.7	9.7	0.8	3.0	8.9	0.8	3.5
大平 (N=326)	50.6	23.0	48.2	19.9	8.6	5.2	9.8	0.6	4.0	11.0	1.2	3.4
東部 (N=250)	52.0	21.6	49.2	22.0	10.0	5.2	11.2	0.8	4.4	6.4	1.6	4.4
岩津 (N=355)	62.8	20.8	39.2	20.6	6.5	4.5	8.7	0.8	3.7	7.3	0.8	2.3
矢作 (N=324)	55.2	23.8	48.8	23.8	6.5	2.8	10.8	2.5	3.1	7.7	2.5	2.8
六ツ美 (N=306)	51.3	20.3	44.8	16.3	8.8	3.9	7.8	1.0	3.6	4.6	1.6	3.3
額田 (N=119)	18.5	10.1	50.4	52.1	10.9	4.2	8.4	1.7	3.4	5.9	1.7	3.4

潜在家庭類型別についてみると、「認可保育所」がひとり親家庭（A）で61.4%、フルタイム×フルタイム（B）で70.6%、フルタイム×パートタイム（C）で72.5%となっています。「幼稚園」がフルタイム×パートタイム（C'）で77.0%、専業主婦〔夫〕（D）で78.3%となっています。

「認可保育所」の利用が中心のひとり親家庭（A）、フルタイム×フルタイム（B）、フルタイム×パートタイム（C）で、「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」の利用希望が現在の利用状況に比べて高くなっています。

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	不明・無回答
潜在家庭類型												
ひとり親家庭(A) (N=145)	31.7	9.0	61.4	21.4	9.0	3.4	12.4	0.7	2.8	8.3	0.0	4.1
フルタイム×フルタイム(B) (N=435)	27.8	21.4	70.6	28.7	7.1	3.9	16.1	0.9	4.8	10.1	2.1	1.8
フルタイム×パートタイム(C) (N=364)	27.5	19.5	72.5	36.0	11.5	5.5	11.8	1.6	5.2	7.4	1.1	1.6
フルタイム×パートタイム(C') (N=300)	77.0	35.3	14.7	12.0	4.7	3.0	6.0	1.7	2.3	5.0	1.0	7.3
専業主婦〔夫〕(D) (N=962)	78.3	26.0	27.5	21.1	8.5	4.0	6.3	0.6	4.0	7.8	1.5	2.7
パートタイム×パートタイム(E) (N=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パートタイム×パートタイム(E') (N=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無業×無業(F) (N=16)	68.8	18.8	37.5	0.0	6.3	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

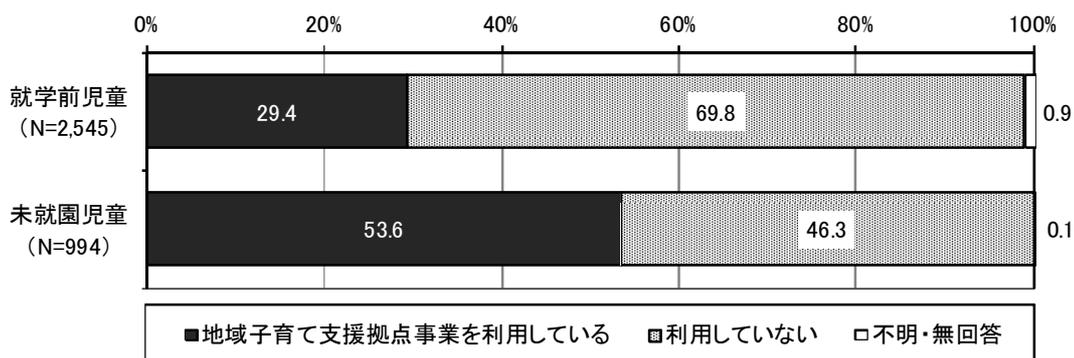
6. 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます

(22) 現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 16〕

地域子育て支援拠点事業の利用についてみると、未就園児童で「地域子育て支援拠点事業を利用している」が53.6%となっています。

利用回数は1週あたり「1回」が19.4%、1か月あたり「1回」が42.8%となっています。



	地域子育て支援拠点を 利用している	利用していない	不明・無回答
未就園児童区域別			
中央 (N=156)	55.8	44.2	0.0
岡崎 (N=136)	56.6	43.4	0.0
大平 (N=130)	62.3	37.7	0.0
東部 (N=92)	54.3	45.7	0.0
岩津 (N=137)	46.7	53.3	0.0
矢作 (N=122)	53.3	46.7	0.0
六ツ美 (N=105)	44.8	55.2	0.0
額田 (N=53)	52.8	45.3	1.9

① 1週あたりもしくは1か月当たりの利用回数（数量回答）

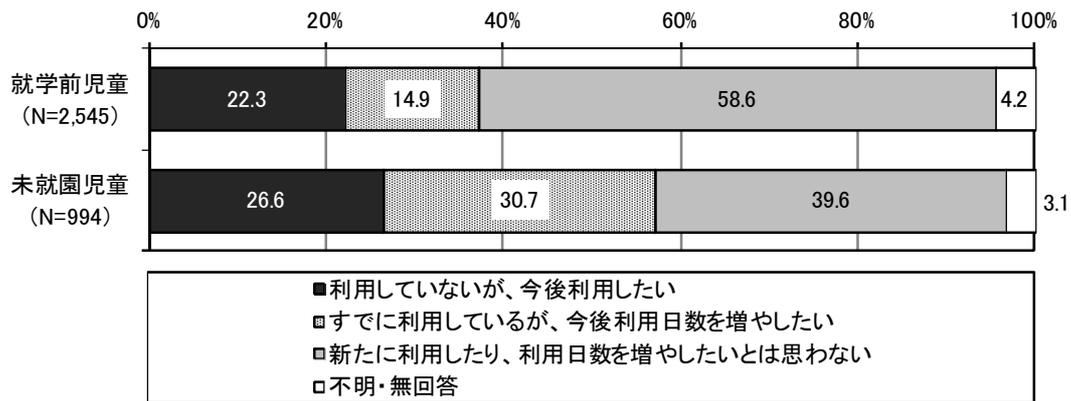
【就学前児童】	1週あたりの 利用回数 (N=747)		1ヶ月あたりの 利用回数 (N=747)	
	件数	%	件数	%
1回	145	19.4	320	42.8
2回	34	4.6	163	21.8
3回	14	1.9	70	9.4
4回	5	0.7	39	5.2
5回以上	3	0.4	38	5.1
不明・無回答	546	73.1	117	15.7

(23) 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 17〕

地域子育て支援拠点事業の今後の利用についてみると、未就園児童で「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が39.6%となっています。

今後利用したい回数は1週あたり「1回」が32.1%、1か月あたり「1回」が33.5%となっています。増やしたい回数としては、1週あたり「1回」が28.6%、1か月あたり「2回」が26.7%となっています。



	利用しているが、今後	すでに利用しているが、	新たに利用したり、	不明・無回答
未就園児童区域別				
中央(N=156)	28.2	32.1	37.8	1.9
岡崎(N=136)	24.3	30.9	41.9	2.9
大平(N=130)	23.8	35.4	37.7	3.1
東部(N=92)	23.9	27.2	46.7	2.2
岩津(N=137)	28.5	24.1	44.5	2.9
矢作(N=122)	23.0	27.9	43.4	5.7
六ツ美(N=105)	33.3	31.4	33.3	1.9
額田(N=53)	22.6	32.1	41.5	3.8

① 1週あたりもしくは1か月当たりの利用回数（数量回答）

【就学前児童】 1週あたりの 利用希望回数	利用していないが、 今後利用したい (N=567)		すでに利用している が、今後利用日数 を増やしたい (N=378)	
	件数	%	件数	%
1回	182	32.1	108	28.6
2回	47	8.3	49	13.0
3回	20	3.5	12	3.2
4回	3	0.5	3	0.8
5回以上	2	0.4	3	0.8
不明・無回答	313	55.2	203	53.7

【就学前児童】 1ヶ月あたりの 利用希望回数	利用していないが、 今後利用したい (N=567)		すでに利用している が、今後利用日数 を増やしたい (N=378)	
	件数	%	件数	%
1回	190	33.5	32	8.5
2回	144	25.4	101	26.7
3回	51	9.0	52	13.8
4回	45	7.9	35	9.3
5回以上	37	6.5	38	10.1
不明・無回答	100	17.6	120	31.7

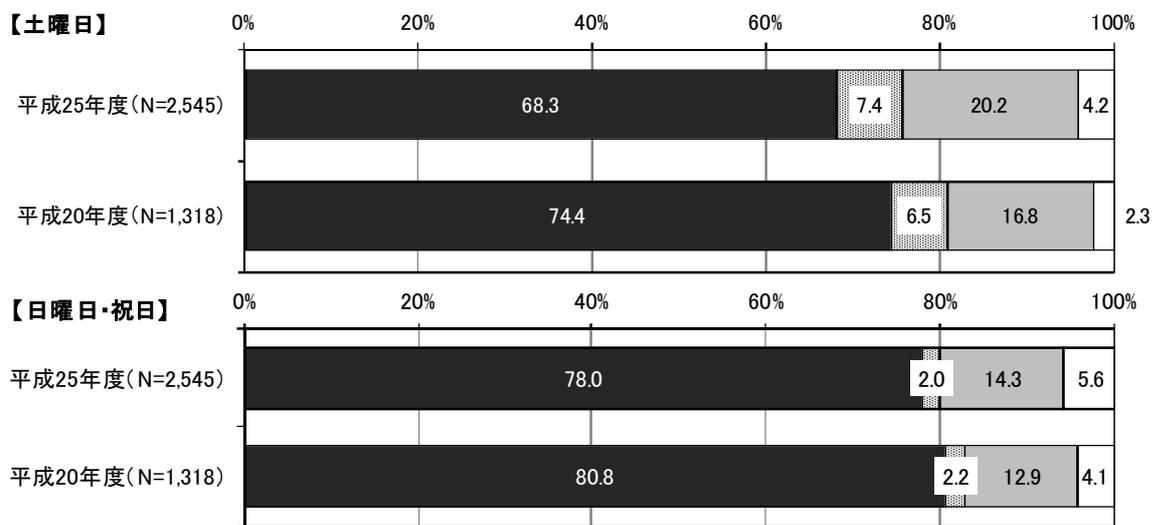
7. 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます

(24)土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。〈単数回答〉

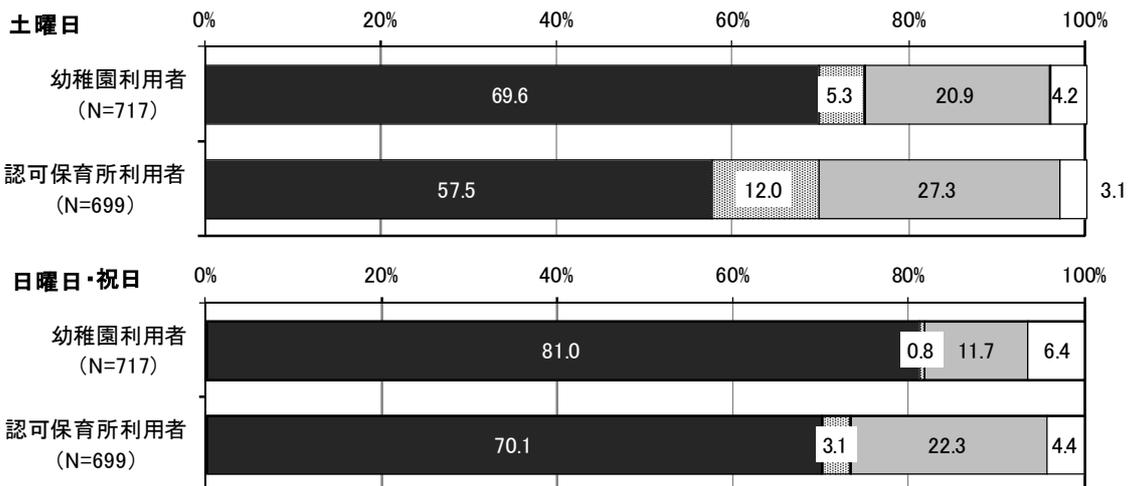
[就学前児童調査…問 18]

土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望についてみると、「利用する必要はない」が土曜日で68.3%、日曜日・祝日で78.0%となっています。前回調査時と比べて、「利用したい」とする回答が土曜日と日曜日・祝日ともに高くなっています。

認可保育所利用者で土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望が幼稚園利用者より高くなっています。なかでも、土曜日の利用希望は39.3%となっています。



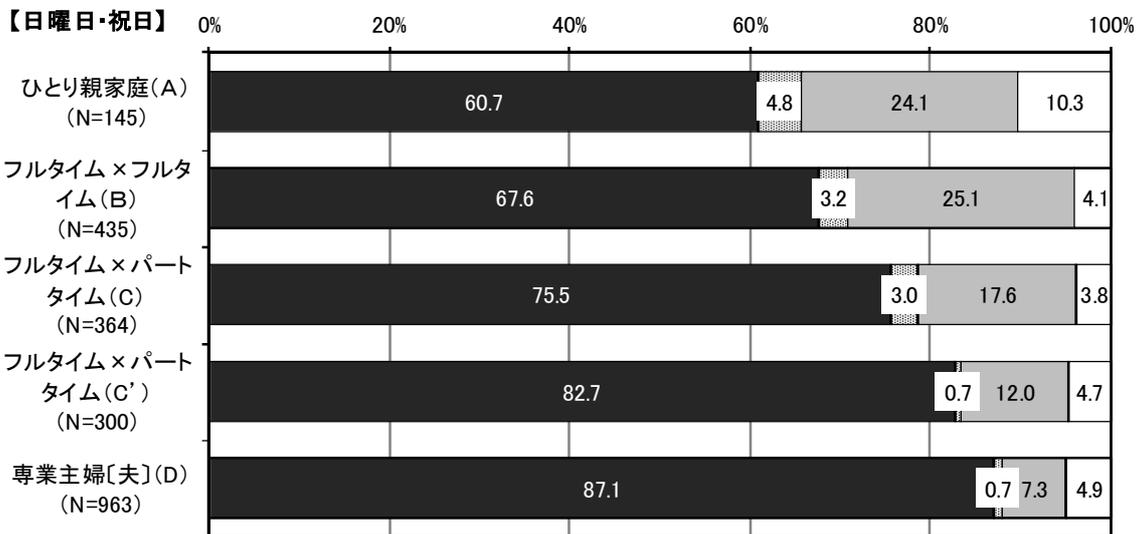
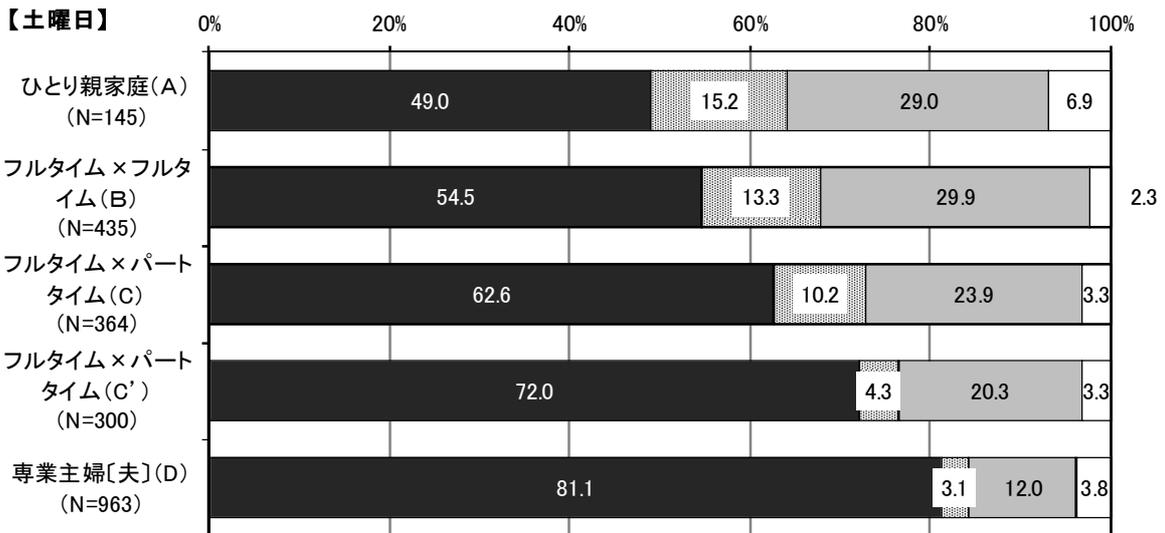
【幼稚園・認可保育所利用者別】



■利用する必要はない ■ほぼ毎週利用したい □月に1~2回は利用したい □不明・無回答

潜在家庭類型別にみると、土曜日では「ほぼ毎週利用したい」がひとり親家庭(A)で15.2%フルタイム×フルタイム(B)で13.3%、フルタイム×パートタイム(C)で10.2%となっています。日曜日・祝日では、「月に1～2回は利用したい」がひとり親家庭(A)で24.1%、フルタイム×フルタイム(B)で25.1%となっています。

土曜日では「利用する必要はない」が専業主婦〔夫〕(D)で81.1%となっています。日曜日・祝日では「利用する必要はない」がフルタイム×パートタイム(C')で82.7%、専業主婦〔夫〕(D)で87.1%となっています。



■ 利用する必要はない □ ほぼ毎週利用したい □ 月に1～2回は利用したい □ 不明・無回答

①利用したい時間帯（数量回答）

【就学前児童】 開始時間	土曜日 (N=701)		日曜日・祝日 (N=416)	
	件数	%	件数	%
6時以前	0	0.0	0	0.0
7時	55	7.8	46	11.1
8時	274	39.1	164	39.4
9時	298	42.5	161	38.7
10時	39	5.6	31	7.5
11時	3	0.4	0	0.0
12時	1	0.1	3	0.7
13時以降	12	1.7	4	1.0
不明・無回答	19	2.7	7	1.7

【就学前児童】 終了時間	土曜日 (N=701)		日曜日・祝日 (N=416)	
	件数	%	件数	%
12時以前	44	6.3	15	3.6
13時	27	3.9	4	1.0
14時	26	3.7	9	2.2
15時	117	16.7	46	11.1
16時	197	28.1	112	26.9
17時	119	17.0	84	20.2
18時	101	14.4	94	22.6
19時	42	6.0	37	8.9
20時以降	9	1.3	8	1.9
不明・無回答	19	2.7	7	1.7

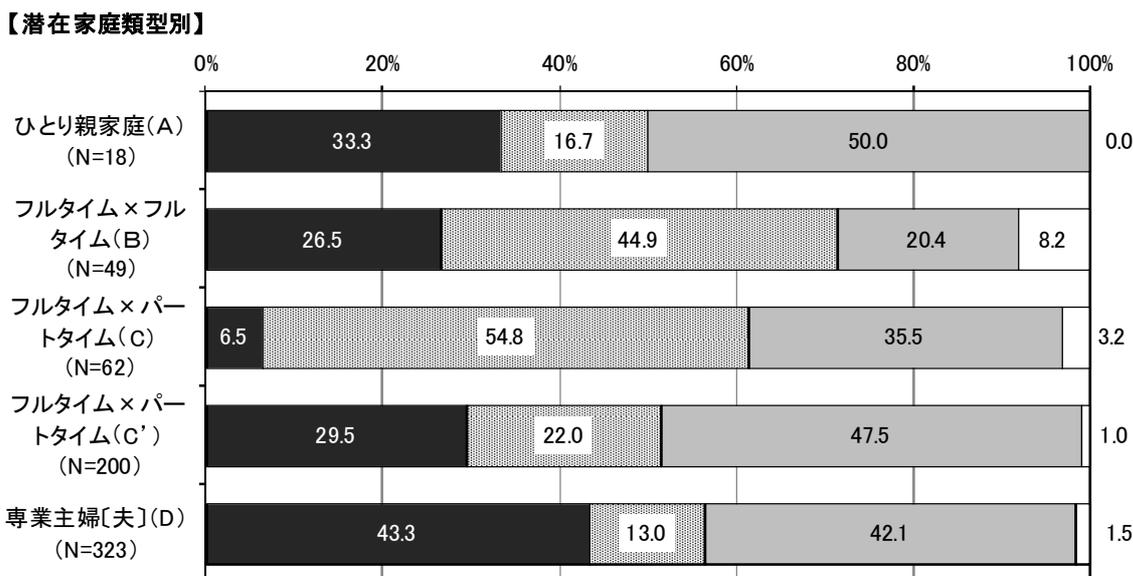
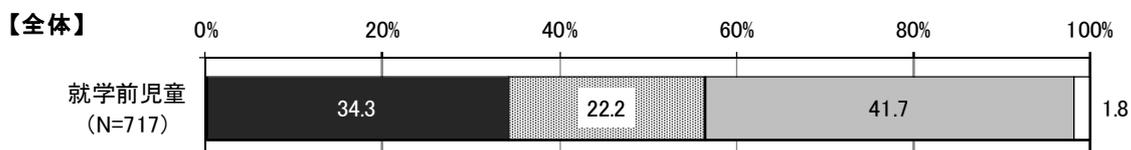
(25)夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。〈単数回答〉

[就学前児童調査…問 19]

幼稚園を利用していると回答した人において、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望についてみると、「休みの期間中、週に数日利用したい」が41.7%、「利用する必要はない」が34.3%となっています。

潜在家庭類型別にみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」がフルタイム×フルタイム(B)で44.9%、フルタイム×パートタイム(C)で54.8%となっています。

利用したい時間帯は、「9時から」が62.7%、「15時まで」が41.4%となっています。



■ 利用する必要はない □ 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
 □ 休みの期間中、週に数日利用したい □ 不明・無回答

①利用したい時間帯（数量回答）

開始時間	就学前児童 (N=466)	
	件数	%
6時以前	0	0.0
7時	7	1.5
8時	153	32.8
9時	292	62.7
10時	11	2.4
11時	0	0.0
12時	1	0.2
13時以降	0	0.0
不明・無回答	2	0.4

終了時間	就学前児童 (N=466)	
	件数	%
12時以前	13	2.8
13時	3	0.6
14時	25	5.4
15時	193	41.4
16時	152	32.6
17時	52	11.2
18時	22	4.7
19時	4	0.9
20時以降	0	0.0
不明・無回答	2	0.4

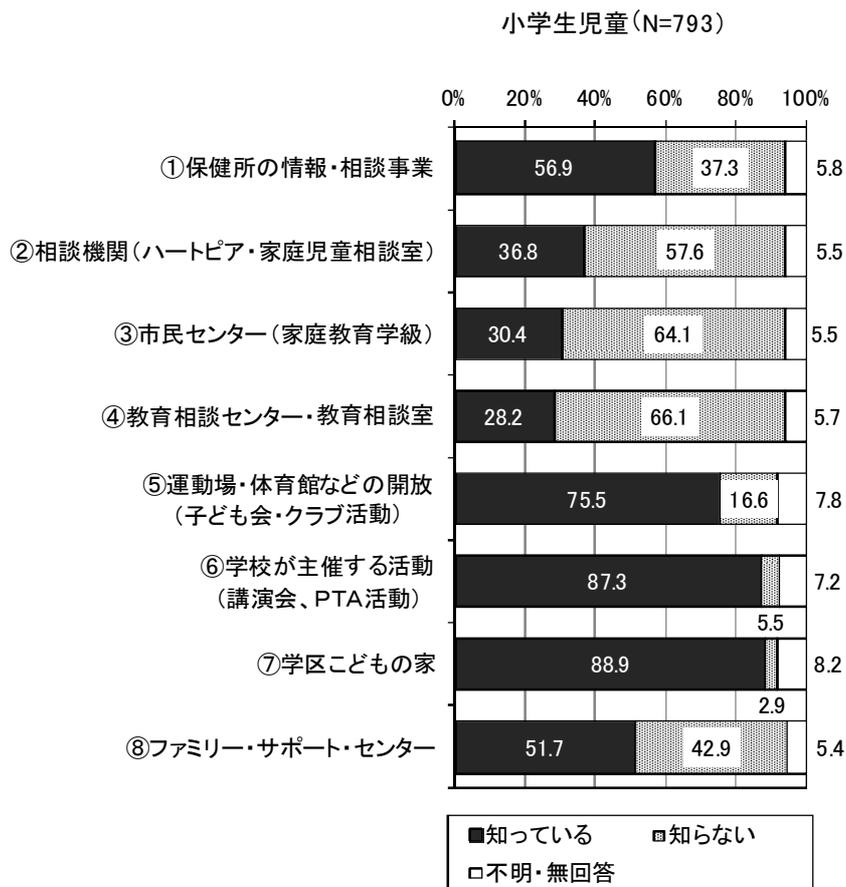
8. 子育て支援サービスの認知度についてうかがいます

(26) これまでに利用したことがある事業、今後、利用したいと思う事業をお答えください。〈単数回答〉

[小学生児童調査…問 15]

子育て支援サービスについて、「知っている」が「⑤運動場・体育館などの開放（子ども会・クラブ活動）」では75.5%、「⑥学校が主催する活動（講演会、PTA活動）」では87.3%、「⑦学区こどもの家」では88.9%となっています。

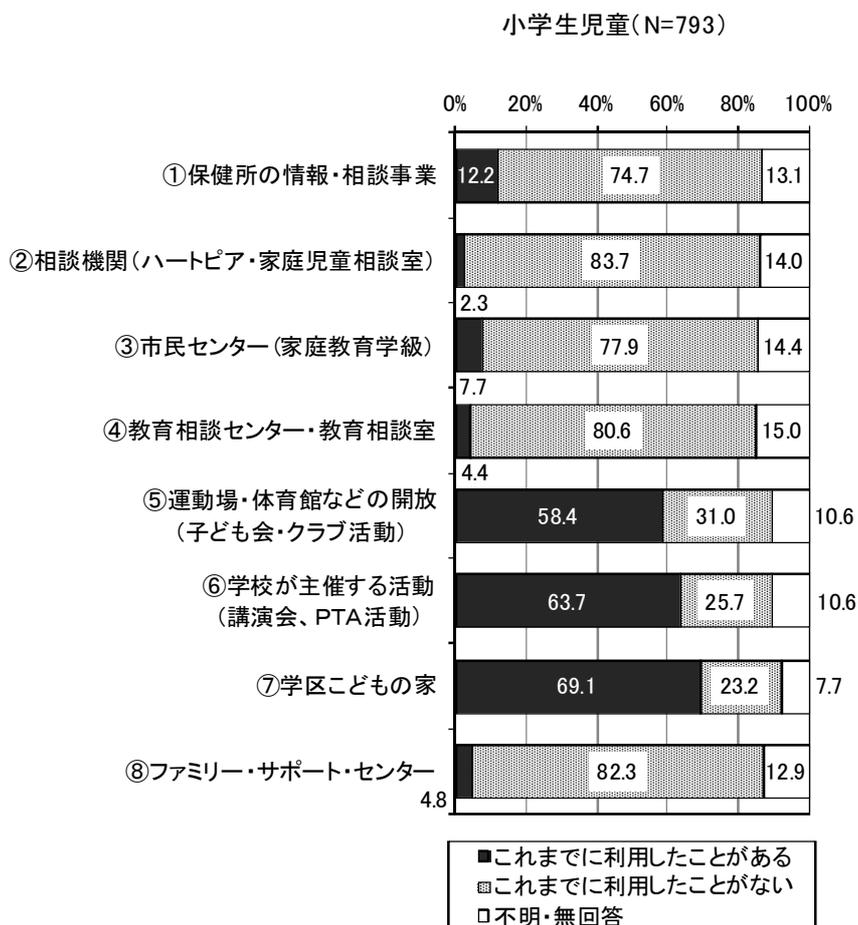
①知っている



子育て支援サービスについて、「これまでに利用したことがある」が「⑤運動場・体育館などの開放（子ども会・クラブ活動）」では58.4%、「⑥学校が主催する活動（講演会、PTA活動）」では63.7%、「⑦学区こどもの家」では69.1%となっています。

一方で、「①保健所の情報・相談事業」は認知度が56.9%に対し、利用は12.2%、「⑧ファミリー・サポート・センター」は認知度が51.7%に対し、利用は4.8%となっています。

②これまでに利用したことがある

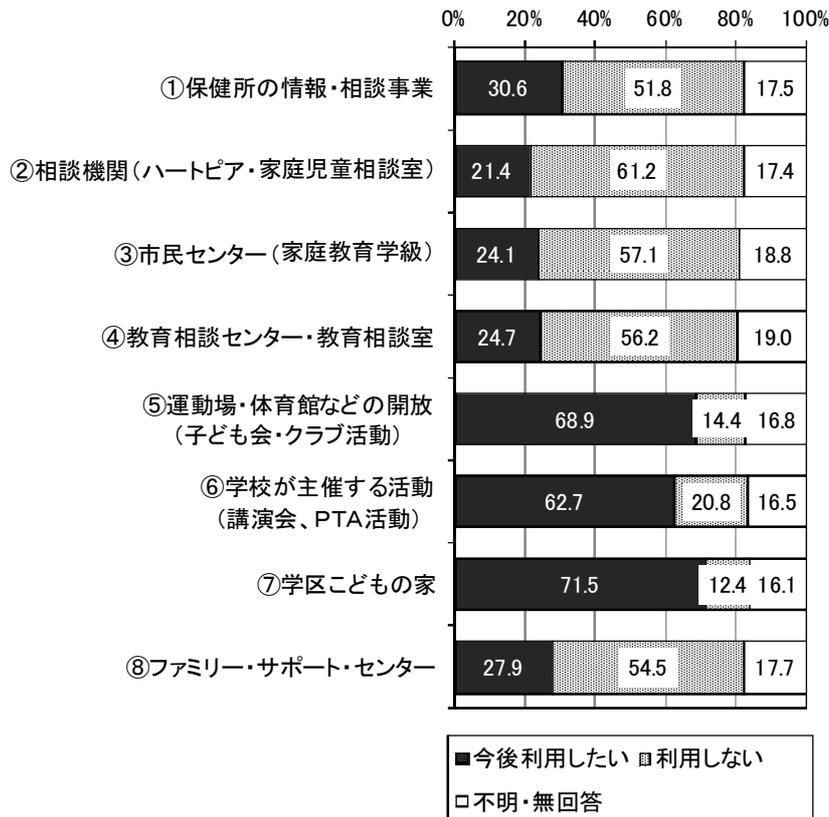


子育て支援サービスについて、「今後利用したい」が「⑤運動場・体育館などの開放（子ども会・クラブ活動）」では 68.9%、「⑥学校が主催する活動（講演会、PTA活動）」では 62.7%、「⑦学区こどもの家」では 71.5%となっています。

また、これまでの利用は少ないが、今後の利用意向として、「①保健所の情報・相談事業」は 30.6%、「⑧ファミリー・サポート・センター」は 27.9%となっています。

③今後利用したい

小学生児童(N=793)

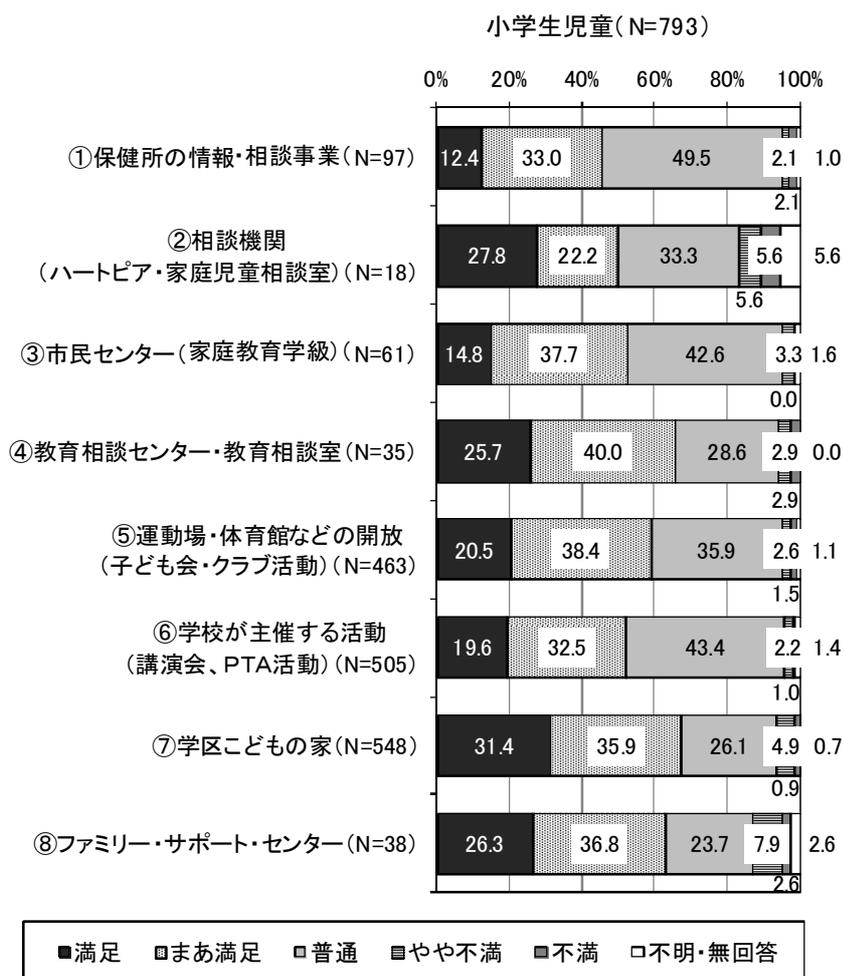


(27) 利用した際の利用満足度をお答え下さい。〈単数回答〉

[小学生児童調査…問 16]

子育て支援サービスの満足度についてみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が「④教育相談センター・教育相談室」では65.7%、「⑦学区こどもの家」では67.3%となっています。

一方で、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が「②相談機関（ハートピア・家庭児童相談室）」は11.2%、「⑧ファミリー・サポート・センター」は10.5%となっています。

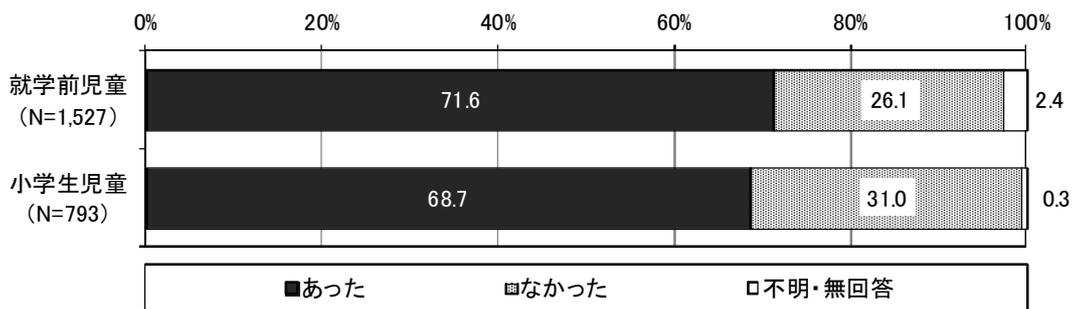


9. 宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます

(28)この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業の利用ができなかったことや学校を休んだことはありますか。〈単数回答〉

[就学前児童調査…問 20・小学生児童調査…問 17]

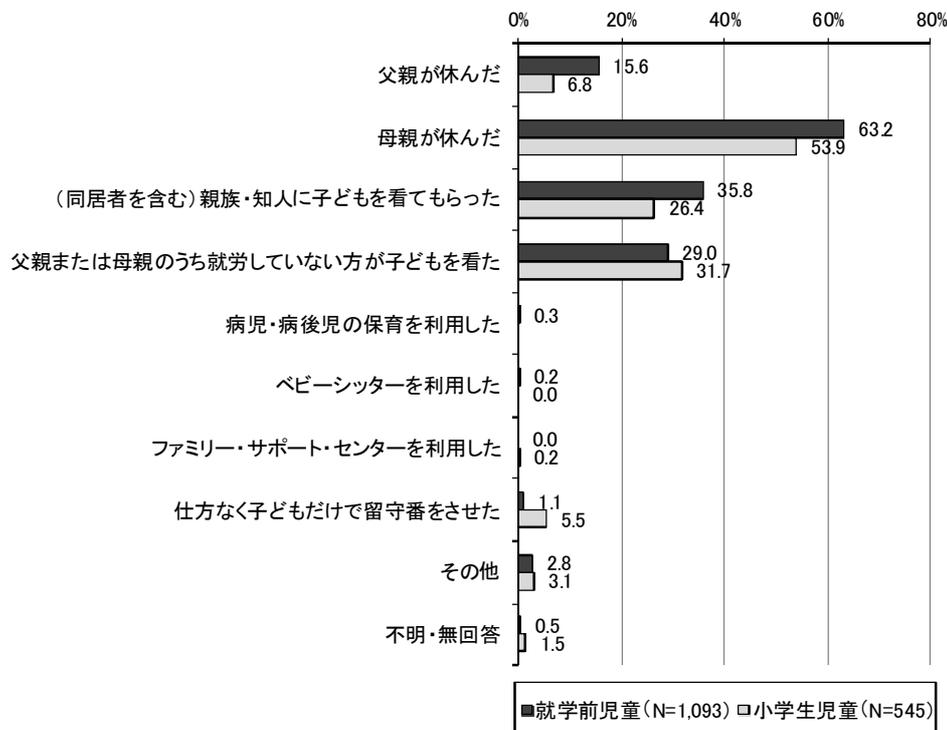
病気やケガで通常の事業が利用できなかったことや学校を休んだことがあるかについてみると、「あった」が就学前児童で71.6%、小学生児童で68.7%となっています。



(29)この1年間に行った対処方法として当てはまるものについてお答えください。〈複数回答〉

[就学前児童調査…問 20-1・小学生児童調査…問 17-1]

行った対処方法についてみると、「母親が休んだ」が就学前児童で63.2%、小学生児童で53.9%となっています。



※小学生児童には「病児・病後児の保育を利用した」の項目なし

要した日数についてみると、母親が休んだについて、就学前児童では「10日以上」が23.4%、小学生児童では「1日」が32.0%となっています。

①要した日数（数量回答）

【就学前児童】 対応日数	父親が休んだ		母親が休んだ		もにむ（同居者を含む） ら子（親族をみてる人）		もいの父をなう親をみちまたが労は子し母どて親		し保病 た育児 施・病 設を後 を児用 の		をベ 利ビ 用し した ツ タ ー		タポフ ー ー を を 利 用 し た セ ン サ		さだ仕 せけ方 たでな た留く 守子 番ど をも		その他	
	N=170		N=691		N=392		N=317		N=3		N=2		N=0		N=12		N=31	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	57	33.5	84	12.2	54	13.8	29	9.1	1	33.3	0	0.0	0	0.0	6	50.0	4	12.9
2日	45	26.5	107	15.5	71	18.1	40	12.6	1	33.3	0	0.0	0	0.0	1	8.3	4	12.9
3日	31	18.2	91	13.2	59	15.1	45	14.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	16.1
4日	1	0.6	38	5.5	15	3.8	13	4.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.2
5日	17	10.0	94	13.6	58	14.8	39	12.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	16.7	2	6.5
6日	2	1.2	19	2.7	14	3.6	11	3.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	2	1.2	40	5.8	12	3.1	21	6.6	0	0.0	1	50.0	0	0.0	1	8.3	0	0.0
8日	1	0.6	11	1.6	7	1.8	6	1.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.2
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	1.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	7	4.1	162	23.4	72	18.4	80	25.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	16.7	4	12.9
不明・無回答	7	4.1	45	6.5	30	7.7	27	8.5	1	33.3	1	50.0	0	0.0	0	0.0	10	32.3

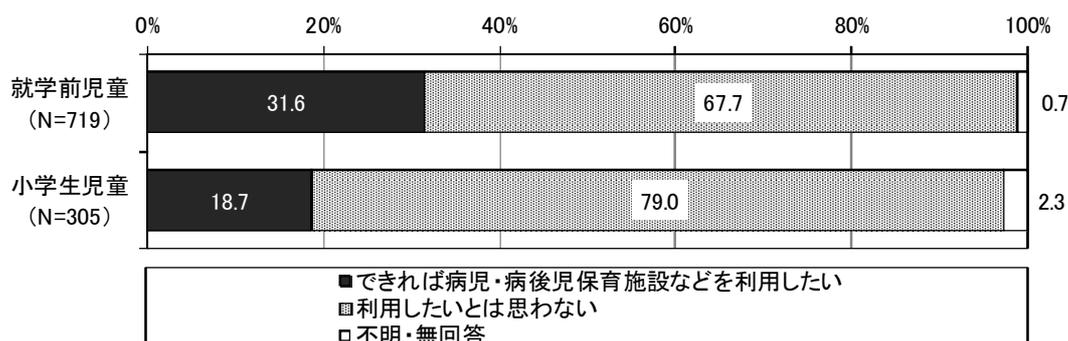
【小学生児童】 対応日数	父親が休んだ		母親が休んだ		もにむ（同居者を含む） ら子（親族をみてる人）		もいの父をなう親をみちまたが労は子し母どて親		をベ 利ビ 用し した ツ タ ー		タポフ ー ー を を 利 用 し た セ ン サ		さだ仕 せけ方 たでな た留く 守子 番ど をも		その他	
	N=37		N=294		N=144		N=173		N=0		N=1		N=30		N=17	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	13	35.1	94	32.0	58	40.3	37	21.4	0	0.0	1	100.0	12	40.0	5	29.4
2日	12	32.4	69	23.5	26	18.1	36	20.8	0	0.0	0	0.0	7	23.3	5	29.4
3日	5	13.5	37	12.6	26	18.1	23	13.3	0	0.0	0	0.0	2	6.7	1	5.9
4日	3	8.1	14	4.8	3	2.1	4	2.3	0	0.0	0	0.0	2	6.7	0	0.0
5日	2	5.4	30	10.2	11	7.6	19	11.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6日	0	0.0	4	1.4	3	2.1	5	2.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	3	1.0	2	1.4	15	8.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8日	0	0.0	1	0.3	1	0.7	5	2.9	0	0.0	0	0.0	2	6.7	0	0.0
9日	0	0.0	1	0.3	0	0.0	1	0.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	0	0.0	19	6.5	6	4.2	13	7.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	2	5.4	22	7.5	8	5.6	15	8.7	0	0.0	0	0.0	5	16.7	6	35.3

(30)「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われましたか。〈単数回答〉

[就学前児童調査…問 20-2・小学生児童調査…問 17-2]

父親か母親のいずれかが休んだと回答した人において、病児・病後児のための保育施設などを利用したいかについてみると、「利用したいとは思わない」が就学前児童で67.7%、小学生児童で79.0%となっています。

「病児・病後児保育施設などを利用したい」と答えた人の利用希望日数は、就学前児童で「7日以上」が24.2%、小学生児童で「2日」が28.1%となっています。



①利用希望日数 (数量回答)

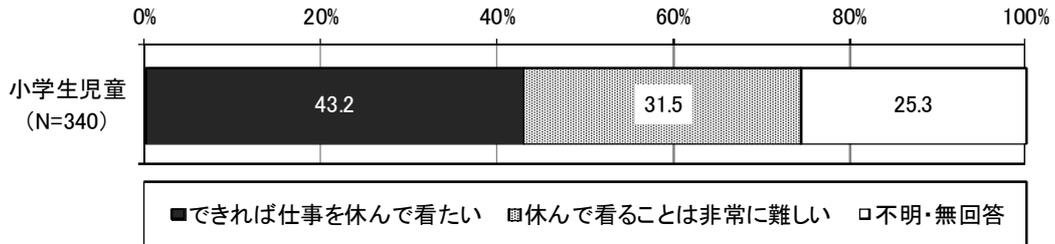
利用したい日数	就学前児童 (N=227)		小学生児童 (N=57)	
	件数	%	件数	%
1日	18	7.9	10	17.5
2日	33	14.5	16	28.1
3日	45	19.8	14	24.6
4日	13	5.7	1	1.8
5日	41	18.1	10	17.5
6日	5	2.2	1	1.8
7日以上	55	24.2	5	8.8
不明・無回答	17	7.5	0	0.0

(31)「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。〈単数回答〉

[小学生児童調査…問 17-3]

父親や母親のいずれかが休んで見た以外の対処方法をとったと答えた人に、父母のいずれかが仕事を休んで看たいかについてみると、「できれば仕事を休んで看たい」が43.2%となっています。一方で、「休んで看することは非常に難しい」が31.5%になっています。

休んで看たい日数は、1日が36.7%となっています。



①休んで看たい日数 (数量回答)

休んで看たい日数	小学生児童 (N=147)	
	件数	%
1日	54	36.7
2日	34	23.1
3日	21	14.3
4日	7	4.8
5日	11	7.5
6日	1	0.7
7日	3	2.0
8日	2	1.4
9日	0	0.0
10日以上	6	4.1
不明・無回答	8	5.4

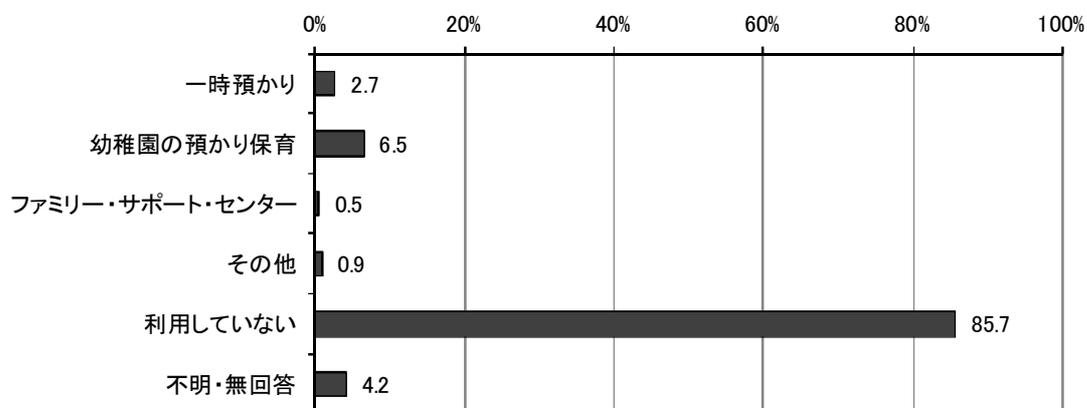
10. 宛名のお子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用についてうかがいます

(32) 日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労などの目的で不規則に利用している事業はありますか。〈複数回答〉

[就学前児童調査…問 21]

私用、親の通院、不規則の就労などの目的で不規則に利用している事業についてみると、「利用していない」が 85.7%となっています。必要となった場合に利用している事業については、「幼稚園の預かり保育」、保育所などの「一時預かり」となっています。

就学前児童 (N=2,545)



① 1年間の利用日数 (数量回答)

【就学前児童】 1年間の 利用日数	一時預かり N=69		幼稚園の預かり保育 N=166		ファミリー・サポート・センター N=12		その他 N=24	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	13	18.8	14	8.4	5	41.7	2	8.3
2日	6	8.7	16	9.6	3	25.0	3	12.5
3日	6	8.7	15	9.0	0	0.0	2	8.3
4日	5	7.2	1	0.6	0	0.0	0	0.0
5日	9	13.0	26	15.7	0	0.0	4	16.7
6日	4	5.8	4	2.4	0	0.0	2	8.3
7日	3	4.3	0	0.0	0	0.0	1	4.2
8日	0	0.0	1	0.6	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10～19日	11	15.9	39	23.5	1	8.3	5	20.8
20～29日	4	5.8	9	5.4	1	8.3	0	0.0
30日以上	5	7.2	33	19.9	1	8.3	2	8.3
不明・無回答	3	4.3	8	4.8	1	8.3	3	12.5

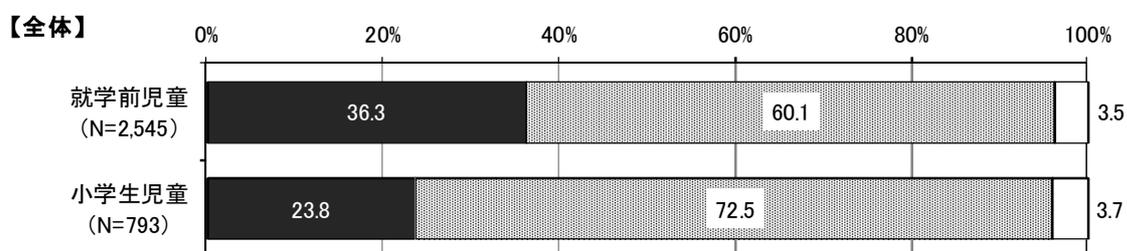
(33) 私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。〈単数回答〉

[就学前児童調査…問 22・小学生児童調査…問 18]

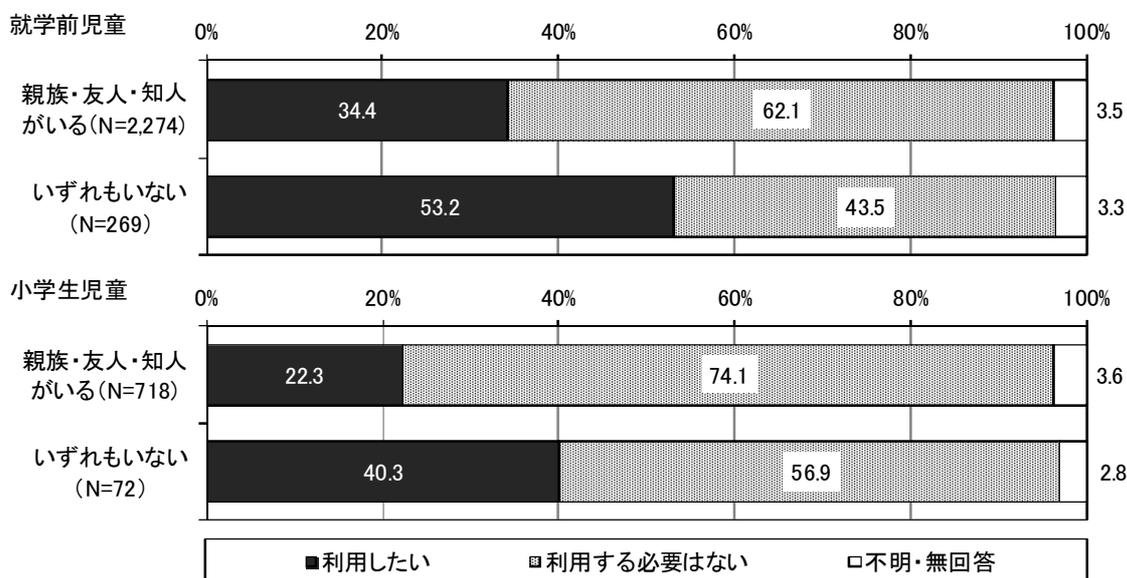
私用、親の通院、不定期の就労などの目的で事業を利用する必要があるかについてみると、「利用したい」が就学前児童で 36.3%、小学生児童で 23.8%となっています。なかでも、日頃、子どもをみてもらえる親族・友人のいずれもないと回答した人で、「利用したい」が就学前児童で 53.2%、小学生児童で 40.3%となっています。

利用目的としては、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」が就学前児童で 64.0%、小学生児童で 66.1%となっています。就学前児童では、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的」で小学生児童より高く、「不定期の就労」で小学生児童より低くなっています。

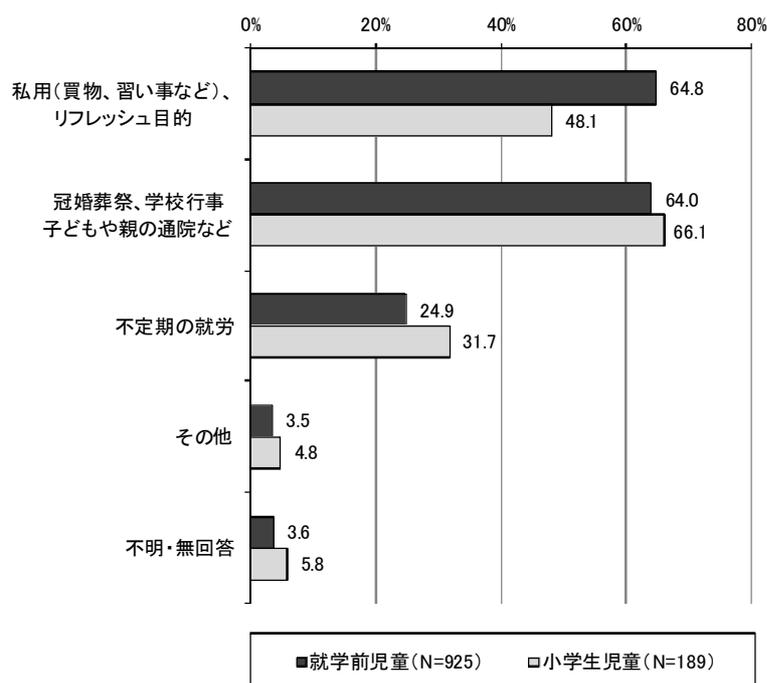
利用したい年間日数としては「10～19日」が就学前児童で 23.0%、小学生児童で 14.8%となっています。



【子どもをみてもらえる親族・知人の有無別】



①利用の目的（複数回答）



②利用希望日数【就学前児童】（数量回答）

【就学前児童】 利用したい日数	年間日数		シな私 ユど用 目(一 的、買 リ物 フ、 レ習 レッ 事		院妹事冠 なを、婚 ど含子葬 むども、 や(一学 親兄校 の弟行 通姉		不 定 期 の 就 労		そ の 他	
	N=925		N=599		N=592		N=230		N=32	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	13	1.4	22	3.7	30	5.1	10	4.3	2	6.3
2日	23	2.5	34	5.7	56	9.5	14	6.1	2	6.3
3日	41	4.4	54	9.0	91	15.4	10	4.3	2	6.3
4日	14	1.5	16	2.7	18	3.0	3	1.3	2	6.3
5日	55	5.9	93	15.5	126	21.3	34	14.8	2	6.3
6日	23	2.5	33	5.5	40	6.8	8	3.5	0	0.0
7日	21	2.3	11	1.8	24	4.1	8	3.5	4	12.5
8日	13	1.4	1	0.2	2	0.3	2	0.9	0	0.0
9日	6	0.6	2	0.3	1	0.2	0	0.0	0	0.0
10～19日	213	23.0	235	39.2	144	24.3	50	21.7	12	37.5
20～29日	88	9.5	38	6.3	15	2.5	20	8.7	1	3.1
30～39日	32	3.5	10	1.7	11	1.9	15	6.5	1	3.1
40～49日	17	1.8	12	2.0	4	0.7	5	2.2	2	6.3
50日以上	55	5.9	18	3.0	3	0.5	34	14.8	2	6.3
不明・無回答	311	33.6	20	3.3	27	4.6	17	7.4	0	0.0

②利用希望日数【小学生児童】（数量回答）

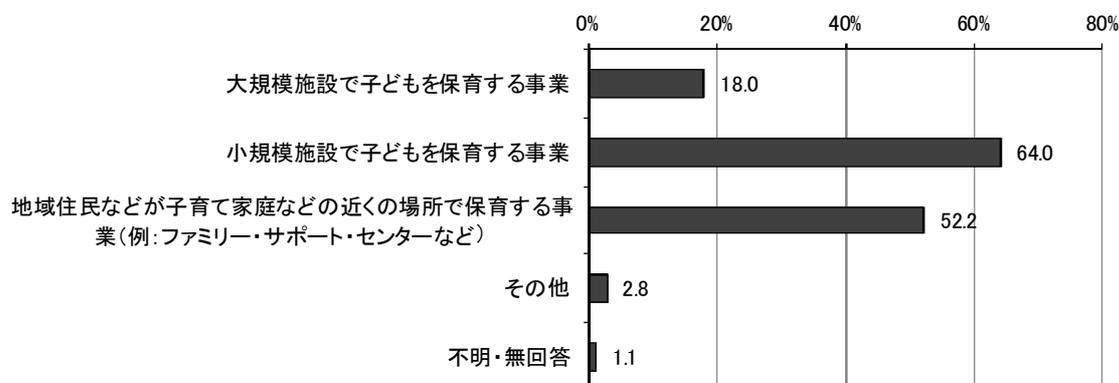
【小学生児童】 利用したい日数	年間日数		シな私 ユど用 目〜（ 的、買 リ物 フ、 レ習 ッい 事		院妹事冠 なを、婚 ど含子葬 むど祭 〜も、 や〜学 親兄校 の弟行 通姉		不 定 期 の 就 労		そ の 他	
	N=189		N=91		N=125		N=60		N=9	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	4	2.1	4	4.4	12	9.6	4	6.7	2	22.2
2日	5	2.6	8	8.8	17	13.6	3	5.0	1	11.1
3日	10	5.3	13	14.3	18	14.4	4	6.7	0	0.0
4日	3	1.6	3	3.3	1	0.8	2	3.3	0	0.0
5日	13	6.9	10	11.0	28	22.4	14	23.3	0	0.0
6日	4	2.1	4	4.4	2	1.6	0	0.0	0	0.0
7日	2	1.1	3	3.3	6	4.8	0	0.0	0	0.0
8日	3	1.6	0	0.0	0	0.0	1	1.7	0	0.0
9日	1	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10～19日	28	14.8	28	30.8	22	17.6	13	21.7	2	22.2
20～29日	14	7.4	7	7.7	3	2.4	6	10.0	1	11.1
30～39日	9	4.8	3	3.3	2	1.6	3	5.0	1	11.1
40～49日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	11.1
50日以上	7	3.7	4	4.4	1	0.8	3	5.0	0	0.0
不明・無回答	86	45.5	4	4.4	13	10.4	7	11.7	1	11.1

(34)お子さんを預ける場合、いずれの事業形態が望ましいと思われますか。〈複数回答〉

[小学生児童調査…問 18-1]

子どもを預ける場合に望ましい事業形態についてみると、「小規模施設で子どもを保育する事業」が64.0%、次いで、「地域住民などが子育て家庭などの近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センターなど）」が52.2%となっています。

小学生児童(N=178)



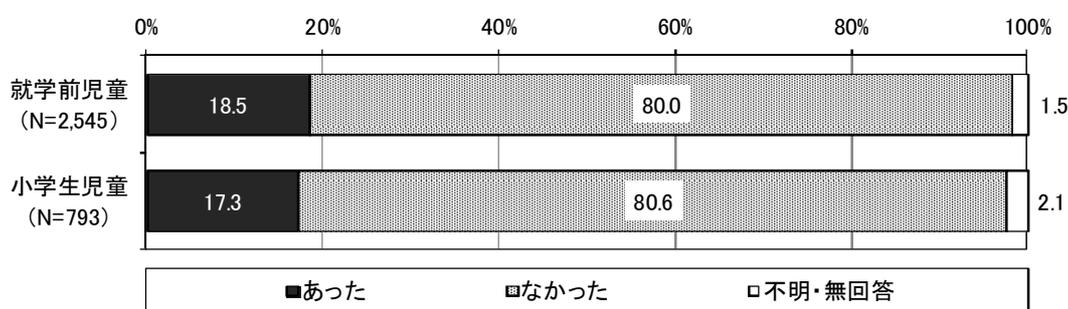
(35) 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先がみつからなかった場合も含む）。〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 23・小学生児童調査…問 19〕

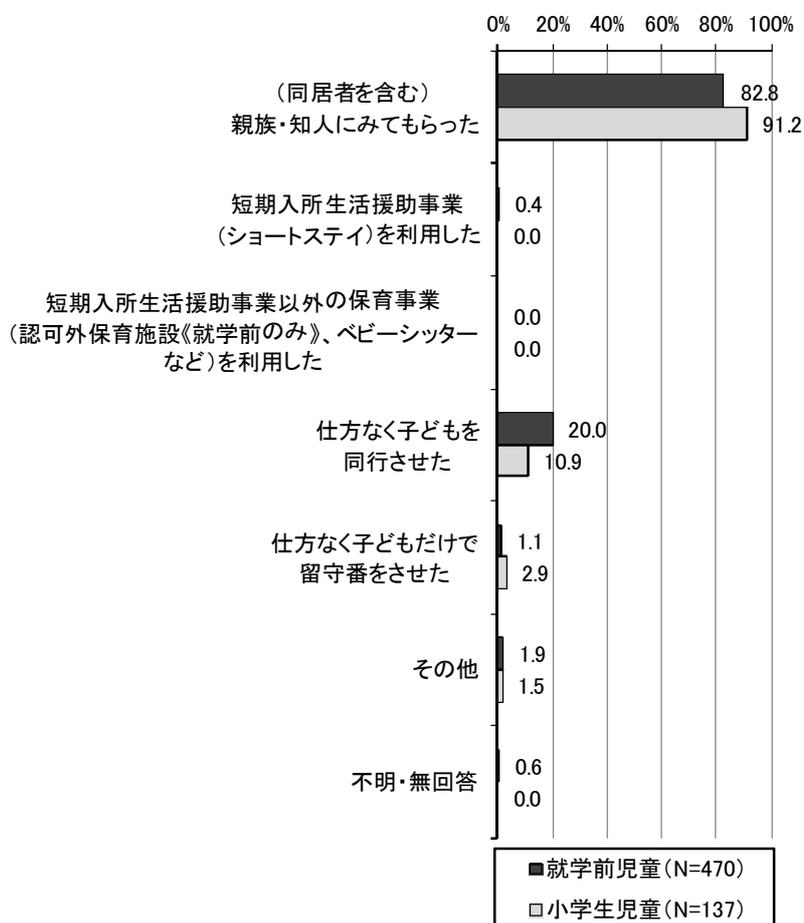
保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、泊りがけで家族以外にみてもらうことの有無についてみると、「あった」が就学前児童で 18.5%、小学生児童で 17.3%となっています。

対処方法としては、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が就学前児童で 82.8%、小学生児童で 91.2%となっています。就学前児童で、「仕方なく子どもを同行させた」が小学生児童より高くなっています。

宿泊数としては、「1～2泊」が就学前児童ならびに小学生児童で4割以上となっています。



① 対処方法（複数回答）



②宿泊数【就学前児童】（数量回答）

【就学前児童】 対応泊数	(同居者を含む)親族・知 人にみてもらった		短期入所生活援助事業 (ショートステイ)を利用 した		短期入所生活援助事業 以外の保育事業(認可 外保育施設、ベビーシッ ターなど)を利用した		仕方なく子どもを 同行させた		仕方なく子どもだけで留 守番をさせた		その他	
	N=389		N=2		N=0		N=94		N=5		N=9	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1泊	98	25.2	0	0.0	0	0.0	38	40.4	2	40.0	4	44.4
2泊	65	16.7	0	0.0	0	0.0	24	25.5	1	20.0	2	22.2
3泊	39	10.0	0	0.0	0	0.0	10	10.6	0	0.0	1	11.1
4泊	26	6.7	0	0.0	0	0.0	2	2.1	0	0.0	0	0.0
5泊	43	11.1	1	50.0	0	0.0	2	2.1	0	0.0	1	11.1
6泊	8	2.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7泊	23	5.9	1	50.0	0	0.0	1	1.1	0	0.0	0	0.0
8泊	3	0.8	0	0.0	0	0.0	1	1.1	0	0.0	0	0.0
9泊	2	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10～19泊	35	9.0	0	0.0	0	0.0	3	3.2	0	0.0	0	0.0
20～29泊	11	2.8	0	0.0	0	0.0	2	2.1	0	0.0	0	0.0
30泊以上	19	4.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	17	4.4	0	0.0	0	0.0	11	11.7	2	40.0	1	11.1

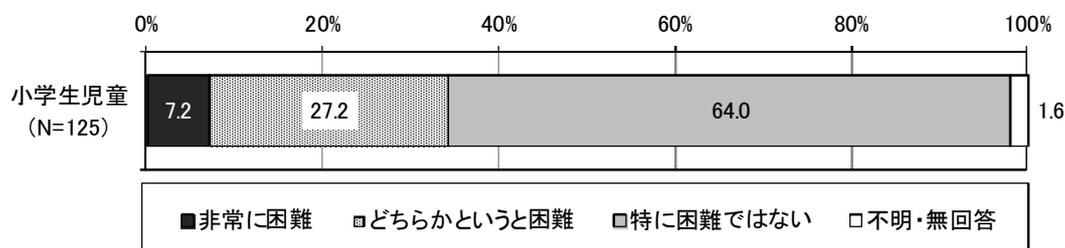
②宿泊数【小学生児童】（数量回答）

【小学生児童】 対応泊数	(同居者を含む)親族・知 人にみてもらった		短期入所生活援助事業 (ショートステイ)を利用 した		短期入所生活援助事業 以外の保育事業(ベビー シッターなど)を利用した		仕方なく子どもを 同行させた		仕方なく子どもだけで留 守番をさせた		その他	
	N=125		N=0		N=0		N=15		N=4		N=2	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1泊	38	30.4	0	0.0	0	0.0	7	46.7	3	75.0	0	0.0
2泊	24	19.2	0	0.0	0	0.0	2	13.3	0	0.0	0	0.0
3泊	18	14.4	0	0.0	0	0.0	2	13.3	0	0.0	1	50.0
4泊	3	2.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5泊	9	7.2	0	0.0	0	0.0	1	6.7	0	0.0	1	50.0
6泊	2	1.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7泊	4	3.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8泊	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9泊	1	0.8	0	0.0	0	0.0	1	6.7	0	0.0	0	0.0
10～19泊	13	10.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
20～29泊	4	3.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
30泊以上	2	1.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	7	5.6	0	0.0	0	0.0	2	13.3	1	25.0	0	0.0

(36) その場合の困難度はどの程度でしたか。〈単数回答〉

[小学生児童調査…問 19-1]

泊りがけで家族以外にみてもらふ場合の困難度についてみると、「非常に困難」「どちらか」というと困難」を合わせた『困難』が34.4%となっています。



11. 宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます

(37)現在、放課後（平日の小学校終了後）や休日に何か活動をされていますか。〈複数回答〉

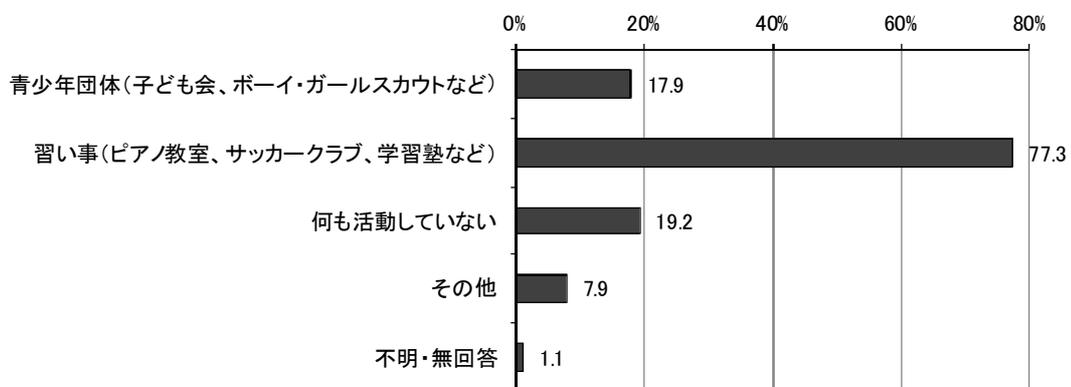
[小学生児童調査…問 20]

放課後（平日の小学校終了後）や休日の活動についてみると、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が77.3%となっています。

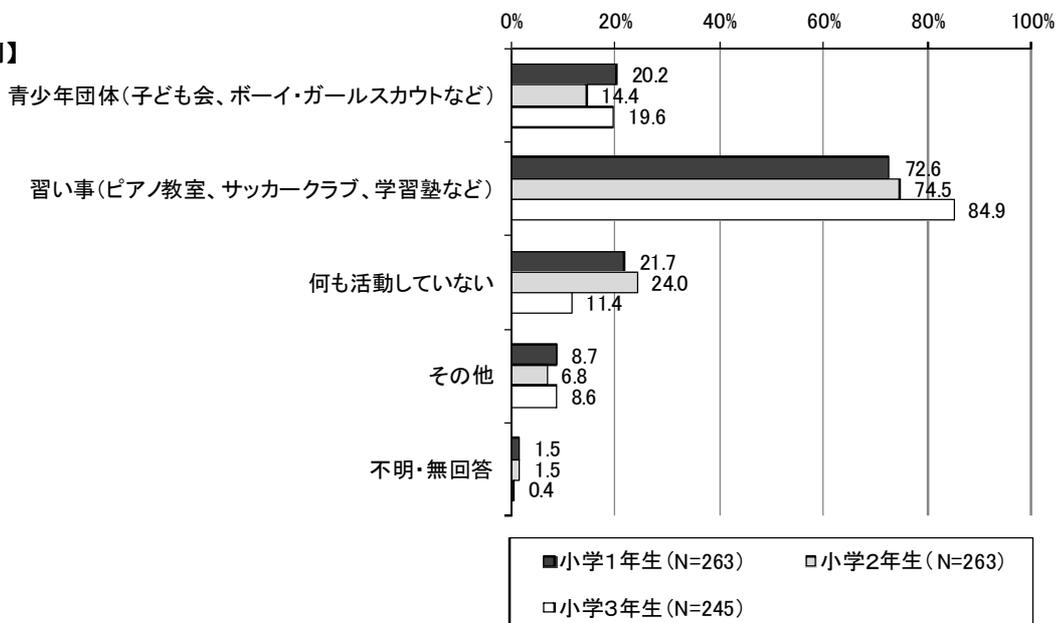
学年別では、小学3年生で「何も活動していない」が他の学年より低く、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が高くなっています。

【全体】

小学生児童 (N=793)



【学年別】

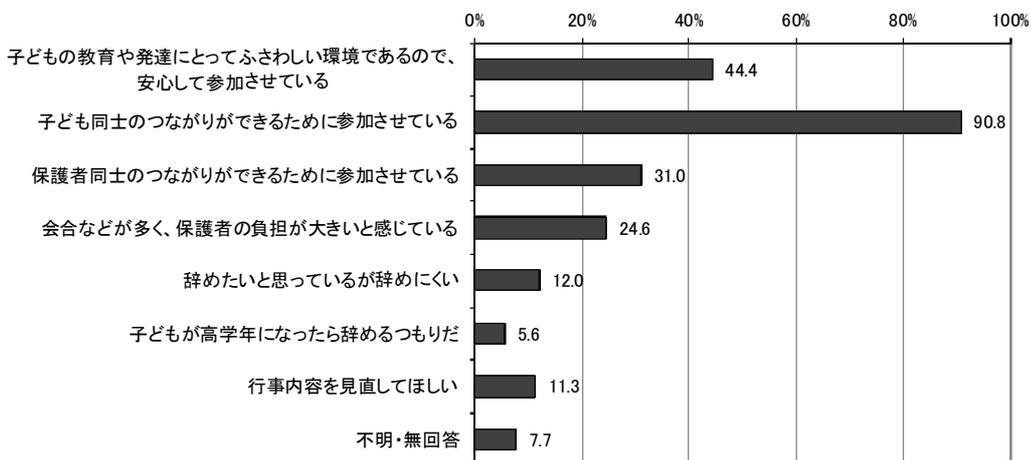


(38) 青少年団体に参加させている状況についてお答えください。〈複数回答〉

[小学生児童調査…問 20-1]

青少年団体に参加させている状況についてみると、「子ども同士のつながりができるために参加させている」が90.8%、次いで「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるので、安心して参加させている」が44.4%となっています。

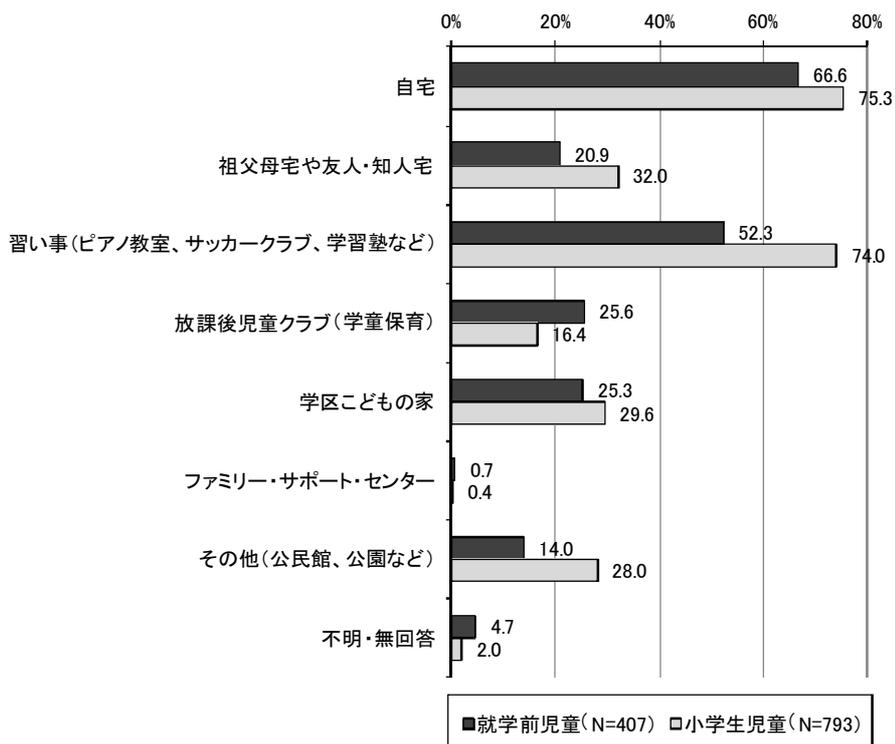
小学生児童(N=142)



(39) 小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。〈複数回答〉

[就学前児童調査…問 24・小学生児童調査…問 21]

小学校低学年のうち放課後の時間で過ごさせたい場所についてみると、就学前児童で「自宅」が66.6%、小学生児童で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が74.0%となっています。



潜在家庭類型別にみると、「放課後児童クラブ」がひとり親家庭（A）で44.1%、フルタイム×フルタイム（B）で55.6%となっています。「自宅」がフルタイム×パートタイム（C）で64.6%、フルタイム×パートタイム（C'）で82.7%、専業主婦〔夫〕（D）で88.3%となっています。

	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	放課後児童クラブ（学童保育）	学区こどもの家	ファミリー・サポート・センター	その他（公民館、公園など）	不明・無回答
潜在家庭類型別								
ひとり親家庭(A) (N=34)	38.2	8.8	32.4	44.1	11.8	0.0	2.9	8.8
フルタイム×フルタイム(B) (N=54)	31.5	22.2	29.6	55.6	29.6	3.7	3.7	1.9
フルタイム×パートタイム(C) (N=82)	64.6	26.8	42.7	30.5	25.6	0.0	11.0	6.1
フルタイム×パートタイム(C') (N=81)	82.7	21.0	70.4	14.8	29.6	0.0	18.5	2.5
専業主婦〔夫〕(D) (N=103)	88.3	22.3	68.9	9.7	22.3	0.0	21.4	2.9

週あたりの利用希望日数については、就学前児童では「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」は「1～2日」が69.1%、「放課後児童クラブ（学童保育）」は「5日」が54.8%、「学区こどもの家」は「1～2日」が52.4%となっています。

小学生児童では「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」は「2日」が42.4%、「放課後児童クラブ（学童保育）」は「5日」が45.4%、「学区こどもの家」は「1～2日」が66.3%となっています。

①利用希望日数（数量回答）

【就学前児童】

【就学前児童】 小学校低学年 週あたりの 利用希望日数	自宅		知 祖 人 父 宅 母 や 友 人 ・		な ク 教 習 ど ラ 室 い （ プ 、 事 、 サ ヘ 学 ツ ピ 習 カ ア 塾 ノ		ブ 放 （ 課 学 後 童 児 保 童 育 ク ） ラ		学 区 こ ど も の 家		タ ポ フ ー ー ア ト ミ ・ リ セ ー ン ・ サ		館 そ 、 の 公 他 園 ー 公 な 民 ど ー	
	N=271		N=85		N=213		N=104		N=103		N=3		N=57	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	32	11.8	44	51.8	67	31.5	1	1.0	34	33.0	0	0.0	22	38.6
2日	59	21.8	18	21.2	80	37.6	9	8.7	20	19.4	2	66.7	16	28.1
3日	56	20.7	6	7.1	47	22.1	13	12.5	14	13.6	0	0.0	11	19.3
4日	27	10.0	1	1.2	10	4.7	16	15.4	3	2.9	0	0.0	2	3.5
5日	69	25.5	9	10.6	1	0.5	57	54.8	27	26.2	1	33.3	1	1.8
6日	1	0.4	0	0.0	1	0.5	6	5.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	3	1.1	1	1.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.8
不明・無回答	24	8.9	6	7.1	7	3.3	2	1.9	5	4.9	0	0.0	4	7.0

①利用希望日数（数量回答）

【小学生児童】

【小学生児童】 小学校低学年 週あたりの 利用希望日数	自宅		知 祖 人 父 宅 母 や 友 人 ・		な ク 教 習 ど ラ 室 い （ プ 、 事 、 サ ヘ 学 ツ ピ 習 カ ア 塾 ノ		ブ 放 （ 課 学 後 童 児 保 童 育 ク ） ラ		学 区 こ ど も の 家		タ ポ フ ー ー ア ト ミ ・ リ セ ー ン ・ サ		館 そ 、 の 公 他 園 ー 公 な 民 ど ー	
	N=597		N=254		N=587		N=130		N=235		N=3		N=222	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	100	16.8	129	50.8	158	26.9	3	2.3	88	37.4	1	33.3	72	32.4
2日	157	26.3	72	28.3	249	42.4	18	13.8	68	28.9	0	0.0	76	34.2
3日	143	24.0	29	11.4	125	21.3	15	11.5	33	14.0	1	33.3	43	19.4
4日	58	9.7	6	2.4	31	5.3	19	14.6	9	3.8	0	0.0	11	5.0
5日	87	14.6	8	3.1	11	1.9	59	45.4	25	10.6	1	33.3	12	5.4
6日	5	0.8	0	0.0	5	0.9	7	5.4	4	1.7	0	0.0	1	0.5
7日	11	1.8	2	0.8	0	0.0	1	0.8	1	0.4	0	0.0	4	1.8
不明・無回答	36	6.0	8	3.1	8	1.4	8	6.2	7	3.0	0	0.0	3	1.4

放課後児童クラブの利用希望時間については、下校時から「18時」までが、就学前児童で34.6%、小学生児童で36.9%となっています。

学区こどもの家の利用希望時間については、「17時」までが、就学前児童で56.3%、小学生児童で58.3%となっています。

②放課後児童クラブの利用希望時間（数量回答）

【就学前児童】

【就学前児童】 小学校低学年 利用希望時間	放課後児童クラブ 〔学童保育〕 (N=104)	
	件数	%
15時	0	0.0
16時	6	5.8
17時	31	29.8
18時	36	34.6
19時	24	23.1
20時以降	3	2.9
不明・無回答	4	3.8

【小学生児童】

【小学生】 小学校低学年 利用希望時間	放課後児童クラブ 〔学童保育〕 (N=130)	
	件数	%
15時	0	0.0
16時	5	3.8
17時	36	27.7
18時	48	36.9
19時	28	21.5
20時以降	6	4.6
不明・無回答	7	5.4

③学区こどもの家の利用希望時間（数量回答）

【就学前児童】

【就学前児童】 小学校低学年 利用希望時間	学区こどもの家 (N=103)	
	件数	%
15時	1	1.0
16時	8	7.8
17時	58	56.3
18時	22	21.4
19時	5	4.9
20時以降	0	0.0
不明・無回答	9	8.7

【小学生児童】

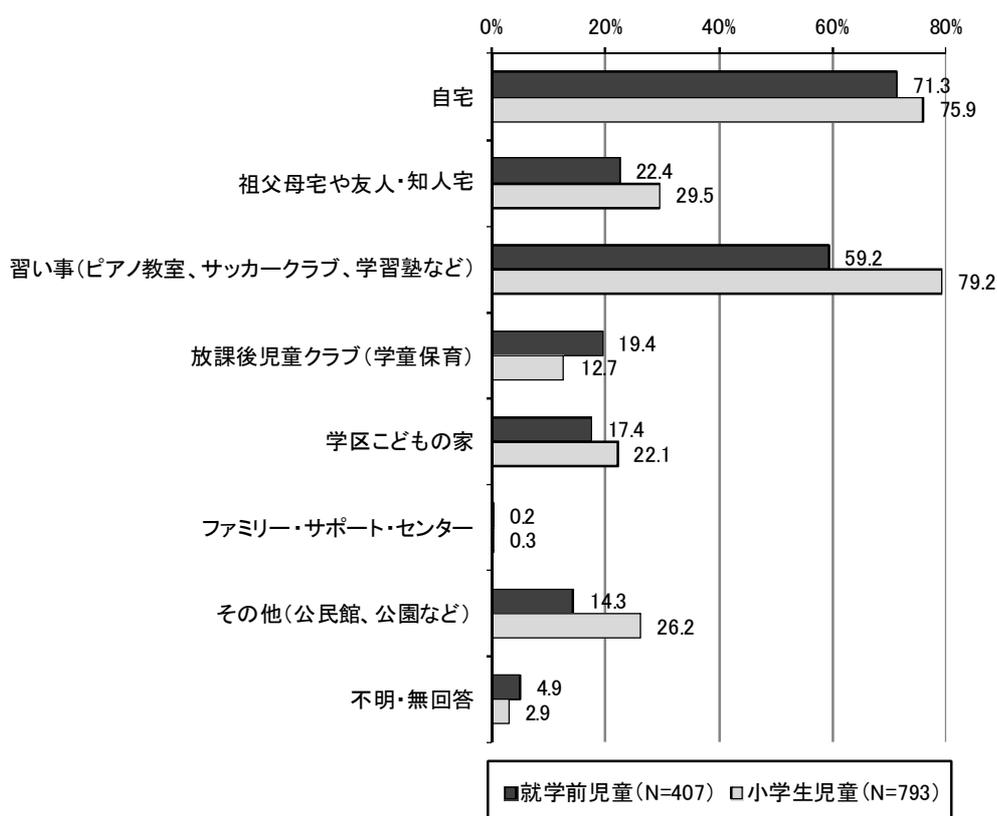
【小学生】 小学校低学年 利用希望時間	学区こどもの家 (N=235)	
	件数	%
15時	0	0.0
16時	9	3.8
17時	137	58.3
18時	58	24.7
19時	10	4.3
20時以降	3	1.3
不明・無回答	18	7.7

(40) 小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。〈複数回答〉

[就学前児童調査…問 25・小学生児童調査…問 22]

小学校高学年のうちに放課後の時間で過ごさせたい場所についてみると、就学前児童で「自宅」が71.3%、小学生児童で「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が79.2%となっています。

低学年時と比べて、就学前児童で「放課後児童クラブ」「学区こどもの家」の回答が下がり、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が上がっています。



潜在家庭類型別にみると、すべての潜在家庭類型で「自宅」となっています。

一方で、ひとり親家庭（A）、フルタイム×フルタイム（B）で、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が低学年時よりも高くなっています。

	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	放課後児童クラブ（学童保育）	学区こどもの家	ファミリー・サポート・センター	その他（公民館、公園など）	不明・無回答
潜在家庭類型別								
ひとり親家庭(A) (N=34)	55.9	17.6	47.1	32.4	14.7	0.0	8.8	5.9
フルタイム×フルタイム(B) (N=54)	46.3	22.2	40.7	38.9	27.8	0.0	3.7	1.9
フルタイム×パートタイム(C) (N=82)	74.4	23.2	52.4	17.1	17.1	0.0	11.0	4.9
フルタイム×パートタイム(C') (N=81)	85.2	19.8	67.9	16.0	19.8	0.0	17.3	2.5
専業主婦[夫](D) (N=103)	85.4	27.2	76.7	9.7	12.6	0.0	24.3	3.9

週あたりの利用希望日数については、就学前児童では「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」は「2～3日」が66.0%、「放課後児童クラブ（学童保育）」は「5日」が44.3%、「学区こどもの家」は「1～2日」が42.2%となっています。

小学生児童では「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」は「2日」が44.1%、「放課後児童クラブ（学童保育）」は「5日」が34.7%、「学区こどもの家」は「1～2日」が68.0%となっています。

①希望日数（数量回答）

【就学前児童】

【就学前児童】 小学校高学年 週あたりの 利用希望日数	自宅		知人・ 祖父母 や友人		習い事・ 教室・サ ク、サ ピ、カ ア塾		放課後 児童保 育クラ		学区こ どもの 家		ファミリー ・セン ・サ		その他 （公民 館など）	
	N=290		N=91		N=241		N=79		N=71		N=1		N=58	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	41	14.1	42	46.2	52	21.6	1	1.3	14	19.7	0	0.0	20	34.5
2日	60	20.7	19	20.9	85	35.3	13	16.5	16	22.5	0	0.0	15	25.9
3日	54	18.6	10	11.0	74	30.7	11	13.9	13	18.3	0	0.0	7	12.1
4日	21	7.2	2	2.2	17	7.1	12	15.2	4	5.6	0	0.0	4	6.9
5日	80	27.6	9	9.9	4	1.7	35	44.3	21	29.6	1	100.0	5	8.6
6日	3	1.0	0	0.0	1	0.4	4	5.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	4	1.4	1	1.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.7
不明・無回答	27	9.3	8	8.8	8	3.3	3	3.8	3	4.2	0	0.0	6	10.3

①希望日数（数量回答）

【小学生児童】

【小学生児童】 小学校高学年 週あたりの 利用希望日数	自宅		知人・ 祖父母 や友人		習い事・ 教室・サ ク、サ ピ、カ ア塾		放課後 児童保 育クラ		学区こ どもの 家		ファミリー ・セン ・サ		その他 （公民 館など）	
	N=602		N=234		N=628		N=101		N=175		N=2		N=208	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	94	15.6	121	51.7	109	17.4	8	7.9	68	38.9	1	50.0	70	33.7
2日	182	30.2	75	32.1	277	44.1	15	14.9	51	29.1	0	0.0	69	33.2
3日	140	23.3	18	7.7	167	26.6	16	15.8	20	11.4	1	50.0	33	15.9
4日	45	7.5	2	0.9	45	7.2	14	13.9	4	2.3	0	0.0	10	4.8
5日	93	15.4	7	3.0	16	2.5	35	34.7	26	14.9	0	0.0	17	8.2
6日	3	0.5	0	0.0	4	0.6	3	3.0	2	1.1	0	0.0	0	0.0
7日	10	1.7	2	0.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	2.4
不明・無回答	35	5.8	9	3.8	10	1.6	10	9.9	4	2.3	0	0.0	4	1.9

放課後児童クラブの利用希望時間については、下校時から「18時」までが、就学前児童で41.8%、小学生児童で33.7%となっています。

学区こどもの家の利用希望時間については、就学前児童で「18時」までが40.8%、小学生児童で「17時」までが46.3%となっています。

②放課後児童クラブの利用希望時間（数量回答）

【就学前児童】

【就学前児童】 小学校高学年 利用希望時間	放課後児童クラブ 〔学童保育〕 (N=79)	
	件数	%
15時以前	0	0.0
16時	2	2.5
17時	18	22.8
18時	33	41.8
19時	16	20.3
20時	2	2.5
不明・無回答	8	10.1

【小学生児童】

【小学生】 小学校高学年 利用希望時間	放課後児童クラブ 〔学童保育〕 (N=101)	
	件数	%
15時以前	0	0.0
16時	2	2.0
17時	25	24.8
18時	34	33.7
19時	21	20.8
20時	6	5.9
不明・無回答	13	12.9

③学区こどもの家の利用希望時間（数量回答）

【就学前児童】

【就学前児童】 小学校高学年 利用希望時間	学区こどもの家 (N=71)	
	件数	%
15時以前	0	0.0
16時	1	1.4
17時	27	38.0
18時	29	40.8
19時	4	5.6
20時	0	0.0
不明・無回答	10	14.1

【小学生児童】

【小学生】 小学校高学年 利用希望時間	学区こどもの家 (N=175)	
	件数	%
15時以前	1	0.6
16時	1	0.6
17時	81	46.3
18時	57	32.6
19時	9	5.1
20時	3	1.7
不明・無回答	23	13.1

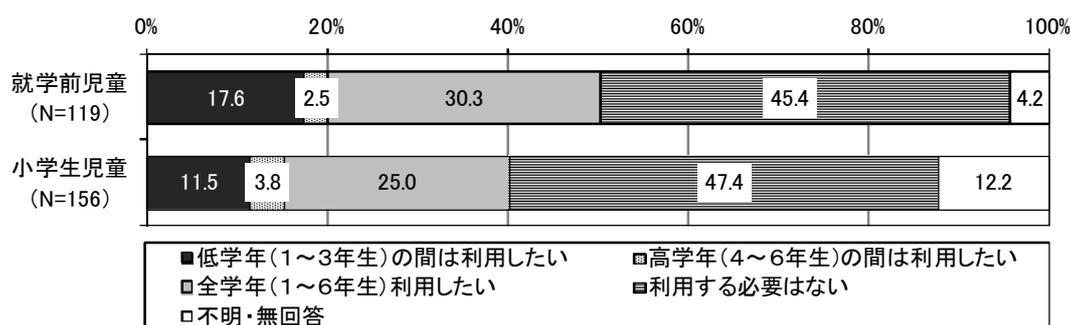
(41) お子さんについて、土曜日、祝日、長期休暇（夏休み・冬休みなど）に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。〈単数回答〉

[就学前児童調査…問 26・小学生児童調査…問 23]

土曜日の放課後児童クラブの利用希望についてみると、「利用する必要はない」が就学前児童で45.4%、小学生児童で47.4%となっています。

利用開始希望時間については、「8時」が就学前児童で48.3%、小学生児童で52.4%となっており、利用終了希望時間については、「18時」が就学前児童で30.0%、小学生児童で31.7%となっています。

(1) 土曜日



①利用開始希望時間（数量回答）

開始時間	就学前児童 (N=60)		小学生児童 (N=63)	
	件数	%	件数	%
7時	5	8.3	9	14.3
8時	29	48.3	33	52.4
9時	17	28.3	12	19.0
10時	2	3.3	0	0.0
11時	0	0.0	0	0.0
12時以降	5	8.3	8	12.7
不明・無回答	2	3.3	1	1.6

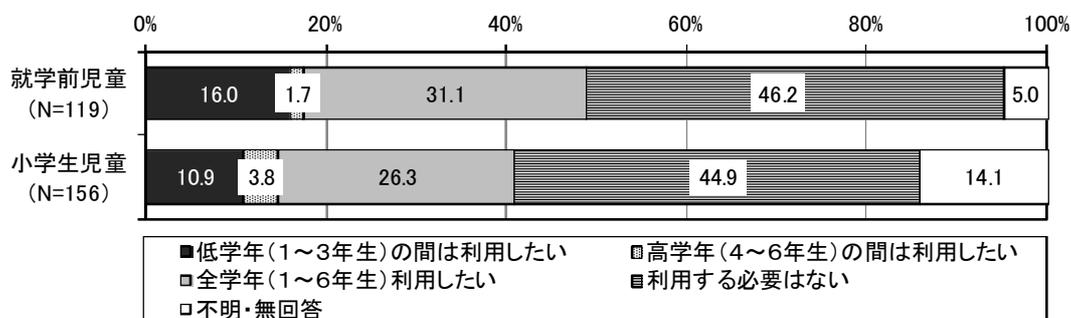
②利用終了希望時間（数量回答）

終了時間	就学前児童 (N=60)		小学生児童 (N=63)	
	件数	%	件数	%
12時以前	1	1.7	2	3.2
13時	1	1.7	0	0.0
14時	0	0.0	0	0.0
15時	3	5.0	2	3.2
16時	5	8.3	6	9.5
17時	17	28.3	14	22.2
18時	18	30.0	20	31.7
19時	13	21.7	16	25.4
20時以降	1	1.7	2	3.2
不明・無回答	1	1.7	1	1.6

祝日の放課後児童クラブの利用希望についてみると、「利用する必要はない」が就学前児童で46.2%、小学生児童で44.9%となっています。

利用開始希望時間については、「8時」が就学前児童で50.0%、小学生児童で59.4%となっており、利用終了希望時間については、「18時」が就学前児童で32.8%、小学生児童で31.3%となっています。

(2) 祝日



①利用開始希望時間（数量回答）

開始時間	就学前児童 (N=58)		小学生児童 (N=64)	
	件数	%	件数	%
7時	9	15.5	12	18.8
8時	29	50.0	38	59.4
9時	18	31.0	12	18.8
10時	2	3.4	1	1.6
11時	0	0.0	0	0.0
12時以降	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	0	0.0	1	1.6

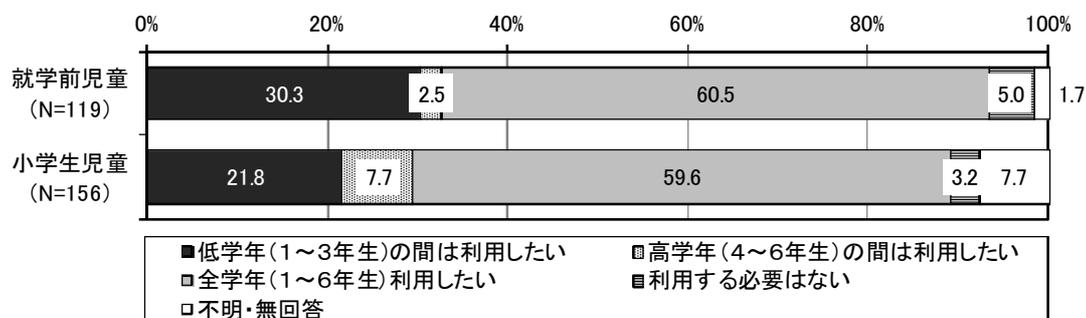
②利用終了希望時間（数量回答）

終了時間	就学前児童 (N=58)		小学生児童 (N=64)	
	件数	%	件数	%
12時以前	2	3.4	2	3.1
13時	0	0.0	0	0.0
14時	0	0.0	0	0.0
15時	4	6.9	2	3.1
16時	4	6.9	5	7.8
17時	13	22.4	12	18.8
18時	19	32.8	20	31.3
19時	14	24.1	18	28.1
20時以降	2	3.4	4	6.3
不明・無回答	0	0.0	1	1.6

長期休暇（夏休み・冬休みなど）時の放課後児童クラブの利用希望についてみると、「全学年（1～6年生）利用したい」が就学前児童で60.5%、小学生児童で59.6%となっています。

利用開始希望時間については、「8時」が就学前児童で55.9%、小学生児童で59.0%となっており、利用終了希望時間については、「18時」が就学前児童で33.3%、小学生児童で32.4%となっています。

（3）長期休暇



①利用開始希望時間（数量回答）

開始時間	就学前児童 (N=111)		小学生児童 (N=139)	
	件数	%	件数	%
7時	16	14.4	28	20.1
8時	62	55.9	82	59.0
9時	26	23.4	29	20.9
10時	5	4.5	0	0.0
11時	0	0.0	0	0.0
12時以降	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	2	1.8	0	0.0

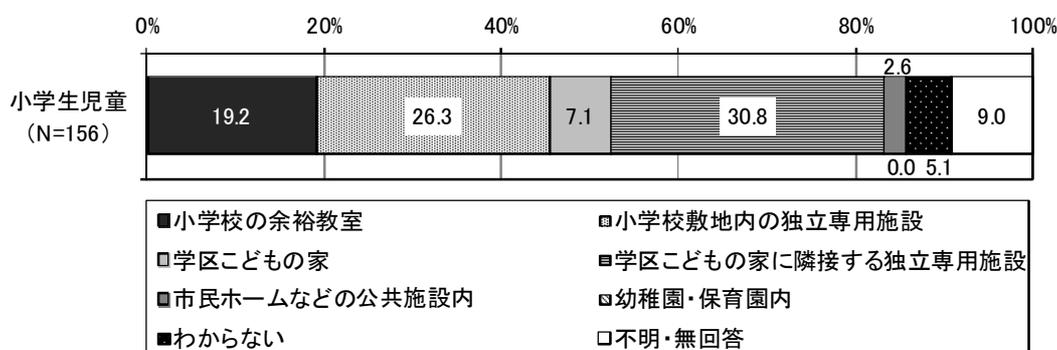
②利用終了希望時間（数量回答）

終了時間	就学前児童 (N=111)		小学生児童 (N=139)	
	件数	%	件数	%
12時以前	1	0.9	3	2.2
13時	0	0.0	0	0.0
14時	2	1.8	0	0.0
15時	4	3.6	5	3.6
16時	11	9.9	12	8.6
17時	31	27.9	30	21.6
18時	37	33.3	45	32.4
19時	22	19.8	39	28.1
20時以降	2	1.8	5	3.6
不明・無回答	1	0.9	0	0.0

(42)放課後児童クラブ（学童保育）の実施は、どのような場所が望ましいと思いますか。〈単数回答〉

[小学生児童調査…問 24]

放課後児童クラブ（学童保育）を実施するにあたって望ましい場所についてみると、「学区こどもの家に隣接する独立専用施設」が30.8%、次いで、「小学校敷地内の独立専用施設」が26.3%となっています。独立専用施設への回答が57.1%となっています。

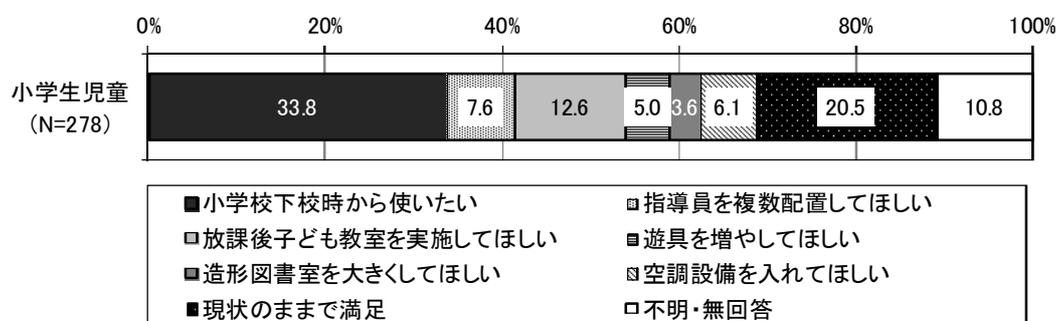


(43)学区こどもの家を利用するに当たり、こどもの家の機能として望むものは何ですか。〈単数回答〉

[小学生児童調査…問 25]

学区こどもの家を利用するにあたってこどもの家の機能として望むものについてみると、「小学校下校時から使いたい」が33.8%となっています。また、「現状のままで満足」が20.5%となっています。

利用開始希望時間については、「9時」が25.5%となっており、利用終了希望時間については、「18時」が35.3%となっています。



①利用開始希望時間（数量回答）

開始時間	学区こどもの家 (N=278)	
	件数	%
7時	14	5.0
8時	63	22.7
9時	71	25.5
10時	14	5.0
11時	0	0.0
12時	0	0.0
13時	10	3.6
14時	0	0.0
15時以降	51	18.3
不明・無回答	55	19.8

②利用終了希望時間（数量回答）

終了時間	学区こどもの家 (N=278)	
	件数	%
12時以前	4	1.4
13時	1	0.4
14時	1	0.4
15時	10	3.6
16時	11	4.0
17時	75	27.0
18時	98	35.3
19時	22	7.9
20時以降	5	1.8
不明・無回答	51	18.3

12. すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます

(44) 育児休業を取得しましたか。〈単数回答〉

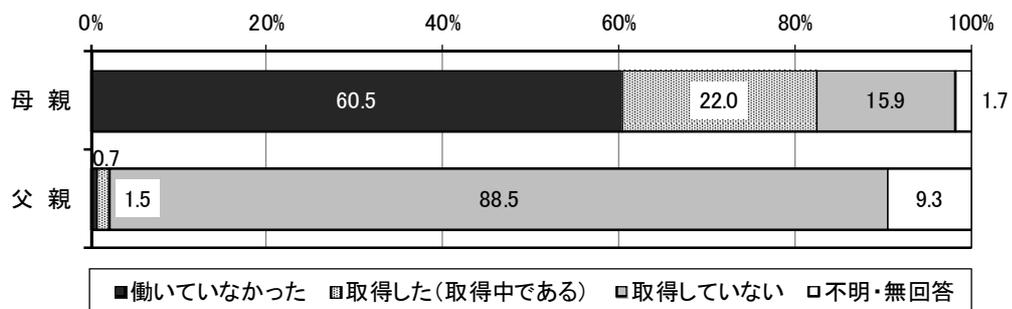
〔就学前児童調査…問 27〕

育児休業の取得の有無についてみると、「取得した（取得中である）」が母親で22.0%、父親で0.7%となっており、父親では「取得していない」が88.5%となっています。

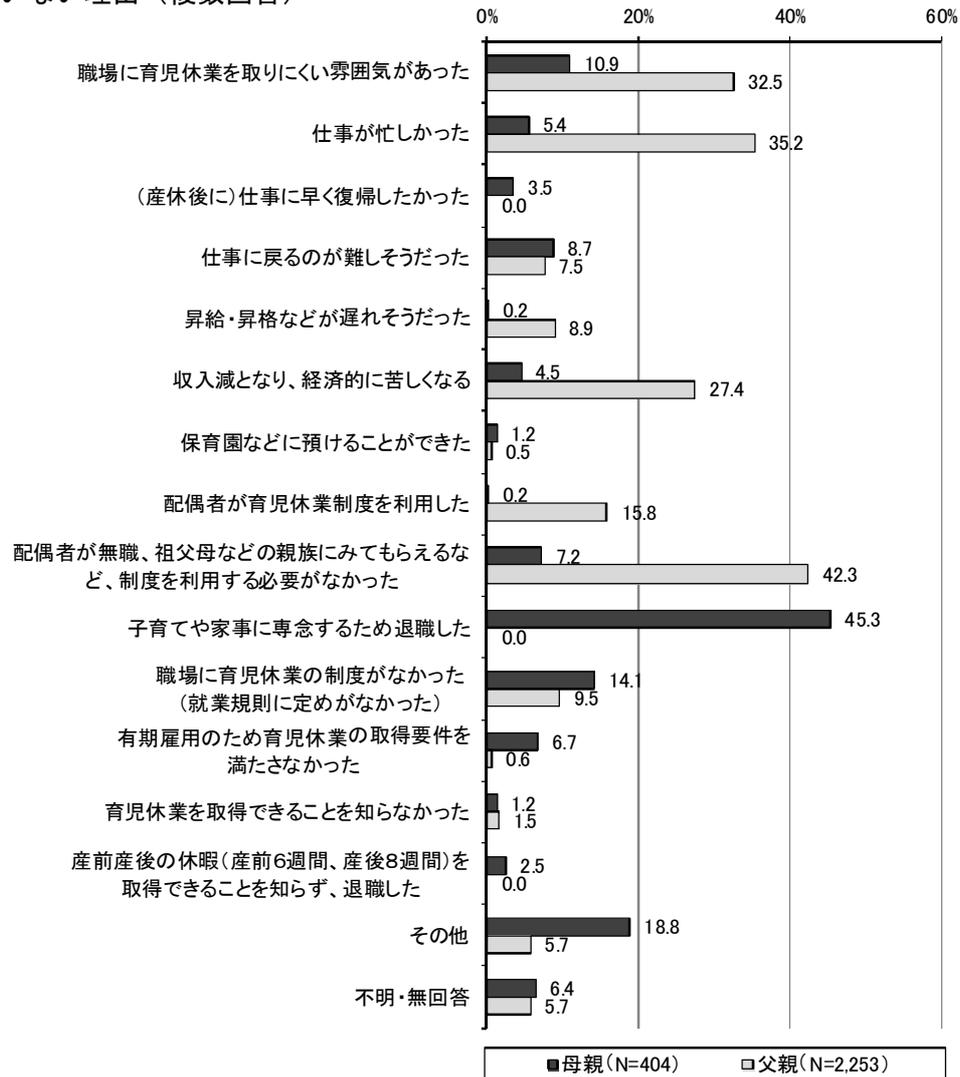
取得していない理由については、母親で「子育てや家事に専念するため退職した」が45.3%、父親で「配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が42.3%、「仕事が忙しかった」が35.2%となっています。

また、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が母親で10.9%、父親で32.5%となっています。

就学前児童(N=2,545)



①取得していない理由（複数回答）

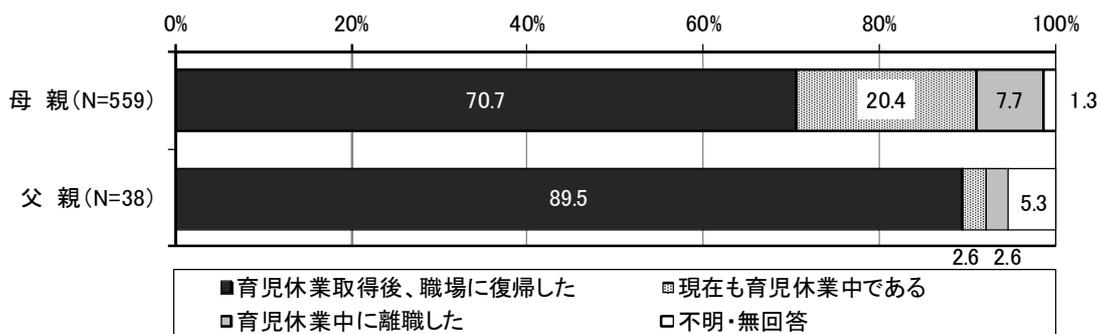


(45) 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。〈単数回答〉

[就学前児童調査…問 27-1]

育児休業取得後の職場復帰についてみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が母親で70.7%、父親で89.5%となっています。

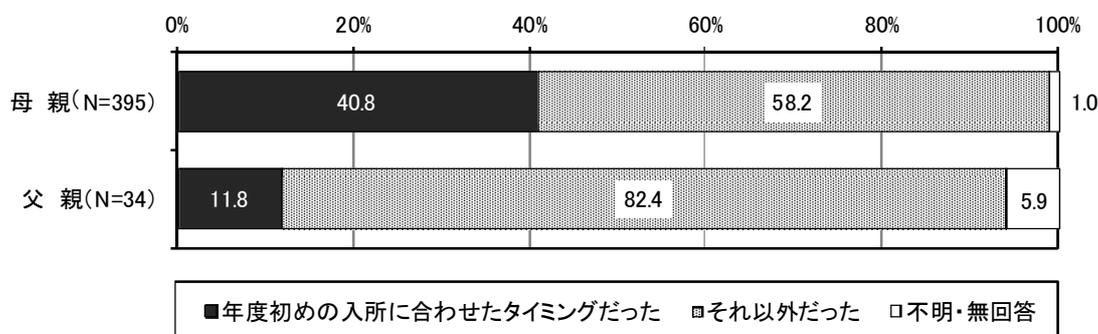
一方で、「育児休業中に離職した」は母親で7.7%となっています。



(46) 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。〈単数回答〉

[就学前児童調査…問 27-2]

育児休業取得後の職場復帰のタイミングについてみると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が母親で40.8%となっています。「それ以外だった」が母親で58.2%、父親で82.4%となっています。

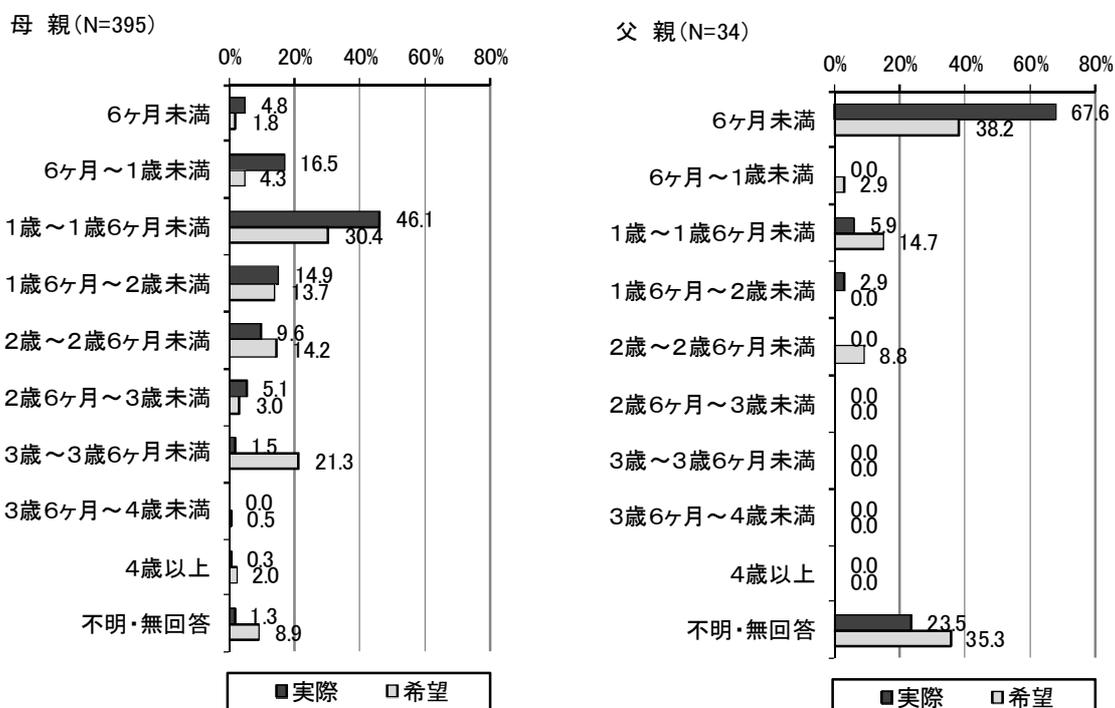


(47) 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。〈数量回答〉

[就学前児童調査…問 27-3]

職場復帰したときのお子さんの年齢と希望の年齢についてみると、母親で実際の復帰は「1歳～1歳6ヶ月未満」が46.1%であり、「2歳未満」が82.3%となっています。希望する子どもの年齢よりも実際は早く復帰しています。

父親では、実際の復帰は「6ヶ月未満」が67.6%であり、希望の復帰も「6ヶ月未満」が38.2%となっています。



(48) 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。〈複数回答〉

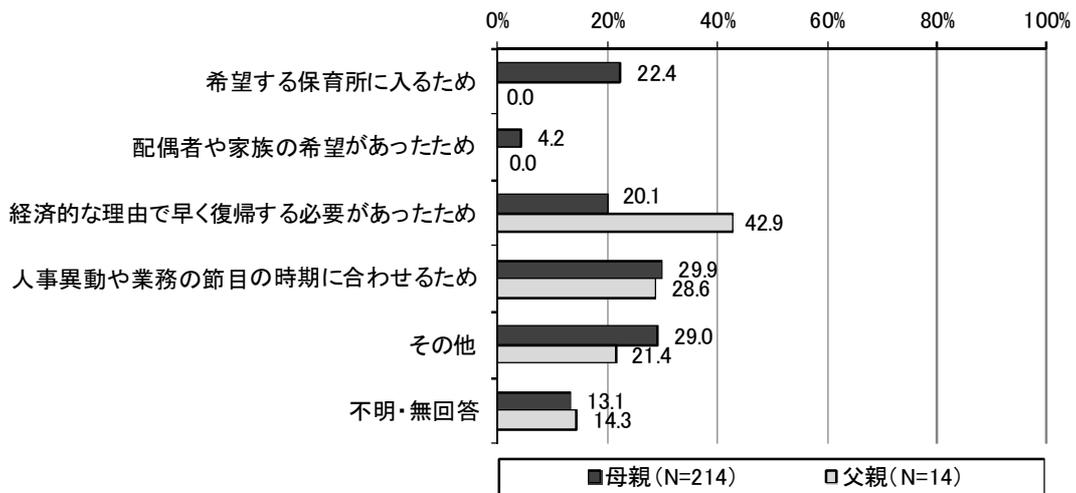
[就学前児童調査…問 27-4]

希望の時期に職場復帰しなかった理由について、希望よりも早く復帰した人についてみると、母親では「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が29.9%となっています。「希望する保育所に入るため」に早く復帰した母親は22.4%となっています。

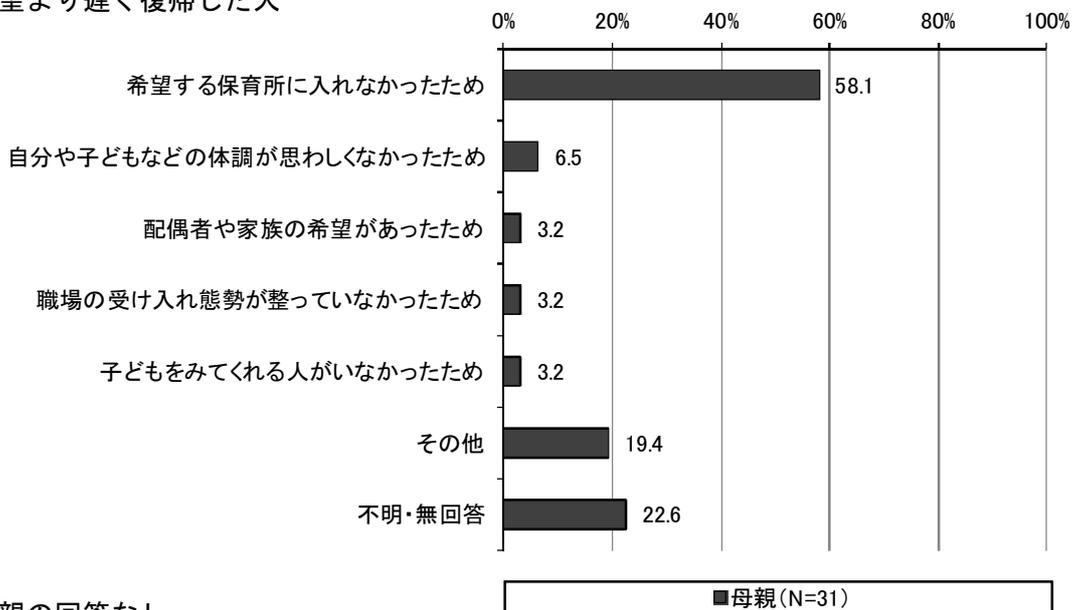
父親では「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が42.9%となっています。

一方で、希望の時期に職場復帰しなかった理由について、希望よりも遅く復帰した人についてみると、母親では「希望する保育所に入れなかったため」が58.1%となっています。

①希望より早く復帰した人



②希望より遅く復帰した人

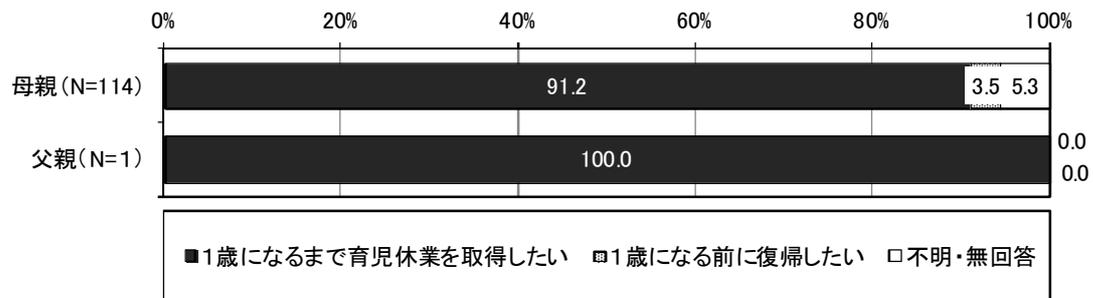


※父親の回答なし

(49)宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。〈単数回答〉

[就学前児童調査…問 27-5]

現在も育児休業中と回答した人において、お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかについてみると、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が母親で91.2%となっています。



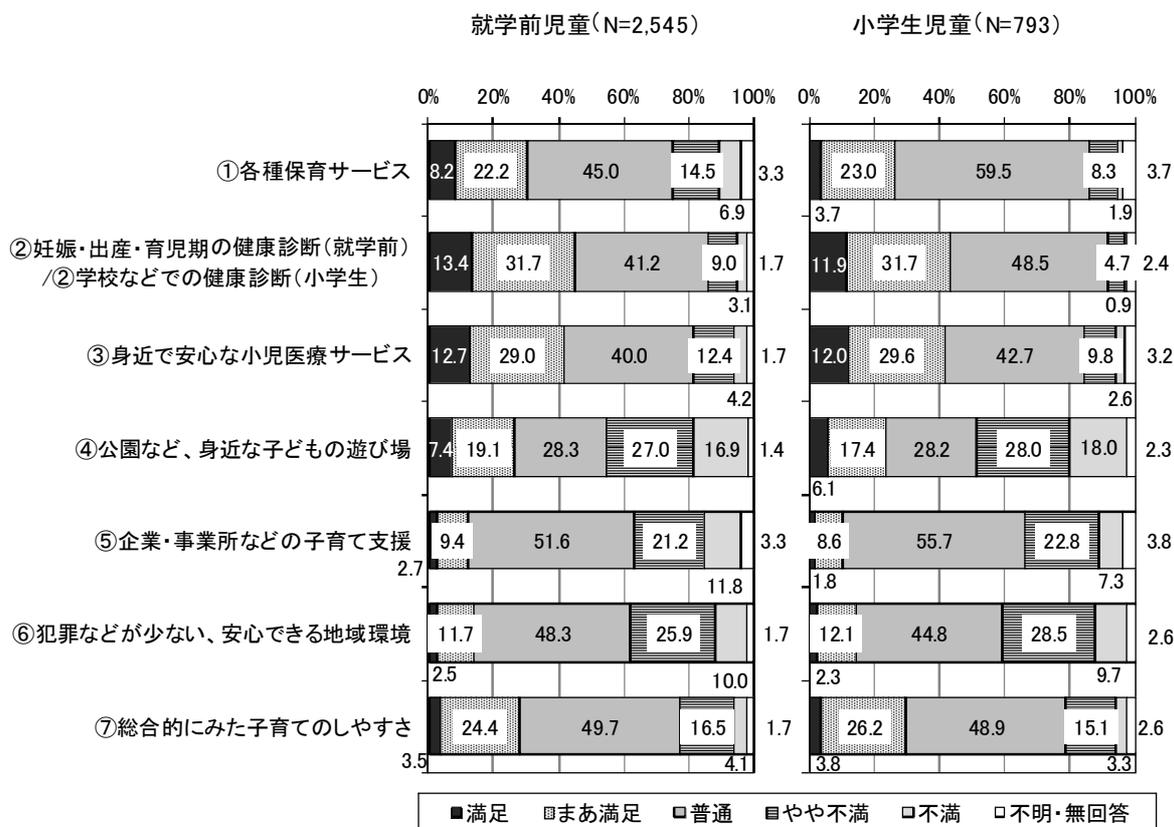
13. 子育て全般についてうかがいます

(50) 岡崎市における各分野について満足していますか。〈単数回答〉

[就学前児童調査…問 28・小学生児童調査…問 26]

岡崎市の各分野における満足度についてみると、「②妊娠・出産・育児期の健康診断（就学前）／②学校などでの健康診断（小学生）」で「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が、就学前児童で45.1%、小学生児童で43.6%となっています。

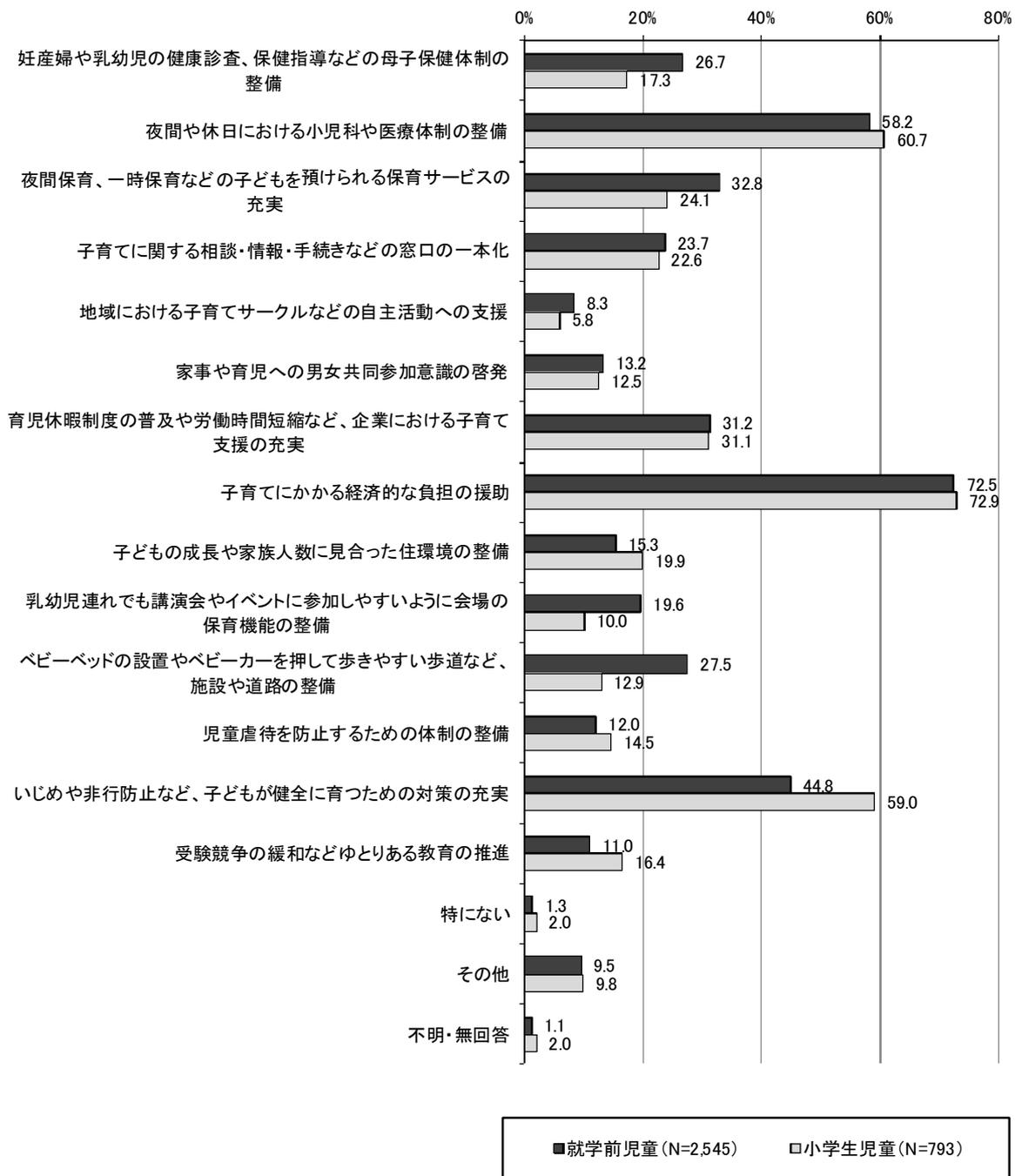
一方で、「④公園など、身近な子どもの遊び場」で「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が、就学前児童で43.9%、小学生児童で46.0%となっています。



(51)子どもを安心して産み育てられる環境のために、市にどのような施策を期待しますか。〈複数回答〉

[就学前児童調査…問 29・小学生児童調査…問 27]

子どもを安心して産み育てられる環境のために、市に期待する施策についてみると、「子育てにかかる経済的な負担の援助」が就学前児童で 72.5%、小学生児童で 72.9%となっています。次いで、「夜間や休日における小児科や医療体制の整備」が就学前児童で 58.2%、小学生児童で 60.7%となっています。



家庭類型別にみると、パートタイム×パートタイム（E）を除き「子育てにかかる経済的な負担の援助」が高くなっています。なかでも、ひとり親家庭（A）で86.9%となっています。

フルタイム×フルタイム（B）では、「育児休暇制度の普及や労働時間短縮など、企業における子育て支援の充実」が47.9%と他の家庭類型に比べて高くなっています。

	妊産婦や乳幼児の健康診査、保健指導などの母子保健体制の整備	夜間や休日における小児科や医療体制の整備	夜間保育、一時保育などの子どもを預けられる保育サービスの充実	子育てに関する相談・情報・手続きなどの窓口の一本化	地域における子育てサークルなどの自主活動への支援	家事や育児への男女共同参加意識の啓発	育児休暇制度の普及や労働時間短縮など、企業における子育て支援の充実	子育てにかかる経済的な負担の援助	子どもの成長や家族人数に見合った住環境の整備
家庭類型別									
ひとり親家庭(A) (N=145)	22.1	59.3	33.8	31.7	8.3	9.0	31.0	86.9	28.3
フルタイム×フルタイム(B) (N=397)	28.7	59.9	40.3	17.4	6.5	18.6	47.9	63.2	11.3
フルタイム×パートタイム(C) (N=337)	19.9	60.8	34.7	22.3	6.5	17.8	29.7	72.7	18.4
フルタイム×パートタイム(C') (N=202)	16.3	55.9	32.7	22.3	4.5	14.9	23.8	72.8	13.4
専業主婦[夫](D) (N=1,123)	30.7	57.3	30.5	26.0	9.9	9.3	26.4	72.9	14.4
パートタイム×パートタイム(E) (N=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パートタイム×パートタイム(E') (N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
無業×無業(F) (N=20)	15.0	70.0	20.0	25.0	5.0	10.0	5.0	70.0	15.0
	参加しやすけれども講演会やイベントに保育機能の整備	ベビーベッドの設置やベビーカーを押し歩きやすい歩道など、施設や道路の整備	児童虐待を防止するための体制の整備	いじめや非行防止など、子どもが健全に育つための対策の充実	受験競争の緩和などゆとりある教育の推進	特になし	その他	不明・無回答	
家庭類型別									
ひとり親家庭(A) (N=145)	15.9	15.2	12.4	43.4	19.3	2.8	8.3	0.7	
フルタイム×フルタイム(B) (N=397)	18.6	30.5	9.8	39.5	10.3	2.0	11.1	0.8	
フルタイム×パートタイム(C) (N=337)	15.7	20.8	12.8	45.4	11.3	0.6	8.0	1.8	
フルタイム×パートタイム(C') (N=202)	15.8	17.8	15.3	49.0	14.9	2.0	9.4	1.0	
専業主婦[夫](D) (N=1,123)	22.7	32.7	10.8	45.4	8.9	1.2	10.0	1.0	
パートタイム×パートタイム(E) (N=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
パートタイム×パートタイム(E') (N=1)	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無業×無業(F) (N=20)	10.0	20.0	25.0	45.0	10.0	0.0	15.0	0.0	

(52) 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。〈自由回答〉

[小学生児童調査…問 11]

■母親(188 件)

内容	件数
相談支援	34
子どもの居場所づくり	25
一時預かり等の支援	18
学童保育の充実	13
子どもの見守り	13
病児保育の充実	12
保育サービスの充実	11
情報提供	6
放課後の保育支援	5
子育て支援全般	4
教育支援	4
経済的支援	3
子育て支援センターの充実	3
職場環境の充実	3
送迎サービス	3
長期休暇時の保育支援	3
ファミリー・サポート・センターの充実	2
医療費の補助	2
その他	24

父親(28 件)

内容	件数
子どもの居場所づくり	6
相談支援	5
教育支援	3
経済的支援	3
子どもの見守り	2
一時預かり等の支援	1
送迎サービス	1
病児保育の充実	1
保育サービスの充実	1
その他	5

祖母(2 件)

内容	件数
子どもの居場所づくり	1
その他	1

14. 就学前児童の自由回答

区分		主な意見内容	件数
保育所	施設数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3歳未満児が入園できる保育園が増えてほしい ・ 保育園が少ない ・ 希望の保育園に入れない ・ 待機児童をなくしてほしい ・ 一時保育可能な保育園を増やしてほしい 	14
	時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間外保育（19時以降）の保育園を増やしてほしい ・ 延長Bを全学区の保育園で対応してほしい ・ 土曜・日曜・祝日等の保育事業が気軽に利用できればいい ・ 保育園の通常保育の時間を延ばしてほしい ・ 土曜日の延長保育の時間を延ばしてほしい 	48
	条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 0歳児の保育園の枠をもっと広くしてほしい ・ 働く場所の都合で保育園を選ばせてほしい ・ 2人目の妊娠による離職を無職扱いにしないでほしい ・ 産前産後の休暇日数を長めに取得できるとよい ・ 兄弟で保育園がわかれるのを無くしてほしい ・ 障がい児でも延長保育や一時保育が利用できるとよい ・ 発達障がいの子は受け入れてもらえる幼稚園・保育園が限定される ・ 年度途中の保育園への入園を可能にほしい ・ 身体的に子どもの世話が難しくても、就労していない65歳未満の同居家族となるため保育所が利用できない 	72
	お金	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育料が高い、乳児保育料が高い ・ 保育料を減額してほしい ・ 3人目からは無償にしてほしい ・ 保育料の設定に不公平感がある 	31
	一時保育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休み、冬休み期間中の一時保育を充実させてほしい ・ 一時保育をしてもらえる保育園が少ない ・ 一時保育の空きがない ・ 1ヶ月前の予約で利用しにくい 	18
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親身になってくれる先生が増えるよう、先生たちが働きやすい環境を作ってあげてほしい ・ 保育園に送迎用の駐車場が無い ・ 災害発生時においても、保育園を早急に開設してほしい ・ 保育園で勉強を教えてほしい ・ 食材やアレルギーに配慮した食事に努めてほしい ・ 秘密厳守を徹底してほしい ・ 保育園の保育士が少ない 	40
	幼稚園	お金	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園児への援助（保育料等）を拡充してほしい ・ 幼稚園の月謝を安くしてほしい ・ 幼稚園の延長保育の料金が安い
幼稚園	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私立幼稚園の数を増やしてほしい ・ 公立幼稚園の数を増やしてほしい ・ 幼稚園でも長期休暇の預かり保育ができるようにしてほしい ・ 幼稚園でも長時間預かってほしい ・ 幼稚園教諭を充実してほしい ・ 幼稚園と保育園のカリキュラムが大きく異なる 	33

区分		主な意見内容	件数	
「(保育)サービス」に関すること	学童保育	お金	・ 保育料が高く、親への負担が大きい	2
		その他	・ 学童クラブを、今住んでいる地域にも設置してほしい ・ 6年生まで学童保育を受け入れられるようにしてほしい ・ 放課後児童クラブの受入人数を増やしてほしい ・ 長期休暇時に安心して預かってもらえるところがあるか心配	11
	保育サービス全般	・ 気軽に安く預けられるシステムがあるといい ・ 岡崎市は、近隣市に比べて、教育・保育に対する支援が少ない ・ 岡崎市に認定こども園を作してほしい ・ 病気の子どもの(幼児)保育を充実してほしい ・ 発達障がいへの専門性を高めてほしい ・ 園や学校でアレルギー給食に対応してほしい ・ 小学校1年の壁が不安 ・ 男性の保育・家事への参加の啓発に力を入れてほしい	64	
	他サービス	・ 保育士の方が常駐していて赤ちゃんでも安心して連れて行けるプレイルームがほしい ・ 幼稚園、保育園と未就園児との交流(子育て支援)の充実 ・ トワイライト事業があるとよい	6	
「保健」に関すること	乳幼児	産婦人科	・ 診察料、出産費用が高いため負担を軽減してほしい ・ 出産できる医療機関を増やしてほしい ・ 不妊治療の費用助成を充実してほしい	11
		小児科	・ 子どもの発達や病気の症状などについて相談できる場がほしい ・ 夜間・休日の診療場所を増やしてほしい ・ 予防接種をスムーズにできるようにしてほしい	7
	健康診断	・ 仕事を持つ保護者も行きやすい健診時間にしてほしい ・ 健診にあたる医師の理解を深めてほしい ・ 健診場所まで遠い ・ 健診の回数を増やしてほしい ・ 健診にかかる時間を短くしてほしい	13	
	医療体制	・ 市民病院の小児科を充実してほしい ・ 医療機関が遠い ・ 夜間、休日の医療体制を充実してほしい ・ 小児科を増やしてほしい	12	
	その他	・ 赤ちゃん訪問は希望する人だけにしてほしい ・ 各医療機関の育児方針などの情報がほしい ・ 市民病院の対応を改善してほしい ・ 障がいのある子どもへの支援を充実してほしい	16	
「子育て支援」に関すること	家庭	・ 同居はよい	1	
	地域	・ 公共施設などをベビーカー等で移動しやすくしてほしい ・ 子連れでも参加できるイベント、店舗等を充実してほしい ・ 仲間づくり、サークルなどに参加しやすくしてほしい	41	
	相談	・ 子育てについて相談できる場の情報をわかりやすくしてほしい ・ 子育てについて相談できる場を増やしてほしい ・ 子育て支援センターでの相談がありがたい ・ もっと親身になって相談に乗ってほしい	13	

区分		主な意見内容	件数
「子育て支援」に関すること	職場	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の育児休暇を取得しやすくしてほしい ・仕事が忙しく、子育てに関わることができないことが残念である ・企業の規模によって扶養手当に差がある ・子育てとパートの両立が大変である ・子どもがいる女性は正社員として働きにくい ・子育てに対して企業、職場の理解が足りない ・育児休業後の復職がしやすい職場環境を望む ・時短勤務の期間を延長してほしい 	29
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・父子家庭への支援を充実してほしい ・アレルギーへの配慮をお願いしたい ・子育てに関して家族の支援がほしい 	17
「教育」に関すること	学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動を強制しないでほしい ・子どもが遊べるゆとりをつくってほしい ・いじめを根絶してほしい ・家庭と学校の連携を強化してほしい ・ゆとり教育はやめてほしい ・学区を再編してほしい ・教職員の資質向上を望む ・学校、学級の規模を見直してほしい ・障がい児の補助員が少ない ・小学校の交通当番を廃止してほしい 	21
	教育全般	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを対象とした生涯学習の教室を増やしてほしい ・父親が子育てについて学ぶ機会を増やしてほしい ・子ども会活動を充実してほしい ・子どもと赤ちゃんとのおふれあいの機会をつくってほしい ・地域行事の強制参加をやめてほしい 	6
「手当、助成」に関すること	妊娠出産	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中の健診費用の補助があって助かります ・3人目のお祝い金がなくなったことが残念 	3
	児童手当	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども手当の取得制限を見直してほしい ・子育てに関係する費用の補助をしてほしい ・子どもの人数に応じた税制優遇をしてほしい 	21
	母子・父子	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭への優遇 ・ひとり親家庭、母（父）子家庭に優しい街にしてほしい 	3
	医療費	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種の無料化、任意の予防接種を補助してほしい ・子どもの医療費が無償で助かる 	33
	教育費	<ul style="list-style-type: none"> ・教育費をもう少し軽減してほしい ・親の収入の差が、子どもの教育(学力)の格差に直結しているように思う ・高校無償化 	3
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての経済的な援助を公平に実施してほしい ・税や利用料の軽減、補助金の充実など経済的負担を軽くしてほしい 	11
「子育て」に関すること	育て方	<ul style="list-style-type: none"> ・親も子育てを学べる環境があればよい 	1
	苦労	<ul style="list-style-type: none"> ・相談できる相手がいてほしい ・近くに両親がいないため支援を受けられない 	6

区分		主な意見内容	件数	
「安全、安心」に関すること	遊び場	屋内施設	<ul style="list-style-type: none"> ・大型室内プレイルームがほしい ・雨天時でも遊べる施設がほしい ・暑い日、寒い日に遊ぶ場所の確保 	52
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ・げんき館のサービスが使いにくい ・遊ぶところが無いため、家の中で遊んでしまう ・園庭・校庭の開放をしてほしい ・公共施設のプレイスペースが狭い ・乳幼児の遊び場が少ない ・太陽の城がなくなって残念 ・子どもがのびのびと遊べる場所がほしい 	82
	公園	公園数	<ul style="list-style-type: none"> ・公園を整備してほしい、公園が少ない ・歩いて行けるとところに公園がほしい、近くに公園がない 	32
		設備	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具の老朽化の対応をしてほしい ・公園に遊具が少ない、充実させてほしい ・年齢の低い子に向けた遊具がほしい ・公園に駐車場がほしい ・公園をきれいにしてほしい 	49
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃など定期的におこなってほしい ・ベビーカーで気軽に公園へ行きたい 	22
	施設	<ul style="list-style-type: none"> ・お店や公園に子ども用のトイレがほしい 	4	
	道路	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道の整備をしてほしい ・危険な場所にはカーブミラーをつけてほしい ・交通事故が頻繁に発生する交差点に信号を設置してほしい ・車の交通量が多い場所の安全を確保してほしい 	35	
	交通	<ul style="list-style-type: none"> ・病院に行くまでの交通の便が悪い ・バス路線を見直してほしい ・東岡崎駅のロータリーを改善してほしい ・通学バスがほしい ・駅にエレベーターがほしい 	15	
犯罪	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの防犯に関する岡崎市統一のルールをつくってほしい ・子どもがいる方全ての人が安心して住める環境づくり ・夜、暗い道が多い、街灯が少ない 	15		
「情報」に関すること		<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関することや遊び場情報をホームページなどで情報公開してほしい ・予防接種の予約をとりやすくしてほしい ・得たい情報を得るのに苦労する ・サービス等についての情報がほしい ・子育てに関する場所や情報等をまとめた冊子があったら便利 	14	
「行政」に関すること	対応	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所での説明が不足している ・市役所の対応を見直してほしい 	6	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所と子育て支援センター、保健所など連携ができていない ・学校や園と連携して情報収集をすべき 	6	

区分		主な意見内容	件数
その他	施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の子育てを終えたお母さんの力を活かした施設があるといい ・ 保育園・小・中学校の建物の耐久性を強化してほしい ・ 駅にエレベーターを設置してほしい ・ 岡崎市内の特定の地域にばかりサービスや施設が偏っている ・ 公共施設（りぶら等）の駐車場を増やしてほしい ・ 支援センターを広くして、月齢ごとに部屋を分けてほしい 	16
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てに限らず、お互いに助け合う、みんなで協力しあう、地域づくり・まちづくり ・ 教育的なイベントを増やしてほしい ・ 近隣の市町村に比べて、岡崎市は子育て支援に関してかなり遅れをとっている ・ 母親・父親が、のんびりとゆとりを持って、子育てができる環境を整えてほしい 	24
	アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質問の内容がわかりづらい ・ 調査の意図がわからない 	9
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 満足しています ・ 子ども連れでも利用しやすいまちにしてほしい ・ 親たちが働きやすい環境づくりをお願いします ・ 教育者、保育者が安心して自分の家庭の育児ができることこそ、よりよい教育、保育に繋がるのではないかと 	24

15. 小学生児童の自由回答

区分		主な意見内容	件数	
「保育」サービスに関すること	保育所	施設数	・ 保育所を増やしてほしい	4
		時間	・ 休日に保育所を開けてほしい	2
		条件	・ 障がい児もみんなと同じように過ごすことができるようにしてほしい	1
		お金	・ 保育料の見直しをしてほしい ・ 3人目の保育料を無料に戻してほしい	3
		その他	・ 保育士の育成、講習会などの開催 ・ 老朽化が著しく目につく ・ 保育園の公立、私立を一本化してほしい	10
	幼稚園	お金	・ 第2子半額、第3子無料という幼稚園無償化の対象としてほしい	2
	学童保育	施設数	・ 学区に学童保育が無い、設置してほしい	4
		時間	・ 開所時間を早くしてほしい ・ 勤務実態も考えた時間設定をしてほしい ・ 長期休暇時だけでもみてもらいたい ・ 19時や20時までみてもらえる日がほしい	13
		条件	・ 長期の休みに高学年の利用ができるようにしてほしい ・ 1年生から3年生までは優先的に預けさせてほしい ・ 受け入れ人数を増やしてほしい ・ 年の途中からの利用もできるようにしてほしい	12
		その他	・ 一人で家にいるより安心できます ・ 学童保育をもっと充実させてほしい ・ 子どもを安心安全に預けることができる環境（老朽化対策等）を整えてほしい ・ 宿題や勉強などの内容をみてくれる方がほしい	8
	サービス全般	環境	・ 教育、保育に関わる人の数を増やしてほしい ・ 長期休みに安心して預けて仕事に出られる環境がほしい ・ 子育ての環境については不自由していません	4
		施設	・ 緊急時に預けられる施設がほしい ・ 仕事が夜遅くなっても安心して子どもを預けられる施設がほしい	3
		その他	・ ファミリー・サポート・センターをもっと知ってもらえば利用する人が増えると思う ・ トワイライトを導入してほしい ・ 学区の境の場合、利用施設を選べるといい	8
「保健」に関すること		・ 健康診断にかかる時間を改善してほしい ・ 夜間の診療所の時間をもう少し長くしてほしい ・ 予防接種等への公費援助があると嬉しい	8	

区分		主な意見内容	件数	
「子育て支援」に関すること	地域	地域	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会に入っている子どもが少なくなり父母に負担が多い ・子ども会役員の負担が大きい ・土日休みでない家庭は子ども会や地域の活動に参加できない 	6
		環境	<ul style="list-style-type: none"> ・共働きができる環境が整っていない ・場所により環境に差がある ・障がい児でも学校に笑顔で安心して通えるような環境やサポートをお願いします 	4
	こどもの家	質	・「こどもの家」指導員の質の向上	2
		条件	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの家までかばん下校させてほしい ・こどもの家の利用にあたって細かいルールが多い ・祝日も預けたい 	6
		その他	・子どもたちが使いやすいように協力してくださる方々に感謝しています	1
	施設	・遊具が少ない	2	
	家庭	・本当に困っている方への支援が必要	2	
	職場	<ul style="list-style-type: none"> ・育休を取りやすい職場の雰囲気、環境になってほしい ・働きながらの子育ては難しい 	5	
	子育て支援全般	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の休日校庭開放があるとよい ・困っている人に即時に対応してあげられる環境を作ってほしい ・隣市と比べて子育て環境が悪い ・相談者によりそって一緒に考えてくださるような相談員を選んでほしい ・子ども達が昔の知恵や、技能等を学べ、遊べるような環境ができればいい ・子を持つ親向けの子育て講座があるとよい 	23	
	「教育」に関すること	学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学校間の交流を通して学ぶモチベーションを高めてほしい ・学校の先生方の教育をきちんとしてほしい ・学校での勉強内容の改正 ・学校内で充実した内容の教育を受けられるようにしてほしい 	27
教育全般		<ul style="list-style-type: none"> ・大人が子どもの見本となる行動をとることへの意識づけが必要 ・親になる方々への教育が必要 	5	
「手当、助成」に関すること	児童手当	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的な補助を充実してほしい ・経済的にもう少し楽になると嬉しい 	9	
	祝い金	・出産祝い金が廃止になったのはとても残念	4	
	医療費	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ予防接種は学校で実施してほしい ・医療費が中学生まで無料というのは大変助かっています 	4	
	その他	・子育て世代には厳しいと思います	1	

区分		主な意見内容	件数
「子育て」に関すること	地域	<ul style="list-style-type: none"> ・核家族だと子ども会やPTAの役員もできない ・子ども会の役員の負担について、相談窓口、マニュアルなどがあると嬉しい 	3
	苦勞	<ul style="list-style-type: none"> ・生まれつき持病があり苦勞しています ・近所の人が気にかけてくれて助かった 	3
「安全、安心」に関すること	遊び場	<ul style="list-style-type: none"> ・雨天時に子どもが遊べる場所がほしい ・自然とふれあえる場所がほしい ・安心して遊んでいられる環境づくりをしてほしい ・小学校のグラウンド開放を行ってほしい 	21
	公園	<ul style="list-style-type: none"> ・公園を作してほしい ・滑り台やブランコなど日常的に遊べる遊具がない ・公園の遊具をメンテナンスしてほしい ・公園の制限を緩和してほしい 	38
	道路	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全確保 ・交通事故が多い交差点に信号をつけてほしい ・交通量が多い所なので、事故が心配 	23
	犯罪	<ul style="list-style-type: none"> ・治安が悪い ・パトロール体制を充実してほしい 	4
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症対策として教室にクーラーをつけてほしい 	1
その他	情報	<ul style="list-style-type: none"> ・どのようなサービスがあり、どのように利用するのかわかりやすくしてほしい ・色々な制度などを分かりやすくしてほしい ・相談窓口等の情報がどこにあるのかわからない 	9
	子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健全で健やかな成長に親の愛情は絶対に欠かせない ・岡崎市に暮らしていてよかったと思える環境づくりをお願いします 	3
	施設	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設に駐車場が少ない ・子ども用図書はとても充実していて便利 	5
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・もっともっとよい環境になることを願います ・岡崎は住環境、教育などが充実していて過ごしやすい 	5
	アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート内容の集計結果の公表をしてください ・今回のアンケートはあまり意味のないことのように思います 	3

16. 就学前児童・小学生児童調査結果の総括

子どもの育ちをめぐる環境について

子育て（教育を含む）を主に行っているのは、「父母ともに」が就学前児童で5割弱、小学生児童で5割強となっていますが、就学前児童では、日頃から世話をしている機会の多い母親とする回答も過半数となっています。また、父親の1日の就労時間が11時間以上と長い家庭において「主に母親」とする回答が高くなっています。

子どもをみてもらえる親族・知人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」が就学前児童、小学生児童ともに6割程度、「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」は就学前児童、小学生児童ともに3割程度となっています。身近なところに親族がおり、必要に応じて子育てに協力してもらっていることが伺えます。

小学生児童の子どもをみてもらっている状況については、祖父母等にみてもらっている人で「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」と回答した人が6割強となっています。一方で、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」と感じている人は、祖父母等にみてもらっている人で2割強、友人・知人にみてもらっている人で1割強となっています。

相談相手については、「祖父母などの親族」が就学前児童は9割弱、小学生児童で8割弱となっており、「友人や知人」は就学前児童で8割弱、小学生児童では7割強となっています。相談内容については、就学前児童の子どもを持つ保護者で、「子どもの育て方やしつけ方」が5割強、「子どもの生活習慣（食事など）」「子どもの健康」がともに4割弱となっています。

保護者の就労状況について

母親は就学前児童で5割程度、小学生児童で6割程度が就労しており、父親は就学前児童、小学生児童ともに8割程度が就労しています。なかでも、手のかかる就学前児童の子どもを持つ母親で、小学生児童の子どもを持つ母親より、現在就労していない人が多い傾向にあります。

母親で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と答えた人は就学前児童で2割弱、小学生児童で2割強となっています。また、希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイトなど」が就学前児童で9割強、小学生児童で9割弱となっています。

フルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイトなど（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が就学前児童で5割強、小学生児童で5割弱となっており、多くの母親で就労形態としてパート・アルバイトを選択しています。また、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と答えた人も2割程度となっており、現実問題としてフルタイムへの就労の難しさが伺えます。

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」については、「利用している」が6割で、年齢別で見ると0歳で1割弱、1歳で2割強、2歳で4割強、3歳以上で9割以上が利用しています。利用している教育・保育の事業は、「幼稚園」「認可保育所」とともに5割弱とな

っています。

家庭類型別については、「認可保育所」ではひとり親家庭や、就労が長時間の共働き世帯（家庭）で8割弱となっています。一方で、「幼稚園」は就労が短時間の家庭や専業主婦〔夫〕で9割弱となっています。

教育・保育事業の現在の利用状況は「5日」が9割以上で、希望する利用頻度も「5日」が6割以上となっていますが、施設別にみると幼稚園、認可保育所において、希望する利用頻度の日数が伸びてきている傾向が伺えます。

教育・保育事業の現在の利用時間についてみると、幼稚園、幼稚園の預かり保育では現状は「6時間」の利用が最も多いのに対し、希望する利用時間は「8時間」が最も多くなっています。預かり保育の充実など、ライフスタイルや就労環境の変化に対応していくことが求められます。また、家庭類型別にみても、ひとり親家庭や就労が長時間の共働き世帯（家庭）では、現状として利用時間は「8時間」が最も多いのに対し、希望する利用時間は「10時間」となるなど、利用したい時間が延伸している傾向にあります。あわせて、利用したい時間の延伸から、通園時間及び退園時間についても、現状と希望に違いが見受けられます。幼稚園の退園時間では現状として「15時」が回答として最も多いのに対し、希望では「16時」の回答が最も多くなっています。

地域の子育て支援事業の利用状況について

地域子育て支援拠点事業の利用については、未就園児童で「地域子育て支援拠点事業を利用している」が5割強となっています。現在の利用状況は1週あたり「1回」が2割弱、1か月あたり「1回」が4割強となっています。今後の利用意向については、今後、新たに利用したい、もしくは利用日数を増やしたいとする人が5割強に上っています。

土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、利用したいとする人は、土曜日で3割弱、日曜日で1割強となっています。なかでも、ひとり親家庭では、5割弱、就労が長時間の共働き世帯（家庭）で4割強となっています。日曜日・祝日は、土曜日に比べて利用意向が低くなっています。一方で、ここ5年間において、「利用したい」とする回答が土曜日と日曜日・祝日ともに高くなっている傾向にあります。ライフスタイルや就労環境の変化から、土曜・休日の教育・保育事業のニーズが高まってきていることが予想されます。

また、幼稚園を利用していると回答した人において、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望についてみると、休みの期間中に利用したいとする人は、6割強となっており、平日の就労の受け皿として求められていることが伺えます。

子育て支援サービスの認知度について

小学生児童における子育て支援サービスの認知度では、「知っている」が「運動場・体育館などの開放（子ども会・クラブ活動）」では8割弱、「学校が主催する活動（講演会、PTA活動）」、「学区こどもの家」では9割弱となっています。認知度に比例して、これまでの利用についても「運動場・体育館などの開放（子ども会・クラブ活動）」では6割弱、「学校が

主催する活動（講演会、PTA活動）」が6割強、「学区こどもの家」が7割弱となっています。今後の利用意向としても「運動場・体育館などの開放（子ども会・クラブ活動）」「学校が主催する活動（講演会、PTA活動）」「学区こどもの家」は高い傾向にあります。利用における満足度においては、「学区こどもの家」で満足度が高くなっています。

病気の際の対応について

病気やケガで通常の事業が利用できなかったことや学校を休んだことがあるかについては、「あった」が就学前児童で7割強、小学生児童が7割弱となっており、行った対処方法としては「母親が休んだ」が就学前児童で6割強、小学生児童で5割強となっています。共働き世帯（家庭）であっても、母親が休んで対応することが大半を占めることが伺えます。

病児・病後児のための保育施設などを利用したいかについてみると、「利用したいとは思わない」が就学前児童で7割弱、小学生児童で8割弱となっています。施設を利用せず、休んで子どもを看たいとする親の想いが見受けられます。

また、小学生児童において、父親や母親のいずれかが休んで看ることができなかった人に、仕事を休んで看たいかについてみると、「できれば仕事を休んで看たい」が4割強回答しており、子どもを想う親の気持ちが伺える一方で、仕事との兼ね合いから「休んで看ることは非常に難しい」とする回答も3割強となっています。

不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

就学前児童で私用、親の通院、不定期の就労などの目的で不定期に利用している事業は、「幼稚園の預かり保育」、保育所などの「一時預かり」となっています。なかでも、日頃、子どもをみてもらえる親族・友人のいずれもないと回答した人で、利用希望が高い傾向にあります。

利用目的としては、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」が就学前児童で6割強、小学生児童で7割弱となっていますが、手がかかりがちな就学前児童を持つ親で、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的」の割合が6割強と、小学生児童を持つ親より高くなっています。

そのほか、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、泊りがけで家族以外にみてもらうことの有無について、「あった」が就学前児童、小学生児童ともに2割弱となっています。対処方法としては、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が就学前児童で8割強、小学生児童で9割強となっていますが、就学前児童では手がかかる関係から「仕方なく子どもを同行させた」が小学生児童より高くなっていることが予想されます。また、小学生児童で泊りがけで家族以外にみてもらうことについて、「困難」と答えた人は3割強となっています。誰もが気軽に預けられる場所の確保など、対策が求められます。

放課後の過ごし方について

小学生児童の放課後（平日の小学校終了後）や休日の活動では、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が8割弱となっています。なかでも、学年が上がるにつれて、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が高くなる傾向にあります。

小学校低学年のうち、放課後の時間について「自宅」で過ごさせたいとする回答が6割以

上となっています。

また、ひとり親家庭や就労が長時間の共働き世帯（家庭）では「放課後児童クラブ」が高く、パート・アルバイトなどで就労している保護者のいる家庭や専業主婦〔夫〕の家庭では、「自宅」が高くなっています。小学校高学年の放課後の時間で過ごさせたい場所については、低学年の時と似た傾向にあります。

土曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」が就学前児童、小学生児童ともに5割弱となっています。一方で、長期休暇（夏休み・冬休みなど）時の放課後児童クラブの利用希望については、「全学年（1～6年生）利用したい」が就学前児童で6割強、小学生児童で6割弱となっており、平日の就労の受け皿となっています。

また、放課後児童クラブ（学童保育）の実施場所については、「学区こどもの家に隣接する独立専用施設」が3割強、次いで、「小学校敷地内の独立専用施設」が3割弱となっており、専用施設としての確保が求められています。

そのほか、学区こどもの家の利用にあたり、こどもの家の機能として望むものでは、「小学校下校時から使いたい」が3割強となっています。

育児休業など職場の両立支援制度について

育児休業の取得状況としては、「取得した（取得中である）」が母親で2割、父親はごく僅かとなっています。父親の取得が進まない背景には、みてもらえる家族や親族がいたために必要性がなかった人が4割に上っています。一方で、「仕事が忙しかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」とする回答も3割強となっており、男性の育児休業の取得が進むよう、企業等への働きかけが求められます。

また、育児休業取得後の職場復帰についてみると、年度初めに合わせた人は4割となっています。なかでも、職場復帰について希望よりも早く復帰する人が多くなっています。早く復帰する主な理由としては、仕事の関係や経済的な理由ですが、「希望する保育所に入るため」に復帰した人も2割強となっています。一方で、希望の時期に職場復帰しなかった理由では、「希望する保育所に入れなかったため」とする回答が6割弱となっています。保育所へ入園できるかどうか、就労に大きく左右することが伺えます。

子育て全般について

子どもを安心して産み育てられるまちを目指して、市に期待する施策についてみると、「子育てにかかる経済的な負担の援助」が就学前児童、小学生児童で7割以上となっています。なかでも、ひとり親家庭で、「経済的な負担の援助」が求められています。

また、安心して育てられる環境として、医療体制の充実も重要であり、「夜間や休日における小児科や医療体制の整備」が就学前児童、小学生児童で6割となっています。生活困窮者に対する支援や、子どもを安心して育てられる環境づくりが必要とされています。

3.

調查結果(保育園・幼稚園職員)

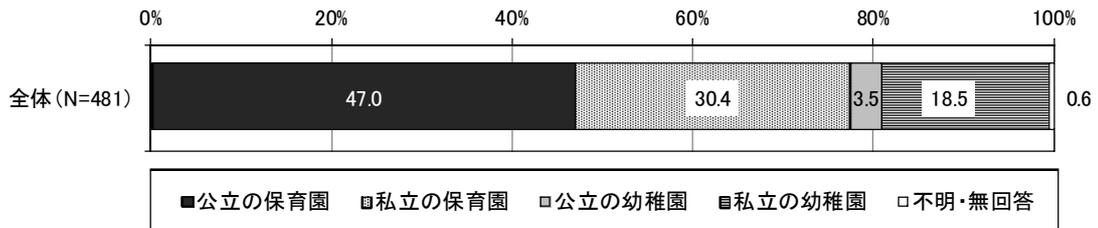


1. あなたご自身についてうかがいます

(1) あなたの勤務先は次のうちどれですか。〈単数回答〉

[園職員調査…問1]

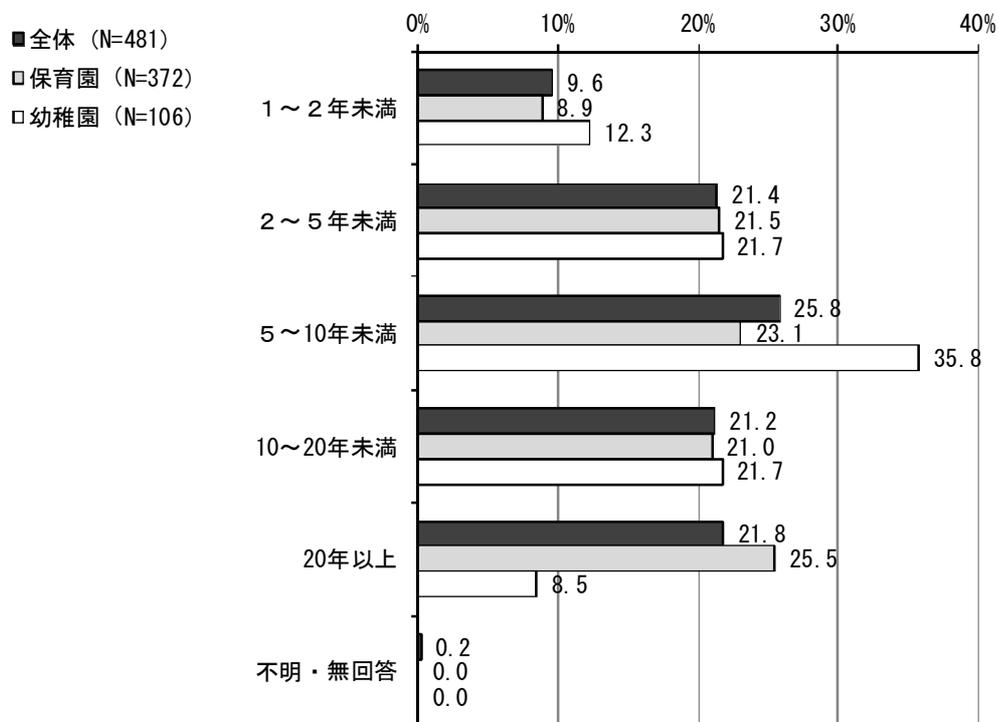
勤務先についてみると、「公立の保育園」が47.0%、「私立の保育園」が30.4%となっています。



(2) 保育園・幼稚園での保育経験年数をご記入ください。〈数量回答〉

[園職員調査…問2]

保育経験年数についてみると、「5～10年未満」が25.8%となっています。保育園では、「20年以上」が25.5%、幼稚園では「5～10年未満」が35.8%となっています。

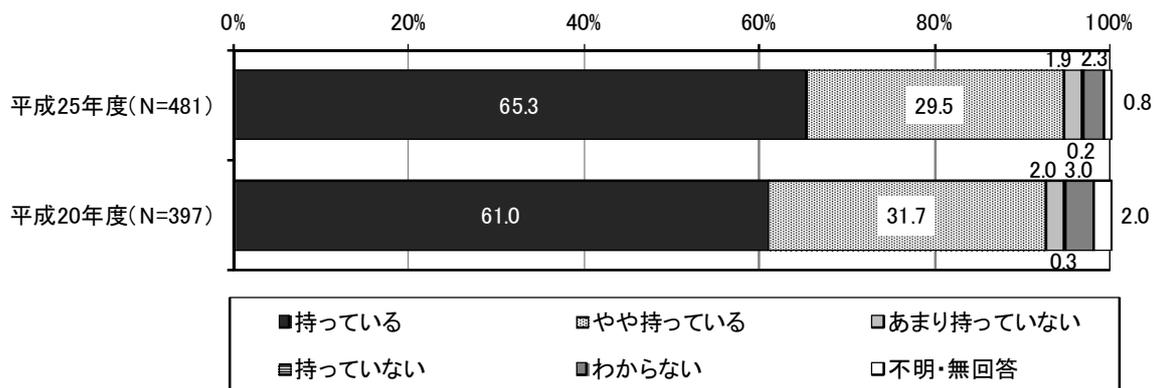


2. 仕事や職場の環境についてうかがいます

(3) 保育園・幼稚園の仕事にやりがいや充実感を持っていますか。〈単数回答〉

[園職員調査…問3]

仕事にやりがいや充実感を持っているかについてみると、「持っている」が65.3%、「やや持っている」が29.5%となっています。前回調査時と比べて、仕事にやりがいや充実感を持っていると答えた人が増えています。

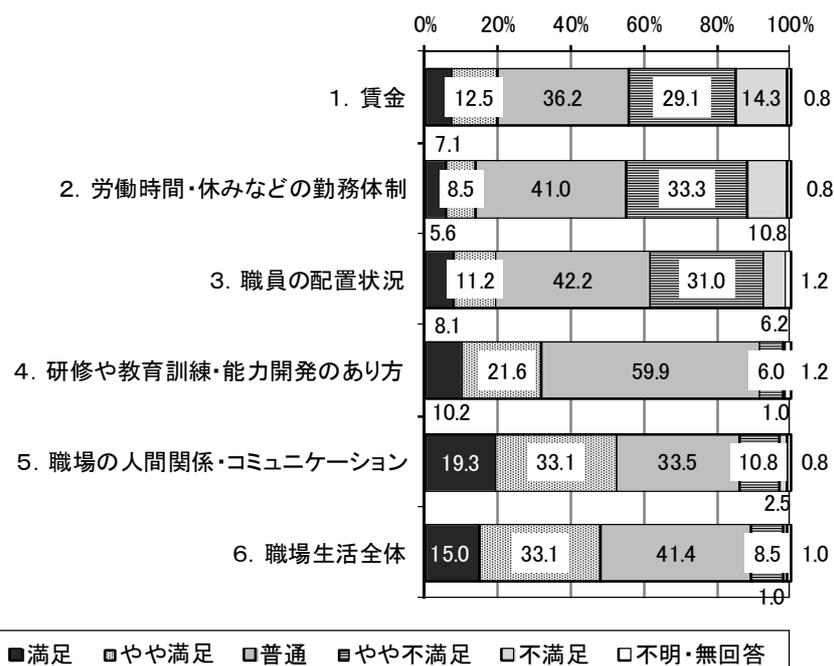


(4) 現在の仕事の満足度についてうかがいます。〈単数回答〉

[園職員調査…問4]

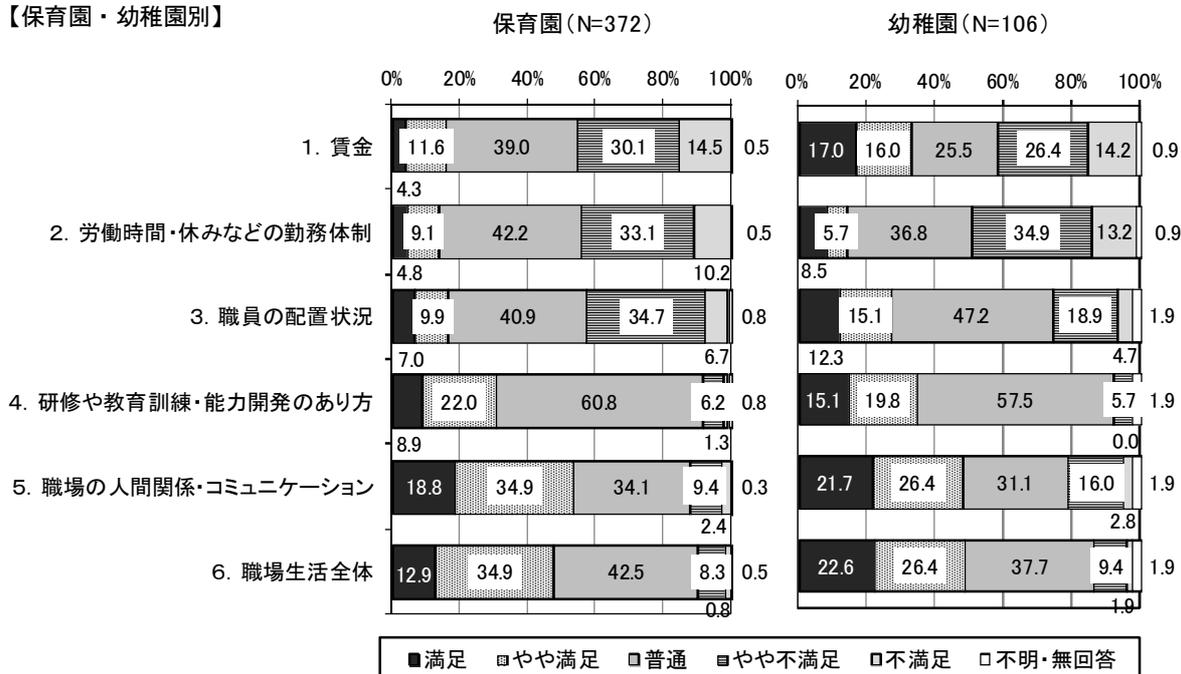
仕事の満足度についてみると、職場の人間関係・コミュニケーションが「満足」「やや満足」を合わせた『満足』が52.4%となっています。労働時間・休みなどの勤務体制が「やや不満」「不満」を合わせた『不満』が44.1%となっています。

全体(N=481)

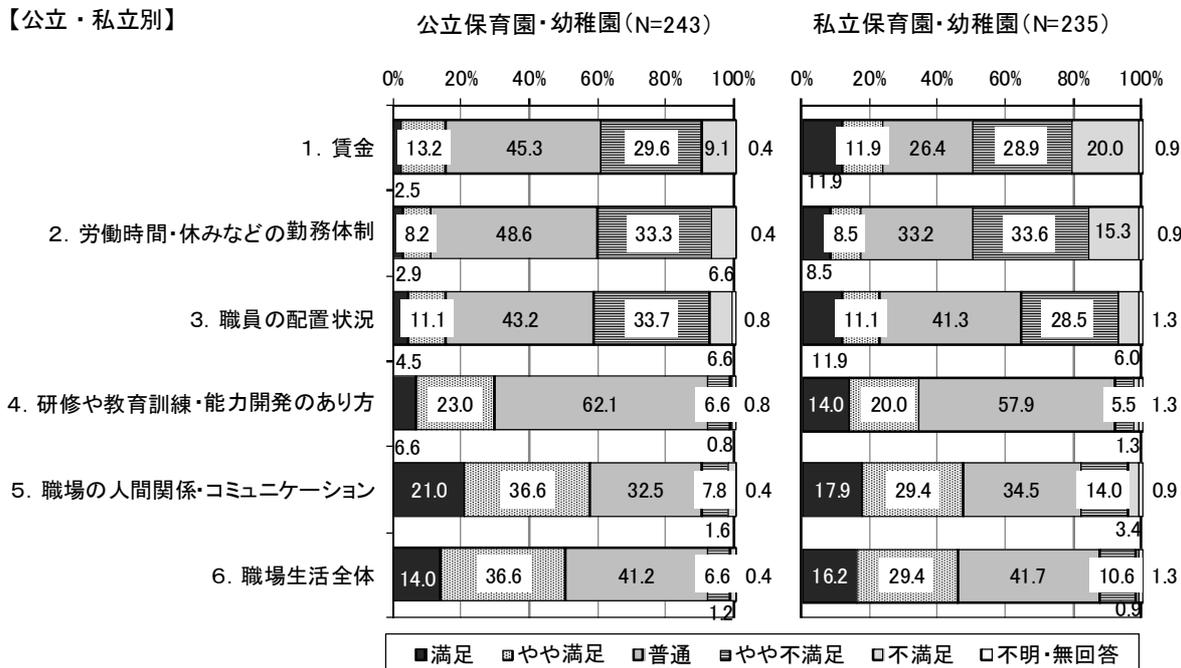


仕事の満足度について保育園と幼稚園では、「賃金」と「職員の配置状況」に差がみられます。公立と私立では、「賃金」「労働時間・休みなどの勤務体制」「職員の配置状況」に差がみられます。

【保育園・幼稚園別】



【公立・私立別】

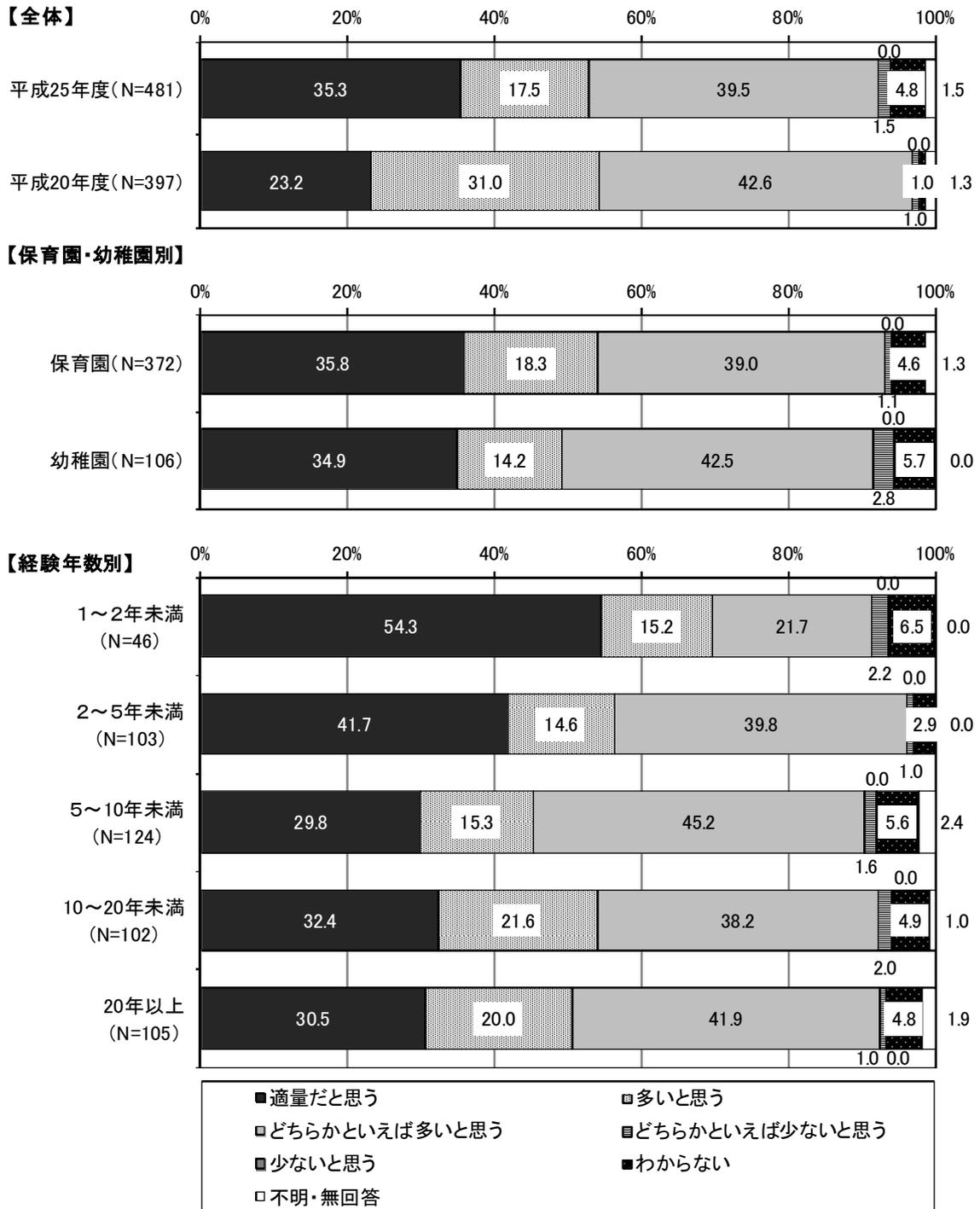


(5) あなたに任された現在の仕事量は適量だと思いますか。〈単数回答〉

〔園職員調査…問5〕

現在の仕事量についてみると、「どちらかといえば多いと思う」が39.5%となっています。前回調査時と比べて、「適量だと思う」と答えた人が増えています。保育園と幼稚園では、保育園で「多いと思う」と答えた人が多くなっています。

経験年数別では、5年未満で「適量だと思う」が40.0%以上となっています。10年以上で「多いと思う」が20.0%以上となっています。

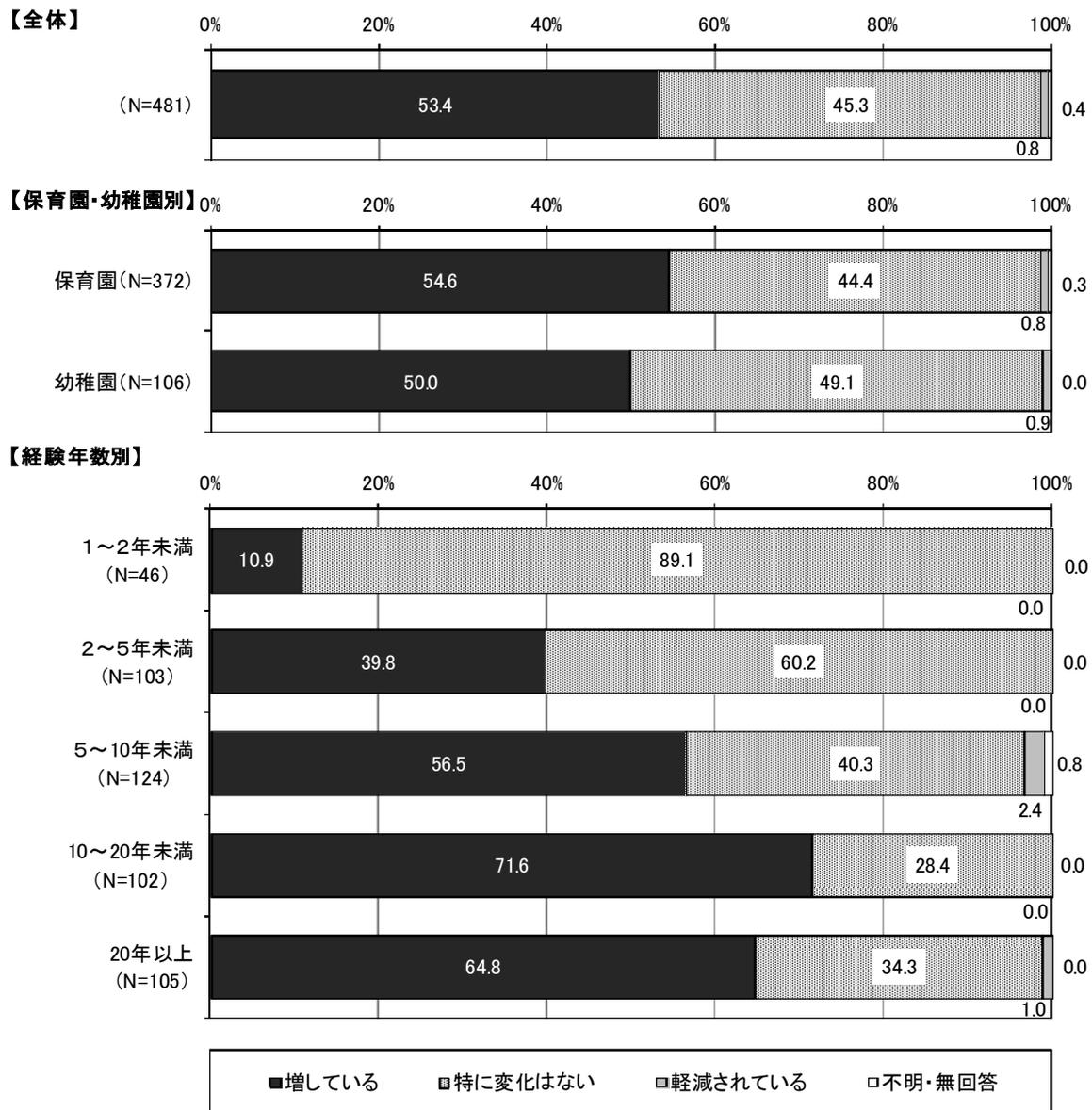


(6) ここ数年の間で、あなたの勤務負担は増えていますか。それとも軽減されていますか。〈単数回答〉

〔園職員調査…問6〕

勤務負担は増えているかについてみると、「増えている」が53.4%となっています。保育園と幼稚園では、保育園で「増えている」と答えた人が多くなっています。

経験年数別では、10年以上で「増えている」が60.0%以上となっています。



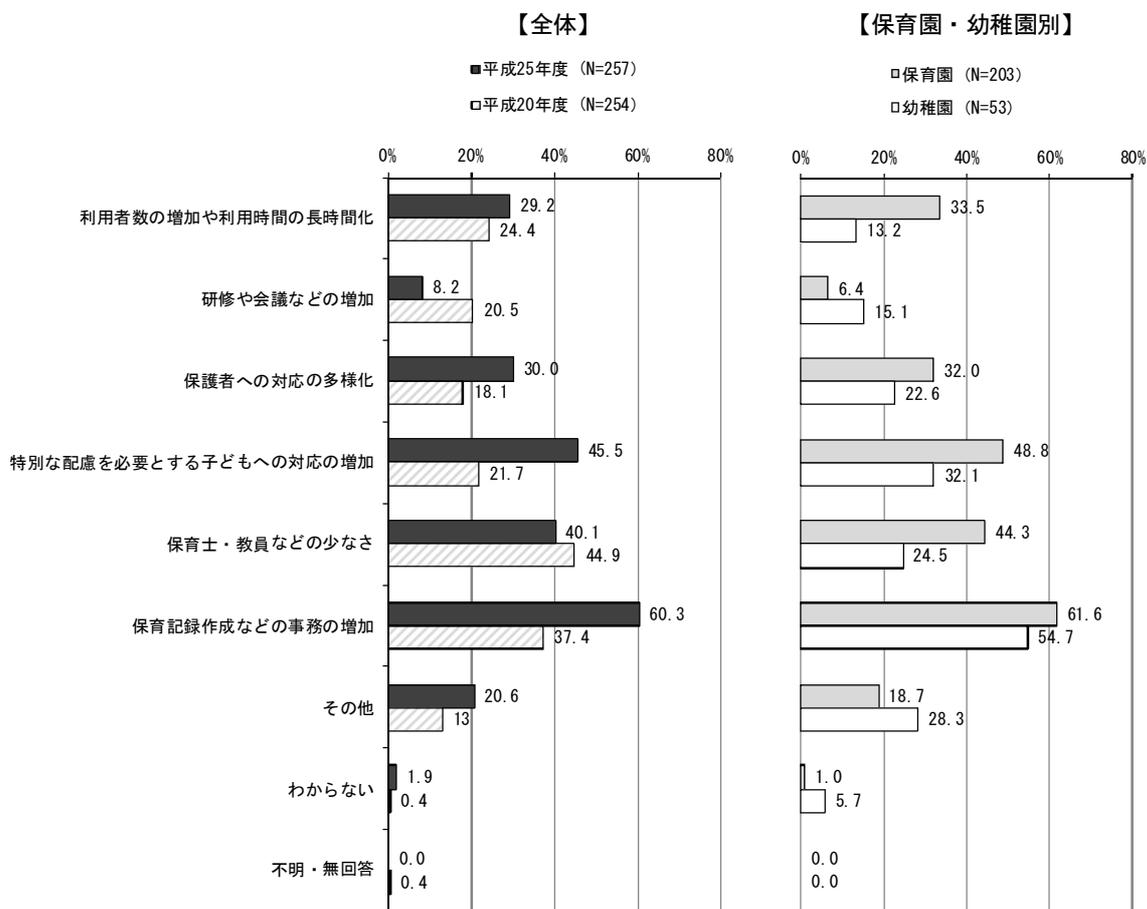
(7) 負担が増してきた主な原因は何だと思いますか。〈複数回答〉

〔園職員調査…問6-1〕

負担が増してきた主な原因についてみると、「保育記録作成などの事務の増加」が60.3%となっています。前回調査時と比べて、「特別な配慮を必要とする子どもへの対応の増加」「保育記録作成などの事務の増加」と答えた人が増えています。

保育園では、幼稚園と比べて、「特別な配慮を必要とする子どもへの対応の増加」「保育士・教員などの少なさ」「利用者数の増加や利用時間の長時間化」と答えた人が多くなっています。

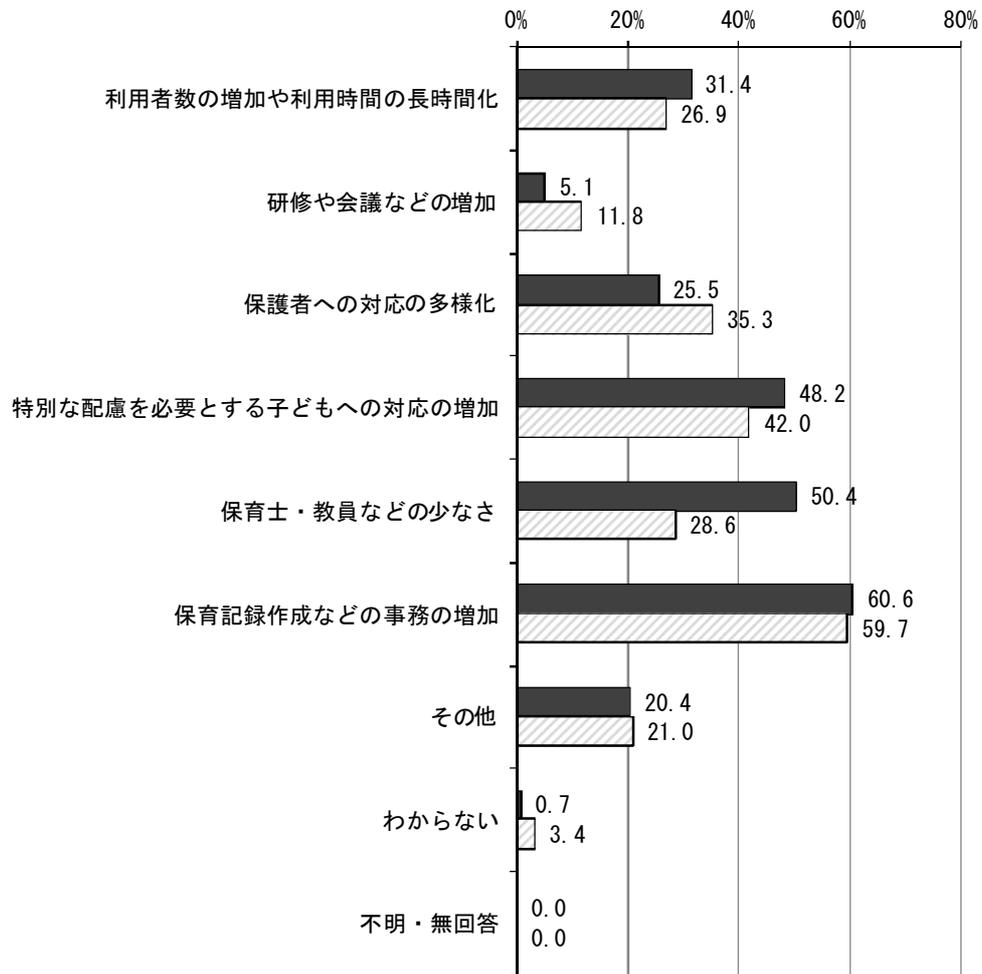
公立では、私立と比べて、「保育士・教員などの少なさ」と答えた人が多く、私立では、公立と比べて、「保護者への対応の多様化」と答えた人が多くなっています。



【公立・私立別】

■公立保育園・幼稚園 (N=137)

□私立保育園・幼稚園 (N=119)

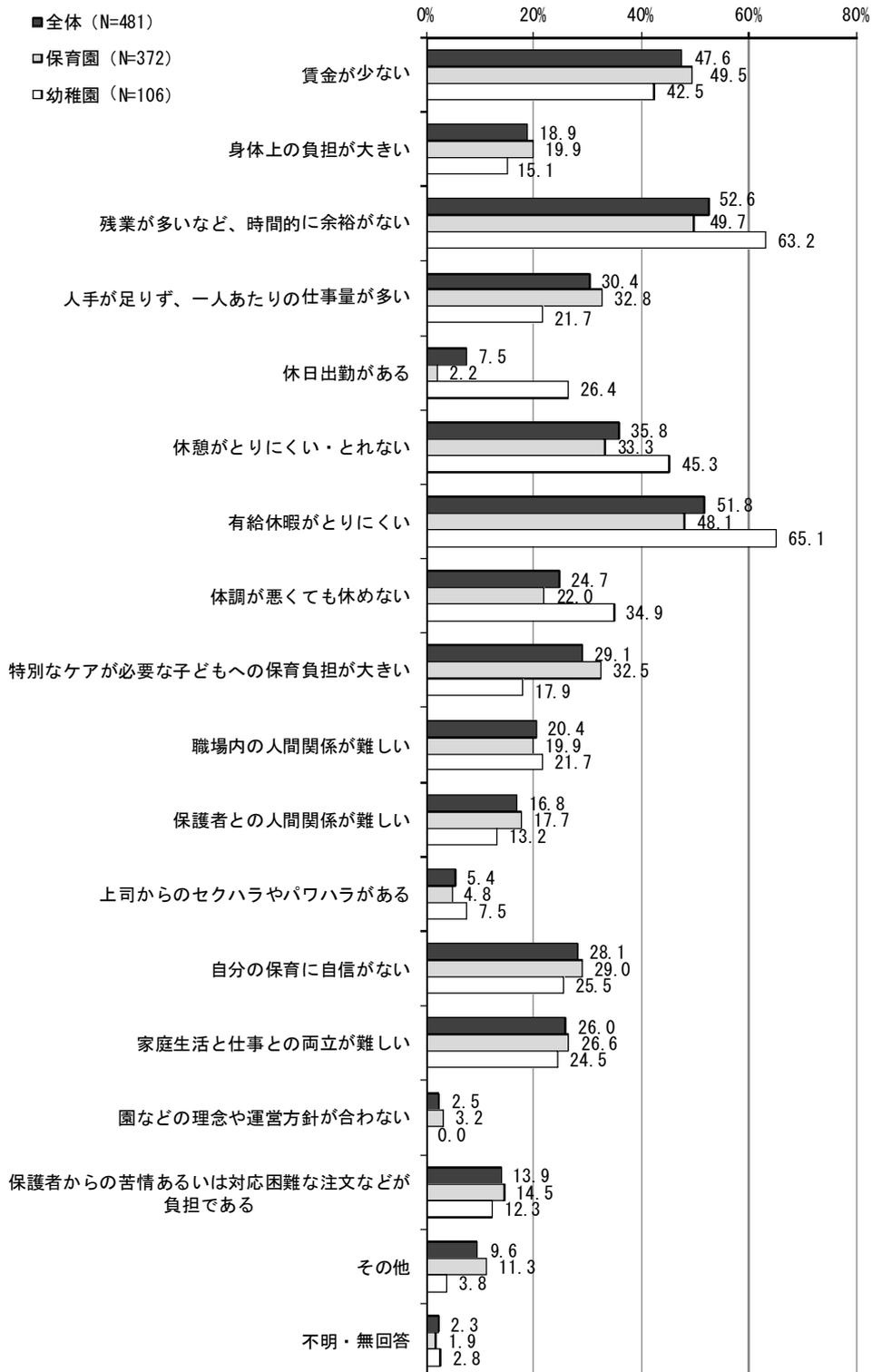


(8) 労働条件・仕事の負担に関して以下のような悩み・不満などはありますか。〈複数回答〉

[園職員調査…問7]

労働条件・仕事の負担に関する悩み・不満についてみると、「残業が多いなど、時間的に余裕がない」が52.6%、「有給休暇がとりにくい」が51.8%となっています。

保育園では、「賃金が少ない」が49.5%、「残業が多いなど、時間的に余裕がない」が49.7%となっています。幼稚園では、「残業が多いなど、時間的に余裕がない」が63.2%、「有給休暇がとりにくい」が65.1%となっています。



労働条件・仕事の負担に関する悩み・不満についてみると、私立保育園・幼稚園では、「賃金が少ない」が51.9%、「休憩がとりにくい・とれない」が49.8%、「有給休暇がとりにくい」が62.1%となっています。

保育経験年数5～10年では、「賃金が少ない」が62.9%、「残業が多いなど、時間的に余裕がない」が59.7%となっています。保育経験年数1～5年未満では、「自分の保育に自信がない」が5割以上となっています。

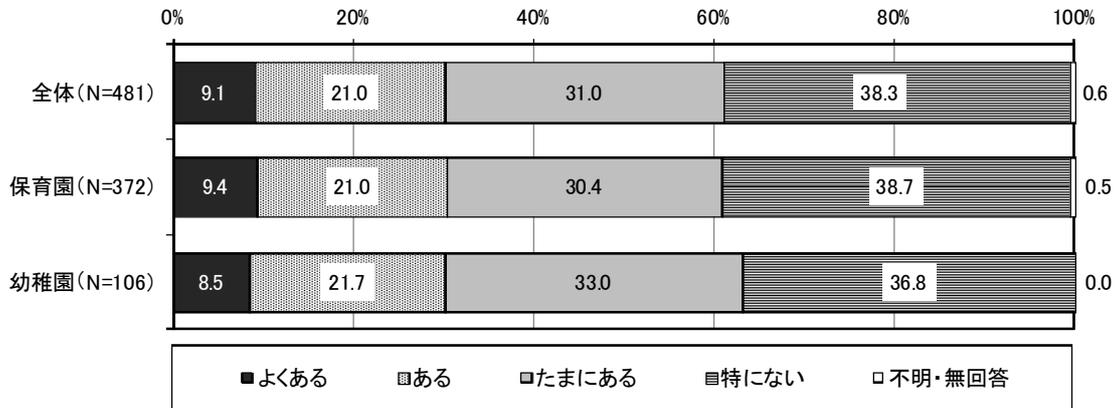
単位:%	賃金が少ない	身体上の負担が大きい	残業が多いなど、時間的に余裕がない	人手が足りず、一人あたりの仕事量が多い	休日出勤がある	休憩がとりにくい・とれない	有給休暇がとりにくい	体調が悪くても休めない	特別なケアが必要な子どもへの保育負担が大きい
公立保育園・幼稚園 (N=243)	44.0	19.3	51.4	37.0	12	22.6	42.0	18.1	35.0
私立保育園・幼稚園 (N=235)	51.9	18.3	54.0	23.4	14.0	49.8	62.1	31.9	23.4
	職場内の人間関係が難しい	保護者との人間関係が難しい	上司からのセクハラやパワハラがある	自分の保育に自信がない	家庭生活と仕事との両立が難しい	園などの理念や運営方針が合わない	保護者からの苦情あるいは対応困難な注文などが負担である	その他	不明・無回答
公立保育園・幼稚園 (N=243)	17.7	14.8	4.9	30.0	30.0	1.2	14.4	14.0	2.5
私立保育園・幼稚園 (N=235)	23.0	18.7	6.0	26.4	22.1	3.8	13.6	5.1	1.7

単位:%	賃金が少ない	身体上の負担が大きい	残業が多いなど、時間的に余裕がない	人手が足りず、一人あたりの仕事量が多い	休日出勤がある	休憩がとりにくい・とれない	有給休暇がとりにくい	体調が悪くても休めない	特別なケアが必要な子どもへの保育負担が大きい
1～2年未満 (N=46)	43.5	17.4	56.5	15.2	15.2	34.8	41.3	23.9	17.4
2～5年未満 (N=103)	50.5	15.5	54.4	22.3	4.9	32.0	43.7	27.2	19.4
5～10年未満 (N=124)	62.9	19.4	59.7	37.1	12.1	43.5	58.9	28.2	29.0
10～20年未満 (N=102)	46.1	24.5	52.0	34.3	5.9	35.3	55.9	23.5	39.2
20年以上 (N=105)	30.5	17.1	41.9	33.3	2.9	31.4	52.4	20.0	34.3
	職場内の人間関係が難しい	保護者との人間関係が難しい	上司からのセクハラやパワハラがある	自分の保育に自信がない	家庭生活と仕事との両立が難しい	園などの理念や運営方針が合わない	保護者からの苦情あるいは対応困難な注文などが負担である	その他	不明・無回答
1～2年未満 (N=46)	13.0	15.2	0.0	56.5	6.5	2.2	6.5	0.0	2.2
2～5年未満 (N=103)	16.5	15.5	2.9	53.4	14.6	1.9	11.7	5.8	1.0
5～10年未満 (N=124)	25.8	16.1	8.9	28.2	29.0	2.4	12.9	9.7	2.4
10～20年未満 (N=102)	18.6	18.6	6.9	10.8	50.0	4.9	14.7	13.7	1.0
20年以上 (N=105)	22.9	18.1	4.8	7.6	19.0	1.0	20.0	13.3	3.8

**(9) 今の職場・施設をやめる、あるいは、保育園・幼稚園の仕事からの転職を
考えることはありますか。〈単数回答〉**

〔園職員調査…問8〕

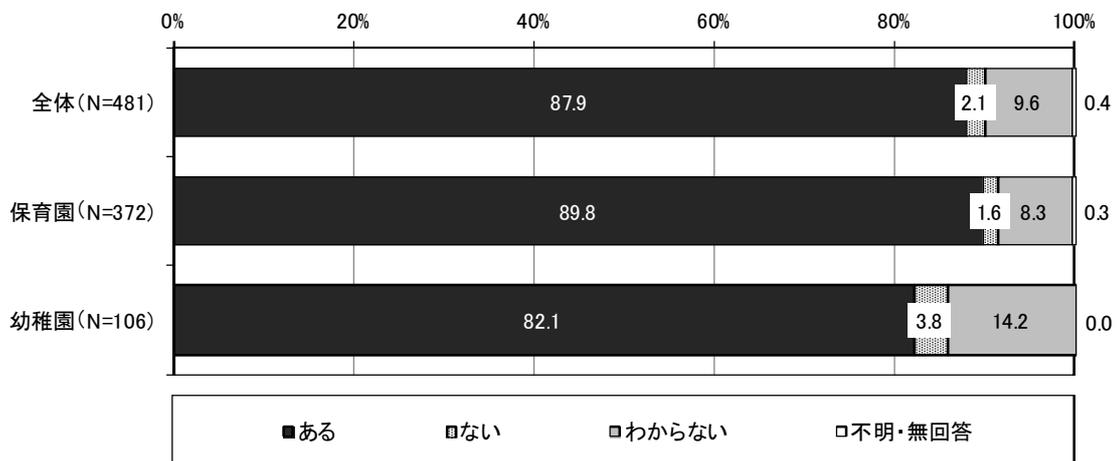
転職を考えたことについてみると、「よくある」が9.1%となっています。一度でも転職を考えたことがある人は61.1%となっています。



(10) 自分の知識や専門性を高めるため、研修などへの参加意向はありますか。〈単数回答〉

〔園職員調査…問9〕

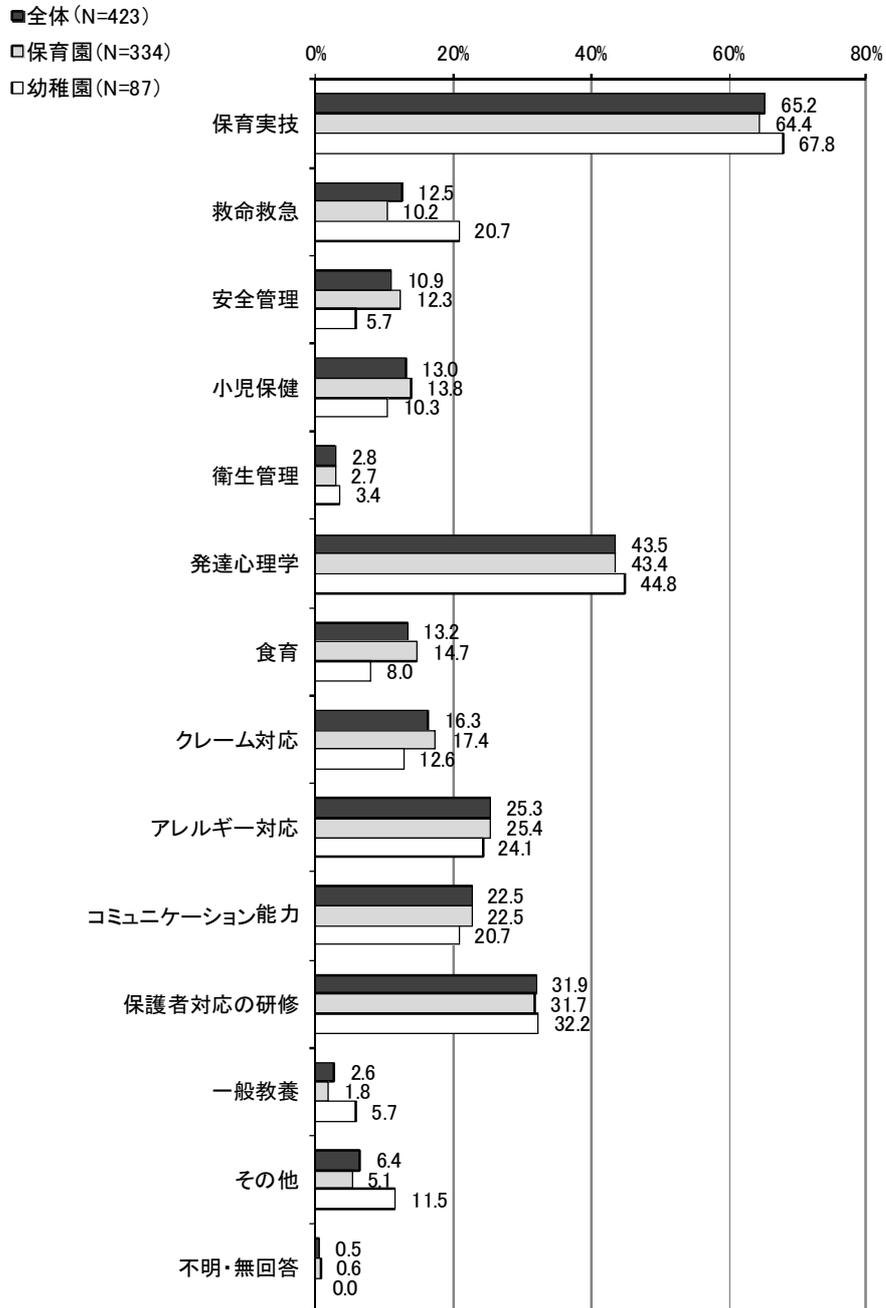
研修などへの参加意向についてみると、「ある」が87.9%となっています。保育園では、「ある」が89.8%、幼稚園では「ある」が82.1%となっています。



(11)保育や幼児教育に関する研修では、どのような内容を希望しますか。〈複数回答〉

[園職員調査…問9-1]

希望する保育や幼児教育に関する研修についてみると、「保育実技」が65.2%、「発達心理学」が43.5%となっています。幼稚園では「救命救急」が20.7%となっています。

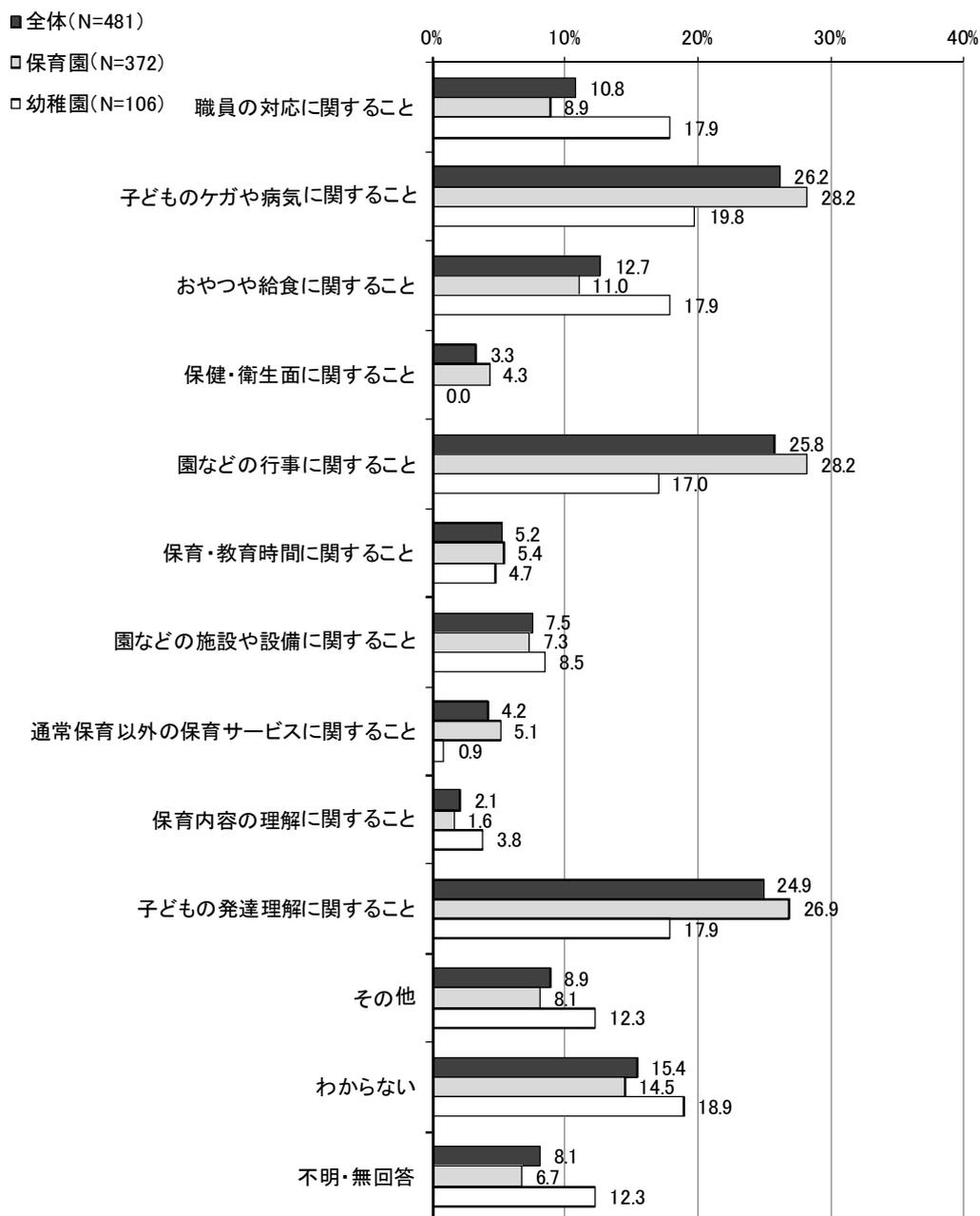


3. 保護者などの状況についてうかがいます

(12)保護者から寄せられる要望としては、どのようなものが多いですか。〈複数回答〉

[園職員調査…問 10]

保護者から寄せられる要望についてみると、「子どものケガや病気に関すること」が26.2%、「園などの行事に関すること」が25.8%、「子どもの発達理解に関すること」が24.9%となっています。幼稚園では「職員の対応に関すること」「おやつや給食に関すること」「子どもの発達理解に関すること」が17.9%となっています。

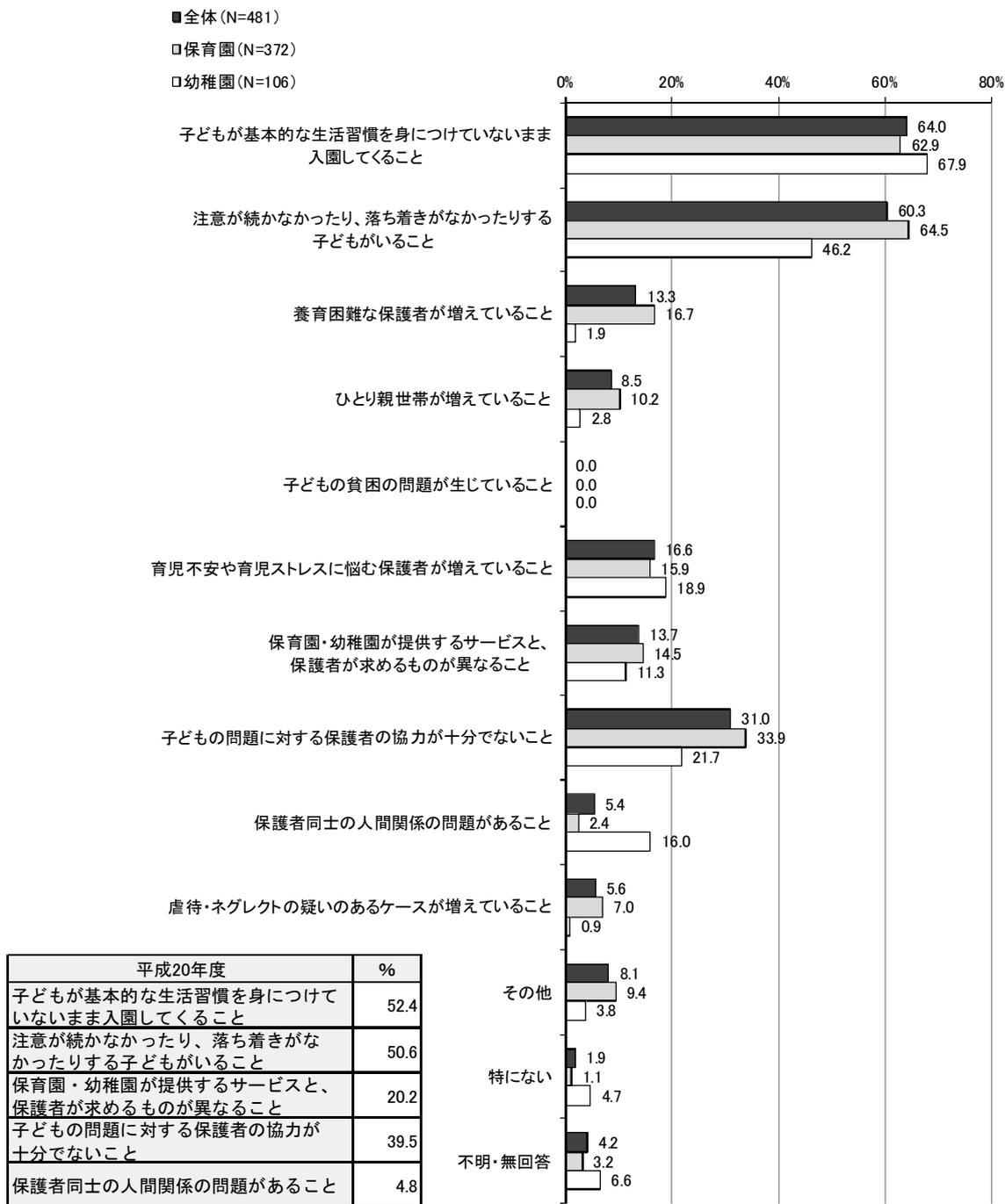


(13) 最近の保護者やその子どもにみられる状況について、特に問題だと思うことは何ですか。〈複数回答〉

[園職員調査…問 11]

特に問題だと思うことについてみると、「子どもが基本的な生活習慣を身につけていないまま入園してくること」が64.0%、「注意が続かなかったり、落ち着きがなくなったりする子どもがいること」が60.3%となっています。

保育園では、「子どもの問題に対する保護者の協力が十分でないこと」が33.9%、「養育困難な保護者が増えていること」が16.7%となっています。幼稚園では、「保護者同士の人間関係の問題があること」が16.0%となっています。



平成20年度	%
子どもが基本的な生活習慣を身につけていないまま入園してくること	52.4
注意が続かなかったり、落ち着きがなくなったりする子どもがいること	50.6
保育園・幼稚園が提供するサービスと、保護者が求めるものが異なること	20.2
子どもの問題に対する保護者の協力が十分でないこと	39.5
保護者同士の人間関係の問題があること	4.8

4. 保育園・幼稚園職員の自由回答

区分	主な意見内容	件数
「(保育)サービス」に関する	保育所 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育内容の情報公開をしてほしい ・ 他の市(公立)の取り組みや岡崎市の取り組みをオープンにしてほしい ・ 3歳未満児の受け入れをしてほしい ・ 利用書類の簡素化、IT化をしてほしい ・ 障がい児に対しても平等な保育環境にしてほしい 	21
	幼稚園 <ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい児の理解と受け入れをしてほしい ・ 市立の園も給食センターから給食を配送してほしい 	8
「子育て支援」に関する	家庭 <ul style="list-style-type: none"> ・ 親が子どもをみられる環境づくりを考えてほしい ・ 子どもにとっての保育が保護者にとっての利益に傾いている 	7
	その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの未来にとって何が大切かを考えてほしい ・ 子どもの立場でサービスを検討してほしい ・ 子どものための保育、そのための親支援を充実させていきたい 	4
「教育」に関する	学校教育 <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもに関する教育機関は、無償であると良い 	2
「情報」に関する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者への大切な連絡(台風による弁当持参、行事の有無など)を小学校のように一斉メールをすることはできないか 	1
「行政」に関する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 途中入所や特例入所などの手続きを保育課で行えないか ・ 保育園入園の審査を的確にしてほしい 	4
待遇改善要望に関する	業務量 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人員を増やしてほしい ・ 休みが取りやすい、取りにくいがあるので平等にしてほしい ・ 持ち帰り仕事を減らしてほしい ・ 用事がなくても有給がとれるようにしてほしい ・ 嘱託保育士の労働時間が短くなり、正規保育士の負担が増えている ・ パート保育士が多く連携がうまくいかない ・ 保育士への負担は増えるばかりである ・ 自分の家庭・育児が犠牲になっている状況である 	37
	人員 <ul style="list-style-type: none"> ・ 正規職員の増員をしてほしい ・ 嘱託保育士の増加により正規保育士の負担が大きい ・ 保育園にも事務担当職員を1人確保してほしい ・ 保育士の人数を増やしてほしい 	31
	賃金 <ul style="list-style-type: none"> ・ 給与面の待遇改善をしてほしい ・ 残業代を増額してほしい ・ 仕事量に対して賃金がみあわない ・ 資格を取得すると基本給があがるなどの制度がほしい 	20
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育や福祉関係の予算を減らさないでほしい ・ 衛生面に対する指導が多い ・ 研修に参加したい 	11

5. 保育園・幼稚園職員調査結果の総括

仕事や職場の環境について

仕事にやりがいや充実感を持っている職員は6割強であり、ここ5年間においても、仕事にやりがいや充実感を持っていると答えた人が増えています。仕事への満足度についても、職場の人間関係・コミュニケーションに満足している職員は5割に上ります。

現在の仕事量についてみると、「どちらかといえば多いと思う」が4割弱となっています。なかでも、保育園で仕事量が多いと思うと答えた人が多く、結果「職員の配置状況」「勤務体制」に対する不満にもつながっていることが伺えます。また、経験豊富な職員に仕事が偏っている可能性が示唆されます。

業務負担の主な原因では「保育記録作成などの事務の増加（6割）」ですが、「特別な配慮を必要とする子どもへの対応」も負担の原因になっています。業務の負担軽減や職員確保による体制の強化などが求められます。

研修について

研修などへの参加意向がある職員は9割弱となっています。希望する研修内容は「保育実技（6割強）」「発達心理学（4割強）」となっています。研修の実施にあたり、情報提供をはじめ、質の向上に向けた支援策が求められます。

職員からみた保護者や子どもに関する問題について

日頃から子どもやその保護者と関わっている職員からみて、特に問題と思うことでは、「子どもが基本的な生活習慣を身につけていないまま入園してくること（6割強）」、「注意が続かなかつたり、落ち着きがなかつたりする子どもがいること（6割）」となっています。前回調査時と比べて、「子どもが基本的な生活習慣を身につけていないまま入園してくること」「注意が続かなかつたり、落ち着きがなかつたりする子どもがいること」はおよそ1割増えています。子育ての方法をはじめ、子どもを育てる親のあり方について学ぶ機会の提供や支援が必要です。

4.

調査結果(事業所)

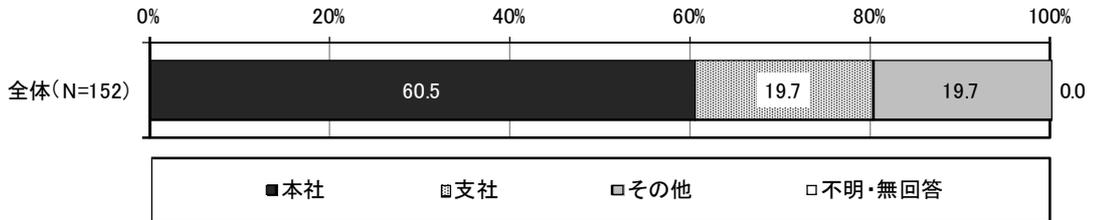


1. 貴事業所についてうかがいます

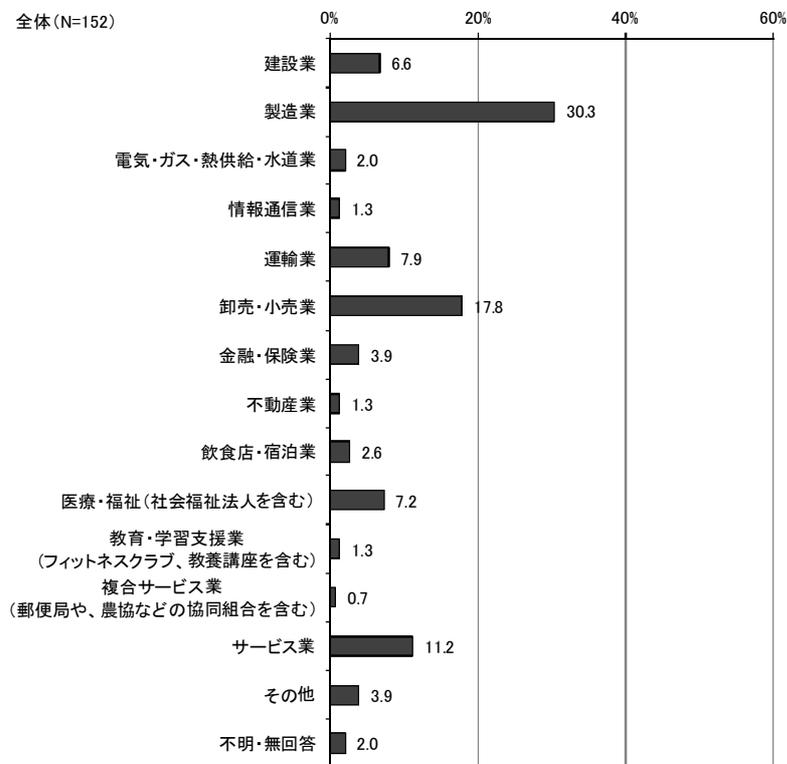
(1) 貴事業所の概要についてお答えください。〈単数回答〉

[事業所調査…問2]

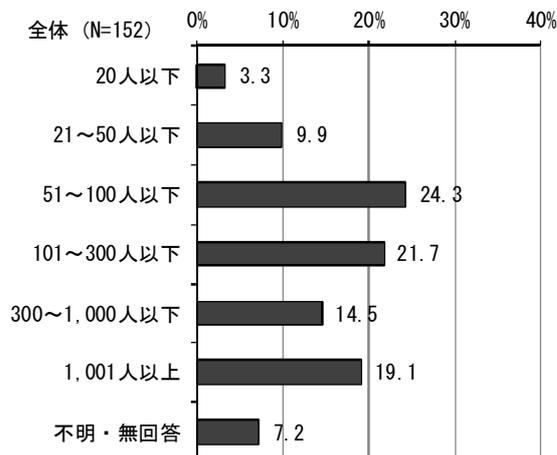
① 貴事業所の性格



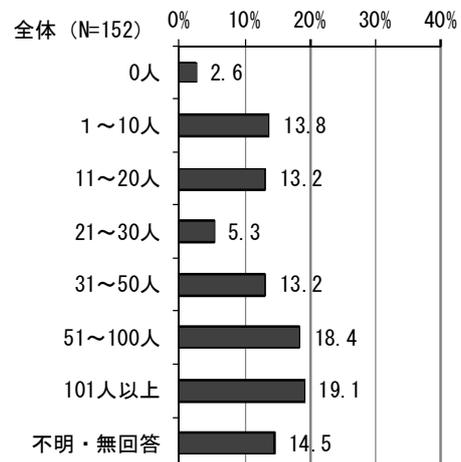
② 企業の業種



③ 全社人数 (数量回答)



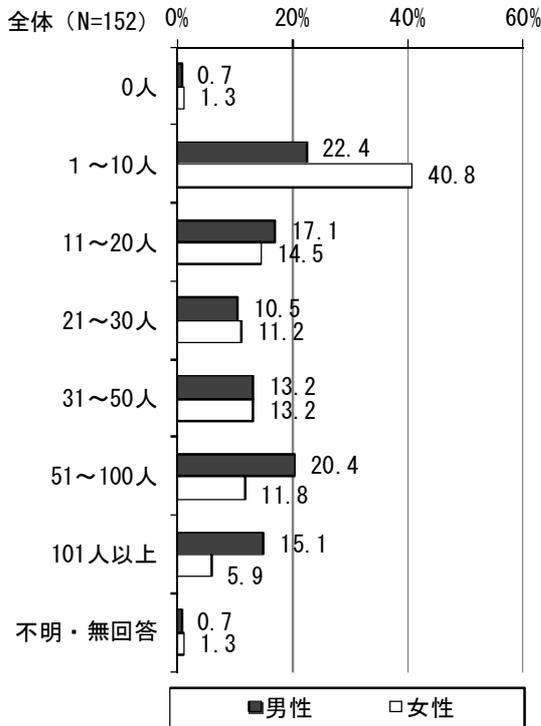
④ 貴事業所人数 (数量回答)



(2) 貴事業所の従業員の状況についてお答えください。〈数量回答〉

[事業所調査…問3]

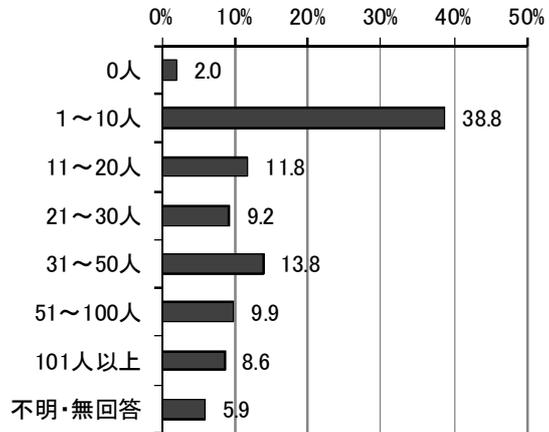
①従業員数



②従業員のうち、配偶者のいる者の数

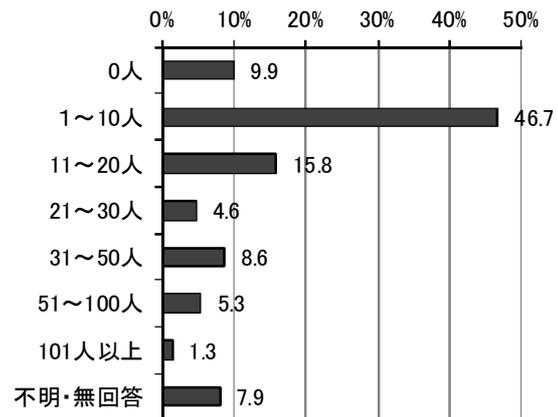
男性従業員で配偶者がいる者(既婚者)

全体 (N=152)



女性従業員で配偶者がいる者(既婚者)

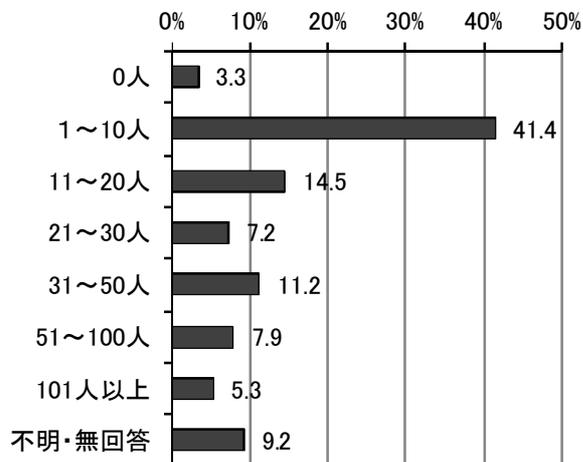
全体 (N=152)



③従業員のうち、子どもがいる者の数

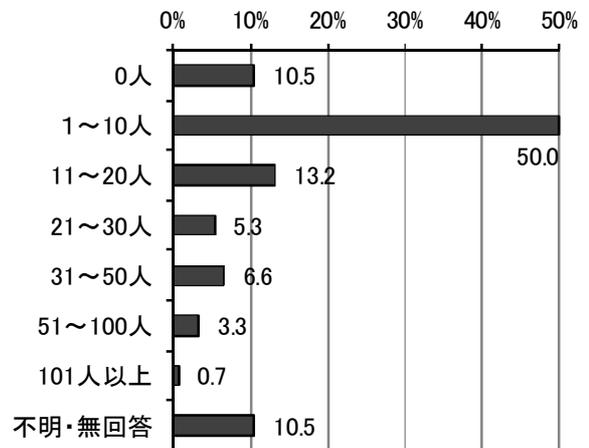
男性従業員で子どもがいる者

全体 (N=152)



女性従業員で子どもがいる者

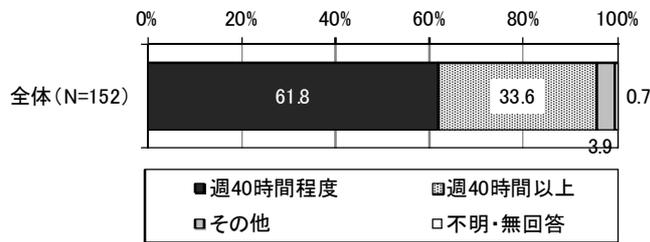
全体 (N=152)



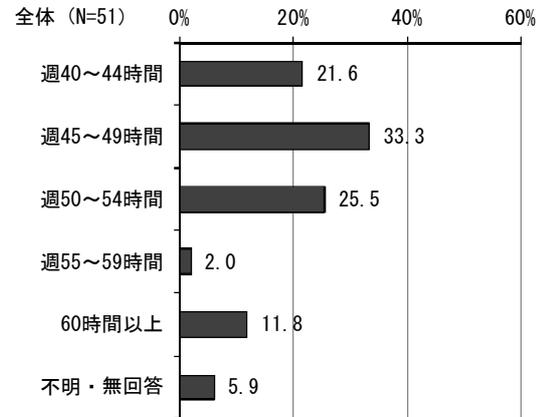
(3) 貴事業所における勤務の状況についてお答えください。〈単数回答〉

[事業所調査…問4]

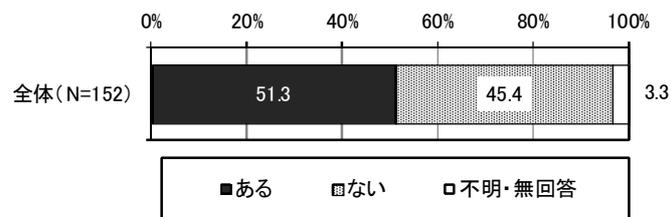
① 平均的な従業員の労働時間



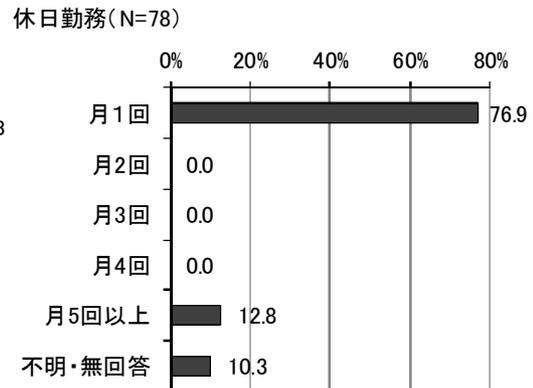
① 週40時間以上である事業所の週の労働時間 (数量回答)



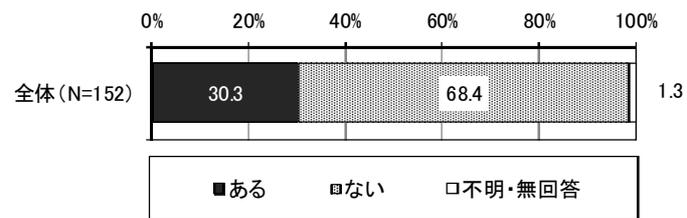
② 休日勤務



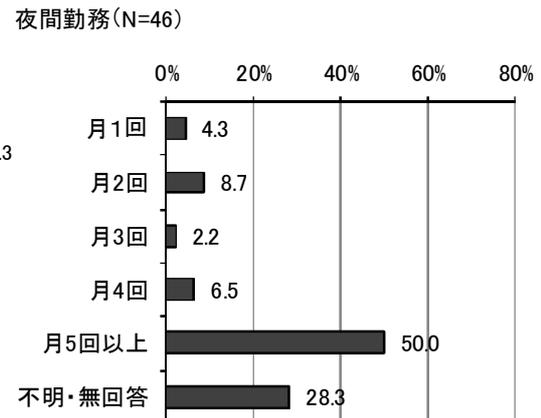
② 休日勤務 [月あたりの回数] (数量回答)



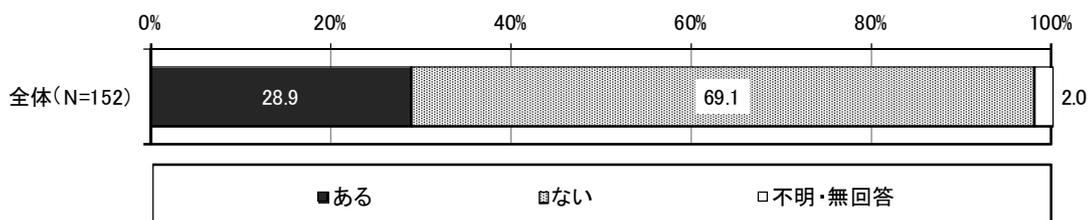
③ 夜間勤務



② 夜間勤務 [月あたりの回数] (数量回答)



④ 勤務状況の男女の差

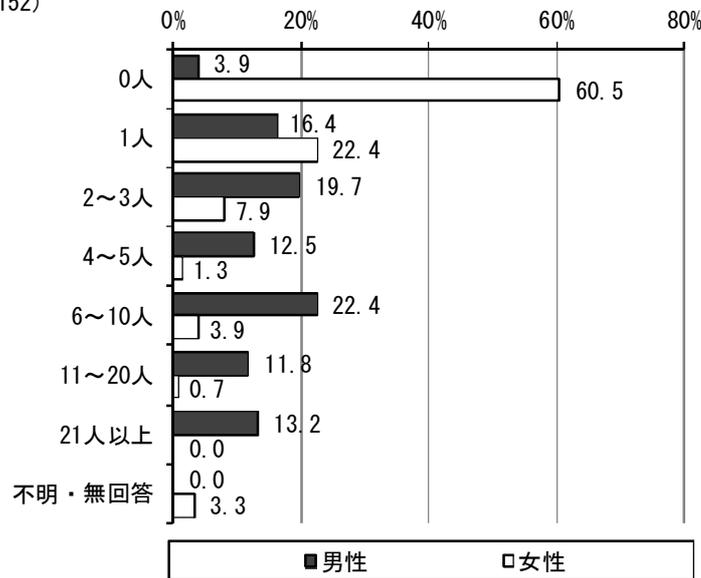


2. 貴事業所の管理職の状況についてうかがいます

(4) 貴事業所における、管理職について男女別に人数をご記入ください。〈数量回答〉

[事業所調査…問5]

全体 (N=152)



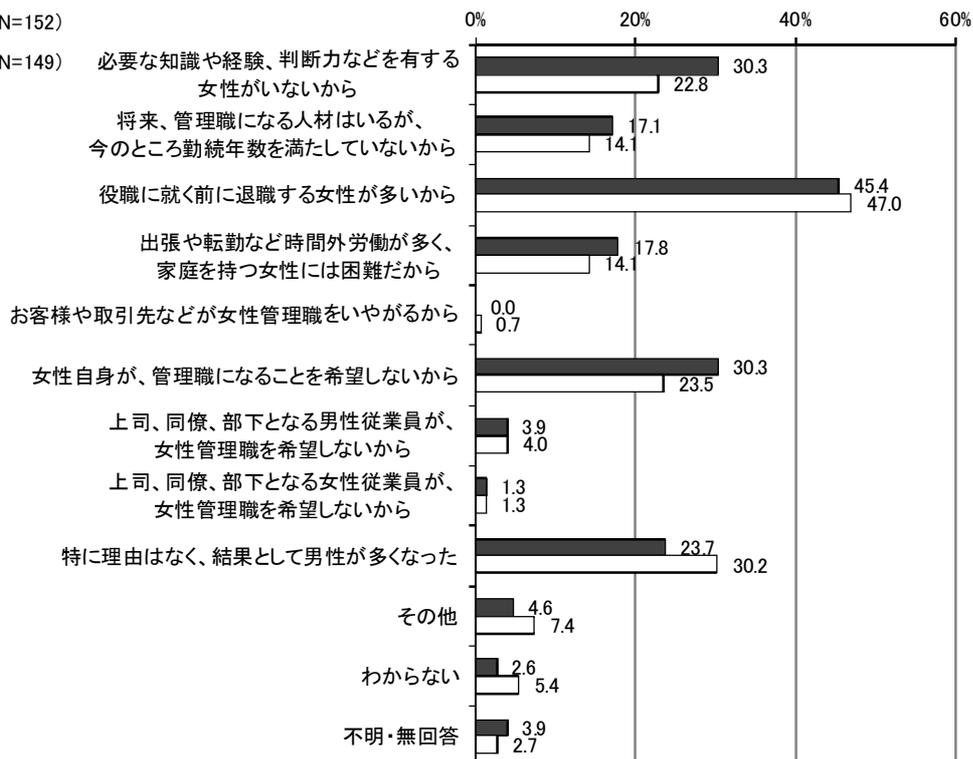
(5) 女性管理職が少ないのは、どのような理由によるものだと思いますか。〈複数回答〉

[事業所調査…問6]

女性管理職が少ない理由についてみると、「役職に就く前に退職する女性が多いから」が45.4%、「必要な知識や経験、判断力などを有する女性がいらないから」「女性自身が、管理職になることを希望しないから」が30.3%となっています。

■平成25年度 (N=152)

□平成20年度 (N=149)



3. 貴事業所の退職・離職の状況についてうかがいます

(6) 過去3年間に退職した女性従業員のうち、結婚や出産を理由に退職した従業員は何割程度を占めますか。〈数量回答〉

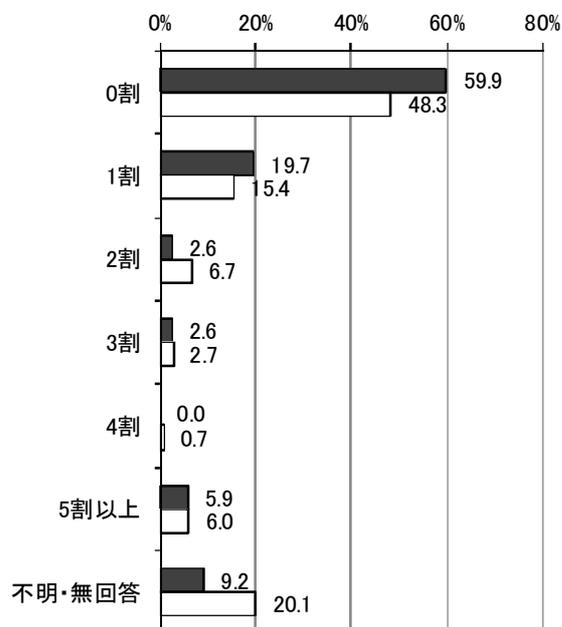
[事業所調査…問7]

過去3年間に結婚や出産を理由に退職した女性従業員についてみると、結婚の場合「0割」が59.9%、出産の場合「0割」が60.5%となっています。前回調査時と比べて、「0割」と答えた事業所が増えていきます。

【結婚の場合】

■平成25年度(N=152)

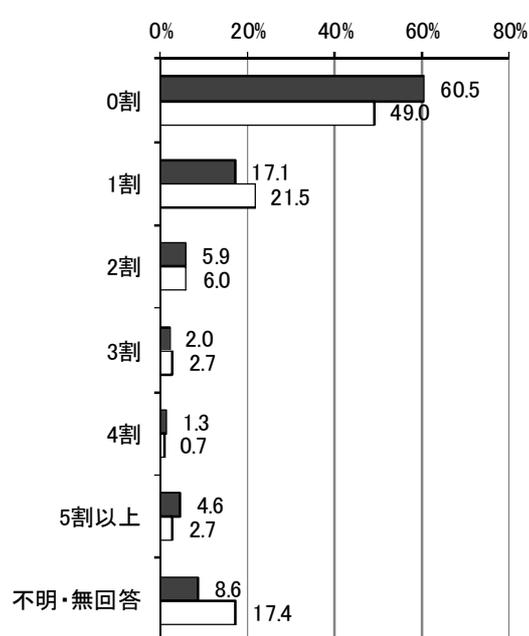
□平成20年度(N=149)



【出産の場合】

■平成25年度(N=152)

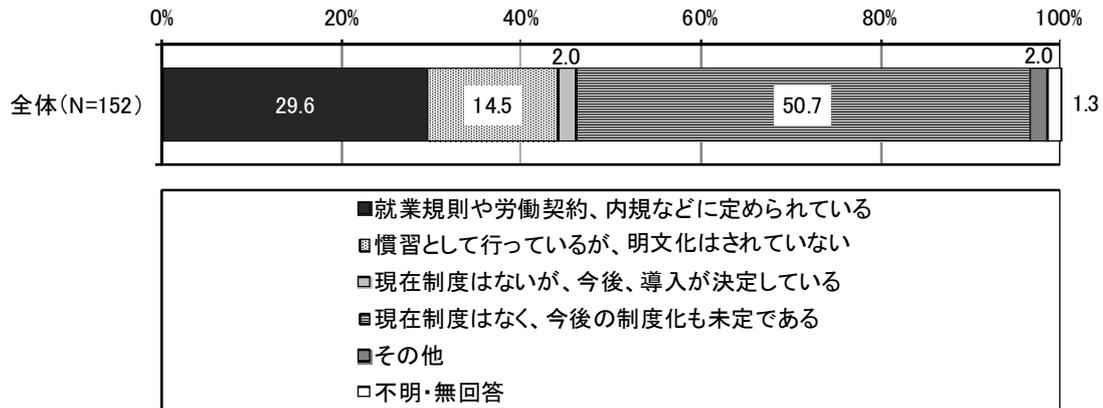
□平成20年度(N=149)



(7) 結婚や妊娠・出産などで退職した女性をもとの勤務先に再雇用することについて就業規則などで規定されていますか。〈単数回答〉

[事業所調査…問8]

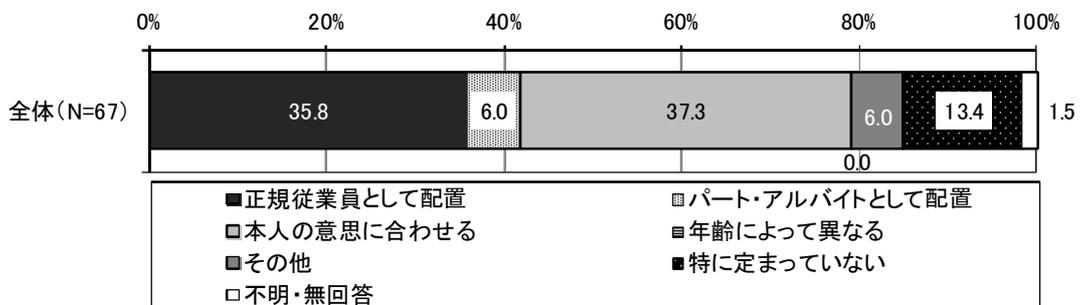
退職した女性を再雇用する就業規則などの規定についてみると、「現在制度はなく、今後の制度化も未定である」が50.7%となっています。



(8) 再雇用後の女性従業員の配置はどのようになっていますか。〈単数回答〉

[事業所調査…問8-1]

再雇用後の女性従業員の配置についてみると、「本人の意思に合わせる」が37.3%、「正規従業員として配置」が35.8%となっています。

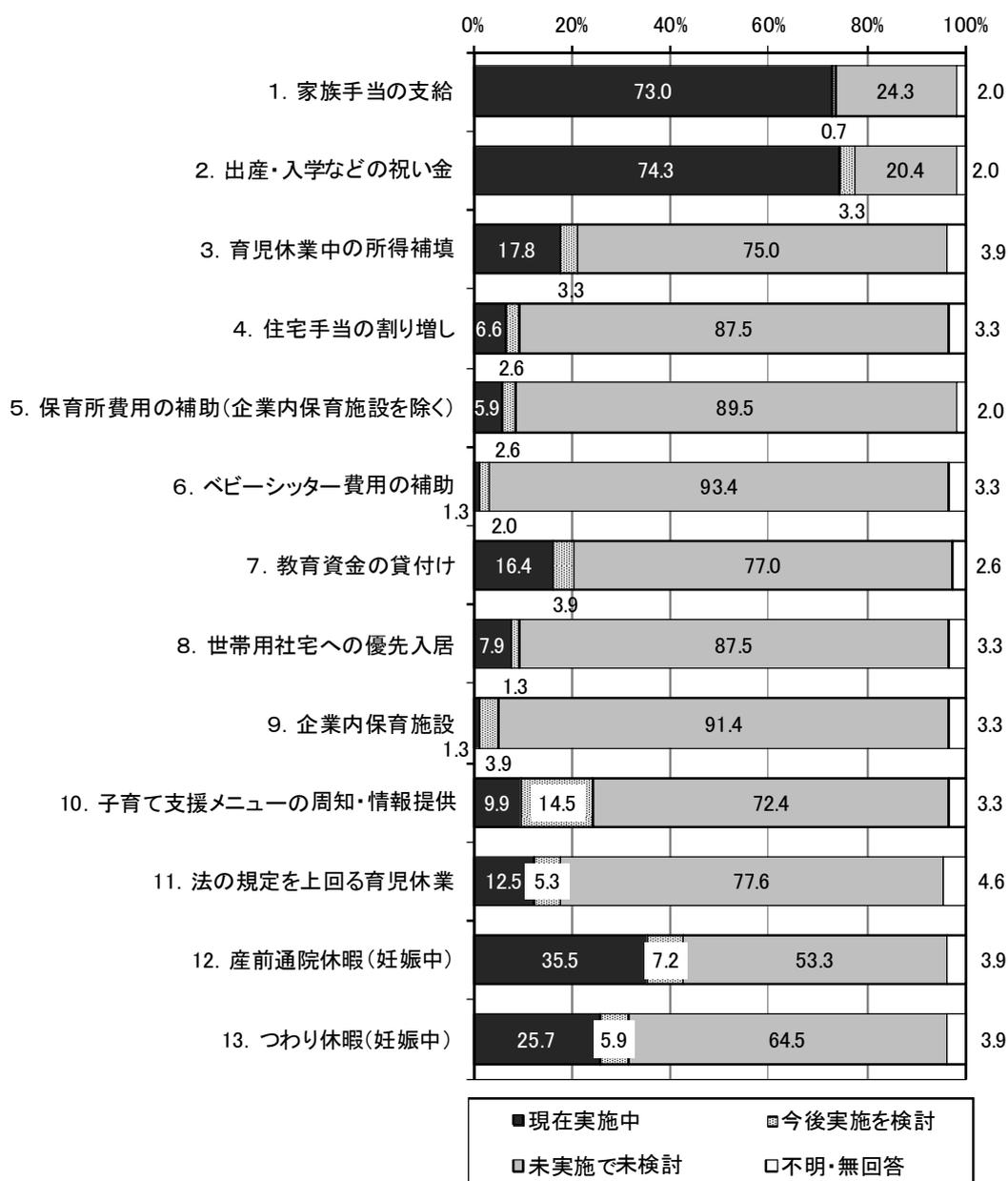


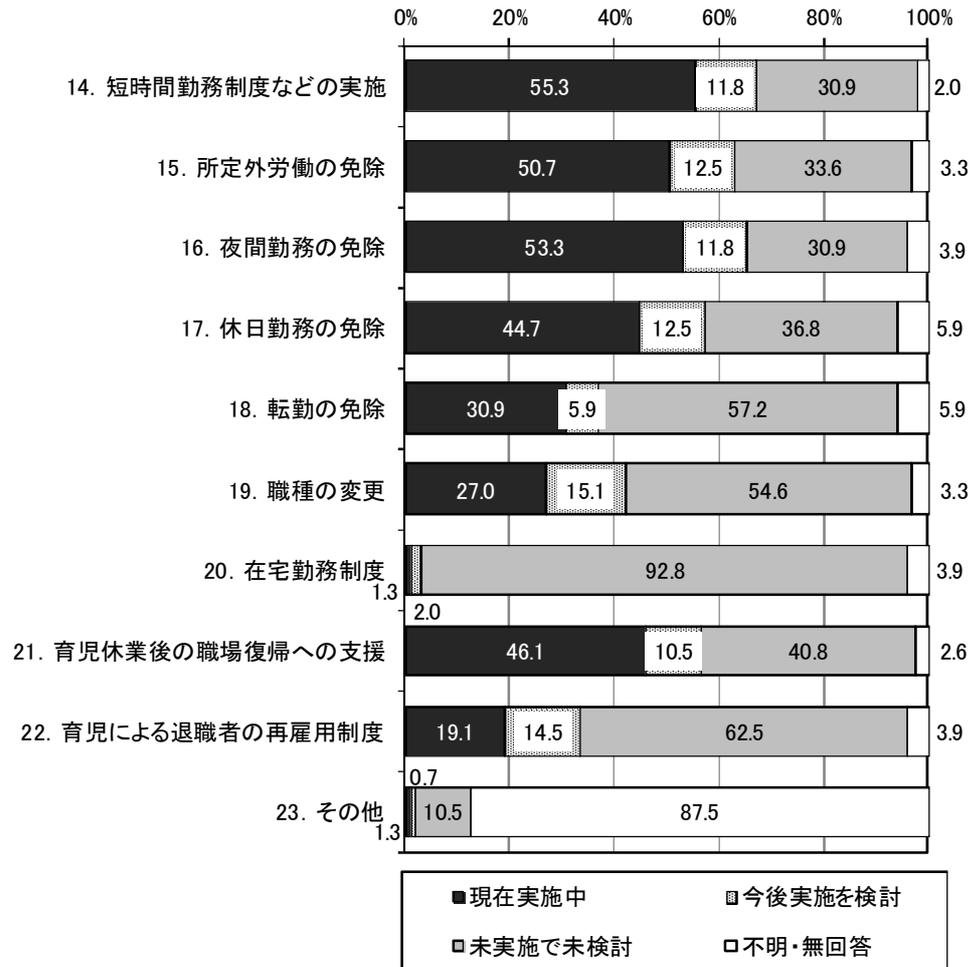
4. 仕事や職場の環境についてうかがいます

(9) 企業の子育て支援制度について、現在実施されているものと、今後実施されるもの、未実施・未検討の支援策についてお答えください。〈単数回答〉

[事業所調査…問9]

企業の子育て支援制度についてみると、家族手当の支給は「現在実施中」が73.0%、出産・入学などの祝い金は「現在実施中」が74.3%と、事業所での実施が進んでいます。企業内保育施設は「未実施で未検討」が91.4%、在宅勤務制度は「未実施で未検討」が92.8%となっています。

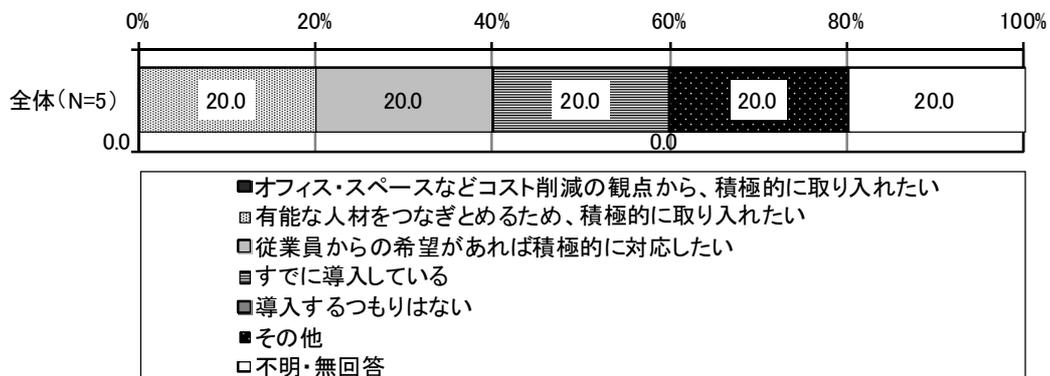




(10)子育て支援を目的とする在宅勤務制度について、貴事業所ではどのようにお考えですか。〈単数回答〉

[事業所調査…問9-1]

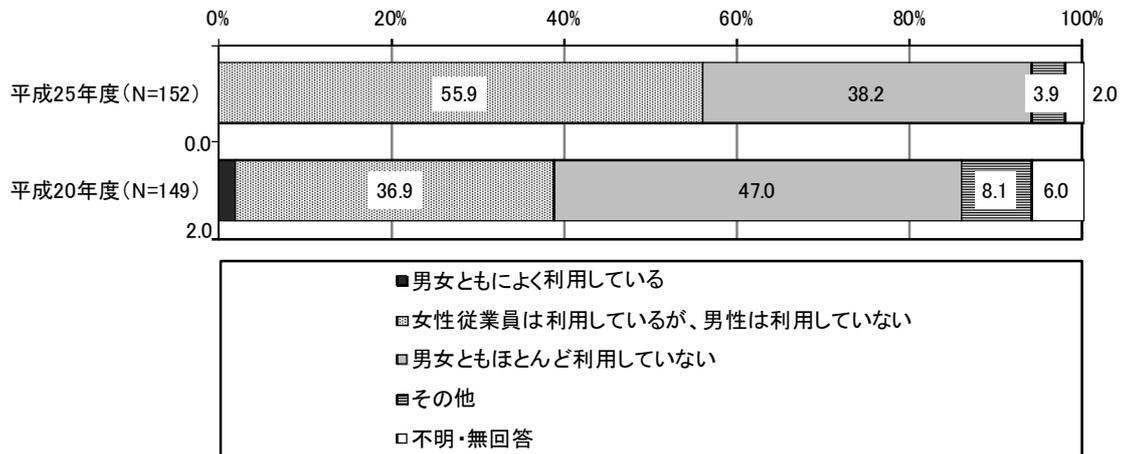
在宅勤務制度を実施あるいは検討している事業所の考えについては以下のとおりとなります。



(11) 育児休業制度についてうかがいます。貴事業所では、従業員の育児休業の取得状況はどうか。〈単数回答〉

[事業所調査…問 10]

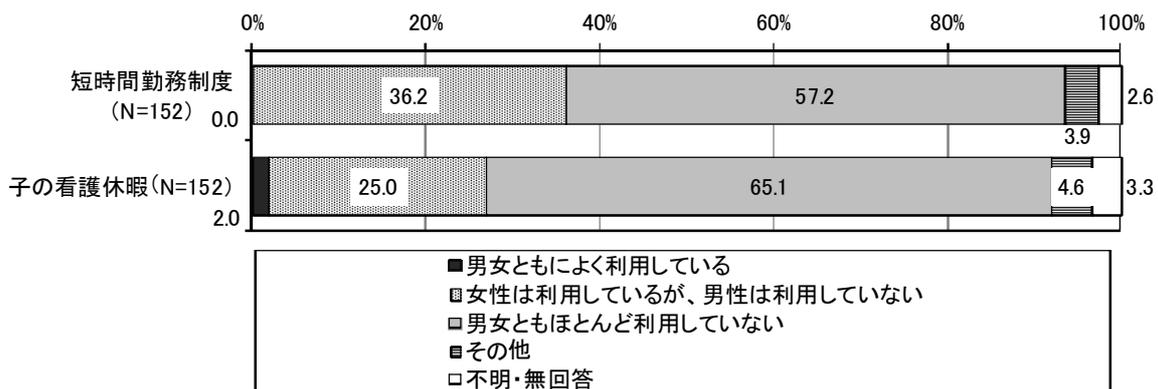
従業員の育児休業の取得状況についてみると、「女性従業員は利用しているが、男性は利用していない」が55.9%となっています。前回調査時と比べて、「女性従業員は利用しているが、男性は利用していない」と答えた事業所が増えています。



(12) 貴事業所では、従業員の「短時間勤務制度の利用状況」や「子の看護休暇の取得状況」はどうか。〈単数回答〉

[事業所調査…問 11]

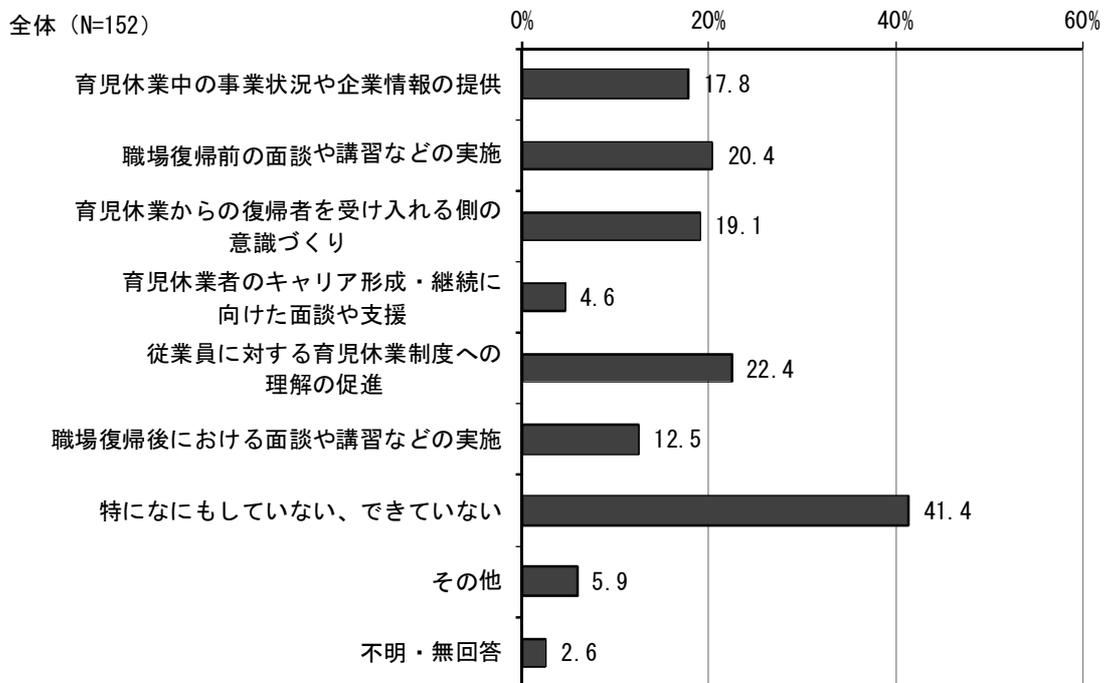
短時間勤務制度の利用状況についてみると、「男女ともほとんど利用していない」が57.2%となっています。子の看護休暇の取得状況についてみると、「男女ともほとんど利用していない」が65.1%となっています。



(13) 企業では、育児休業から職場復帰する従業員に対し、復帰支援として取り組まれていることはありますか。〈複数回答〉

[事業所調査…問 12]

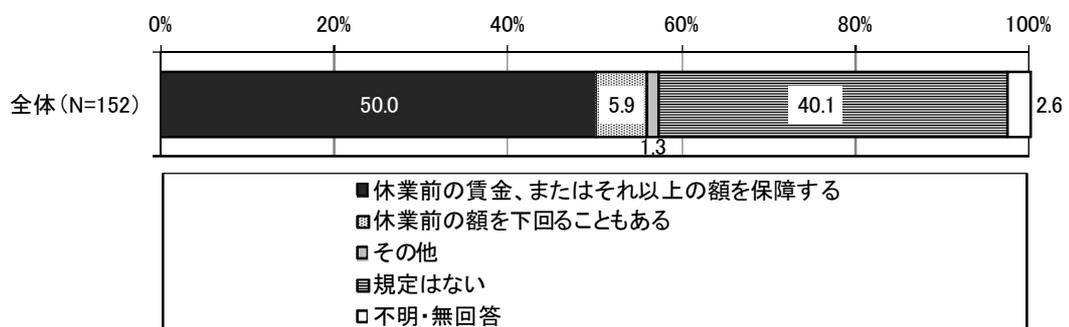
復帰支援として取り組まれていることについてみると、「特になにもしていない、できていない」が41.4%となっています。



(14) 育児休業を終えて職場に復帰した従業員の賃金の取り扱いについて、就業規則などではどのように規定されていますか。〈単数回答〉

[事業所調査…問 13]

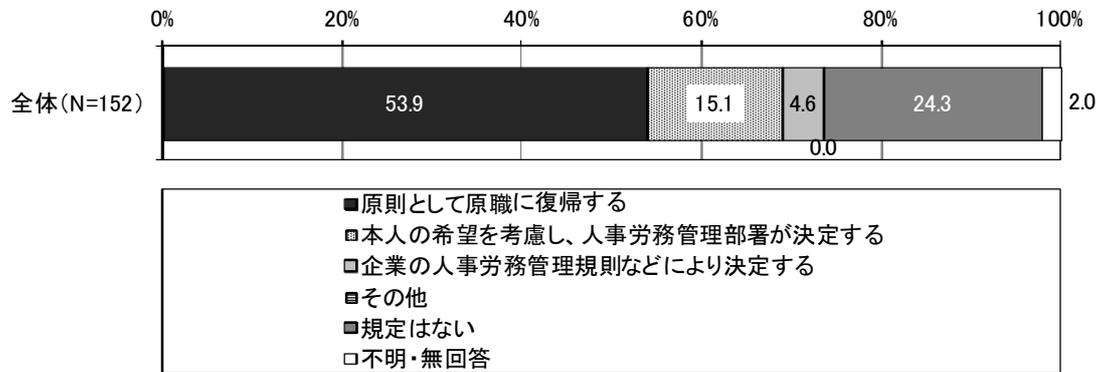
育児休業を終えて職場に復帰した従業員の賃金の取り扱いについてみると、「休業前の賃金、またはそれ以上の額を保障する」が50.0%、「規定はない」が40.1%となっています。



(15) 育児休業を終えて職場に復帰した従業員の配置について、就業規則などではどのように規定されていますか。〈単数回答〉

[事業所調査…問 14]

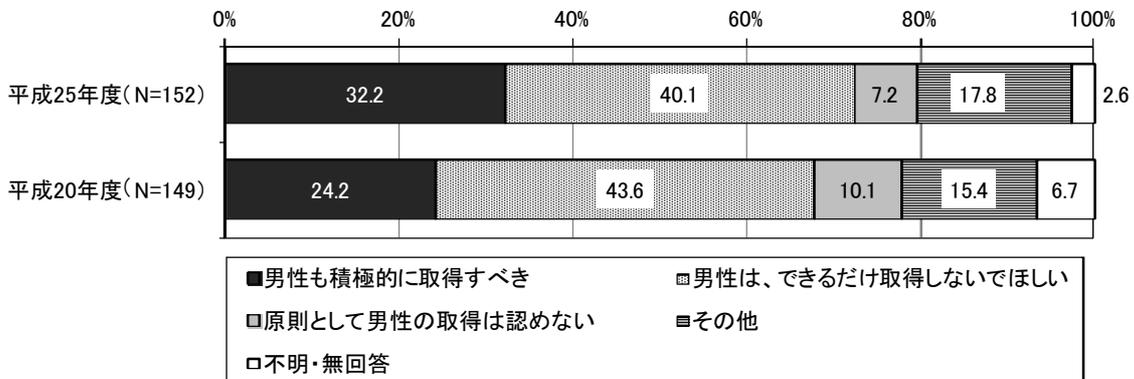
育児休業を終えて職場に復帰した従業員の配置についてみると、「原則として原職に復帰する」が53.9%、「規定はない」が24.3%となっています。



(16) 男性が育児休暇を取得することについて、貴事業所ではどのようにお考えですか。〈単数回答〉

[事業所調査…問 15]

男性が育児休暇を取得することについてみると、「男性は、できるだけ取得しないほしい」が40.1%となっています。前回調査時と比べて、「男性も積極的に取得すべき」と答えた事業所が増えています。

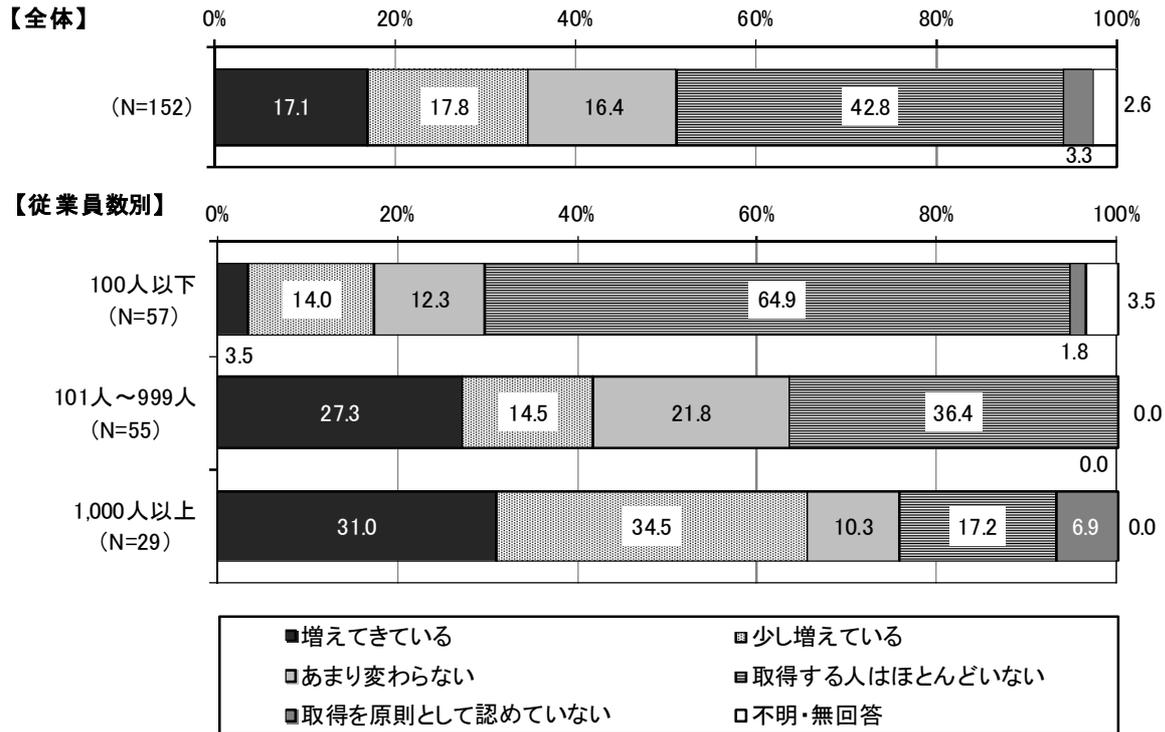


(17)ここ5年間において育児休業や育児休暇を取得する人は増えていますか。〈単数回答〉

[事業所調査…問 16]

ここ5年間において育児休業や育児休暇を取得する人についてみると、「取得する人はほとんどいない」が42.8%となっています。「増えてきている」と「少し増えている」を合わせた『増えた』が34.9%となっています。

従業員数（企業規模）別では、1,000人以上で「増えてきている」と「少し増えている」を合わせた『増えた』が65.5%となっていますが、100人以下では17.5%となっています。



(18) 貴事業所では、育児・介護休業制度を定着させるために特に必要だと思われることはなんですか。〈複数回答〉

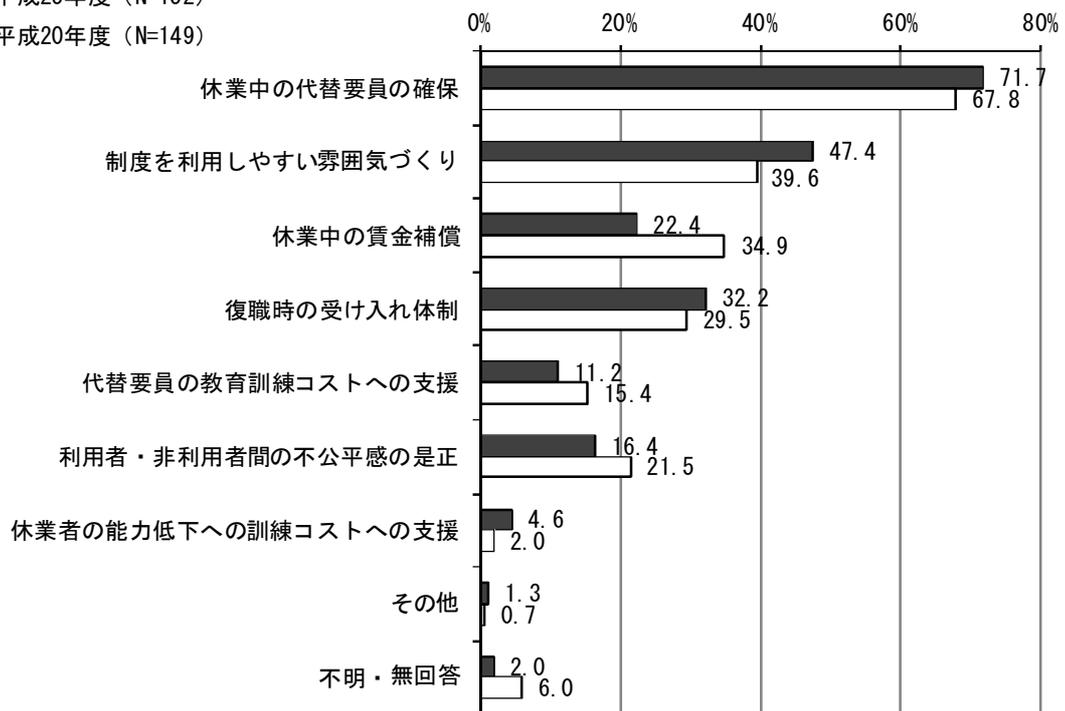
[事業所調査…問 17]

育児・介護休業制度を定着させるために特に必要だと思われることについてみると、「休業中の代替要員の確保」が71.7%となっています。前回調査時と比べて、「制度を利用しやすい雰囲気づくり」が増え、「休業中の賃金補償」と答えた事業所が減っています。

【全体】

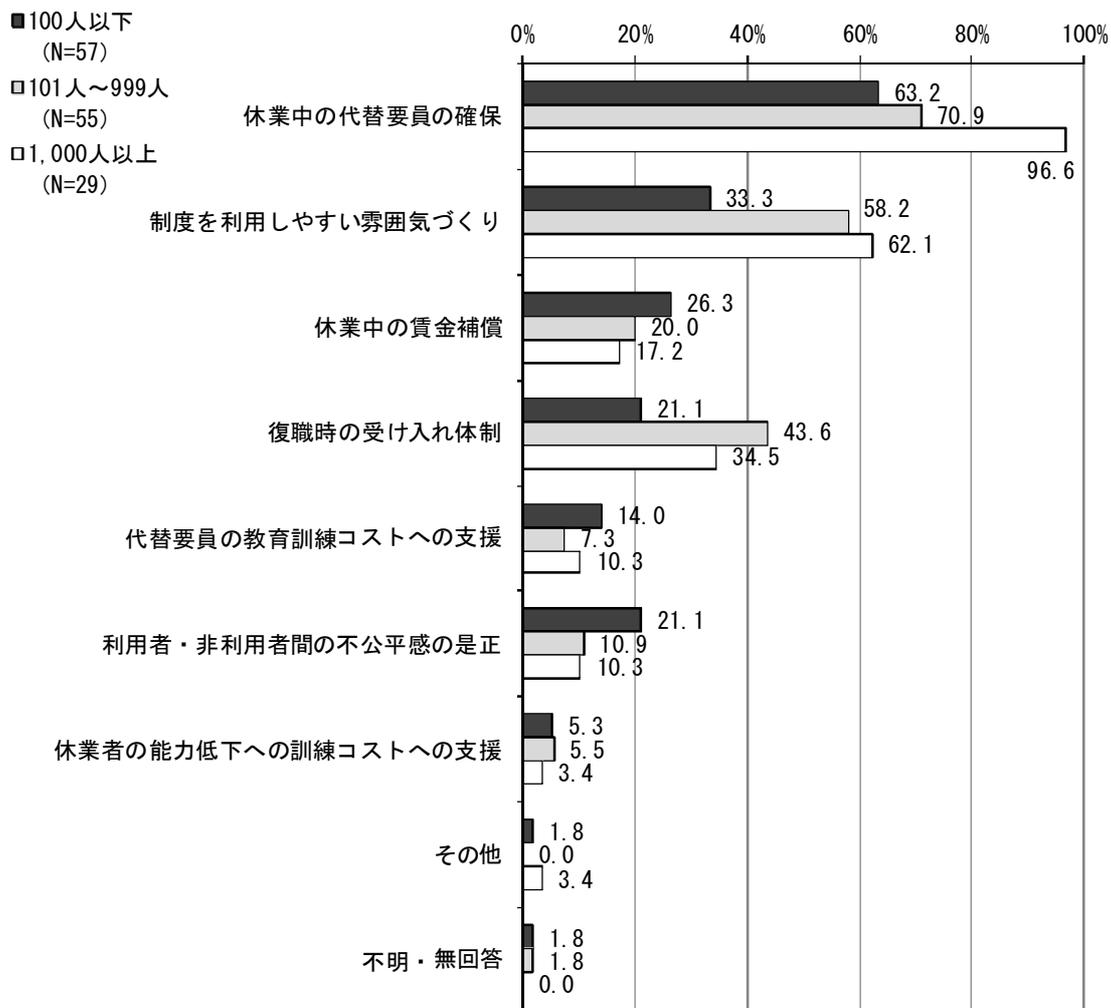
■平成25年度 (N=152)

□平成20年度 (N=149)



従業員数（企業規模）別では、1,000人以上で「休業中の代替要員の確保」が96.6%となっています。100人以下では、「休業中の賃金補償」が26.3%、「利用者・非利用者間の不公平感の是正」が21.1%となっています。従業員数（企業規模）が大きいほど、制度の利用促進に向けた取り組みの回答が高く、小さいほど個々の社員に対して配慮する回答が高くなっています。

【従業員数別】



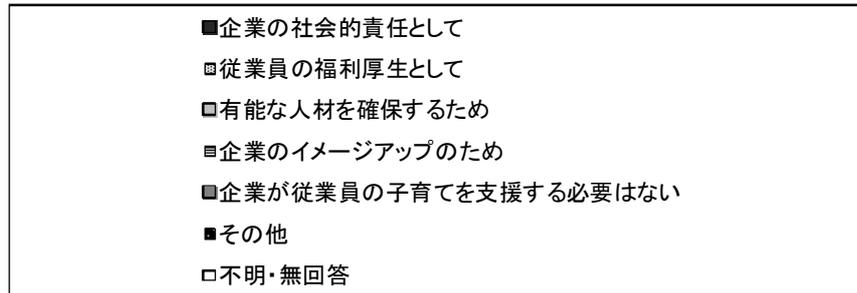
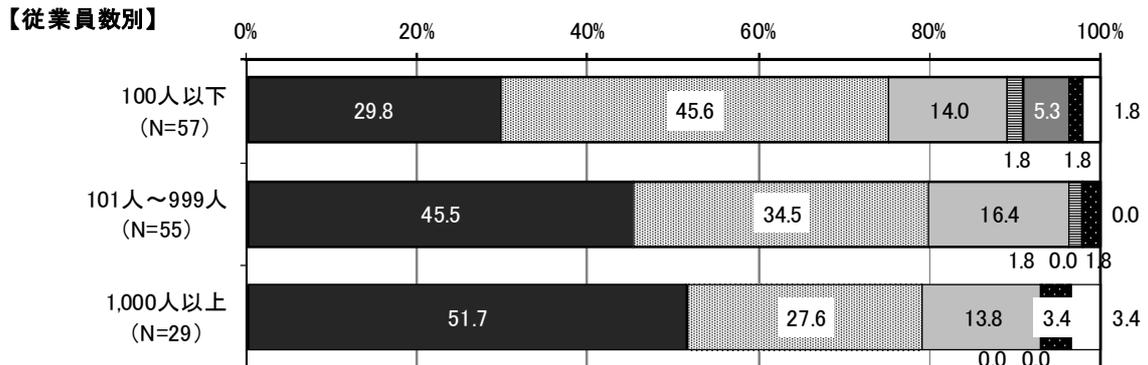
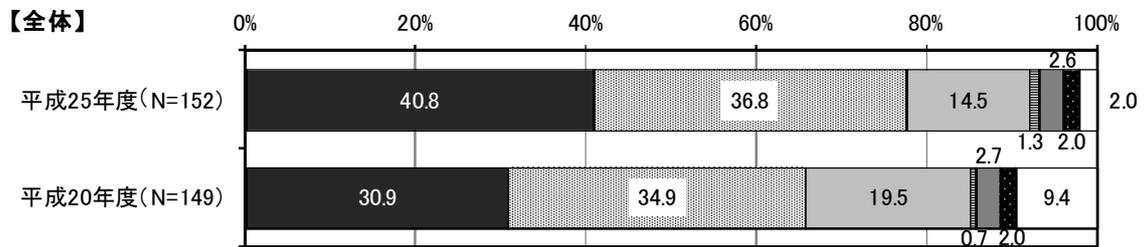
5. 子育て支援についてうかがいます

(19) 従業員の子育て支援について、貴事業所ではどのようにお考えですか。〈単数回答〉

[事業所調査…問 18]

従業員の子育て支援への考えについてみると、「企業の社会的責任として」が40.8%、「従業員の福利厚生として」が36.8%となっています。前回調査時と比べて、「企業の社会的責任として」「従業員の福利厚生として」と答えた事業所が増えています。

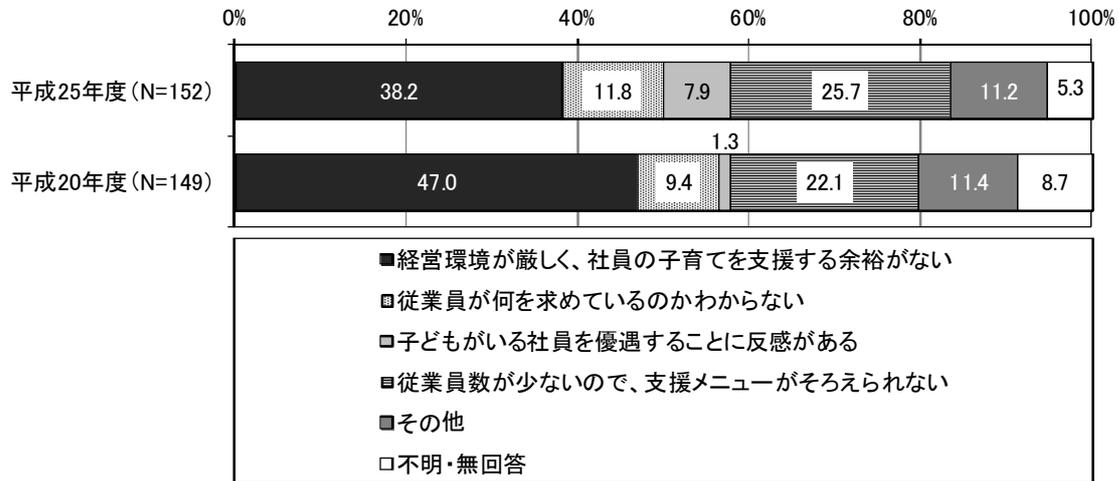
従業員数（企業規模）別では、1,000人以上で「企業の社会的責任として」が51.7%、100人以下では「従業員の福利厚生として」が45.6%となっており、従業員数（企業規模）が大きいくほど、企業の社会的責任への意識が高くなっています。



(20)企業が子育て支援を進めるにあたって、何が問題になるとお思いますか。〈単数回答〉

[事業所調査…問 19]

企業が子育て支援を進めるにあたり問題になることについてみると、「経営環境が厳しく、社員の子育てを支援する余裕がない」が38.2%となっています。前回調査時と比べて、「子どもがいる社員を優遇することに反感がある」と答えた事業所が増えています。

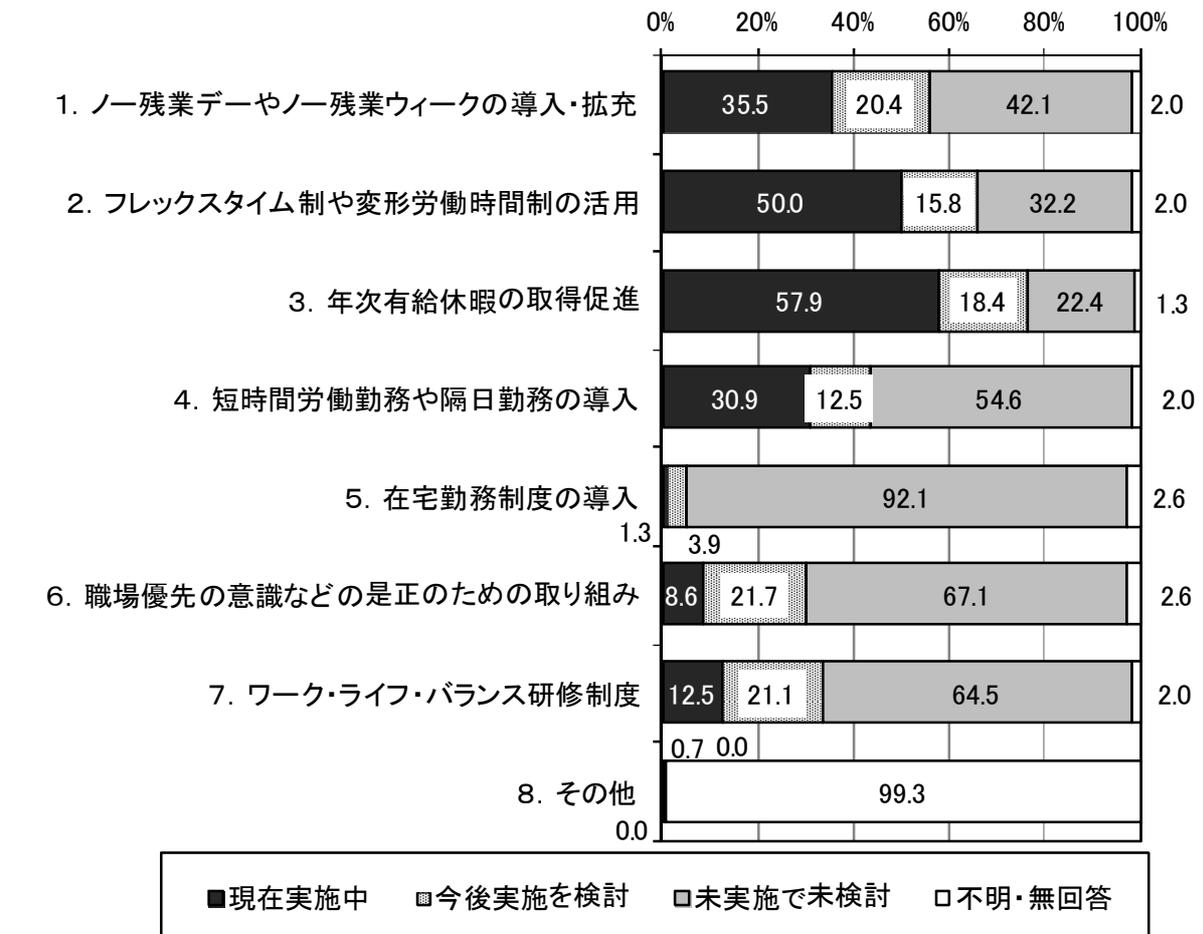


(21)従業員の働き方の見直しについて、企業ではどんなことを実施していますか。〈単数回答〉

[事業所調査…問 20]

従業員の働き方の見直しとして企業で実施していることについてみると、年次有給休暇の取得促進は「現在実施中」が57.9%、フレックスタイム制や変形労働時間制の活用は「現在実施中」が50.0%となっています。

職場優先の意識などの是正のための取り組みは「未実施で未検討」が67.1%、ワーク・ライフ・バランス研修制度は「未実施で未検討」が64.5%となっています。



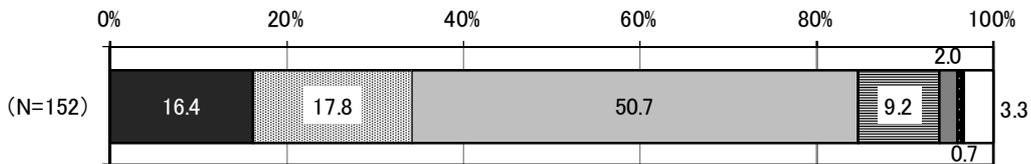
(22)ワーク・ライフ・バランスの推進について、企業における取り組みをどのように思いますか。〈単数回答〉

[事業所調査…問 21]

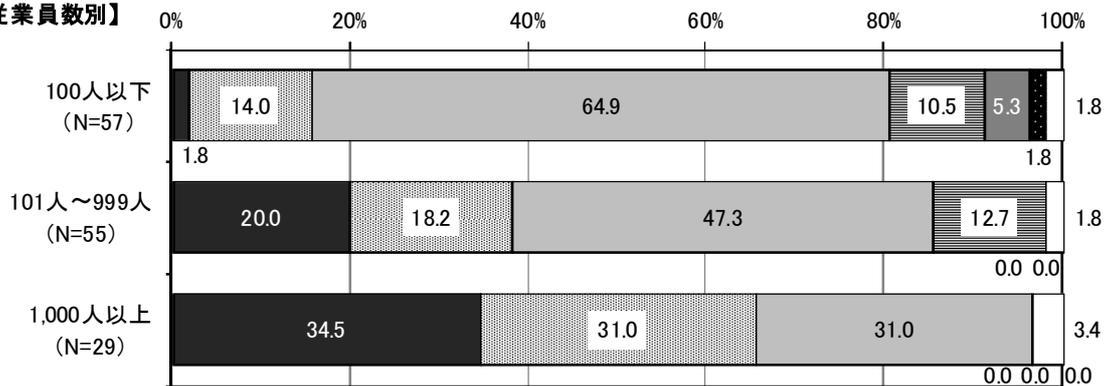
ワーク・ライフ・バランスの推進における考えについてみると、「必要と思うが、現実的に難しい」が50.7%となっています。「必要であり、企業としても推進している」は16.4%となっています。

従業員数（企業規模）別では、「必要であり、企業としても推進している」が1,000人以上で34.5%、100人以下で1.8%となっています。100人以下では、「必要と思うが、現実的に難しい」が64.9%となっており、従業員数（企業規模）の大きさが、ワーク・ライフ・バランスを取り組める体制の有無にも左右します。

【全体】



【従業員数別】



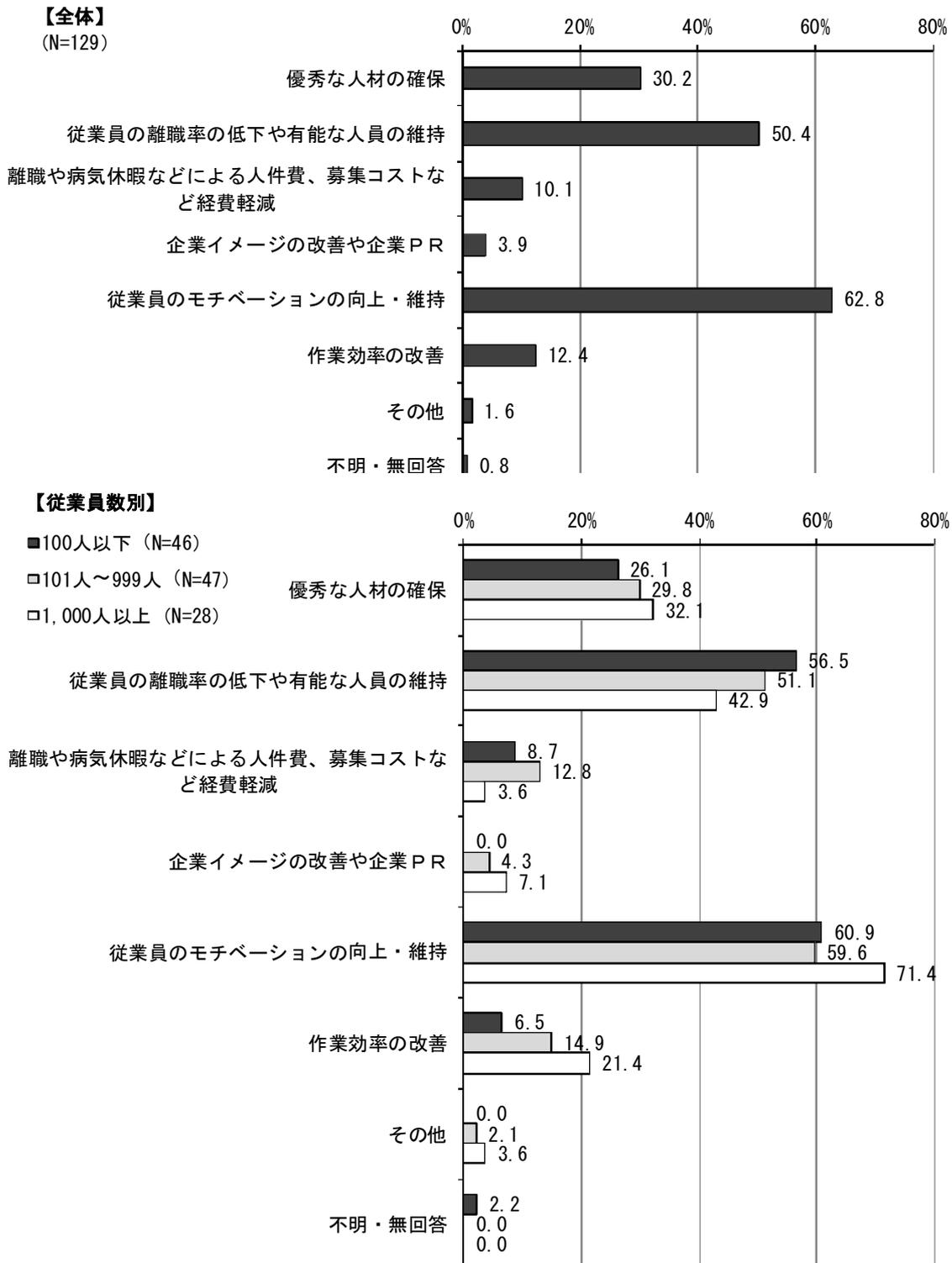
- 必要であり、企業としても推進している
- ▣どちらかという必要であり、今後支援策も含め検討される予定
- 必要と思うが、現実的に難しい
- ▤個人の問題であり、あまり必要とは思われない
- 必要性を感じない
- その他
- 不明・無回答

(23)ワーク・ライフ・バランスの推進が必要と考えられる理由は何ですか。〈複数回答〉

[事業所調査…問 21-1]

ワーク・ライフ・バランスの推進が必要と考える理由についてみると、「従業員のモチベーションの向上・維持」が62.8%、「従業員の離職率の低下や有能な人員の維持」が50.4%となっています。

従業員数（企業規模）別では、1,000人以上では「従業員のモチベーションの向上・維持」が71.4%となっています。100人以下では「従業員の離職率の低下や有能な人員の維持」が56.5%となっています。

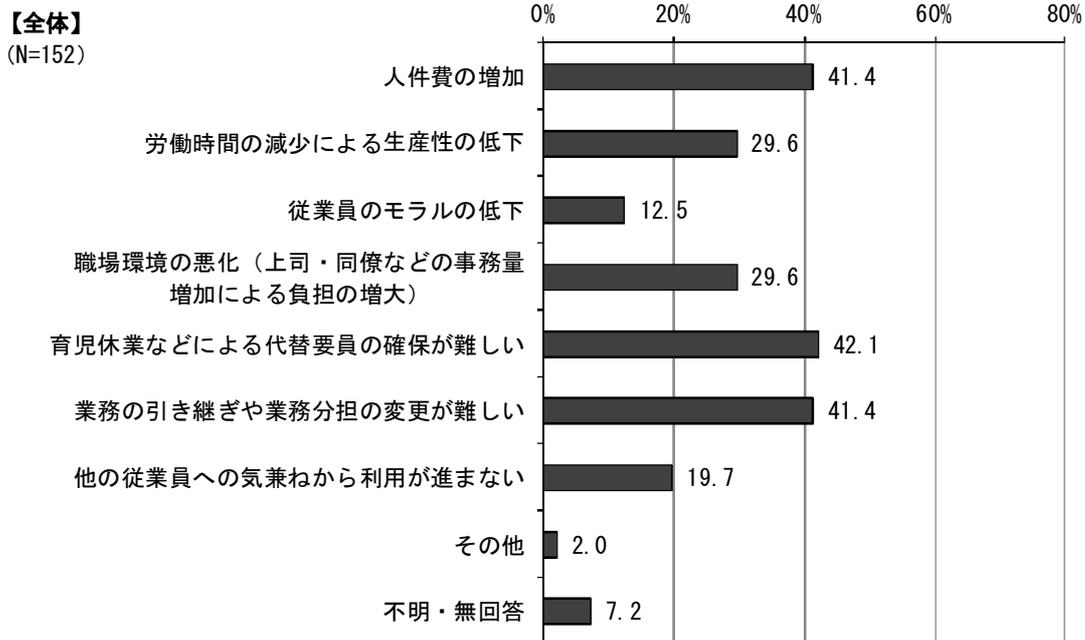


(24)ワーク・ライフ・バランスの推進において障がいとなりそうなことは何ですか。〈複数回答〉

[事業所調査…問 22]

ワーク・ライフ・バランスの推進において障がいとなりそうなことについてみると、「育児休業などによる代替要員の確保が難しい」が42.1%、「人件費の増加」「業務の引き継ぎや業務分担の変更が難しい」が41.4%となっています。

従業員数（企業規模）別では、1,000人以上では「職場環境の悪化（上司・同僚などの事務量増加による負担の増大）」が48.3%となっています。100人以下では「育児休業などによる代替要員の確保が難しい」が45.6%となっています。

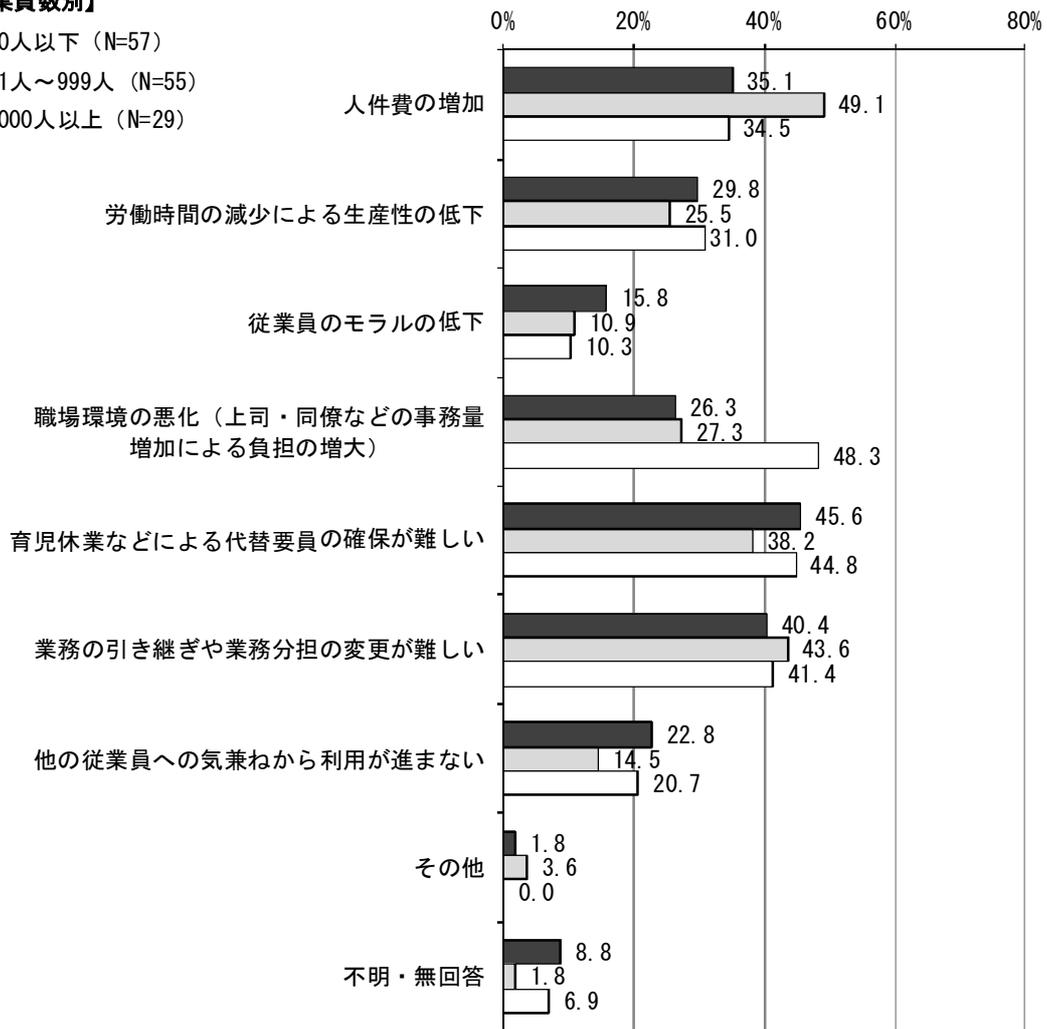


【従業員数別】

■100人以下 (N=57)

□101人～999人 (N=55)

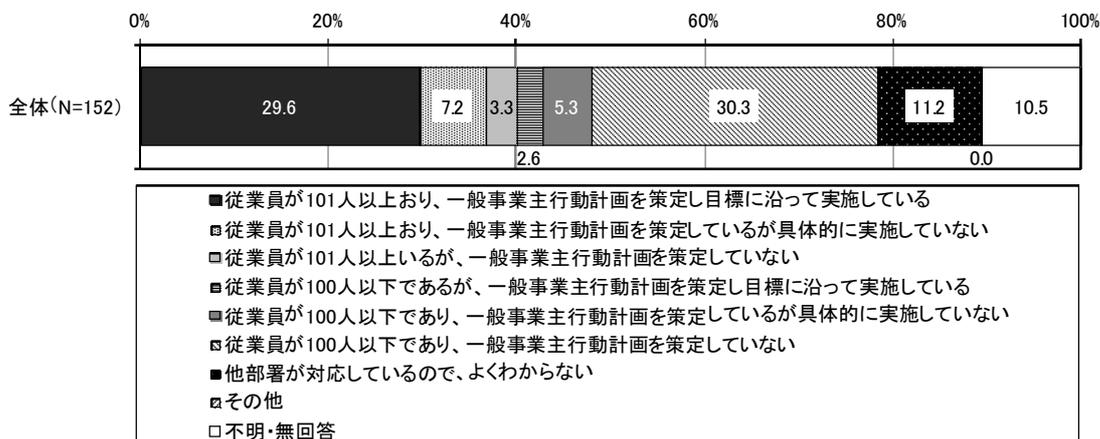
□1,000人以上 (N=29)



(25) 「一般事業主行動計画」における企業の状況についてお答えください。〈単数回答〉

[事業所調査…問 23]

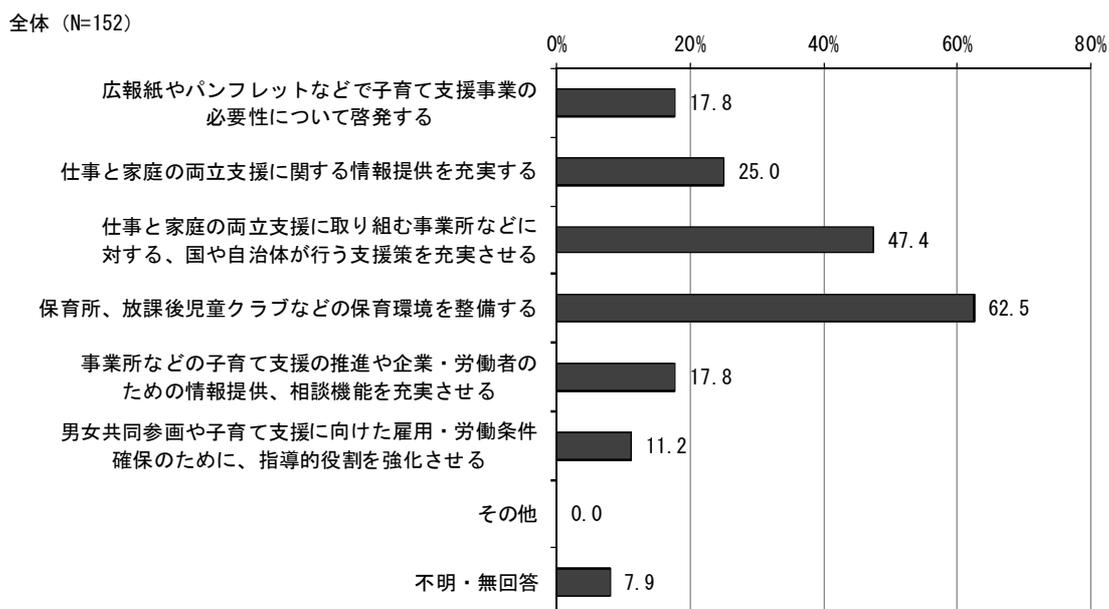
「一般事業主行動計画」における企業の状況についてみると、計画を策定し目標に沿って実施しているのは 32.2%、計画を策定しているが具体的に実施していないのは 12.5%となっています。策定義務はあるが計画を策定していないのは 3.3%となっています。



(26) 仕事と家庭の両立について、自治体が特に重点をおいて取り組むべきだと思うことはどのようなことですか。〈複数回答〉

[事業所調査…問 24]

仕事と家庭の両立について、自治体が重点をおいて取り組むべきことについてみると、「保育所、放課後児童クラブなどの保育環境を整備する」が62.5%、「仕事と家庭の両立支援に取り組む事業所などに対する、国や自治体が行う支援策を充実させる」が47.4%となっています。



6. 事業所の自由回答

区分	主な意見内容	件数
企業負担	<ul style="list-style-type: none">・ 企業へのサポートがなければ推進か保障制度ばかり作っても実現しない・ 企業の負担が増える制度が増えているように思う・ 大企業で労務管理がきちんと行なわれている企業でなければ育児、介護休業を取得することは不可能	5
環境	<ul style="list-style-type: none">・ 有給休暇の取得しやすい環境づくり・ 高校、大学進学世帯への支援の充実・ 学校行事の平日開催	3
意識改善	<ul style="list-style-type: none">・ 社会、企業に色々と求めるより家族、特に夫の理解とサポートが不可欠	1

7. 事業所調査結果の総括

管理職・再雇用の状況について

事業所の管理職については、男性が主であり、女性が一人もいないと答えた事業所は6割となっています。女性管理職が少ない理由では、「役職に就く前に退職する女性が多いから（4割強）」「必要な知識や経験、判断力などを有する女性がいらないから（3割）」といった経験値や能力的な面や「女性自身が、管理職になることを希望しないから（3割）」といった本人が望んでいないといった理由が見受けられます。

長期的な雇用対策は、女性の活躍や管理職の誕生においても重要となります。再雇用する就業規則などの規定については、現在制度はなく、今後の制度化も未定である事業所が5割となっています。現状における復帰支援については、「特になにもしていない」「できていない」とする事業所が4割となっています。女性の社会復帰や再雇用対策の充実が求められます。

子育てのしやすい仕事や職場の環境について

企業の子育て支援制度についてみると、「家族手当の支給」「出産・入学などの祝い金」は7割強の事業所で取り組まれています。企業内保育施設は、一定の事業所の規模がなければ運営が難しいこともあり、多くの事業所で「未実施で未検討（9割強）」となっています。

また、育児休業の取得状況は、女性従業員の利用が進む一方で、男性従業員の利用が進んでいない状況にあります。また、男性の育児休暇の取得に対して、「男性も積極的に取得すべき」

とする事業所は増加傾向にあります。男性は、できるだけ取得しないしてほしいが4割となっています。男性の育児休暇が事業所の運営に対して与える影響の大きさが伺えます。

ここ5年間においては、大規模な事業所を中心に、育児休業や育児休暇の取得が増えてきている状況にあります。今後は、小規模な事業所であっても育児休業や育児休暇の取得が進むよう、支援していくことが求められます。特に、「休業中の代替要員の確保（7割）」が必要とする事業所が多く、人材の確保支援が重要と考えられます。

事業所の社会的責任について

従業員の子育て支援は、企業の社会的責務と考える事業所が増えています。また、従業員の福利厚生の一つとしても考えられています。しかし、「経営環境が厳しく、社員の子育てを支援する余裕がない（4割弱）」とする事業所や、「子どもがいる社員を優遇することに反感がある」とする事業所も見受けられます。事業所に求める社会的責務や事業所のあり方について、検討が求められます。

ワーク・ライフ・バランスについて

事業所のワーク・ライフ・バランスの推進について、「必要と思うが、現実的に難しい」が5割となっています。「必要であり、企業としても推進している」のは2割弱に留まっています。

ワーク・ライフ・バランスの推進では、「従業員のモチベーションの向上・維持（6割強）」、「従業員の離職率の低下や有能な人員の維持（5割）」が目的となる一方で、小規模な事業所では、「必要と思うが、現実的に難しい」が6割強となっており、事業所の規模による取り組みの差が見受けられます。仕事と家庭の両立に向けて、「保育所、放課後児童クラブなどの保育環境を整備する（6割強）」、「仕事と家庭の両立支援に取り組む事業所などに対する、国や自治体が行う支援策を充実させる（5割弱）」が、自治体が重点をおいて取り組むべきこととして、求められています。

5.

資料編



3. 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にやっているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに
2. 主に母親
3. 主に父親
4. 主に祖父
5. その他（ ）

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父祖母などの親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父祖母などの親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる/ある ⇒問9-1へ
2. いない/ない ⇒問10へ

問9-1 問9で「1. いる/ある」に○をつけた方についてうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父祖母などの親族
2. 友人や知人
3. 近所の人
4. 子育て支援施設（子育て支援センターなど）、NPO
5. 保健所
6. 保育士
7. 幼稚園教諭
8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師
10. 自治体の子育て関連担当窓口
11. 身近な相談環境はない
12. その他（ ）

問10 妊娠、出産、子育てを通じて、困ったことや悩んだことはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 妊娠時の体調の変化や健康管理
2. 出産時の不安
3. 子どもの健康
4. 子どもの発育や発達状況
5. 子どもの生活習慣（食事など）
6. 子どもの育て方やつけ方
7. 子どもの友達関係
8. 自分の時間がとれないこと
9. 仕事と家庭の両立ができていくこと
10. 家族が子育てで協力的でないこと
11. 身近に協力者（祖父祖母など）がいないこと
12. 経済的に余裕がないこと
13. 子どもを安心して預けられるところがないこと
14. 親同士のおつきあいのこと
15. 近所に遊び場がない、または少ないこと
16. 住宅がせまいこと
17. 子育て中の親との交流の機会がない、または少ないこと
18. 特になし
19. その他（ ）

1. お住まいの地域についてうかがいます

問1 お住まいの地域の小学校区はどちらになりますか。答える番号1つに○をつけてください。

1. 小豆坂
2. 愛宕
3. 井田
4. 岩津
5. 上地
6. 梅園
7. 恵田
8. 生平
9. 岡崎
10. 奥殿
11. 男川
12. 形巻
13. 北野
14. 下山
15. 城南
16. 大樹寺
17. 大門
18. 竜美丘
19. 常磐
20. 常磐東
21. 常磐南
22. 豊富
23. 夏山
24. 根石
25. 常梨
26. 羽根
27. 広幡
28. 福岡
29. 藤川
30. 細川
31. 美合
32. 三島
33. 緑丘
34. 宮崎
35. 六名
36. 六ツ美西部
37. 六ツ美中部
38. 六ツ美南部
39. 六ツ美北部
40. 本宿
41. 矢作北
42. 矢作西
43. 矢作東
44. 矢作南
45. 山中
46. 竜谷
47. 連尺

わからない場合は、お住まいの町名をご記入ください。 町・丁目

問2 岡崎市に住んで何年になりますか。答える番号1つに○をつけてください。 ※旧細田町を含め、回答される保護者の方の年数でお答えください。

1. 1年未満
2. 1～2年未満
3. 2～5年未満
4. 5～10年未満
5. 10～20年未満
6. 20年以上

2. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

問3 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。

平成 年 月 生まれ

問4 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。

きょうだい数 人

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親
2. 父親
3. その他（ ）

問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる
2. 配偶者がいない

問12 問11(1)または問11(2)で「3.」「4.」「ハート・アルバイトなどで就労している」に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問13へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※フルタイムについては、1週5日程度・1日8時間程度の就労を目安に判断してください。

①母親	②父親	フルタイムへの転換希望(当てはまる番号1つに○)
1	1	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2	2	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3	3	パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4	4	パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問13 問11(1)または問11(2)で「5.」「6.」(就労していない)に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください。数字は一律に一字。

(1) 母親

- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
- すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイトなど(「ア」以外)
→1週当たり 日/1日当たり 時間

(2) 父親

- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
- すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイトなど(「ア」以外)
→1週当たり 日/1日当たり 時間

4. 宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。
※フルタイムについては、1週5日程度・1日8時間程度の就労を目安に判断してください。

問11(1) 母親 【父子家庭の場合は記入不要です⇒問11(2)へ】
当てはまる番号1つに○をつけてください。

- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない

⇒問11(1)-1へ
⇒問11(2)へ

問11(1) 「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にかがいます。
1週当たり 日 1日当たり 時間

問11(1)-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。口内に数字をご記入ください。数字は一律に一字。

問11(2) 父親 【母子家庭の場合は記入不要です⇒問12へ】
当てはまる番号1つに○をつけてください。

- フルタイムで就労しており、産休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・介護休業中である
- パート・アルバイトなどで就労しており、産休・介護休業中ではない
- パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない

⇒問11(2)-1へ
⇒問12へ

問11(2) 「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にかがいます。
1週当たり 日 1日当たり 時間

問11(2)-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。口内に数字をご記入ください。数字は一律に一字。

問15 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。
 なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（現在、岡崎市では実施していません。）

1. 幼稚園 (通常の幼稚園時間を利用)
(通常の幼稚園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
2. 幼稚園の預かり保育 (都道府県などの認可を受けたもの)
3. 認可保育所 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
4. 認定こども園 (市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)
5. 小規模な保育施設 (保育者の家族などで5人以下の子どものみを保育する事業)
6. 家庭的保育 (企業が主に従業員用に運営する施設)
7. 事業所内保育施設 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
8. その他の認可外の保育施設
9. 居宅訪問型保育 (ファミリー・サポート・センター)
10. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
11. その他 ()

6. 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます

問16 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場（地域交流センター、げんき館などのプレイルーム）」「子育て支援センター」などと呼ばれています）を利用していますか。
 次の中から、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。

1. 地域子育て支援拠点事業を利用している
 1週当たり 回 もしくは 1か月当たり 回程度
2. 利用していない
 (理由:)

問17 問16のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。
 当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。

1. 利用していないが、今後利用したい
 1週当たり 回 もしくは 1か月当たり 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
 1週当たり 更に 回 もしくは 1か月当たり 更に 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

5. 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます

※ここでの「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問14-1に示した事業が含まれます。

問14 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒問14-1、問14-2へ
2. 利用していない ⇒問15へ

問14-1と問14-2は、問14で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。

問14-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園 (通常の幼稚園時間を利用)
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の幼稚園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (都道府県などの認可を受けたもの)
4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
※本市では豊富保育園と形整保育園のみ
5. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
6. 認可外の保育施設 (地域住民が子どもを預かる事業)
7. ファミリー・サポート・センター
8. その他 ()

問14-2 平日定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてどのくらい利用したいですか。
 1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください。数字は一律に一字。時間は、必ず24時間制でご記入ください。

- (1) 現在 ※午前8時から午後4時までの人は、1日当たり8時間（08時～16時）と記載してください
 1週当たり 日 1日当たり 時間 (時～ 時)
- (2) 希望
 1週当たり 日 1日当たり 時間 (時～ 時)

問20-1 宛名のお子さんが病氣やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなくなった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）。数字は一位に一字。

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	日
イ. 母親が休んだ	日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを見てもらった	日
エ. 父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た	日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	日
カ. ベビーシッターを利用した	日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日
ケ. その他 ()	日

問20-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にかがいます。

問20-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。数字は一位に一字。
なお、病児・病後児のための事業などの利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要です。

1. できれば病児・病後児保育施設などを利用したい ⇒ 日
2. 利用したいとは思わない

9. 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用にかがいます

問21 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病氣のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。数字は一位に一字。

利用している事業・日数（年間）	日数
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	日
3. ファミリー・サポート・センター (郵便住民が子どもを預かる事業)	日
4. その他 ()	日
5. 利用していない	日

7. 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望にかがいます

問18 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。利用希望がある場合は、利用したい時間帯を、24時間制でご記入ください。数字は一位に一字。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。
※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日 ※午膳9時から午後4時までの人は、利用したい時間帯9時から16時までと記載してください

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい ⇒ 利用したい時間帯 時から 時まで
3. 月に1～2回は利用したい 時から 時まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい ⇒ 利用したい時間帯 時から 時まで
3. 月に1～2回は利用したい 時から 時まで

問19 「幼稚園」を利用されている方にかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、24時間制でご記入ください。数字は一位に一字。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい ⇒ 利用したい時間帯 時から 時まで
3. 休みの期間中、週に数日利用したい 時から 時まで

8. 宛名のお子さんの病氣の際の対応にかがいます (平日の教育・保育を利用する方のみ)

問20 平日の定期的な教育・保育の事業を利用してると答えた保護者の方(問14で1に○をつけた方)にかがいます。利用していらっしゃらない方は、問21にお進みください。

この1年間に、宛名のお子さんが病氣やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった ⇒問20-1ハ
2. なかった ⇒問21ハ

10. 宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます

宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。

例 「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」及び「5. 学区こどもの家」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。数字は一律に一字。

問24

1. 自宅	週	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	日くらい
4. 放課後児童クラブ ^{※1} （学童保育）	週	日くらい
	⇒ 下校時から	時まで
5. 学区こどもの家 ^{※2}	週	日くらい
	⇒	時まで
6. ファミリー・サポーター・センター	週	日くらい
7. その他（公民館、公園など）	週	日くらい

※1「放課後児童クラブ」…保護者が就労などにより昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活をサポートするものです。同輪市では35箇所の児童育成センターと5箇所の民間児童クラブがあります。事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

※2「学区こどもの家」…小学校は比較的近い場所にあり、学区内の子どもでもあれば自由に利用できる施設です。放課後は一棟家に帰ってから遊びに来る輪廻ですが、家庭の事情などで、子どもの帰宅時に家に誰もいない場合などでは、小学校の許可を得た上で、下校時から利用することができます。

問25

1. 自宅	週	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	日くらい
4. 放課後児童クラブ（学童保育）	週	日くらい
	⇒ 下校時から	時まで
5. 学区こどもの家	週	日くらい
	⇒	時まで
6. ファミリー・サポーター・センター	週	日くらい
7. その他（公民館、公園など）	週	日くらい

宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。

例 「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」及び「5. 学区こどもの家」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。数字は一律に一字。

問22

宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください）。数字は一律に一字。なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）リフレッシュ目的		日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など		日
ウ. 不定期の就労		日
エ. その他（ ）		日
2. 利用する必要はない		日

この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病氣など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたが（預け先がみつからなかった場合も含む）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。

1年間の対処方法		日数
1. あった	ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設などで一定期間、子どもを保護する事業）	泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッターなど）を利用した	泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	泊
	カ. その他（ ）	泊
2. なかった		

11. すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など 職場の面立支援制度についてうかがいます

宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得
しましたか。
①母親、②父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、
取得していない方はその理由をご記入ください。

①母親	②父親	育児休業の取得状況（当てはまる番号1つに○）
1	1	働いていなかった ⇒ 問28へ
2	2	取得した（取得中である） ⇒ 問27-1へ
3	3	取得していない
↓		
「3. 取得していない」と回答した方はこちらです。		
①母親	②父親	取得していない理由（当てはまる番号すべてに○）
1	1	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2	2	仕事が多かった
3	3	（産休後に）仕事に早く復帰したかった
4	4	仕事に戻るのが難しかった
5	5	昇給・昇格などが遅れそうだった
6	6	収入減となり、経済的に苦しくなる
7	7	保育所などに預けることができた
8	8	配偶者が育児休業制度を利用した
9	9	配偶者が無職、祖父などの親戚にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10	10	子育てや家事に専念するため退職した
11	11	職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12	12	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13	13	育児休業を取得できなかったことを知らなかった
14	14	産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できなかったこと、退職した
15	15	その他（ ）
		その他（ ）

問25または問26で「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方はこちらが
います。宛名のお子さんについて、土曜日、祝日、長期休暇（夏休み・冬休みなど）
に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

問26
(1)から(3)のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。
また、利用したい時間帯を、口内に数字でご記入ください。時間は、必ず(例)09
時～18時のように24時間制でご記入ください。数字は一律に一字。
なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい ⇒ 利用したい時間帯 [] 時から [] 時まで
2. 高学年（4～6年生）の間は利用したい [] 時から [] 時まで
3. 全学年（1～6年生）利用したい
4. 利用する必要はない

(2) 祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい ⇒ 利用したい時間帯 [] 時から [] 時まで
2. 高学年（4～6年生）の間は利用したい [] 時から [] 時まで
3. 全学年（1～6年生）利用したい
4. 利用する必要はない

(3) 長期休暇（夏休み・冬休みなど）

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい ⇒ 利用したい時間帯 [] 時から [] 時まで
2. 高学年（4～6年生）の間は利用したい [] 時から [] 時まで
3. 全学年（1～6年生）利用したい
4. 利用する必要はない

問27-3で実際の復帰と希望が異なる方にかがいます。

問27-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由にかがいます。

※該当する方の親のみとし、ともに該当する場合はそれぞれについて記載してください

(1) 「希望」より早く復帰した方

①母親	②父親	希望より早く職場復帰した理由 (当てはまる番号すべてに○)
1	1	希望する保育所に入るため
2	2	配偶者や家族の希望があったため
3	3	経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4	4	人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5	5	その他 ()
		その他 ()

(2) 「希望」より遅く復帰した方

①母親	②父親	希望より遅く職場復帰した理由 (当てはまる番号すべてに○)
1	1	希望する保育所に入れなかったため
2	2	自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3	3	配偶者や家族の希望があったため
4	4	職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5	5	子どもをみてくれる人がいなかったため
6	6	その他 ()
		その他 ()

問27-1で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にかがいます。

問27-5 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

①母親	②父親	育児休業取得について (当てはまる番号1つに○)
1	1	1歳になるまで育児休業を取得したい
2	2	1歳になる前に復帰したい

問27で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にかがいます。

⇒該当しない方は問28へ

問27-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

※該当する方の親のみとし、ともに該当する場合はそれぞれについて記載してください

①母親	②父親	育児休業取得後の職場復帰状況 (当てはまる番号1つに○)
1	1	育児休業取得後、職場に復帰した ⇒問27-2、問27-3へ
2	2	現在も育児休業中である ⇒問27-5へ
3	3	育児休業中に離職した ⇒問28へ

問27-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にかがいます。

問27-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミン
グでしたか。あるいはそれ以外でしたか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めで入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

※該当する方の親のみとし、ともに該当する場合はそれぞれについて記載してください

①母親	②父親	育児休業取得について (当てはまる番号1つに○)
1	1	年度初めの入所に合わせたタイミンだった
2	2	それ以外だった

問27-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にかがいます。

問27-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取り
たかったですか。□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。

※該当する方の親のみとし、ともに該当する場合はそれぞれについて記載してください

		実際の取得期間		希望	
①母親		歳	ヶ月	歳	ヶ月
②父親		歳	ヶ月	歳	ヶ月

問30 最後に、教育・保育環境の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、同封の封筒に入れ、ポストに投函いただきますようお願いいたします。

ご協力、ありがとうございます。
 切手を貼らずに同封の封筒に入れ、ポストに投函いただきますようお願いいたします。

12. 子育て全般についてうかがいます

問28 岡崎市における以下のような分野について満足していますか。
 「満足度」を5点満点で評価し、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満
①各種保育サービス ^{※1}	5	4	3	2	1
②妊娠・出産・育児期の健康診断	5	4	3	2	1
③身近で安心な小児医療サービス	5	4	3	2	1
④公園など、身近な子どもの遊び場	5	4	3	2	1
⑤企業・事業所などの子育て支援	5	4	3	2	1
⑥犯罪などが少ない、安心できる地域環境	5	4	3	2	1
⑦総合的にみた子育てのしやすさ	5	4	3	2	1

※1 「各種保育サービス」…通常保育、延長保育、一時保育など

問29 子どもを安心して産み育てられる環境のために、市にどのような施策を期待しますか。
 次の中から当てはまる番号に5つまで○をつけてください。

1. 妊産婦や乳幼児の健康診査、保健指導などの母子保健体制の整備
2. 夜間や休日における小児科や医療体制の整備
3. 夜間保育、一時保育などの子どもを預けられる保育サービスの充実
4. 子育てに関する相談・情報・手続などの窓口の一本化
5. 地域における子育てサークルなどの自主活動への支援
6. 家事や育児への男女共同参加意識の啓発
7. 育児休暇制度の普及や労働時間短縮など、企業における子育て支援の充実
8. 子育てにかかる経済的な負担の援助
9. 子どもの成長や家族人数に見合った住環境の整備
10. 乳幼児連れでも講演会やイベントに参加しやすいように会場の保育機能の整備
11. ベビーベッドの設置やベビーカーを押しやすい歩道など、施設や道路の整備
12. 児童虐待を防止するための体制の整備
13. いじめや非行防止など、子どもが健全に育つための対策の充実
14. 受験競争の緩和などゆとりある教育の推進
15. 特にない
16. その他 ()

2. 小学生児童用調査票

岡崎市の子ども・子育てに関するアンケート調査

【調査ご協力をお願い】

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。
さて、本市では、より一層の子育て支援施策の充実に向け、「岡崎市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

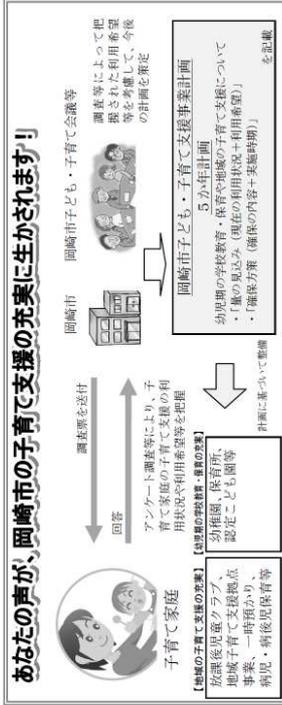
このため、市民の皆様の子育て状況や、子ども、子育てに関するご要望、ご意見等を把握するべく、「岡崎市子ども・子育てに関するアンケート調査」を実施することとなりました。

この調査は、本市にお住まいの、小学生のお子さんをお持ちの保護者の方にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた内容は、本市の子ども・子育て施策の検討に利用させていただきます。回答者個人が特定されたり、他の目的に利用することは一切ございません。

ご多用のことと存じますが、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年11月

岡崎市長 内田 康宏



記入に当たって

- 特にことわりのある場合以外は、封筒の宛名のお子さんについてご記入ください。
- アンケートには、お子さんの保護者の方をご記入ください。
- ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて**11月15日(金)**までにポストに投函してください。

このアンケート調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

岡崎市子ども部 育成課

電話：0564-23-6820 FAX：0564-23-6833

電話によるお問い合わせは、平日午前8時30分から午後5時15分の間にお願いいたします。

回答するに当たってお読みください

岡崎市では、子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号)に基づく新たな子ども・子育て支援の制度(以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。)の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとしています(平成27年度から実施予定)。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、住民の皆様への教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容(施設や事業の利用希望等)は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいで構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもたちの成長においては、乳児期におけるしつけや安心とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方ももとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能なような支援を行うものです。地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じるような支援を目指しています。

【用語の定義】 この調査票における用語の定義は、以下のとおりです。

幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第22条)
保育所	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設(児童福祉法第39条)
子育て	教育・保育その他の子どもたちの健やかな成長のために行われる支援
教育	問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

3. 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にやっているのはどなたですか。
お子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖父母 5. その他 ()

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もともと影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

1. 家庭 2. 地域 3. 小学校 4. 塾
5. 部活・クラブ活動 6. その他 ()

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母などの親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない ⇒問10へ

問9で「1.」「4.」「J」に○をつけた方にうかがいます。
お子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
①祖父母などの親族、②友人・知人それぞれについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①祖父母など	②友人・知人	お子さんをみてもらっている状況（当てはまる番号すべてに○）
1	1	身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2	2	身体的負担が大きく心配である
3	3	時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4	4	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5	5	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある
6	6	その他 ()

1. お住まいの地域についてうかがいます

問1 お住まいの地域の小学校区はどちらになりましたか。
答えの番号1つに○をつけてください。

1. 小豆坂 2. 愛宕 3. 井田 4. 岩津 5. 上地 6. 梅園
7. 恵田 8. 生平 9. 岡崎 10. 奥殿 11. 男川 12. 形巻
13. 北野 14. 下山 15. 城南 16. 大樹寺 17. 大門 18. 竜美丘
19. 常磐 20. 常磐東 21. 常磐南 22. 豊草 23. 夏山 24. 根石
25. 楽梨 26. 羽根 27. 広幡 28. 福岡 29. 藤川 30. 細川
31. 美合 32. 三島 33. 緑丘 34. 宮崎 35. 六名
36. 六ツ美西部 37. 六ツ美中部 38. 六ツ美南部
39. 六ツ美北部 40. 本宿 41. 矢作北 42. 矢作西 43. 矢作東
44. 矢作南 45. 山中 46. 竜谷 47. 連尺

わからない場合は、お住まいの町名をご記入ください。 町・丁目

問2 岡崎市に住んで何年になりましたか。
答えの番号1つに○をつけてください。
※旧額田町を含め、回答される保護者の方の年数でお答えください。

1. 1年未満 2. 1～2年未満 3. 2～5年未満
4. 5～10年未満 5. 10～20年未満 6. 20年以上

2. 封筒の宛名のお子さんとはご家族の状況についてうかがいます

問3 宛名のお子さんの生年月日をご記入ください。
口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。

平成 年 月 生まれ

問4 宛名のお子さんのきょうだいはいはる何人いらっしゃいますか。
宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。

きょうだい数 人

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
宛名のお子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問12(2) 父親【母子家庭の場合は記入不要です⇒問13へ】
当てはまる番号1つに○をつけてください。

- フルタイムで就労しており、育児・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、育児・介護休業中である
- パート・アルバイトなどで就労しており、育児・介護休業中ではない
- パート・アルバイトなどで就労しているが、育児・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない

⇒問12(2)-1へ

⇒問13へ

問12(2)で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
1週当たり「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。
問12(2)-1 就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。

1週当たり 日 1日当たり 時間

問13 問12(1)または問12(2)で「3.」「4.」(パート・アルバイトなどで就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※フルタイムについては、1週5日程度・1日8時間程度の就労を目安に判断ください。

①母親	②父親	フルタイムへの転換希望(当てはまる番号1つに○)
1	1	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2	2	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3	3	パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4	4	パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問14 問12(1)または問12(2)で「5.」「6.」(就労していない)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号、記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。

- (1)母親**
- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 - 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
 - すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
ア.フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ.パートタイム、アルバイトなど(「ア」以外)
→1週当たり 日/1日当たり 時間

問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 祖父母などの親族
- 友人や知人
- 近所の人
- 子育て支援施設(子育て支援センターなど)・NPO
- 保健所
- 保健師
- 学校の先生
- 民生委員・児童委員
- かかりつけの医師
- 自治体の子育て関連担当窓口
- 身近な相談環境はない
- その他()

問11 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

4. 宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。
※フルタイムについては、1週5日程度・1日8時間程度の就労を目安に判断ください。

問12(1) 母親【父子家庭の場合は記入不要です⇒問12(2)へ】
当てはまる番号1つに○をつけてください。

- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない

問12(1)で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問12(1)-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。

1週当たり 日 1日当たり 時間

6. 宛名のお子さんの病気の対応についてうかがいます

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった ⇒問17-1へ 2. なかった ⇒問18へ

問17-1 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1年間の対応方法		日数
ア. 父親が休んだ		日
イ. 母親が休んだ		日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった		日
エ. 父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た		日
オ. ベビーシッターを利用した		日
カ. ファミリー・サポート・センターを利用した		日
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた		日
ク. その他()		日

問17-2へ

問17-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問17-2 その際、「できれば施設などを利用したい」と思われませんか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。

1. できれば施設などを利用したい ⇒ 日
2. 利用したいとは思わない

問17-1で「ウ」～「ク」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問17-3 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われませんか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ク」の日数のうち仕事を休んで看った日数についても口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ 日
2. 休んで看ることは非常に難しい

(2) 父親

- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年以上先、一番下の子どもが 歳になったら就労したい
- すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
ア.フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ.パートタイム、アルバイトなど(「ア」以外)
→1週当たり 日/1日当たり 時間

5. 子育て支援サービスの認知度についてうかがいます

問15 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑧の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用したことがある	C 今後利用したい
①保健所の情報・相談事業	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
②相談機関(ハートピア・家庭児童相談室)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
③市民センター(家庭教育学級)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
④教育相談センター・教育相談室	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑤運動場・体育館などの開放(子ども会・クラブ活動)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑥学校が主催する活動(講演会、PTA活動)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑦学区子どもの家	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑧ファミリー・サポート・センター	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ

問16 これまでに利用したことがあるものについて、利用した際の利用満足度をお答え下さい。「満足度」を5点満点で評価し、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

	満足度				
	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満
①保健所の情報・相談事業	5	4	3	2	1
②相談機関(ハートピア・家庭児童相談室)	5	4	3	2	1
③市民センター(家庭教育学級)	5	4	3	2	1
④教育相談センター・教育相談室	5	4	3	2	1
⑤運動場・体育館などの開放(子ども会・クラブ活動)	5	4	3	2	1
⑥学校が主催する活動(講演会、PTA活動)	5	4	3	2	1
⑦学区子どもの家	5	4	3	2	1
⑧ファミリー・サポート・センター	5	4	3	2	1

問19で「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にかがいます。⇒ア. 以外を選択した方は問20へ

問19-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難
2. どちらかというと困難
3. 特に困難ではない

8. 宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます

問20 宛名のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）や休日に何か活動されていますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 青少年団体（子ども会、ボーイ・ガールスカウトなど） ⇒問20-1へ
2. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）
3. 何も活動していない ⇒問21へ
4. その他（ ）

問20-1 問20で「1. 青少年団体」に○をつけた方にかがいます。
お子さんを青少年団体に参加させている状況についてお答えください。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるので、安心して参加させている
2. 子ども同士のつながりができるために参加させている
3. 保護者同士のつながりができるために参加させている
4. 会などが多く、保護者の負担が大きいと感じている
5. 辞めたいと思っているが辞めにくい
6. 子どもが高学年になったら辞めるつもりだ
7. 行事内容を見直してほしい
8. その他（ ）

7. 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用についてうかがいます

問18 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。）。数字は一律に一字。なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

利用したい	計	日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）リフレッシュ目的		日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など		日
ウ. 不定期の就労		日
エ. その他（ ）		日
2. 利用する必要はない ⇒問19へ		日

問18-1へ

問18-1 問18で「1. 利用したい ア.～エ.」に○をつけた方にかがいます。
問18の目的でお子さんを利用する場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業
2. 小規模施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民などが子育て家庭などの近くで保育する事業（例：ファミリー・サポート・センターなど）
4. その他（ ）

問19 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたが（預け先がみつかなかった場合も含む）。あった場合は、この1年間の対応方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。

1年間の対応方法	日数
1. あった	
ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった泊	
イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設などで一定期間、子どもを保護する事業）泊	
ウ. イ以外の保育事業（ベビーシッターなど）を利用した泊	
エ. 仕方なく子どもを同行させた泊	
オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた泊	
カ. その他（ ）泊	
2. なかった	

問19-1へ

問21 または **問22** で「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にかが
います。宛名のお子さんについて、土曜日、祝日、長期休暇（夏休み・冬休みなど）
に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。
（1）から（3）のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。
また、利用したい時間帯を、口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）09
時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、事業の利用に当たっては、一
定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）の間は利用したい
3. 全学年（1～6年生）利用したい
4. 利用する必要はない
- ⇒ 利用したい時間帯
 時 から 時まで

(2) 祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）の間は利用したい
3. 全学年（1～6年生）利用したい
4. 利用する必要はない
- ⇒ 利用したい時間帯
 時 から 時まで

(3) 長期休暇（夏休み・冬休みなど）

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）の間は利用したい
3. 全学年（1～6年生）利用したい
4. 利用する必要はない
- ⇒ 利用したい時間帯
 時 から 時まで

問24 または **問22** で「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にかが
います。放課後児童クラブ（学童保育）の実施は、どのような場所が望ましいと思いま
すか。当てはまる番号1つに○をつけてください

1. 小学校の余裕教室
2. 小学校敷地内の独立専用施設
3. 学区こどもの家
4. 学区こどもの家に隣接する独立専用施設
5. 市民ホームなどの公共施設内
6. 幼稚園・保育園内
7. わからない

問25 または **問22** で「5. 学区こどもの家」に○をつけた方にかがいます。宛名のお
子さんが学区こどもの家を利用するに当たり、こどもの家（機能として望むものを、
当てはまる番号1つに○をつけてください。また、長期休暇（夏休み・冬休みなど）で
利用する場合、利用したい時間帯を、口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）
09時～18時のように24時間制でご記入ください。数字は一律に一字。

1. 小学校下校時から使いたい
2. 指導員を複数配置してほしい
3. 放課後子ども教室を実施してほしい
4. 遊具を増やしてほしい
5. 造形図書室を大きくしてほしい
6. 空調設備を入れてほしい
7. 現状のままで満足
- ⇒ 利用したい時間帯
 時 から 時まで

問21 または **問22** で「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」及び「5. 学区こどもの家」の場
合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）
18時のように24時間制でご記入ください。数字は一律に一字。

1. 自宅	週	日くらしい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	日くらしい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	日くらしい
4. 放課後児童クラブ*1（学童保育）	週	日くらしい
	⇒ 下校時から	時まで
5. 学区こどもの家*2	週	日くらしい
		時まで
6. ファミリー・サポーター・センター	週	日くらしい
7. その他（公民館、公園など）	週	日くらしい

※1「放課後児童クラブ」…保護者が就労などにより昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を
提供するものです。岡崎市では活動所の児童育成センターと活動所の民間児童クラブがあります。事業の利用に当
たっては、一定の利用料がかかります。

※2「学区こどもの家」…小学校に比較的近い場所にあり、学区内の子どもでもあれば自由に利用できる施設です。放課
後は一家庭に帰ってかえり遊びに来る施設ですが、家庭の事情などで、子どもの帰宅時に家に誰もいない場合など
では、小学校の許可を得た上で、下校時から利用することができます。

問22 または **問22** で「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」及び「5. 学区こどもの家」の場
合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）
18時のように24時間制でご記入ください。数字は一律に一字。

1. 自宅	週	日くらしい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	日くらしい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	日くらしい
4. 放課後児童クラブ（学童保育）	週	日くらしい
	⇒ 下校時から	時まで
5. 学区こどもの家	週	日くらしい
		時まで
6. ファミリー・サポーター・センター	週	日くらしい
7. その他（公民館、公園など）	週	日くらしい

問28 最後に、教育・保育環境の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力、ありがとうございます。切手を貼らずに同封の封筒に入れ、ポストに投函いただきますようお願いいたします。

9. 子育て全般についてうかがいます

問26 岡崎市における以下のような分野について満足していますか。「満足度」を5点満点で評価し、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満
①各種教育サービス	5	4	3	2	1
②学校などでの健康診断	5	4	3	2	1
③身近で安心な小児医療サービス	5	4	3	2	1
④公園など、身近な子どもの遊び場	5	4	3	2	1
⑤企業・事業所などの子育て支援	5	4	3	2	1
⑥犯罪などが少ない、安心できる地域環境	5	4	3	2	1
⑦総合的にみた子育てのしやすさ	5	4	3	2	1

問27 子どもを安心して産み育てられる環境のために、市にどのような施策を期待しますか。次の中から当てはまる番号に5つまで○をつけてください。

1. 妊産婦や乳幼児の健康診査、保健指導などの母子保健体制の整備
2. 夜間や休日における小児科や医療体制の整備
3. 夜間保育、一時保育などの子どもを預けられる保育サービスの充実
4. 子育てに関する相談・情報・手続などの窓口の一本化
5. 地域における子育てサークルなどの自主活動への支援
6. 家事や育児への男女共同参加意識の啓発
7. 育児休暇制度の普及や労働時間短縮など、企業における子育て支援の充実
8. 子育てにかかる経済的な負担の軽減
9. 子どもの成長や家族人数に見合った住環境の整備
10. 乳幼児連れでも講演会やイベントに参加しやすいように会場の保育機能の整備
11. ベビーベッドの設置やベビーカーを押し歩きやすい歩道など、施設や道路の整備
12. 児童虐待を防止するための体制の整備
13. いじめや非行防止など、子どもが健全に育つための対策の充実
14. 受験競争の緩和などゆとりある教育の推進
15. 特になし
16. その他 ()

3. 保護者などの状況についてうかがいます

問10 保護者から寄せられる要望としては、どのようなものが多いですか。
 答えの番号3つまでに○をつけて、()内に具体的な内容をご記入ください。
 【例】通常保育以外の保育サービスに関すること（一時保育の利用日数を増やして欲しい。）

1. 職員の対応に関すること ()
2. 子どものケガや病気に関すること ()
3. おやつや給食に関すること ()
4. 保健・衛生面に関すること ()
5. 園などの行事に関すること ()
6. 保育・教育時間に関すること ()
7. 園などの施設や設備に関すること ()
8. 通常保育以外の保育サービスに関すること ()
9. 保育内容の理解に関すること ()
10. 子どもの発達理解に関すること ()
11. その他 ()
12. わからない

問11 最近の保護者やその子どもにもみられる状況について、特に問題だと思うことは何ですか。
 答えの番号3つまでに○をつけてください。

1. 子どもが基本的な生活習慣を身につけていないまま入園してくること
2. 注意が続かなかつたり、落ち着きがなかったりする子どもがいること
3. 養育困難な保護者が増えていること
4. ひとより親世帯が増えていること
5. 子どもの貧困の問題が生じていること
6. 育児不安や育児ストレスに悩む保護者が増えていること
7. 保育園・幼稚園が提供するサービスと、保護者が求めるものが異なること
8. 子どもの問題に対する保護者の協力が十分でないこと
9. 保護者同士の人間関係の問題があること
10. 虐待・ネグレクトの疑いのあるケースが増えていること
11. その他 ()
12. 特にない

問12 最後に、仕事上の要望や提案などございましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力、ありがとうございました。

問7 労働条件・仕事の負担に関して以下のような悩み・不満などはありますか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 賃金が少ない
2. 身体上の負担が大きい
3. 残業が多いなど、時間的に余裕がない
4. 人手が足りず、一人あたりの仕事量が多い
5. 休日出勤がある
6. 休強がとりにくい・とれない
7. 有給休暇がとりにくい
8. 体調が悪くても休めない
9. 特別なケアが必要な子どもへの保育負担が大きい
10. 職場内の人間関係が難しい
11. 保護者との人間関係が難しい
12. 上司からのセクハラやパワハラがある
13. 自分の保育に自信がない
14. 家庭生活と仕事との両立が難しい
15. 園などの理念や運営方針が合わない
16. 保護者からの苦情あるいは対応困難な注文などが負担である
17. その他 ()

問8 今の職場・施設をやめる、あるいは、保育園・幼稚園の仕事からの転職を考慮することはありますか。
 答えの番号1つに○をつけてください。

1. よくある
2. ある
3. たまにある
4. 特にない

問9 自分の知識や専門性を高めるため、研修などへの参加意向はありますか。
 答えの番号1つに○をつけてください。

1. ある
2. ない
3. わからない

問9-1 問9で「1. ある」に○をつけた方にうかがいます。
 保育や幼児教育に関する研修では、どのような内容を希望しますか。
 答えの番号3つまでに○をつけてください。

1. 保育実技
2. 救命救急
3. 安全管理
4. 小児保健
5. 衛生管理
6. 発達心理学
7. 食育
8. クレーム対応
9. アレルギー対応
10. コミュニケーション能力
11. 保護者対応の研修
12. 一般教養
13. その他 ()

4. 事業所用調査票

岡崎市の子ども・子育てに関するアンケート調査

【調査ご協力をお願い】

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をたまわり誠にありがとうございます。皆様には、本市では、より一層の子育て支援施策の充実に向け、「岡崎市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

このため、市民の皆様の子育てに関する生活実態や事業所の社員に対する子育て支援の取り組み状況等を把握するべく、「岡崎市の子ども・子育てに関するアンケート調査」を実施することとなりました。

この調査は、本市内の事業所の皆様にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた内容は、本市の子ども・子育て施策の検討に利用させていただきます。そのため、他の目的に利用することは一切ございません。

ご多用のことと存じますが、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年11月

岡崎市長 内田 康宏

記入に当たって

- 各設問の回答方法にそってアンケートにお答えください。
- 本市内の状況を把握する目的の調査です。特にことわりのある場合※以外は、ご送付申しあげた事業所の状況についてご回答をお願いいたします。
- ※企業(事業主)という表記の場合は、事業所単位でなく会社全体の状況をご回答ください。
- ご記入が済みしたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて**11月15日(金)**までにポストに投函してください。

このアンケート調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

岡崎市子ども部 育成課

電話：0564-23-6820 FAX：0564-23-6833

電話によるお問い合わせは、平日午前9時30分から午後5時15分の間をお願いいたします。

1. 貴事業所についてうかがいます

問1 ご記入いただく方の担当部署をご記入ください。

担当部署：()

問2 貴事業所の概要についてお答えください。

事業所の性格 (当てはまるものに○)	1. 本社 2. 支社 3. その他 ()
企業の業種 (当てはまるものに○)	9. 飲食店・宿泊業 10. 医療・福祉(社会福祉法人を含む) 11. 教育・学習支援業(フィットネスクラブ、教養講座を含む) 12. 複合サービス業(郵便局や、農協などの協同組合を含む) 13. サービス業 14. その他 ()
従業員数 (常用労働者の人数)	全社人数 人 貴事業所(支社)人数 人

問3 貴事業所の従業員の状況についてお答えください。

男性従業員数	人
うち、配偶者がいる者(既婚者)	人
うち、子どもがいる者	人
女性従業員数	人
うち、配偶者がいる者(既婚者)	人
うち、子どもがいる者	人

3. 貴事業所の退職・離職の状況についてうかがいます

問7	過去3年間に退職した女性従業員のうち、結婚や出産を理由に退職した従業員は何割程度を占めますか。それぞれ数字でご記入ください。
結婚の場合	退職した女性従業員のうち、結婚を理由に退職した従業員は およそ () 割
出産の場合	退職した女性従業員のうち、出産を理由に退職した従業員は およそ () 割

問8 結婚や妊娠・出産などで退職した女性をもとの勤務先に再雇用することについて就業規則などで規定されていますか。
答えの番号1つに○をつけてください。

1. 就業規則や労働契約、内規などに定められている
2. 慣習として行っているが、明文にはされていない
3. 現在制度はないが、今後、導入が決定している
4. 現在制度はなく、今後の制度化も未定である
5. その他 ()

問8-1 問8で「1. 就業規則や労働契約、内規などに定められている」または「2. 慣習として行っているが、明文にはされていない」に○をつけた方にうかがいます。
再雇用後の女性従業員の配置はどのようなようになりますか。
答えの番号1つに○をつけてください。

1. 正規従業員として配置
2. パート・アルバイトとして配置
3. 本人の意思に合わせる
4. 年齢によって異なる
5. その他 ()
6. 特に定まっていない

問4 貴事業所における勤務の状況についてお答えください。

平均的な従業員の労働時間	1. 週40時間程度 2. 週40時間以上 (→ 週時間ほど) 3. その他 ()
休日勤務の有無	1. ある (→ 月 回程度) 2. ない
夜間勤務の有無	1. ある (→ 月 回程度) 2. ない
上記勤務状況に男女の差	1. ある 2. ない

2. 貴事業所の管理職の状況についてうかがいます

問5 貴事業所における、管理職について男女別に人数をご記入ください。
(数字でご記入ください。)

管理職内訳	男性	女性
	人	人

問6 一般的な傾向として、男性に比べて女性の管理職は少ない状況です。女性管理職が少ななのは、どのような理由によるものだと思いますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 必要な知識や経験、判断力などを有する女性が少ないから
2. 将来、管理職になる人材はいるが、今のところ勤務年数を満たしていないから
3. 役職に就く前に退職する女性が多いから
4. 出張や転勤など時間外労働が多く、家庭を持つ女性には困難だから
5. お客様や取引先などが女性管理職をいやがるから
6. 女性自身が、管理職になることを希望しないから
7. 上司、同僚、部下となる男性従業員が、女性管理職を希望しないから
8. 上司、同僚、部下となる女性従業員が、女性管理職を希望しないから
9. 特に理由はなく、結果として男性が多くなった
10. その他 ()
11. わからない

問9-1 問9、「20.在宅勤務制度」で「1.現在実施中」または「2.今後実施を模
 討」に○をつけた方にかがいます。
 子育てを目的とする在宅勤務制度について、貴事業所ではどのようなお考え
 ですか。
 答える番号1つに○をつけてください。

1. オフィス・スペースなどコスト削減の観点から、積極的に取り入れたい
2. 有能な人材をつなぎとめるため、積極的に取り入れたい
3. 従業員からの希望があれば積極的に対応したい
4. すでに導入している
5. 導入するつもりはない
6. その他 ()

問10 育児休業制度についてうかがいます。貴事業所では、従業員の育児休業の取得状
 況はどうですか。
 答える番号1つに○をつけてください。

1. 男女ともによく利用している
2. 女性従業員は利用しているが、男性は利用していない
3. 男女ともほとんど利用していない
4. その他 ()

問11 育児・介護休業法が平成21年6月に改正され、一部を除き平成22年6月から施行
 されました。それに伴い、「3歳までの子を養育する労働者について、短時間勤務
 制度（1日6時間）を設けることを事業主の義務」とすることや「子の看護休暇
 制度を拡充」がされました。貴事業所では、従業員の「短時間勤務制度の利用状
 況」や「子の看護休暇の取得状況」はどうですか。
 当てはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

- (1) 短時間勤務制度**
1. 男女ともによく利用している
 2. 女性には利用しているが、男性は利用していない
 3. 男女ともほとんど利用していない
 4. その他 ()
- (2) 子の看護休暇**
1. 男女ともによく利用している
 2. 女性には利用しているが、男性は利用していない
 3. 男女ともほとんど利用していない
 4. その他 ()

4. 仕事や職場の環境についてうかがいます

問9 企業の子育て支援制度について、現在実施されているものと、今後実施されるもの、未実施・未検討の支援策についてお答えください。
 1サービース1つずつ答える番号1つに○をつけてください。

サービス名	現在実施中	今後実施を 検討	未実施で 未検討
1. 家族手当の支給	1	2	3
2. 出産・入学などの祝い金	1	2	3
3. 育児休業中の所得補填	1	2	3
4. 住宅手当の割り増し	1	2	3
5. 保育所費用の補助（企業内保育施設を除く）	1	2	3
6. ベビーシッター費用の補助	1	2	3
7. 教育資金の貸付け	1	2	3
8. 世帯用住宅への優先入居	1	2	3
9. 企業内保育施設	1	2	3
10. 子育て支援メニューの周知・情報提供	1	2	3
11. 法の規定を上回る育児休業	1	2	3
12. 産前産後休暇（妊娠中）	1	2	3
13. つわり休暇（妊娠中）	1	2	3
14. 短時間勤務制度などの実施	1	2	3
15. 所定外労働の免除	1	2	3
16. 夜間勤務の免除	1	2	3
17. 休日勤務の免除	1	2	3
18. 転勤の免除	1	2	3
19. 職種の変更	1	2	3
20. 在宅勤務制度	1	2	3
21. 育児休業後の職場復帰への支援	1	2	3
22. 育児による退職者の再雇用制度	1	2	3
23. その他 ()	1	2	3

問16 貴事業所では、ここ5年間において育児休業や育児休暇を取得する人は増えていきますか。
答えの番号1つに○をつけてください。

1. 増えてきている
2. 少し増えている
3. あまり変わらない
4. 取得する人はほとんどいない
5. 取得を原則として認めていない

問17 貴事業所では、育児・介護休業制度を定着させるために特に必要だと思われることはなんですか。
答えの番号3つまでに○をつけてください。

1. 休業中の代替要員の確保
2. 制度を利用しやすい雰囲気づくり
3. 休業中の賃金補償
4. 復職時の受け入れ体制
5. 代替要員の教育訓練コストへの支援
6. 利用者・非利用者間の不公平感の是正
7. 休業者の能力低下への訓練コストへの支援
8. その他 ()

5. 子育て支援についてうかがいます

問18 従業員の子育て支援について、貴事業所ではどのようにお考えですか。
答えの番号1つに○をつけてください。

1. 企業の社会的責任として
2. 従業員の福利厚生として
3. 有能な人材を確保するため
4. 企業のイメージアップのため
5. 企業が従業員の子育てを支援する必要がある
6. その他 ()

問19 企業が子育て支援を進めるにあたって、何が問題になると思いますか。
答えの番号1つに○をつけてください。

1. 経営環境が厳しく、社員の子育てを支援する余裕がない
2. 従業員が何を求めているのかわからない
3. 子どもがいる社員を優遇することに反感がある
4. 従業員数が少ないので、支援メニューがそろえられない
5. その他 ()

問12 企業では、育児休業から職場復帰する従業員に対し、復帰支援として取り組まれていることはありますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 育児休業中の事業状況や企業情報の提供
2. 職場復帰前の面談や講習などの実施
3. 育児休業からの復帰者を受け入れる側の意識づくり
4. 育児休業者のキャリア形成・継続に向けた面談や支援
5. 従業員に対する育児休業制度への理解の促進
6. 職場復帰後における面談や講習などの実施
7. 特になにもしていない、できていない
8. その他 ()

問13 育児休業を終えて職場に復帰した従業員の賃金の取り扱いについて、就業規則などではどのように規定されていますか。
答えの番号1つに○をつけてください。

1. 休業前の賃金、またはそれ以上の額を保障する
2. 休業前の額を下回ることもある
3. その他 ()
4. 規定はない

問14 育児休業を終えて職場に復帰した従業員の配置について、就業規則などではどのように規定されていますか。
答えの番号1つに○をつけてください。

1. 原則として原職に復帰する
2. 本人の希望を考慮し、人事労務管理部署が決定する
3. 企業の人事労務管理規則などにより決定する
4. その他 ()
5. 規定はない

育児休業…法律に基づいて取得することのできる休業制度
育児休暇…休暇中に育児をする、育児を目的とした休暇の取得

問15 男性が育児休暇を取得することについて、貴事業所ではどのようにお考えですか。
答えの番号1つに○をつけてください。

1. 男性も積極的に取得すべき
2. 男性は、できるだけ取得しないでほしい
3. 原則として男性の取得は認めない
4. その他 ()

問22 ワーク・ライフ・バランスの推進において障がいとなりそうなこと、障がいとなっていることについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 人件費の増加
2. 労働時間の減少による生産性の低下
3. 従業員のモラルの低下
4. 職場環境の悪化（上司・同僚などの事務量増加による負担の増大）
5. 育児休業などによる代替要員の確保が難しい
6. 業務の引き継ぎや業務分担の変更が難しい
7. 他の従業員への気兼ねから利用が進まない
8. その他（ ）

問23 301人以上の従業員を雇用する企業は、次世代育成支援対策推進法に基づき、仕事と子育ての両立を図るための「一般事業主行動計画」を策定し、都道府県労働局に届出、公表、従業員への周知が義務づけられています。さらに、平成23年4月1日からは、101人以上の従業員を雇用する企業も「一般事業主行動計画」の策定、届出、公表、周知が義務づけられました。つきましては、企業の状況について、答えの番号1つに○をつけてください。

1. 従業員が101人以上おり、一般事業主行動計画を策定し目標に沿って実施している
2. 従業員が101人以上おり、一般事業主行動計画を策定しているが具体的に実施していない
3. 従業員が101人以上いるが、一般事業主行動計画を策定していない
4. 従業員が100人以下であるが、一般事業主行動計画を策定し目標に沿って実施している
5. 従業員が100人以下であり、一般事業主行動計画を策定しているが具体的に実施していない
6. 従業員が100人以下であり、一般事業主行動計画を策定していない
7. 他部署が対応しているため、よくわからない
8. その他（ ）

問24 仕事と家庭の両立について、自治体が特に重点をおいて取り組むべきだと思うこととはどのようなことですか。答えの番号3つまでに○をつけてください。

1. 広報紙やパンフレットなどで子育て支援事業の必要性について啓発する
2. 仕事と家庭の両立支援に関する情報提供を充実する
3. 仕事と家庭の両立支援に取り組む事業所などに対する、国や自治体が行う支援策を充実させる
4. 保育所、放課後児童クラブなどの保育環境を整備する
5. 事業所などの子育て支援の推進や企業・労働者のための情報提供、相談機能を充実させる
6. 男女共同参画や子育て支援に向けた雇用・労働条件確保のために、指導的役割を強化させる
7. その他（ ）

問20 従業員の働き方の見直しについて、企業ではどんなことを実施していますか。それぞれの項目について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

項	目	現在実施中	今後実施を検討	未実施で未検討
1.	ノー残業デーやノー残業ウィークの導入・拡充	1	2	3
2.	フレックスタイム制や変形労働時間制の活用	1	2	3
3.	年次有給休暇の取得促進	1	2	3
4.	短時間労働勤務や隔日勤務の導入	1	2	3
5.	在宅勤務制度の導入	1	2	3
6.	職場優先の意識などの是正のための取り組み	1	2	3
7.	ワーク・ライフ・バランス**1 研修制度	1	2	3
8.	その他（ ）	1	2	3

*1 「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」…仕事と仕事を離れた個人の生活の場方について、どちらかが犠牲になることなく、それぞれをバランスよく事業させていこうという考え方。

問21 ワーク・ライフ・バランスの推進について、企業における取り組みをどのように思いますか。答えの番号1つに○をつけてください。

1. 必要であり、企業としても推進している
2. どちらかというと必要であり、今後支援策も含め検討される予定
3. 必要と思うが、現実的に難しい
4. 個人の問題であり、あまり必要とは思われない
5. 必要性を感じない
6. その他（ ）

問21-1 ワーク・ライフ・バランスの推進が必要と考えられる理由は何ですか。答えの番号2つまでに○をつけてください。

1. 優秀な人材の確保
2. 従業員の離職率の低下や有能な人員の維持
3. 離職や病欠休暇などによる人件費、募集コストなど経費軽減
4. 企業イメージの改善や企業PR
5. 従業員のモチベーションの向上・維持
6. 作業効率の改善
7. その他（ ）

問25

最後に、仕事と家庭の両立が図りやすい会社づくりに関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

--

ご協力、ありがとうございます。
切手を貼らずに同封の封筒に入れ、ポストに投函いただきますようお願いいたします。

岡崎市の子ども・子育てに関する
アンケート調査結果報告書

発行・編集：岡崎市こども部こども育成課

住 所：〒444-8601

岡崎市十王町二丁目 9 番地

TEL : 0564-23-6820

FAX : 0564-23-6833

発行年月：平成 26 年 3 月
